平成21年版

# 日生病院年報

（平成21年1月～12月）

第8巻

財団法人 日本生命済生会付属
日　生　病　院

# 平成２１年日生病院年報の発刊にあたって

院長　　寺川　直樹

平素は日生病院に対しましてご支援ならびにご高配を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。平成２１年版日生病院年報を発刊するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

今年度の診療報酬改定は１０年ぶりにマイナス改定を逃れてプラスには転じましたが、全体改定率は僅かであり、長引く不況の影響を受けて、医療は相変わらず大変厳しい状況にあります。日生病院におきましても平成２１年はその厳しい環境下にありましたが、大阪市西区の基幹病院として地域の皆様のお役に立てますよう、職員一同、努力してまいりました。

診療機能の強化と地域医療への貢献を目指して、当院では平成１９年に「がん治療センター」と「低侵襲医療センター」を、２０年には「生活習慣病センター」を立ち上げましたが、これらセンターはお陰様で順調に稼働しております。

地域におけるがん診療活動が認定されて、当院は昨年４月に「大阪府がん診療拠点病院」の指定を受けました。ただ、５大がんの一つである肺がん診療がここ最近出来なかったことが当院の悩みであり、地域の皆様にご迷惑をおかけしていましたが、この８月に呼吸器内科専門医を迎えて肺がん診療を再開致します。これに伴って、日生病院におけるがん診療のさらなる充実が期待されています。

当院が果たすべき分野の予防医学につきましても、お陰様で「ニッセイ予防医学センター」が順調に稼働しています。

学術活動につきましてもご報告致します。毎年９月に開催されます欧州 IVR 学会には全世界から１２００題の演題応募がありますが、そのなかで、当院放射線科が発表した演題がこの二年続けて、最優秀演題賞、優秀演題賞に輝きました。これは学会史上初めてのことで、日生病院にとってまことに誇らしく、勇気付けられるものでありました。

日生病院はこれからも地域の皆様ならびに地区医師会の先生方のお役に立つ病院を目指して、職員一同、一層努力してまいります。

平成２１年の当院活動状況を記したこの年報にお目通し頂きますとともに、今後とも日生病院に対してご指導とご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

# 目　次

∞　平成21年日生病院年報の発刊にあたって　　院長　寺川　直樹

## ∞　第1章　軌　跡

1.日生病院の概要 ・ 理念 ・ 基本方針 ・・・・・P1
2.患者様の権利 ・ 学会認定 ・・・・・P2
3.日本生命済生会組織図 ・・・・・P3

## ∞　第2章　病院統計

1.1日平均外来患者数 …… 4
2.1日平均入院患者数 …… 5
3.救急患者数 …… 6
4.病床稼働率 …… 7
5.産科関係件数 …… 8
6.手術件数 …… 8
7.薬剤関係件数 …… 9
8.リハビリテーション関係件数 ……10
9.レントゲン・RI・CT関係件数 ……10
10.中央臨床検査部検査件数 ……11
11.生理検査関係件数 ……12
　A. 脳波検査 ……12
　B. 超音波検査 ……12
　C. 生理検査 ……12
　D. 内視鏡検査 ……12
　E. 眼科(屈折・眼圧)検査 ……13
　F. 眼科(網膜・神経)検査 ……13
　G. 耳鼻科(平衡・聴力)検査関係 ……13
12.医療生活相談室・取扱件数 ……14
13.各科別医療収入 ……16
14.医療行為別医療収入 ……18
15.病院従業員数 ……20
16.退院患者統計 ……21
　1)退院患者医療評価指標 ……21
　2)診療科別・月別・退院患者数 ……23
　3)診療科別・月別・死亡剖検数 ……24
　4)疾病統計 ……25
　5)手術統計 ……26
　6)紹介入院患者　疾患トップ20 ……34

# 目　次

## ∞　第３章　診療業務

◆循環器・神経内科 ……37
◆消化器内科　……38
◆総合内科　……39
◆血液・化学療法内科　……40
◆神経科・精神科　……41
◆小児科　……42
◆消化器・一般外科　……43
◆乳腺外科　……44
◆整形外科　……45
◆皮膚科　……46
◆泌尿器科　……47
◆産婦人科　……48
◆眼　科　……49
◆耳鼻咽喉科　……50
◆放射線科　……51
◆麻酔科　……52
◆病理診断科　……53
◆がん治療センター　……54
◆低侵襲医療センター　……55
◆生活習慣病センター　……56
◆ニッセイ予防医学センター ……57

## ∞　第４章　部別概要

◆中央臨床検査部　……58
◆看護部　……59
◆薬剤部　……60
◆治験管理室　……61
◆リハビリテーション室 ……62
◆栄養管理室　……63
◆医療生活相談室　……64
◆地域医療連携室　……65
◆業績　……66

## ∞　第５章　諸 活 動

◆診療科別教育　……82
◆全体教育　……83
◆地域活動　……94
◆ボランティア……95
◆院内行事　……96

# ～日生病院の概要～

財団法人日本生命済生会は、大正１３年に「済生利民」を基本理念として創設されました。日生病院は、財団法人日本生命済生会の付属病院として、昭和６年６月に開院されました。現在１７診療科を有し、大阪市西部の地域基幹病院・研修指定病院として、急性期医療の充実と患者サービスの向上ならびに医療人の育成に努めております。平成１３年に日本医療機能評価機構より病院機能評価の認定を取得し、１８年には審査体制区分３（Ver5.0）での更新認定を受けました。また、平成１４年には開放型病院の認定を受け、地域医療機関との連携を進めるとともに、厚生労働省指定の臨床研修病院になっております。

日本生命済生会は、病院事業に加えて、総合健診クリニック予防医学センター（人間ドック、定期健康診断）、日生訪問看護ステーション、日生ケアプランセンターを通じて地域の皆様方等への健康増進に幅広く貢献しております。なお、総合健診クリニック予防医学センターは、平成１７年に日本病院会 日本人間ドック学会の優良施設「人間ドック・健診施設機能評価」の認定を取得、平成２２年には機能評価 Ver.2 での更新認定を受けました。また平成 20 年 4 月より日生看護専門学校跡に新装移転しました。

当院の診療機能の充実に向けた取り組みとして、平成１９年には、患者様にやさしい治療であるカテーテル治療や内視鏡手術の推進を目的に、低侵襲医療センターを開設し、排尿障害の電話相談などにも対応しています。

また、近年のがん患者の増加を踏まえ、各科医師によるチーム医療を提供し、緩和医療にも取り組むため、がん治療センターを立ち上げました。平成２０年１０月には乳腺外科の新設を行い、大阪市乳がん検診（マンモグラフィー）取扱い機関に認定されました。緩和ケアチームの充実にも力を注いでいます。平成２１年４月１日には、大阪府が定めた「大阪府がん診療拠点病院」に指定されました。

生活習慣病に関しては、平成２０年７月に生活習慣病センターを設置、生活習慣を変えることによる疾患の改善に取り組んでいます。この取組では、診療科をこえて、あるいは多くのコ・メディカルの参加により、チーム医療を充実させてきております。

今後とも診療機能の充実を図ってまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 日生病院理念と基本方針

理念

日生病院は、（財）日本生命済生会の基本理念である「済生利民」の精神にもとづき、質の高い医療サービスの提供を目指します。

基本方針

１．患者様の立場に立った最良の医療サービスを提供します。

２．常に安全な医療とまごころの看護を実践します。

３．人権の尊重、プライバシーの保護、並びに法令等の遵守に努めます。

４．日々研鑽に努め、より信頼される医療人を目指します。

５．社会に学び、地域医療に貢献します。

# ～患者様の権利について～

医療は患者様と医療関係者とが相互の信頼関係に基づき、協力し合ってつくり上げていくものです。日生病院では、患者様中心の医療サービスの実践を常に心がけ、以下の患者様の権利を大切にいたします。

1. 患者様は、良質な医療を平等に受けることができます。

2. 患者様は、自分が受ける治療や検査に関して、効果や危険性、他の治療方法の有無などにつき、わかりやすく説明を受けることができます。

3. 患者様は、十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方針など自らの意思で選択することができます。また希望しない医療を拒むことや自分で医療機関を選択し、転院することもできます。

4. 患者様は、自分が受けている医療について知ることができます。

5. 患者様は、個人として常にその人格を尊重され、また個人情報も自分の承諾なくして第三者に開示されることはありません。

なお、患者様におかれましても、病院の規則を守り、職員や他の人々に迷惑をかけない責務や自分自身の健康に関する情報を正確に提供する責務がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

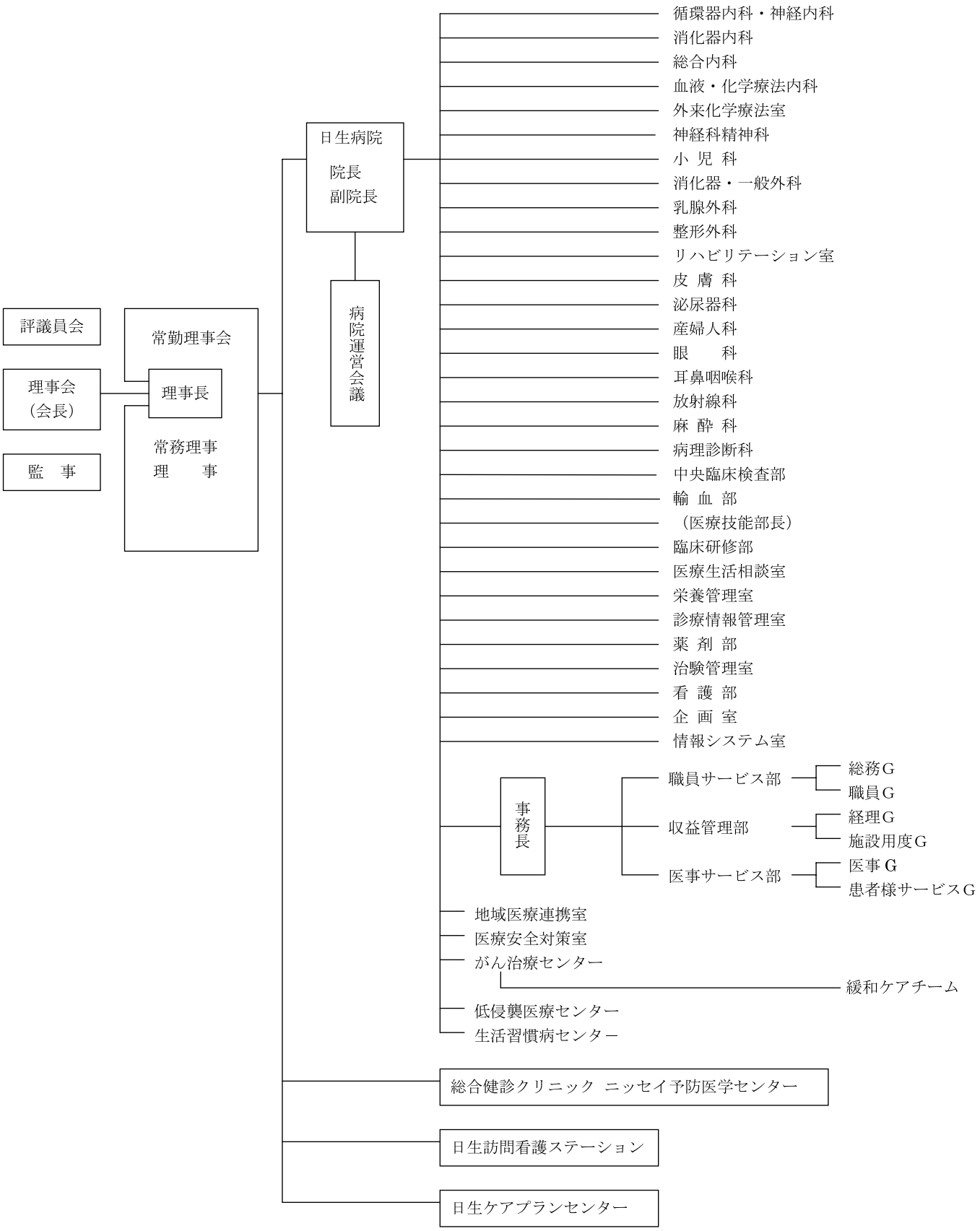
# ～学会認定～

- ●日本内科学会
- ●日本外科学会
- ●日本プライマリ・ケア学会
- ●日本整形外科学会
- ●日本泌尿器科学会
- ●日本医学放射線学会
- ●日本血液学会
- ●日本耳鼻咽喉科学会
- ●日本ペインクリニック学会
- ●日本超音波医学会
- ●日本アレルギー学会
- ●日本リウマチ学会
- ●日本循環器学会
- ●日本産婦人科学会
- ●日本臨床細胞学会
- ●日本皮膚科学会
- ●日本麻酔科学会
- ●日本緩和医療学会
- ●日本眼科学会
- ●日本小児科学会
- ●日本内分泌学会
- ●日本病理学会
- ●日本臨床腫瘍学会
- ●日本乳癌学会
- ●日本消化器外科学会
- ●日本糖尿病学会
- ●日本消化器病学会
- ●日本 IVR 学会
- ●日本心血管インターベンション学会
- ●日本神経学会
- ●日本がん治療認定医機構認定研修施設

（平成 21 年 12 月 31 日現在）

# 財団法人 日本生命済生会組織図

（平成 21 年 12 月末日現在）



# 第２章　病院統計

## 1 一日平均外来患者数

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内　科<br>（計） | 308人<br>(289) | 286人<br>(278) | 286人<br>(279) | 289人<br>(275) | 317人<br>(279) | 275人<br>(267) | 285人<br>(273) | 280人<br>(269) | 312人<br>(284) | 299人<br>(290) | 305人<br>(303) | 298人<br>(304) | 295人<br>(283) |
| 循環器内科<br>神経内科 | 106<br>(102) | 96<br>(96) | 99<br>(96) | 101<br>(96) | 112<br>(99) | 93<br>(93) | 92<br>(92) | 92<br>(91) | 101<br>(94) | 99<br>(96) | 98<br>(104) | 95<br>(103) | 99<br>(97) |
| 消化器内科 | 63<br>(61) | 67<br>(64) | 62<br>(63) | 59<br>(62) | 63<br>(61) | 53<br>(60) | 59<br>(56) | 58<br>(60) | 63<br>(63) | 60<br>(64) | 61<br>(64) | 57<br>(66) | 60<br>(62) |
| 総合内科 | 115<br>(103) | 104<br>(94) | 104<br>(99) | 105<br>(95) | 114<br>(96) | 104<br>(95) | 106<br>(102) | 103<br>(95) | 117<br>(106) | 111<br>(105) | 117<br>(109) | 117<br>(112) | 110<br>(101) |
| 血液内科 | 24<br>(23) | 19<br>(24) | 21<br>(21) | 24<br>(22) | 28<br>(23) | 25<br>(19) | 28<br>(23) | 27<br>(23) | 31<br>(21) | 29<br>(25) | 29<br>(26) | 29<br>(23) | 26<br>(23) |
| 神経科・精神科 | 64<br>(62) | 61<br>(57) | 60<br>(60) | 62<br>(57) | 62<br>(56) | 56<br>(56) | 59<br>(59) | 58<br>(58) | 63<br>(55) | 59<br>(62) | 58<br>(61) | 65<br>(64) | 61<br>(59) |
| 小児科 | 49<br>(45) | 49<br>(43) | 52<br>(49) | 50<br>(42) | 49<br>(39) | 42<br>(42) | 41<br>(39) | 46<br>(38) | 44<br>(36) | 47<br>(42) | 60<br>(51) | 63<br>(61) | 49<br>(44) |
| 外　科<br>（計） | 46<br>(41) | 44<br>(43) | 46<br>(46) | 45<br>(39) | 46<br>(43) | 44<br>(43) | 43<br>(38) | 39<br>(36) | 48<br>(42) | 45<br>(45) | 42<br>(47) | 42<br>(56) | 44<br>(43) |
| 消化器・一般外科 | 32 | 30 | 31 | 32 | 32 | 30 | 30 | 27 | 32 | 29<br>(36) | 29<br>(32) | 27<br>(44) | 30<br>(37) |
| 乳腺外科 | 14 | 14 | 15 | 13 | 14 | 14 | 13 | 12 | 16 | 16<br>(9) | 13<br>(15) | 15<br>(12) | 14<br>(12) |
| 整形外科 | 74<br>(72) | 74<br>(65) | 74<br>(75) | 71<br>(61) | 74<br>(77) | 68<br>(74) | 70<br>(73) | 67<br>(71) | 74<br>(76) | 76<br>(73) | 70<br>(70) | 70<br>(69) | 72<br>(71) |
| 皮膚科 | 116<br>(119) | 113<br>(114) | 113<br>(117) | 114<br>(112) | 121<br>(117) | 105<br>(112) | 111<br>(123) | 106<br>(106) | 107<br>(116) | 106<br>(115) | 104<br>(121) | 104<br>(115) | 110<br>(116) |
| 泌尿器科 | 53<br>(52) | 49<br>(50) | 53<br>(47) | 51<br>(46) | 53<br>(49) | 49<br>(45) | 48<br>(48) | 47<br>(45) | 49<br>(52) | 49<br>(50) | 50<br>(54) | 52<br>(51) | 50<br>(49) |
| 産婦人科 | 82<br>(76) | 76<br>(71) | 73<br>(71) | 73<br>(80) | 74<br>(75) | 76<br>(74) | 78<br>(77) | 70<br>(71) | 80<br>(73) | 74<br>(75) | 83<br>(80) | 73<br>(77) | 76<br>(75) |
| 眼　科 | 56<br>(57) | 57<br>(55) | 57<br>(56) | 55<br>(58) | 60<br>(57) | 55<br>(58) | 56<br>(54) | 62<br>(55) | 64<br>(55) | 55<br>(57) | 59<br>(57) | 58<br>(60) | 58<br>(57) |
| 耳鼻咽喉科 | 79<br>(75) | 82<br>(71) | 90<br>(82) | 84<br>(73) | 85<br>(76) | 68<br>(75) | 70<br>(70) | 70<br>(69) | 68<br>(78) | 72<br>(77) | 70<br>(74) | 70<br>(86) | 76<br>(76) |
| 放射線科 | 12<br>(6) | 13<br>(5) | 12<br>(5) | 11<br>(6) | 11<br>(7) | 14<br>(13) | 11<br>(18) | 12<br>(13) | 12<br>(9) | 17<br>(11) | 19<br>(10) | 14<br>(9) | 13<br>(9) |
| 麻酔科 | 24<br>(21) | 22<br>(20) | 24<br>(21) | 24<br>(22) | 24<br>(22) | 24<br>(22) | 23<br>(20) | 23<br>(21) | 25<br>(22) | 26<br>(25) | 26<br>(23) | 21<br>(24) | 24<br>(22) |
| 歯　科 | (25) | (20) | (15) | | | | | | | | | | 0<br>(5) |
| 健康管理科 | (9) | (10) | (8) | | | | | | | | | | 0<br>(2) |
| その他<br>ﾜｸﾁﾝ外来 | | | | | | | | | | | 50 | 18 | 34 |
| 合　計 | 963<br>(949) | 926<br>(902) | 940<br>(931) | 929<br>(871) | 976<br>(897) | 876<br>(881) | 895<br>(892) | 880<br>(852) | 946<br>(898) | 925<br>(922) | 996<br>(951) | 948<br>(976) | 933<br>(910) |

（注）1．数値は少数第1位四捨五入
　　2．（　）内は前年同月
　　3．乳腺外科−H20.10開設
　　4．歯科　H20.3廃止
　　5．健康管理科−H20.3末まで
　　6．新型ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞﾜｸﾁﾝ外来H21.11から

［医　事　G］

## 2 一日平均入院患者数

| | 1月 | | 2月 | | 3月 | | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 累計平均 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内　科（計） | 131人 (133) | 24人 | 137人 (128) | 18人 | 124人 (125) | 31人 | 130人 (122) | 23人 | 110人 (116) | 21人 | 124人 (121) | 27人 | 126人 (119) | 29人 | 129人 (115) | 16人 | 118人 (121) | 14人 | 118人 (131) | 25人 | 108人 (127) | 20人 | 110人 (121) | 23人 | 122人 (123) | 23人 |
| 循環器内科 神経内科 | 53 (49) | 8 | 52 (46) | 5 | 48 (45) | 6 | 49 (45) | 6 | 40 (42) | 3 | 49 (40) | 5 | 45 (40) | 6 | 40 (40) | 2 | 44 (40) | | 40 (50) | 1 | 37 (50) | 2 | 38 (45) | 3 | 45 (44) | 4 |
| 消化器内科 | 21 (25) | 1 | 23 (23) | | 19 (23) | | 16 (23) | 1 | 12 (17) | 3 | 16 (24) | 3 | 17 (17) | 2 | 17 (21) | 3 | 14 (21) | 1 | 15 (24) | 1 | 17 (23) | 1 | 16 (23) | 1 | 17 (22) | 1 |
| 総合内科 | 36 (34) | 15 | 41 (39) | 13 | 36 (34) | 22 | 41 (29) | 14 | 34 (32) | 12 | 33 (31) | 18 | 42 (40) | 19 | 44 (32) | 11 | 34 (32) | 13 | 34 (34) | 21 | 33 (35) | 15 | 33 (35) | 18 | 37 (34) | 16 |
| 血液内科 | 21 (25) | | 21 (20) | | 21 (23) | 3 | 24 (25) | 2 | 24 (25) | 3 | 26 (26) | 1 | 22 (22) | 2 | 28 (22) | | 26 (28) | | 29 (23) | 2 | 21 (19) | 2 | 23 (18) | 1 | 24 (23) | 1 |
| 神経科・精神科 | 14 (8) | 3 | 16 (9) | 4 | 15 (12) | 4 | 18 (12) | 1 | 15 (14) | 2 | 15 (14) | 1 | 14 (14) | 2 | 15 (13) | 5 | 15 (13) | 3 | 13 (11) | 2 | 15 (10) | | 16 (14) | | 15 (12) | 2 |
| 小児科 | 8 (8) | | 8 (6) | | 9 (8) | | 6 (8) | | 6 (7) | | 4 (5) | 1 | 6 (6) | | 3 (5) | | 3 (5) | | 4 (5) | | 4 (5) | | 6 (7) | | 6 (6) | 0 |
| 外　科（計） | 30 (32) | 3 | 28 (25) | 6 | 31 (23) | 7 | 26 (27) | 6 | 25 (23) | 4 | 36 (22) | 8 | 31 (22) | 3 | 28 (18) | 7 | 29 (20) | 5 | 26 (27) | 4 | 29 (25) | 4 | 25 (28) | 3 | 29 (24) | 5 |
| 消化器・一般外科 | 28 | | 25 | | 28 | | 24 | | 22 | | 31 | | 28 | | 26 | | 28 | | 25 | | 27 (24) | | 23 (26) | | 26 (25) | |
| 乳腺外科 | 2 | | 3 | | 3 | | 2 | | 3 | | 5 | | 3 | | 2 | | 1 | | 1 | | 2 (1) | | 2 (2) | | 2 (2) | |
| 整形外科 | 32 (32) | 2 | 26 (31) | 2 | 31 (24) | 1 | 37 (29) | 2 | 37 (28) | 1 | 33 (27) | 1 | 29 (28) | 1 | 25 (30) | 4 | 22 (28) | 7 | 24 (26) | 2 | 29 (30) | 3 | 30 (30) | 1 | 30 (29) | 2 |
| 皮膚科 | 12 (10) | 4 | 14 (8) | 6 | 12 (14) | 5 | 9 (11) | 2 | 11 (15) | 2 | 10 (15) | 5 | 15 (12) | 1 | 12 (16) | 4 | 12 (13) | 3 | 10 (12) | 1 | 8 (11) | 3 | 9 (11) | 2 | 11 (12) | 3 |
| 泌尿器科 | 13 (13) | 1 | 14 (11) | | 13 (9) | 2 | 17 (11) | 2 | 11 (13) | 2 | 13 (13) | 2 | 9 (12) | 1 | 11 (14) | 2 | 12 (15) | 3 | 18 (9) | 4 | 17 (11) | 4 | 12 (14) | 5 | 13 (12) | 2 |
| 産婦人科 | 31 (33) | 1 | 38 (41) | 1 | 39 (38) | | 37 (33) | 1 | 28 (36) | | 31 (38) | | 31 (38) | | 38 (39) | 1 | 33 (35) | 1 | 37 (34) | 2 | 36 (36) | 2 | 31 (38) | 3 | 34 (37) | 1 |
| 眼　科 | 7 (5) | | 10 (9) | | 7 (9) | | 10 (8) | | 7 (7) | | 9 (10) | | 10 (9) | | 8 (6) | | 7 (5) | | 9 (8) | | 7 (5) | | 6 (4) | | 8 (7) | 0 |
| 耳鼻咽喉科 | 4 (6) | 1 | 5 (7) | 2 | 8 (5) | 1 | 10 (8) | | 12 (4) | | 10 (10) | | 13 (8) | | 15 (6) | | 17 (3) | | 19 (4) | 1 | 15 (5) | 1 | 16 (6) | | 12 (6) | 1 |
| 放射線科 | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | | 0 (0) | 0 |
| 麻酔科 | 0 (0) | 4 | 0 (0) | 4 | 1 (0) | 4 | 1 (0) | 3 | 0 (0) | 3 | 0 (0) | 2 | 0 (0) | 2 | 0 (0) | | 0 (0) | | 1 (0) | 2 | 0 (0) | 2 | 0 (0) | 2 | 0 (0) | 2 |
| 歯　科 | (0) | | (0) | | (0) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 (0) | 0 |
| 健康管理科 | (0) | | (0) | | (0) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 0 (0) | 0 |
| 合　計 | 279 (280) | 43 | 296 (275) | 43 | 291 (267) | 55 | 299 (269) | 40 | 262 (263) | 35 | 286 (275) | 47 | 284 (268) | 39 | 285 (262) | 39 | 270 (258) | 36 | 280 (267) | 43 | 268 (265) | 39 | 261 (273) | 39 | 280 (267) | 42 |

（注）1. 明朝体数字は、共観数
2. （　）内は前年同月
3. 乳腺外科 － H20.10開設
4. 歯科－H20.3廃止
5. 健康管理科－H20.3末まで

［医　事　G］

## 3 救急患者数

| | 人数 | | | | | | | | | | | | 内、入院数 | | | | | | | | | | | | 累計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 | <入院> |
| 内科（計） | 253 | 162 | 143 | 138 | 186 | 154 | 143 | 183 | 204 | 178 | 449 | 538 | 92 | 63 | 66 | 64 | 71 | 71 | 60 | 77 | 90 | 58 | 73 | 88 | 2731 | <873> |
| 循環器内科 | 85 | 64 | 36 | 46 | 59 | 54 | 36 | 45 | 54 | 53 | 111 | 131 | 37 | 29 | 25 | 26 | 28 | 31 | 16 | 27 | 28 | 20 | 28 | 31 | 774 | <326> |
| 消化器内科 | 48 | 33 | 31 | 24 | 32 | 21 | 28 | 36 | 41 | 35 | 110 | 140 | 16 | 13 | 9 | 7 | 6 | 6 | 13 | 13 | 19 | 12 | 10 | 14 | 579 | <138> |
| 総合内科 | 101 | 56 | 62 | 50 | 70 | 63 | 59 | 78 | 85 | 63 | 189 | 220 | 32 | 16 | 23 | 20 | 25 | 28 | 25 | 28 | 35 | 18 | 29 | 32 | 1096 | <311> |
| 血液・化学療法内科 | 19 | 9 | 14 | 18 | 25 | 16 | 20 | 24 | 24 | 27 | 39 | 47 | 7 | 5 | 9 | 11 | 12 | 6 | 6 | 9 | 8 | 8 | 6 | 11 | 282 | <98> |
| 神経科・精神科 | 8 | 5 | 2 | 9 | 10 | 7 | 10 | 8 | 2 | 8 | 10 | 9 | 6 | 4 | 1 | 1 | 4 | 1 | 5 | 5 | 1 | 5 | 1 | 2 | 88 | <36> |
| 小児科 | 43 | 38 | 38 | 45 | 43 | 35 | 33 | 41 | 37 | 44 | 53 | 51 | 26 | 24 | 20 | 23 | 20 | 18 | 15 | 15 | 12 | 22 | 16 | 20 | 501 | <231> |
| 外科（計） | 34 | 22 | 26 | 22 | 42 | 36 | 36 | 27 | 44 | 31 | 32 | 40 | 22 | 8 | 11 | 12 | 20 | 19 | 20 | 12 | 25 | 14 | 12 | 13 | 392 | <188> |
| 消化器・一般外科 | 33 | 22 | 24 | 22 | 39 | 32 | 36 | 26 | 42 | 30 | 31 | 39 | 22 | 8 | 10 | 12 | 18 | 16 | 20 | 11 | 24 | 14 | 12 | 13 | 376 | <180> |
| 乳腺外科 | 1 | 0 | 2 | 0 | 3 | 4 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 16 | <8> |
| 整形外科 | 31 | 19 | 31 | 30 | 29 | 28 | 35 | 18 | 13 | 13 | 24 | 28 | 18 | 10 | 15 | 20 | 12 | 13 | 13 | 10 | 5 | 5 | 12 | 15 | 299 | <148> |
| 皮膚科 | 18 | 15 | 13 | 18 | 15 | 16 | 29 | 23 | 16 | 19 | 14 | 17 | 9 | 5 | 9 | 12 | 8 | 10 | 12 | 8 | 13 | 12 | 3 | 7 | 213 | <108> |
| 泌尿器科 | 10 | 12 | 9 | 14 | 9 | 10 | 14 | 6 | 8 | 15 | 9 | 23 | 7 | 8 | 6 | 6 | 5 | 6 | 7 | 4 | 7 | 9 | 5 | 6 | 139 | <76> |
| 産婦人科 | 62 | 50 | 69 | 50 | 56 | 54 | 53 | 51 | 49 | 36 | 53 | 111 | 34 | 30 | 43 | 26 | 29 | 28 | 27 | 21 | 28 | 15 | 18 | 22 | 694 | <321> |
| 眼科 | 0 | 8 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 17 | <6> |
| 耳鼻咽喉科 | 14 | 20 | 24 | 31 | 23 | 22 | 24 | 21 | 19 | 15 | 33 | 26 | 9 | 9 | 17 | 22 | 18 | 19 | 20 | 16 | 13 | 10 | 20 | 18 | 272 | <191> |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | <0> |
| 麻酔科 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | <1> |
| **合計** | **473** | **351** | **358** | **358** | **416** | **364** | **378** | **378** | **396** | **361** | **679** | **845** | **223** | **163** | **188** | **187** | **188** | **185** | **180** | **168** | **194** | **152** | **160** | **191** | **5357** | **<2,179>** |

［医事Ｇ、総務Ｇ］

## 4 病床稼働率

| | 定床 | 定床 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計平均 | 前年度累計平均 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3階 | 60床 | 1日平均患者数 | 46人 | 50人 | 47人 | 49人 | 42人 | 50人 | 45人 | 48人 | 48人 | 49人 | 48人 | 40人 | 47人 | 42人 |
| | | 稼働率 | 77.3% | 82.8% | 78.3% | 81.8% | 69.8% | 83.3% | 83.3% | 80.0% | 79.3% | 82.2% | 80.2% | 66.6% | 78.1% | 70.0% |
| 4階（西） | 60 | 1日平均患者数 | 51 | 48 | 48 | 54 | 48 | 51 | 51 | 48 | 46 | 45 | 45 | 45 | 48 | 47 |
| | | 稼働率 | 84.3 | 80.2 | 80.0 | 89.6 | 79.9 | 85.0 | 85.0 | 80.0 | 77.1 | 75.4 | 75.5 | 75.3 | 80.6 | 78.8 |
| 4階（東） | 51 | 1日平均患者数 | 41 | 45 | 44 | 47 | 42 | 41 | 42 | 43 | 39 | 43 | 40 | 36 | 42 | 38 |
| | | 稼働率 | 80.1 | 89.0 | 86.3 | 92.1 | 81.6 | 80.4 | 80.4 | 84.3 | 76.9 | 85.1 | 78.3 | 69.9 | 82.2 | 75.2 |
| 5階（西） | 44 | 1日平均患者数 | 37 | 41 | 39 | 39 | 37 | 37 | 38 | 39 | 37 | 38 | 34 | 37 | 38 | 38 |
| | | 稼働率 | 85.1 | 92.8 | 88.6 | 88.5 | 84.6 | 84.1 | 84.1 | 88.6 | 85.1 | 85.6 | 78.3 | 83.4 | 85.8 | 86.0 |
| 5階（東） | 49 | 1日平均患者数 | 40 | 40 | 42 | 43 | 37 | 42 | 42 | 42 | 40 | 41 | 38 | 39 | 41 | 38 |
| | | 稼働率 | 80.7 | 82.4 | 85.7 | 88.6 | 75.8 | 85.7 | 85..7 | 85.7 | 82.6 | 83.3 | 77.7 | 79.7 | 82.7 | 78.1 |
| 6階（西） | 42 | 1日平均患者数 | 37 | 39 | 38 | 38 | 32 | 38 | 38 | 37 | 35 | 36 | 36 | 37 | 37 | 35 |
| | | 稼働率 | 87.6 | 93.3 | 90.5 | 91.0 | 76.7 | 90.5 | 90.5 | 88.1 | 82.9 | 85.1 | 84.6 | 87.6 | 87.5 | 84.3 |
| 6階（東） | 27 | 1日平均患者数 | 19 | 25 | 24 | 23 | 18 | 22 | 22 | 24 | 21 | 24 | 23 | 21 | 22 | 22 |
| | | 稼働率 | 69.2 | 91.3 | 88.9 | 84.1 | 65.8 | 81.5 | 81.5 | 88.9 | 78.5 | 88.5 | 86.0 | 79.1 | 82.1 | 82.4 |
| 小計 | 333 | 1日平均患者数 | 271 | 288 | 282 | 293 | 256 | 281 | 278 | 281 | 266 | 276 | 264 | 255 | 274 | 261 |
| | | 稼働率 | 81.4 | 86.5 | 84.7 | 88.0 | 76.9 | 84.4 | 83.5 | 84.4 | 79.9 | 82.9 | 79.3 | 76.6 | 82.4 | 78.5 |
| 小児 | 10 | 1日平均患者数 | 5 | 6 | 5 | 5 | 4 | 3 | 4 | 2 | 2 | 4 | 2 | 4 | 4 | 3 |
| | | 稼働率 | 50.0 | 55.0 | 50.0 | 45.0 | 39.0 | 30.0 | 30.0 | 20.0 | 19.7 | 36.5 | 24.0 | 40.0 | 38.3 | 34.2 |
| 未熟児 | 7 | 1日平均患者数 | 3 | 2 | 4 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 2 | 3 |
| | | 稼働率 | 49.3 | 33.2 | 57.1 | 24.3 | 27.6 | 14.3 | 14.3 | 14.3 | 14.8 | 5.1 | 20.5 | 29.5 | 25.0 | 36.9 |
| 計 | 350 | 1日平均患者数 | 279 | 296 | 291 | 299 | 262 | 286 | 284 | 285 | 270 | 280 | 268 | 261 | 280 | 267 |
| | | 稼働率 | 79.7 | 84.6 | 83.1 | 85.4 | 74.9 | 81.7 | 81.1 | 81.4 | 77.1 | 80.0 | 76.6 | 74.6 | 80.0 | 76.4 |

## 5 産科関係件数

| 科　名 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 分娩 | 27 | 25 | 43 | 32 | 31 | 31 | 35 | 27 | 37 | 36 | 37 | 34 | 395 | 428 |
| 帝王切開 | 7 | 4 | 5 | 9 | 5 | 5 | 6 | 4 | 2 | 6 | 5 | 9 | 67 | 78 |
| 両親学級 | 87 | 134 | 101 | 100 | 24 | 50 | 47 | 43 | 38 | 64 | 38 | 23 | 749 | 556 |
| 両親学級後期Ⅰ | 38 | 66 | 45 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 149 | 295 |
| 両親学級後期Ⅱ | 49 | 68 | 56 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | 173 | 261 |
| ﾏﾀﾆﾃｨﾋﾞｸｽ | 61 | 49 | 63 | 60 | 22 | 49 | 50 | 45 | 62 | 48 | 21 | 30 | 560 | 580 |
| ｱﾌﾀｰﾋﾞｸｽ | 36 | 40 | 38 | 39 | 12 | 29 | 35 | 36 | 39 | 43 | 32 | 34 | 413 | 612 |
| ﾍﾞﾋﾞｰﾋﾞｸｽ | 74 | 70 | 62 | 67 | 24 | 68 | 84 | 68 | 74 | 82 | 63 | 74 | 810 | 735 |

・H21.4～両親学級Ⅰ・Ⅱ中止。

## 6 手術件数

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外科 | 35 (25) | 24 (22) | 39 (29) | 28 (17) | 30 (22) | 40 (34) | 31 (26) | 28 (23) | 36 (28) | 27 (23) | 22 (18) | 24 (19) | 364 (286) | 425 (263) |
| 乳腺外科 | 2 (1) | 6 (3) | 4 (4) | 3 (3) | 3 (2) | 4 (2) | 5 (4) | 3 (3) | 3 (0) | 4 (2) | 5 (4) | 5 (5) | 47 (33) | 9 (9) |
| 整形外科 | 20 (12) | 17 (7) | 22 (16) | 26 (14) | 15 (8) | 20 (10) | 20 (11) | 18 (9) | 16 (10) | 19 (11) | 21 (12) | 20 (12) | 234 (132) | 215 (123) |
| 婦人科 | 53 (36) | 62 (48) | 53 (40) | 66 (48) | 48 (33) | 55 (38) | 66 (46) | 71 (52) | 42 (37) | 80 (63) | 74 (56) | 62 (50) | 732 (547) | 690 (484) |
| 泌尿器科 | 23 (7) | 33 (7) | 26 (7) | 32 (4) | 21 (5) | 33 (7) | 20 (5) | 22 (7) | 33 (10) | 39 (11) | 33 (8) | 29 (4) | 344 (82) | 327 (83) |
| 耳鼻科 | 8 (5) | 6 (4) | 9 (8) | 9 (7) | 12 (9) | 23 (16) | 15 (13) | 23 (22) | 27 (22) | 28 (18) | 21 (16) | 24 (20) | 205 (160) | 92 (55) |
| 眼科 | 50 (1) | 57 (0) | 58 (0) | 64 (0) | 50 (0) | 64 (2) | 87 (1) | 57 (0) | 51 (0) | 73 (0) | 60 (0) | 50 (0) | 721 (4) | 601 (4) |
| 皮膚科 | 18 (0) | 18 (1) | 14 (0) | 16 (0) | 15 (0) | 16 (0) | 19 (0) | 15 (0) | 12 (0) | 15 (0) | 14 (0) | 11 (0) | 183 (1) | 187 (3) |
| 麻酔科他 | 1 (0) | 3 (0) | 10 (0) | 8 (0) | 3 (0) | 7 (0) | 4 (0) | 6 (0) | 3 (0) | 10 (0) | 6 (0) | 3 (0) | 64 (0) | 91 (0) |
| 合計 | 210 (87) | 226 (92) | 235 (104) | 252 (93) | 197 (79) | 262 (109) | 267 (106) | 243 (116) | 223 (107) | 295 (128) | 256 (114) | 228 (110) | 2894 (1,245) | 2637 (1,024) |

［中央手術材料部・麻酔科］

1.中央手術室以外での手術、麻酔は含まれない。

2.(　)内は全身麻酔。

## 7 薬剤関係件数

| 摘要 | | | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 処方箋 | 外来 | 枚数 | 枚数 | 1,919 | 1,787 | 1,914 | 1,849 | 1,828 | 1,990 | 2,203 | 1,987 | 1,983 | 1,916 | 1,744 | 1,876 | 22,996 | 21,667 |
| | | | 件数 | 2,448 | 2,189 | 2,246 | 2,196 | 2,212 | 2,345 | 2,539 | 2,328 | 2,423 | 2,288 | 2,134 | 2,263 | 27,611 | 31,142 |
| | | 1日当り | 枚数 | 101 | 94 | 87 | 77 | 102 | 90 | 105 | 90 | 99 | 96 | 87 | 94 | 94 | 74 |
| | | | 件数 | 129 | 115 | 102 | 92 | 123 | 107 | 121 | 106 | 121 | 114 | 107 | 113 | 112 | 106 |
| | 入院 | 総数 | 枚数 | 4,256 | 4,478 | 4,748 | 5,159 | 4,273 | 4,851 | 4,840 | 4,202 | 4,596 | 5,026 | 4,087 | 4,773 | 55,289 | 51,500 |
| | | | 件数 | 7,759 | 8,086 | 8,627 | 9,405 | 7,713 | 8,896 | 8,603 | 7,262 | 7,770 | 8,406 | 7,166 | 8,682 | 98,375 | 93,028 |
| | | 1日当り | 枚数 | 137 | 160 | 153 | 172 | 138 | 162 | 156 | 136 | 153 | 168 | 136 | 154 | 152 | 142 |
| | | | 件数 | 250 | 289 | 278 | 314 | 249 | 297 | 278 | 234 | 259 | 280 | 239 | 280 | 271 | 256 |
| 注射 | 入院 | 総数 | 枚数 | 7,067 | 6,097 | 6,411 | 7,296 | 6,412 | 6,942 | 7,439 | 6,579 | 6,625 | 7,403 | 6,186 | 6,910 | 81,367 | 73,659 |
| | | 1日当り | 枚数 | 228 | 218 | 207 | 243 | 207 | 231 | 240 | 212 | 221 | 247 | 206 | 223 | 224 | 202 |

| 摘要 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 薬剤管理指導業務算定 | 679 | 702 | 710 | 732 | 586 | 777 | 787 | 739 | 693 | 710 | 646 | 667 | 8,428 | 9,114 |
| 抗癌剤混合調剤件数（外来化学療法） | 188 | 186 | 224 | 242 | 229 | 274 | 259 | 247 | 272 | 229 | 202 | 215 | 2,767 | 1,724 |
| （入院化学療法） | 93 | 70 | 74 | 83 | 90 | 75 | 98 | 65 | 55 | 90 | 95 | 76 | 964 | 883 |
| TPN調製件数 | 167 | 156 | 220 | 265 | 268 | 165 | 251 | 235 | 161 | 194 | 247 | 269 | 2,598 | 2,093 |

| 摘要 | | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 麻薬処方箋 | 外来 | 内用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 9 | 5 | 15 | 4 |
| | | 外用 | 4 | 5 | 4 | 3 | 7 | 3 | 5 | 7 | 4 | 6 | 4 | 4 | 56 | 66 |
| | | 注射 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 10 | 0 |
| | 入院 | 内用 | 126 | 136 | 94 | 82 | 70 | 96 | 53 | 91 | 84 | 85 | 55 | 63 | 1,035 | 658 |
| | | 外用 | 49 | 70 | 84 | 107 | 149 | 149 | 79 | 77 | 41 | 32 | 41 | 25 | 903 | 629 |
| | | 注射 | 139 | 144 | 154 | 184 | 187 | 204 | 208 | 187 | 174 | 181 | 176 | 157 | 2,095 | 1,794 |

### 製剤室

| 摘要 | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 製剤 | 件数 | 399 | 370 | 354 | 555 | 421 | 543 | 655 | 452 | 332 | 383 | 395 | 640 | 5,499 | 4,023 |
| 無菌製剤 | 件数 | 154 | 265 | 247 | 224 | 116 | 192 | 128 | 162 | 224 | 225 | 191 | 238 | 2,366 | 2,028 |

［薬剤部］

## 8 リハビリテーション関係件数

| 摘要 | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 運動器ﾘﾊ | 外来 | 178 | 208 | 235 | 210 | 170 | 156 | 103 | 172 | 193 | 197 | 183 | 190 | 2195 | 2540 |
| | 入院 | 1382 | 1379 | 1428 | 1646 | 1247 | 1582 | 1311 | 1414 | 1161 | 1233 | 1159 | 1225 | 16167 | 14047 |
| 呼吸器ﾘﾊ | 外来 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 11 |
| | 入院 | 3 | 2 | 0 | 5 | 20 | 15 | 5 | 16 | 17 | 26 | 17 | 15 | 141 | 170 |
| 脳血管ﾘﾊ | 外来 | 11 | 28 | 30 | 47 | 18 | 31 | 20 | 18 | 13 | 14 | 30 | 36 | 296 | 207 |
| | 入院 | 65 | 119 | 136 | 81 | 62 | 85 | 69 | 181 | 128 | 151 | 239 | 261 | 1577 | 745 |
| 退院指導 | 入院 | 37 | 45 | 48 | 41 | 44 | 35 | 48 | 36 | 51 | 37 | 42 | 45 | 509 | 406 |
| その他 | 外来 | 1 | 1 | 6 | 23 | 9 | 5 | 9 | 7 | 5 | 2 | 12 | 4 | 84 | 73 |
| | 入院 | 14 | 13 | 6 | 29 | 17 | 31 | 48 | 29 | 26 | 13 | 19 | 13 | 258 | 101 |
| 小計 | 外来 | 190 | 239 | 271 | 280 | 197 | 193 | 133 | 197 | 211 | 213 | 225 | 230 | 2579 | 2831 |
| | 入院 | 1501 | 1558 | 1618 | 1802 | 1390 | 1748 | 1481 | 1676 | 1383 | 1460 | 1476 | 1559 | 18652 | 15469 |
| 総合計 | | 1691 | 1797 | 1889 | 2082 | 1587 | 1941 | 1614 | 1873 | 1594 | 1673 | 1701 | 1789 | 21231 | 18300 |

［ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ室］

## 9 レントゲン・RI ・CT 関係件数

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7 月 | 8 月 | 9月 | 10 月 | 11 月 | 12月 | 累計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 単　純 | 2,805 | 2,535 | 2,841 | 2,856 | 2,553 | 2,929 | 2,737 | 2,557 | 2,454 | 2,682 | 2,240 | 2,366 | 31,555 | 30,901 |
| 造影剤使用 | 131 | 112 | 136 | 140 | 82 | 143 | 148 | 111 | 109 | 142 | 111 | 132 | 1,497 | 2,065 |
| Ｃ　Ｔ | 762 | 701 | 729 | 752 | 696 | 803 | 789 | 723 | 728 | 766 | 671 | 683 | 8,803 | 8,388 |
| 核医学 IN vivo | 52 | 53 | 67 | 53 | 46 | 49 | 52 | 39 | 54 | 40 | 51 | 43 | 599 | 613 |
| ＭＲＩ | 373 | 372 | 421 | 430 | 331 | 434 | 397 | 383 | 372 | 409 | 351 | 384 | 4,657 | 4,473 |
| 治　療 | 155 | 146 | 133 | 107 | 120 | 179 | 114 | 163 | 148 | 237 | 298 | 202 | 2,002 | 1,155 |
| 合　計 | 4,278 | 3,919 | 4,327 | 4,338 | 3,828 | 4,537 | 4,237 | 3,976 | 3,865 | 4,276 | 3,722 | 3,810 | 49,113 | 47,595 |

［放射線科］

## 10 中央臨床検査部検査件数

| 検査室名 | 検査項目 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7 月 | 8 月 | 9月 | 10 月 | 11 月 | 12月 | 累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外来検査室 | 尿 | 14,026件 | 12,511件 | 13,979件 | 14,157件 | 13,813件 | 15,563件 | 16,133件 | 15,460件 | 14,856件 | 15,375件 | 13,963件 | 14,190件 | 174,026件 |
| | 糞便 | 741 | 742 | 741 | 908 | 956 | 1,155 | 1,283 | 1,083 | 984 | 968 | 854 | 828 | 11,243 |
| | 計 | 14,767 | 13,253 | 14,720 | 15,065 | 14,769 | 16,718 | 17,416 | 16,543 | 15,840 | 16,343 | 14,817 | 15,018 | 185,269 |
| | | (12,617) | (12,983) | (12,921) | (11,561) | (11,868) | (11,875) | (12,046) | (11,921) | (12,436) | (15,082) | (12,841) | (13,586) | (151,737) |
| 化学検査室 | 化学・血清 | 123,335 | 111,810 | 123,282 | 126,819 | 120,458 | 132,705 | 136,683 | 127,027 | 126,550 | 130,151 | 126,071 | 124,373 | 1,509,264 |
| | 輸血 | 146 | 186 | 145 | 163 | 132 | 194 | 172 | 132 | 133 | 254 | 214 | 370 | 2,241 |
| | 尿化学 | 600 | 572 | 710 | 593 | 721 | 863 | 914 | 806 | 702 | 702 | 662 | 666 | 8,511 |
| | ﾘｺｰﾙ髄液 | 90 | 71 | 97 | 97 | 106 | 98 | 94 | 82 | 82 | 113 | 104 | 134 | 1,168 |
| | 止血他 | 1,975 | 1,466 | 1,751 | 1,727 | 1,756 | 2,033 | 1,934 | 2,138 | 2,026 | 2,312 | 2,041 | 2,193 | 23,352 |
| | 計 | 126,146 | 114,105 | 125,985 | 129,399 | 123,173 | 135,893 | 139,797 | 130,185 | 129,493 | 133,532 | 129,092 | 127,736 | 1,544,536 |
| | | (115,238) | (110,180) | (114,187) | (111,459) | (112,799) | (111,058) | (116,737) | (111,171) | (112,495) | (127,757) | (115,960) | (119,593) | (1,378,634) |
| 細菌検査室 | 一般細菌 | 4,950 | 4,819 | 5,109 | 5,738 | 4,952 | 5,107 | 6,841 | 5,521 | 4,700 | 5,332 | 4,502 | 5,240 | 62,811 |
| | 抗酸菌 | 176 | 168 | 117 | 143 | 151 | 168 | 193 | 201 | 90 | 115 | 142 | 137 | 1,801 |
| | 計 | 5,126 | 4,987 | 5,226 | 5,881 | 5,103 | 5,275 | 7,034 | 5,722 | 4,790 | 5,447 | 4,644 | 5,377 | 64,612 |
| | | (5,044) | (4,867) | (4,473) | (5,175) | (5,133) | (5,066) | (6,220) | (5,188) | (5,557) | (5,010) | (4,156) | (5,808) | (61,697) |
| 病理検査室 | 病理組織染色 | 478 | 549 | 605 | 526 | 521 | 640 | 680 | 621 | 687 | 707 | 695 | 490 | 7,199 |
| | 細胞診 | 814 | 749 | 823 | 947 | 867 | 1,047 | 1,034 | 839 | 748 | 868 | 726 | 584 | 10,046 |
| | 計 | 1,292 | 1,298 | 1,428 | 1,473 | 1,388 | 1,687 | 1,714 | 1,460 | 1,435 | 1,575 | 1,421 | 1,074 | 17,245 |
| | | (1,138) | (1,160) | (1,205) | (1,361) | (1,352) | (1,377) | (1,600) | (1,284) | (1,263) | (1,514) | (1,288) | (1,364) | (15,906) |
| 血液検査室 | 血色素量他 | 37,410 | 34,205 | 37,436 | 38,164 | 35,841 | 40,145 | 40,988 | 38,179 | 37,598 | 39,382 | 39,297 | 37,779 | 456,424 |
| | 特殊検査 | 9 | 0 | 9 | 12 | 11 | 9 | 12 | 21 | 7 | 20 | 28 | 40 | 178 |
| | 計 | 37,419 | 34,205 | 37,445 | 38,176 | 35,852 | 40,154 | 41,000 | 38,200 | 37,605 | 39,402 | 39,325 | 37,819 | 456,602 |
| | | (33,862) | (32,549) | (33,651) | (33,987) | (34,314) | (34,482) | (37,031) | (34,667) | (34,788) | (37,844) | (35,510) | (36,239) | (418,924) |
| 合 計 | | 184,750 | 167,848 | 184,804 | 189,994 | 180,285 | 199,727 | 206,961 | 192,110 | 189,163 | 196,299 | 189,299 | 187,024 | 2,268,264 |
| | | (167,899) | (161,739) | (166,437) | (163,543) | (165,466) | (163,858) | (173,634) | (164,231) | (166,539) | (187,207) | (169,755) | (176,590) | (2,026,898) |
| 剖 検 | | 5(2) | 2(0) | 0(4) | 1(0) | 0(1) | 0(0) | 0(0) | 2(1) | 1(1) | 1(1) | 0(0) | 0(2) | 12(12) |

(　)内前年同月

［中央臨床検査部］

## 11 生理検査関係件数

### A.脳波関係

| 検査項目 | 1月 | 2月 | 3月 | 4 月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累 計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 脳　波 | 22件 | 21件 | 15件 | 19件 | 10件 | 27件 | 17件 | 21件 | 18件 | 20件 | 20件 | 11件 | 221件 | 223件 |
| 筋電図他 | 13 | 9 | 8 | 6 | 10 | 7 | 12 | 11 | 11 | 17 | 4 | 10 | 118 | 141 |
| 計 | 35 | 30 | 23 | 25 | 20 | 34 | 29 | 32 | 29 | 37 | 24 | 21 | 339 | 364件 |

［神経科・精神科・脳波室］

### B.超音波検査室

| 検査項目 | 1月 | 2月 | 3月 | 4 月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累 計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 甲状腺 | 71件 | 79件 | 94件 | 60件 | 67件 | 72件 | 59件 | 56件 | 53件 | 61件 | 46件 | 50件 | 768件 | 703件 |
| 乳　腺 | 17 | 20 | 19 | 18 | 23 | 22 | 17 | 24 | 16 | 12 | 15 | 16 | 219 | 886 |
| 腹　部 | 203 | 213 | 280 | 266 | 249 | 262 | 282 | 290 | 277 | 272 | 247 | 273 | 3,114 | 3,036 |
| その他 | 2 | 3 | 2 | 3 | 5 | 2 | 1 | 5 | 1 | 3 | 3 | 10 | 40 | 174 |
| 計 | 293 | 315 | 395 | 347 | 344 | 358 | 359 | 375 | 347 | 348 | 311 | 349 | 4,141 | 4,799 |

［超音波検査室］

### C.生理検査室

| 検査項目 | 1月 | 2月 | 3月 | 4 月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累 計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 心　電　図 | 855件 | 773件 | 881件 | 890件 | 772件 | 896件 | 827件 | 827件 | 843件 | 847件 | 724件 | 774件 | 9,909件 | 9,956件 |
| トレッドミル | 34 | 34 | 36 | 43 | 38 | 46 | 40 | 36 | 35 | 42 | 43 | 36 | 463 | 427 |
| 負荷心筋ｼﾝﾁ | 3 | 5 | 1 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | 2 | 4 | 2 | 1 | 36 | 28 |
| 持続心電図 | 27 | 27 | 31 | 30 | 31 | 26 | 28 | 26 | 24 | 28 | 25 | 19 | 322 | 313 |
| 心エコー | 142 | 159 | 205 | 202 | 159 | 218 | 234 | 204 | 179 | 218 | 168 | 179 | 2,267 | 1,694 |
| 末梢血管エコー | 73 | 70 | 87 | 89 | 66 | 88 | 105 | 99 | 91 | 86 | 68 | 99 | 1,021 | 801 |
| 肺　機　能 | 154 | 105 | 158 | 129 | 109 | 136 | 157 | 160 | 164 | 162 | 138 | 123 | 1,695 | 1,337 |
| サーモグラフィー | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| Ａ Ｂ Ｉ | 77 | 78 | 73 | 60 | 64 | 69 | 58 | 63 | 54 | 53 | 42 | 51 | 742 | 681 |
| その他循環器系検査 | 9 | 11 | 12 | 11 | 7 | 12 | 6 | 10 | 5 | 9 | 8 | 3 | 103 | 133 |
| 計 | 1,374 | 1,262 | 1,484 | 1,457 | 1,250 | 1,495 | 1,459 | 1,428 | 1,397 | 1,449 | 1,218 | 1,285 | 16,558 | 15,373 |

［循環器生理検査室］

### D.内視鏡関係

| 検査項目 | 1月 | 2月 | 3月 | 4 月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累 計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 胃・十二指腸・食道ﾌｧｲﾊﾞｰｽｺｰﾌﾟ | 167件 | 197件 | 192件 | 169件 | 165件 | 163件 | 178件 | 160件 | 177件 | 156件 | 162件 | 163件 | 2,049件 | 2,428件 |
| 胃ﾎﾟﾘﾍﾟｸﾄﾐ | 5 | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 | 0 | 3 | 2 | 1 | 2 | 0 | 23 | 31 |
| 大腸ﾌｧｲﾊﾞｰｽｺｰﾌﾟ（大腸ﾎﾟﾘﾍﾟｸﾄﾐ） | 66 (15) | 85 (22) | 85 (23) | 76 (22) | 60 (19) | 70 (18) | 85 (19) | 89 (19) | 79 (16) | 77 (23) | 66 (18) | 48 (12) | 886 (226) | 1,033 (272) |
| ERCP、その他 | 10 | 6 | 5 | 4 | 1 | 8 | 8 | 12 | 3 | 11 | 10 | 7 | 85 | 89 |
| 食道静脈瘤結紮 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 14 | 8 |
| 計 | 250 | 290 | 285 | 253 | 228 | 243 | 272 | 265 | 262 | 247 | 242 | 220 | 3,057 | 3,589 |

［内視鏡室］

## E.眼科（屈折、眼圧）検査関係

| 検査項目 | 1月 | 2月 | 3月 | 4 月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累 計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 屈 折 検 査 | 655件 | 677件 | 734件 | 716件 | 637件 | 703件 | 696件 | 816件 | 613件 | 584件 | 512件 | 518件 | 7,861件 | 7,233件 |
| 矯 正 検 査 | 931 | 938 | 1,038 | 1,038 | 932 | 1,059 | 1,081 | 1,127 | 1,058 | 1,029 | 980 | 1,042 | 12,253 | 10,686 |
| 調 節 検 査 | 11 | 9 | 9 | 11 | 4 | 3 | 6 | 13 | 12 | 10 | 6 | 10 | 104 | 149 |
| 調節負荷検査 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 5 | 3 |
| 角膜曲率半径計測 | 179 | 368 | 339 | 360 | 313 | 363 | 380 | 345 | 180 | 174 | 90 | 107 | 3,198 | 416 |
| 超音波眼軸長測定 （Aーモード） | 25 | 33 | 29 | 24 | 39 | 41 | 27 | 47 | 32 | 37 | 28 | 28 | 390 | 304 |
| 精密眼圧測定 | 990 | 1,024 | 1,077 | 1,109 | 1,010 | 1,148 | 1,160 | 1,189 | 1,111 | 1,125 | 1,057 | 1,080 | 13,080 | 11,711 |
| 精密眼圧負荷測定 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 2 | 12 | 14 |
| 計 | 2,793 | 3,051 | 3,227 | 3,259 | 2,937 | 3,318 | 3,350 | 3,537 | 3,007 | 2,960 | 2,677 | 2,787 | 36,903 | 30,516 |

［眼科］

## F.眼科（網膜、神経）検査関係

| 検査項目 | 1月 | 2月 | 3月 | 4 月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累 計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 眼底カメラ撮影 | 63件 | 70件 | 92件 | 75件 | 55件 | 71件 | 79件 | 95件 | 89件 | 78件 | 66件 | 75件 | 908件 | 546件 |
| 蛍光眼底カメラ撮影 | 4 | 6 | 8 | 4 | 8 | 8 | 4 | 14 | 9 | 5 | 9 | 0 | 79 | 103 |
| 前眼部・細隙灯カメラ | 32 | 33 | 40 | 36 | 44 | 57 | 40 | 35 | 38 | 46 | 35 | 34 | 470 | 389 |
| 角膜内細胞撮影 | 40 | 55 | 61 | 51 | 62 | 81 | 58 | 69 | 49 | 64 | 44 | 57 | 691 | 540 |
| 網膜電位図（ERG） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 精密視野検査（両側） | 27 | 31 | 34 | 39 | 41 | 51 | 57 | 52 | 45 | 40 | 42 | 40 | 499 | 249 |
| 動的量的視野検査 | 22 | 15 | 10 | 22 | 21 | 18 | 18 | 18 | 15 | 20 | 14 | 21 | 214 | 163 |
| 静的量的視野検査 | 36 | 53 | 38 | 41 | 39 | 53 | 54 | 72 | 47 | 54 | 62 | 48 | 597 | 502 |
| 複像検査 | 7 | 3 | 8 | 16 | 14 | 13 | 13 | 11 | 14 | 15 | 13 | 9 | 136 | 82 |
| 網膜光凝固術（その他） | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 | 4 | 4 | 4 | 1 | 1 | 3 | 27 | 19 |
| 計 | 232 | 267 | 293 | 285 | 287 | 354 | 327 | 370 | 310 | 323 | 286 | 287 | 3,621 | 2,596 |

［眼科］

## G.耳鼻科（平衡、聴力）検査関係

| 検査項目 | 1月 | 2月 | 3月 | 4 月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累 計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平衡機能検査 | 122件 | 133件 | 130件 | 86件 | 94件 | 149件 | 197件 | 227件 | 117件 | 144件 | 139件 | 103件 | 1,641件 | 1,351件 |
| 聴力機能検査 | 181 | 166 | 190 | 235 | 200 | 234 | 256 | 207 | 180 | 223 | 182 | 156 | 2,410 | 2,324 |
| その他 | 5 | 7 | 1 | 5 | 1 | 5 | 10 | 0 | 7 | 3 | 0 | 4 | 48 | 33 |
| 計 | 308 | 306 | 321 | 326 | 295 | 388 | 463 | 434 | 304 | 370 | 321 | 263 | 4,099 | 3,708 |

［耳鼻咽喉科］

## 12 医療生活相談室・取扱件数

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 | 前年累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 循環器内科・神経内科 | 117 | 134 | 94 | 84 | 57 | 73 | 82 | 97 | 110 | 75 | 62 | 100 | 1085 | 1145 |
| 消化器内科 | 14 | 17 | 37 | 18 | 25 | 36 | 37 | 58 | 36 | 41 | 71 | 41 | 431 | 485 |
| 血液内科 | 31 | 32 | 18 | 29 | 27 | 29 | 16 | 29 | 22 | 34 | 25 | 27 | 319 | 281 |
| 総合内科 | 71 | 113 | 74 | 75 | 57 | 104 | 123 | 125 | 113 | 94 | 82 | 95 | 1126 | 537 |
| 神経科・精神科 | 57 | 38 | 44 | 47 | 36 | 49 | 46 | 39 | 25 | 27 | 12 | 16 | 436 | 487 |
| 小児科 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 7 | 0 | 0 | 10 | 36 |
| 外科 | 19 | 23 | 39 | 28 | 21 | 27 | 20 | 25 | 14 | 19 | 23 | 13 | 271 | 301 |
| 整形外科 | 102 | 85 | 110 | 93 | 89 | 126 | 96 | 74 | 62 | 46 | 71 | 75 | 1029 | 907 |
| 皮膚科 | 10 | 14 | 13 | 2 | 5 | 20 | 26 | 3 | 3 | 8 | 5 | 7 | 116 | 139 |
| 泌尿器科 | 17 | 13 | 22 | 47 | 43 | 21 | 14 | 26 | 19 | 30 | 13 | 22 | 287 | 100 |
| 産婦人科 | 24 | 17 | 26 | 18 | 7 | 6 | 4 | 1 | 5 | 1 | 3 | 7 | 119 | 205 |
| 眼科 | 1 | 3 | 2 | 2 | 4 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 17 | 70 |
| 耳鼻咽喉科 | 8 | 6 | 10 | 5 | 3 | 12 | 7 | 3 | 11 | 17 | 17 | 13 | 112 | 73 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 麻酔科 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | 6 | 2 |
| その他 | 16 | 5 | 3 | 10 | 5 | 12 | 10 | 9 | 7 | 9 | 9 | 8 | 103 | 74 |
| 合計 | 489 | 500 | 492 | 458 | 380 | 515 | 482 | 493 | 431 | 412 | 393 | 424 | 5469 | 4844 |

### 新規ケース紹介経路

| | 1月 | | | 2月 | | | 3月 | | | 4月 | | | 5月 | | | 6月 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 外来 | 入院 | 他 | 外来 | 入院 | 他 | 外来 | 入院 | 他 | 外来 | 入院 | 他 | 外来 | 入院 | 他 | 外来 | 入院 | 他 |
| 本人 | 8 | 5 | 0 | 9 | 3 | 0 | 7 | 3 | 0 | 8 | 5 | 0 | 3 | 6 | 0 | 6 | 4 | 0 |
| 家族 | 7 | 4 | 1 | 2 | 6 | 1 | 7 | 9 | 1 | 2 | 3 | 0 | 2 | 3 | 1 | 4 | 3 | 1 |
| 医師 | 5 | 11 | 0 | 2 | 3 | 0 | 6 | 4 | 0 | 3 | 8 | 0 | 1 | 11 | 0 | 6 | 9 | 0 |
| 看護師 | 6 | 39 | 0 | 4 | 27 | 0 | 7 | 24 | 0 | 6 | 27 | 1 | 5 | 19 | 0 | 6 | 33 | 2 |
| その他院内職員 | 2 | 6 | 0 | 1 | 2 | 0 | 4 | 4 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 保健福祉関係機関 | 3 | 8 | 1 | 8 | 4 | 0 | 6 | 5 | 0 | 4 | 6 | 1 | 4 | 6 | 0 | 5 | 8 | 1 |
| 医療機関 | 1 | 1 | 0 | 2 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 3 | 1 | 0 |
| 福祉施設 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 介護保健施設・事業所 | 8 | 5 | 0 | 6 | 4 | 0 | 5 | 3 | 0 | 6 | 6 | 0 | 6 | 2 | 0 | 8 | 5 | 1 |
| その他 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 小計 | 40 | 80 | 2 | 35 | 52 | 1 | 44 | 53 | 1 | 36 | 58 | 2 | 24 | 50 | 3 | 39 | 64 | 5 |
| 総合計 | 122 | | | 88 | | | 98 | | | 96 | | | 77 | | | 108 | | |

| | 7月 | | | 8月 | | | 9月 | | | 10月 | | | 11月 | | | 12月 | | | 累計 | | | 前年累計 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 外来 | 入院 | 他 | 外来 | 入院 | 他 | 外来 | 入院 | 他 | 外来 | 入院 | 他 | 外来 | 入院 | 他 | 外来 | 入院 | 他 | 外来 | 入院 | 他 | 外来 | 入院 | 他 |
| 本人 | 6 | 8 | 0 | 3 | 4 | 1 | 8 | 7 | 0 | 2 | 5 | 0 | 5 | 4 | 1 | 6 | 2 | 1 | 71 | 56 | 3 | 100 | 48 | 5 |
| 家族 | 4 | 6 | 3 | 2 | 8 | 1 | 4 | 2 | 1 | 4 | 5 | 2 | 6 | 4 | 1 | 9 | 4 | 0 | 53 | 57 | 13 | 43 | 52 | 5 |
| 医師 | 7 | 7 | 0 | 0 | 9 | 1 | 2 | 6 | 0 | 1 | 9 | 0 | 1 | 9 | 0 | 3 | 7 | 0 | 37 | 93 | 1 | 42 | 85 | 1 |
| 看護師 | 4 | 29 | 0 | 7 | 21 | 0 | 4 | 26 | 0 | 3 | 25 | 1 | 4 | 27 | 0 | 4 | 19 | 0 | 60 | 316 | 4 | 82 | 251 | 0 |
| その他院内職員 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 19 | 28 | 4 | 28 | 31 | 0 |
| 保健福祉関係機関 | 0 | 10 | 1 | 3 | 7 | 0 | 2 | 5 | 0 | 3 | 13 | 0 | 4 | 6 | 2 | 4 | 10 | 0 | 46 | 88 | 6 | 52 | 91 | 8 |
| 医療機関 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 4 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 24 | 11 | 7 | 24 | 9 | 7 |
| 福祉施設 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 2 | 0 |
| 介護保健施設・事業所 | 8 | 5 | 0 | 4 | 5 | 1 | 3 | 5 | 0 | 4 | 3 | 0 | 2 | 4 | 0 | 3 | 3 | 0 | 63 | 50 | 2 | 40 | 26 | 2 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 6 | 0 | 1 | 5 | 2 |
| 小計 | 34 | 67 | 5 | 21 | 59 | 7 | 27 | 55 | 1 | 23 | 63 | 5 | 25 | 57 | 6 | 32 | 47 | 2 | 380 | 705 | 40 | 417 | 600 | 30 |
| 総合計 | 106 | | | 87 | | | 83 | | | 91 | | | 88 | | | 81 | | | 1125 | | | 1047 | | |

## 13 各科別医療収入

| | 1月 | | | 2月 | | | 3月 | | | 4月 | | | 5月 | | | 6月 | | | 7月 | | | 8月 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 |
| 内科(計) | 62,261 | 166,341 | 228,602 | 58,319 | 159,410 | 217,729 | 63,690 | 160,428 | 224,118 | 62,201 | 154,206 | 216,407 | 65,491 | 136,442 | 201,933 | 72,970 | 167,661 | 240,631 | 70,959 | 157,827 | 228,786 | 69,540 | 149,121 | 218,661 |
| 循環器内科<br>神経内科 | 17,215 | 64,777 | 81,992 | 15,000 | 60,991 | 75,991 | 16,470 | 65,021 | 81,491 | 16,570 | 55,600 | 72,170 | 16,520 | 44,173 | 60,693 | 16,218 | 71,575 | 87,793 | 17,063 | 52,863 | 69,926 | 15,535 | 41,464 | 56,999 |
| 消化器内科 | 9,584 | 26,397 | 35,981 | 10,723 | 26,648 | 37,371 | 10,520 | 23,230 | 33,750 | 9,658 | 20,025 | 29,683 | 9,766 | 16,516 | 26,282 | 9,240 | 19,109 | 28,349 | 10,004 | 21,701 | 31,705 | 9,700 | 22,031 | 31,731 |
| 総合内科 | 25,273 | 38,000 | 63,273 | 22,473 | 37,908 | 60,381 | 26,096 | 37,283 | 63,379 | 24,735 | 41,125 | 65,860 | 25,987 | 37,814 | 63,801 | 28,897 | 34,541 | 63,438 | 28,675 | 44,844 | 73,519 | 27,634 | 44,276 | 71,910 |
| 血液内科 | 10,189 | 37,167 | 47,356 | 10,123 | 33,863 | 43,986 | 10,604 | 34,894 | 45,498 | 11,238 | 37,456 | 48,694 | 13,218 | 37,939 | 51,157 | 18,615 | 42,436 | 61,051 | 15,217 | 38,419 | 53,636 | 16,671 | 41,350 | 58,021 |
| 神経科・精神科 | 5,825 | 10,930 | 16,755 | 5,488 | 11,443 | 16,931 | 5,822 | 10,279 | 16,101 | 6,293 | 11,997 | 18,290 | 5,112 | 10,221 | 15,333 | 5,896 | 12,011 | 17,907 | 6,317 | 11,908 | 18,225 | 5,993 | 12,292 | 18,285 |
| 小児科 | 8,239 | 9,988 | 18,227 | 8,697 | 9,602 | 18,299 | 10,615 | 10,116 | 20,731 | 9,796 | 7,411 | 17,207 | 4,610 | 6,991 | 11,601 | 4,689 | 4,889 | 9,578 | 4,720 | 6,548 | 11,268 | 5,330 | 4,376 | 9,706 |
| 外科(計) | 33,705 | 40,540 | 74,245 | 31,191 | 39,134 | 70,325 | 36,915 | 47,127 | 84,042 | 37,338 | 37,073 | 74,411 | 32,290 | 40,471 | 72,761 | 38,227 | 54,531 | 92,758 | 34,777 | 49,186 | 83,963 | 32,848 | 41,903 | 74,751 |
| 消化器・一般外科 | 24,274 | 37,445 | 61,719 | 22,450 | 35,538 | 57,988 | 23,981 | 41,888 | 65,869 | 26,358 | 34,146 | 60,504 | 22,006 | 35,503 | 57,509 | 24,705 | 46,981 | 71,686 | 23,611 | 44,355 | 67,966 | 22,247 | 38,869 | 61,116 |
| 乳腺外科 | 9,431 | 3,095 | 12,526 | 8,741 | 3,596 | 12,337 | 12,934 | 5,239 | 18,173 | 10,980 | 2,927 | 13,907 | 10,284 | 4,968 | 15,252 | 13,522 | 7,550 | 21,072 | 11,166 | 4,831 | 15,997 | 10,601 | 3,034 | 13,635 |
| 整形外科 | 7,678 | 38,525 | 46,203 | 7,517 | 25,407 | 32,924 | 8,179 | 39,751 | 47,930 | 7,488 | 48,189 | 55,677 | 7,024 | 39,982 | 47,006 | 8,359 | 42,029 | 50,388 | 7,583 | 33,959 | 41,542 | 7,276 | 30,008 | 37,284 |
| 皮膚科 | 9,127 | 11,910 | 21,037 | 8,723 | 11,783 | 20,506 | 9,480 | 11,866 | 21,346 | 9,825 | 8,674 | 18,499 | 8,678 | 10,137 | 18,815 | 10,172 | 9,940 | 20,112 | 9,896 | 15,067 | 24,963 | 9,212 | 12,231 | 21,443 |
| 泌尿器科 | 12,457 | 21,351 | 33,808 | 11,317 | 21,246 | 32,563 | 13,098 | 21,665 | 34,763 | 12,686 | 23,842 | 36,528 | 11,872 | 17,102 | 28,974 | 13,021 | 20,635 | 33,656 | 13,038 | 16,108 | 29,146 | 12,616 | 17,139 | 29,755 |
| 産婦人科 | 17,399 | 53,459 | 70,858 | 16,907 | 57,541 | 74,448 | 17,340 | 61,116 | 78,456 | 17,322 | 62,905 | 80,227 | 15,873 | 50,158 | 66,031 | 20,610 | 52,083 | 72,693 | 20,214 | 55,383 | 75,597 | 18,190 | 63,102 | 81,292 |
| 眼　科 | 6,726 | 14,399 | 21,125 | 6,795 | 16,992 | 23,787 | 8,252 | 14,638 | 22,890 | 6,877 | 18,696 | 25,573 | 7,422 | 13,832 | 21,254 | 8,132 | 18,269 | 26,401 | 7,716 | 22,717 | 30,433 | 8,060 | 15,268 | 23,328 |
| 耳鼻咽喉科 | 5,875 | 5,807 | 11,682 | 6,015 | 5,317 | 11,332 | 6,859 | 9,641 | 16,500 | 7,189 | 10,859 | 18,048 | 5,612 | 14,093 | 19,705 | 6,409 | 13,776 | 20,185 | 7,477 | 15,631 | 23,108 | 7,220 | 20,225 | 27,445 |
| 放射線科 | 3,399 | 483 | 3,882 | 3,536 | 287 | 3,823 | 3,898 | 251 | 4,149 | 3,726 | 229 | 3,955 | 2,752 | 448 | 3,200 | 3,674 | 643 | 4,317 | 3,445 | 551 | 3,996 | 3,354 | 366 | 3,720 |
| 麻酔科 | 637 | 1,217 | 1,854 | 984 | 930 | 1,914 | 944 | 2,332 | 3,276 | 925 | 2,073 | 2,998 | 834 | 1,568 | 2,402 | 1,094 | 1,989 | 3,083 | 869 | 1,741 | 2,610 | 906 | 1,798 | 2,704 |
| その他<br>ワクチン外来 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 歯科 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 健康管理科 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 173,328 | 374,950 | 548,278 | 165,489 | 359,092 | 524,581 | 185,092 | 389,210 | 574,302 | 181,666 | 386,154 | 567,820 | 167,570 | 341,445 | 509,015 | 193,253 | 398,456 | 591,709 | 187,011 | 386,626 | 573,637 | 180,545 | 367,829 | 548,374 |
| 百分率 | 32% | 68% | 100% | 32% | 68% | 100% | 32% | 68% | 100% | 32% | 68% | 100% | 33% | 67% | 100% | 33% | 67% | 100% | 33% | 67% | 100% | 33% | 67% | 100% |

(注)共観科の収入は主たる科の収入に含む場合もある。

1. 乳腺外科-H20.10開設
2. 歯科-H20.3廃止
3. 健康管理科-H20.3末まで
4. 新型インフルエンザワクチン外来H21.11から

［単位：千円］

| 9月 | | | 10月 | | | 11月 | | | 12月 | | | 累計 | | | 前年度累計 | 対前年差額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | | |
| 68,915 | 144,582 | 213,497 | 73,540 | 153,661 | 227,201 | 69,209 | 132,072 | 201,281 | 68,983 | 152,067 | 221,050 | 806,078 | 1,833,818 | 2,639,896 | 2,548,368 | 91,528 |
| 16,063 | 50,454 | 66,517 | 16,712 | 49,396 | 66,108 | 15,782 | 45,147 | 60,929 | 15,035 | 53,112 | 68,147 | 194,183 | 654,573 | 848,756 | 870,773 | ▲ 22,017 |
| 9,794 | 18,750 | 28,544 | 10,516 | 18,604 | 29,120 | 9,587 | 19,784 | 29,371 | 9,031 | 20,194 | 29,225 | 118,123 | 252,989 | 371,112 | 440,461 | ▲ 69,349 |
| 28,239 | 34,932 | 63,171 | 29,156 | 34,031 | 63,187 | 27,477 | 31,434 | 58,911 | 29,849 | 34,992 | 64,841 | 324,491 | 451,180 | 775,671 | 681,581 | 94,090 |
| 14,819 | 40,446 | 55,265 | 17,156 | 51,630 | 68,786 | 16,363 | 35,707 | 52,070 | 15,068 | 43,769 | 58,837 | 169,281 | 475,076 | 644,357 | 555,553 | 88,804 |
| 5,551 | 11,149 | 16,700 | 5,844 | 9,921 | 15,765 | 5,211 | 11,827 | 17,038 | 5,989 | 12,000 | 17,989 | 69,341 | 135,978 | 205,319 | 177,274 | 28,045 |
| 5,632 | 3,641 | 9,273 | 7,448 | 6,373 | 13,821 | 7,688 | 4,577 | 12,265 | 9,439 | 7,213 | 16,652 | 86,903 | 81,725 | 168,628 | 167,057 | 1,571 |
| 34,162 | 45,885 | 80,047 | 34,631 | 42,812 | 77,443 | 28,625 | 38,233 | 66,858 | 32,940 | 35,805 | 68,745 | 407,649 | 512,700 | 920,349 | 672,028 | 248,321 |
| 20,614 | 43,473 | 64,087 | 20,237 | 41,073 | 61,310 | 17,747 | 34,686 | 52,433 | 18,962 | 31,664 | 50,626 | 267,192 | 465,621 | 732,813 | 131,424 | 601,389 |
| 13,548 | 2,412 | 15,960 | 14,394 | 1,739 | 16,133 | 10,878 | 3,547 | 14,425 | 13,978 | 4,141 | 18,119 | 140,457 | 47,079 | 187,536 | 27,226 | 160,310 |
| 6,973 | 24,093 | 31,066 | 8,380 | 30,216 | 38,596 | 6,589 | 33,517 | 40,106 | 6,727 | 34,480 | 41,207 | 89,773 | 420,156 | 509,929 | 509,018 | 911 |
| 8,193 | 12,014 | 20,207 | 9,273 | 10,604 | 19,877 | 8,105 | 7,900 | 16,005 | 8,522 | 9,193 | 17,715 | 109,206 | 131,319 | 240,525 | 252,379 | ▲ 11,854 |
| 12,477 | 21,339 | 33,816 | 13,725 | 29,052 | 42,777 | 12,237 | 23,085 | 35,322 | 14,559 | 19,656 | 34,215 | 153,103 | 252,220 | 405,323 | 383,172 | 22,151 |
| 18,681 | 54,191 | 72,872 | 19,525 | 71,495 | 91,020 | 19,046 | 67,396 | 86,442 | 17,580 | 61,373 | 78,953 | 218,687 | 710,202 | 928,889 | 928,955 | ▲ 66 |
| 8,093 | 14,143 | 22,236 | 7,206 | 19,961 | 27,167 | 7,088 | 14,908 | 21,996 | 6,816 | 13,184 | 20,000 | 89,183 | 197,007 | 286,190 | 249,899 | 36,291 |
| 6,098 | 24,917 | 31,015 | 7,016 | 22,311 | 29,327 | 5,966 | 19,317 | 25,283 | 6,127 | 20,150 | 26,277 | 77,863 | 182,044 | 259,907 | 153,123 | 106,784 |
| 2,958 | 404 | 3,362 | 4,048 | 1,116 | 5,164 | 3,776 | 1,100 | 4,876 | 3,706 | 655 | 4,361 | 42,272 | 6,533 | 48,805 | 45,965 | 2,840 |
| 881 | 2,032 | 2,913 | 738 | 2,492 | 3,230 | 837 | 1,538 | 2,375 | 605 | 1,109 | 1,714 | 10,254 | 20,819 | 31,073 | 23,989 | 7,084 |
| | | | | | | 1,814 | | 1,814 | 1,292 | | 1,292 | 3,106 | 0 | 3,106 | | 3,106 |
| | | | | | | | | | | | | | | | 5,190 | ▲ 5,190 |
| | | | | | | | | | | | | | | | 20,387 | ▲ 20,387 |
| 178,614 | 358,390 | 537,004 | 191,374 | 400,014 | 591,388 | 176,191 | 355,470 | 531,661 | 183,285 | 366,885 | 550,170 | 2,163,418 | 4,484,521 | 6,647,939 | 6,136,804 | 511,135 |
| 33% | 67% | 100% | 32% | 68% | 100% | 33% | 67% | 100% | 33% | 67% | 100% | 33% | 67% | 100% | | |

［医事G］

## 14 医療行為別医療収入

| | 1月 | | | 2月 | | | 3月 | | | 4月 | | | 5月 | | | 6月 | | | 7月 | | | 8月 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 |
| 初診料 | 5,171 | 240 | 5,411 | 4,840 | 209 | 5,049 | 4,953 | 193 | 5,146 | 4,861 | 181 | 5,042 | 4,467 | 201 | 4,668 | 5,397 | 213 | 5,610 | 5,216 | 245 | 5,461 | 5,292 | 212 | 5,504 |
| 再診料 | 9,899 | 0 | 9,899 | 9,457 | 0 | 9,457 | 10,748 | 0 | 10,748 | 10,747 | 0 | 10,747 | 9,690 | 0 | 9,690 | 10,337 | 0 | 10,337 | 10,727 | 0 | 10,727 | 9,979 | 0 | 9,979 |
| 指導料 | 13,371 | 4,040 | 17,411 | 12,471 | 4,480 | 16,951 | 13,556 | 4,520 | 18,076 | 13,585 | 4,840 | 18,425 | 13,421 | 3,769 | 17,190 | 13,684 | 4,864 | 18,548 | 13,719 | 4,905 | 18,624 | 13,156 | 4,458 | 17,614 |
| 投薬料 | 484 | 4,170 | 4,654 | 275 | 4,916 | 5,191 | 378 | 5,567 | 5,945 | 705 | 5,217 | 5,922 | 850 | 5,069 | 5,919 | 640 | 5,649 | 6,289 | 943 | 5,007 | 5,950 | 745 | 5,822 | 6,567 |
| 注射料 | 41,673 | 11,590 | 53,263 | 40,057 | 9,117 | 49,174 | 46,336 | 10,409 | 56,745 | 45,136 | 7,035 | 52,171 | 40,705 | 6,220 | 46,925 | 51,991 | 7,121 | 59,112 | 46,480 | 8,271 | 54,751 | 47,268 | 6,420 | 53,688 |
| 処置料 | 3,397 | 2,500 | 5,897 | 3,128 | 1,630 | 4,758 | 3,384 | 1,889 | 5,273 | 3,259 | 1,767 | 5,026 | 2,903 | 1,470 | 4,373 | 3,161 | 2,581 | 5,742 | 3,162 | 1,627 | 4,789 | 2,628 | 1,118 | 3,746 |
| 手術料 | 3,300 | 69,856 | 73,156 | 3,269 | 68,844 | 72,113 | 3,645 | 79,975 | 83,620 | 2,976 | 77,080 | 80,056 | 3,825 | 57,901 | 61,726 | 3,861 | 88,846 | 92,707 | 3,709 | 76,672 | 80,381 | 0 | 68,360 | 68,360 |
| 検査料 | 54,552 | 6,923 | 61,475 | 51,111 | 6,754 | 57,865 | 56,231 | 7,559 | 63,790 | 55,722 | 7,074 | 62,796 | 52,351 | 5,177 | 57,528 | 58,427 | 7,351 | 65,778 | 58,401 | 7,034 | 65,435 | 55,357 | 5,980 | 61,337 |
| 画像診断料 | 24,562 | 1,699 | 26,261 | 24,637 | 1,354 | 25,991 | 27,685 | 1,594 | 29,279 | 26,987 | 1,663 | 28,650 | 23,327 | 1,254 | 24,581 | 27,967 | 1,687 | 29,654 | 26,236 | 1,492 | 27,728 | 24,600 | 1,190 | 25,790 |
| 入院料 | 0 | 59,814 | 59,814 | 0 | 51,325 | 51,325 | 0 | 62,877 | 62,877 | 0 | 58,278 | 58,278 | 0 | 54,634 | 54,634 | 0 | 54,690 | 54,690 | 0 | 52,927 | 52,927 | 0 | 52,243 | 52,243 |
| DPC入院料 | 0 | 168,537 | 168,537 | 0 | 169,532 | 169,532 | 0 | 169,455 | 169,455 | 0 | 176,193 | 176,193 | 0 | 162,892 | 162,892 | 0 | 180,121 | 180,121 | 0 | 184,396 | 184,396 | 0 | 180,177 | 180,177 |
| 理学療法料 | 291 | 2,791 | 3,082 | 357 | 2,685 | 3,042 | 400 | 2,747 | 3,147 | 358 | 3,128 | 3,486 | 281 | 2,554 | 2,835 | 252 | 3,233 | 3,485 | 274 | 3,223 | 3,497 | 309 | 2,902 | 3,211 |
| 処方箋 | 7,292 | 0 | 7,292 | 6,766 | 0 | 6,766 | 7,716 | 0 | 7,716 | 7,641 | 0 | 7,641 | 6,908 | 0 | 6,908 | 7,338 | 0 | 7,338 | 7,615 | 0 | 7,615 | 7,116 | 0 | 7,116 |
| その他 | 9,335 | 42,790 | 52,125 | 9,121 | 38,247 | 47,368 | 10,058 | 42,424 | 52,482 | 9,687 | 43,699 | 53,386 | 8,844 | 40,304 | 49,148 | 10,199 | 42,099 | 52,298 | 10,528 | 40,826 | 51,354 | 14,096 | 38,947 | 53,043 |
| 計 | 173,327 | 374,950 | 548,277 | 165,489 | 359,093 | 524,582 | 185,090 | 389,209 | 574,299 | 181,664 | 386,155 | 567,819 | 167,572 | 341,445 | 509,017 | 193,254 | 398,455 | 591,709 | 187,010 | 386,625 | 573,635 | 180,546 | 367,829 | 548,375 |

（注）共観科の収入は主たる科の収入に含む場合もある。

［単位：千円］

| 9月 | | | 10月 | | | 11月 | | | 12月 | | | 累計 | | | 前年度累計 | 対前年差額 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | 外来 | 入院 | 計 | | |
| 4,680 | 180 | 4,860 | 5,280 | 174 | 5,454 | 4,609 | 164 | 4,773 | 4,630 | 223 | 4,853 | 59,396 | 2,435 | 61,831 | 60,979 | 852 |
| 9,907 | 0 | 9,907 | 10,573 | 0 | 10,573 | 9,744 | 0 | 9,744 | 10,272 | 0 | 10,272 | 122,080 | 0 | 122,080 | 120,146 | 1,934 |
| 12,720 | 4,241 | 16,961 | 13,245 | 4,499 | 17,744 | 12,764 | 4,274 | 17,038 | 13,839 | 4,148 | 17,987 | 159,531 | 53,038 | 212,569 | 205,329 | 7,240 |
| 1,030 | 6,408 | 7,438 | 1,278 | 5,148 | 6,426 | 1,260 | 3,968 | 5,228 | 1,758 | 4,663 | 6,421 | 10,346 | 61,604 | 71,950 | 58,246 | 13,704 |
| 46,202 | 11,465 | 57,667 | 51,270 | 13,677 | 64,947 | 43,618 | 7,005 | 50,623 | 48,414 | 10,060 | 58,474 | 549,150 | 108,390 | 657,540 | 478,475 | 179,065 |
| 2,769 | 1,546 | 4,315 | 3,225 | 1,223 | 4,448 | 2,936 | 1,532 | 4,468 | 3,090 | 1,664 | 4,754 | 37,042 | 20,547 | 57,589 | 58,568 | ▲ 979 |
| 3,739 | 68,436 | 72,175 | 3,713 | 89,834 | 93,547 | 3,852 | 78,577 | 82,429 | 3,606 | 77,036 | 80,642 | 39,495 | 901,417 | 940,912 | 898,944 | 41,968 |
| 55,964 | 7,213 | 63,177 | 57,847 | 6,980 | 64,827 | 53,187 | 5,610 | 58,797 | 53,697 | 5,952 | 59,649 | 662,847 | 79,607 | 742,454 | 720,143 | 22,311 |
| 24,315 | 1,387 | 25,702 | 26,383 | 1,238 | 27,621 | 24,088 | 1,168 | 25,256 | 23,384 | 1,267 | 24,651 | 304,171 | 16,993 | 321,164 | 314,288 | 6,876 |
| 0 | 53,474 | 53,474 | 0 | 54,066 | 54,066 | 0 | 50,061 | 50,061 | 0 | 47,565 | 47,565 | 0 | 651,954 | 651,954 | 652,265 | ▲ 311 |
| 0 | 161,028 | 161,028 | 0 | 177,522 | 177,522 | 0 | 160,828 | 160,828 | 0 | 171,914 | 171,914 | 0 | 2,062,595 | 2,062,595 | 1,889,364 | 173,231 |
| 347 | 2,592 | 2,939 | 409 | 2,848 | 3,257 | 470 | 3,517 | 3,987 | 521 | 3,536 | 4,057 | 4,269 | 35,756 | 40,025 | 35,239 | 4,786 |
| 7,063 | 0 | 7,063 | 7,631 | 0 | 7,631 | 6,939 | 0 | 6,939 | 7,532 | 0 | 7,532 | 87,557 | 0 | 87,557 | 85,907 | 1,650 |
| 9,880 | 40,419 | 50,299 | 10,519 | 42,806 | 53,325 | 12,725 | 38,766 | 51,491 | 12,542 | 38,858 | 51,400 | 127,534 | 490,185 | 617,719 | 558,911 | 58,808 |
| 178,616 | 358,389 | 537,005 | 191,373 | 400,015 | 591,388 | 176,192 | 355,470 | 531,662 | 183,285 | 366,886 | 550,171 | 2,163,418 | 4,484,521 | 6,647,939 | 6,136,804 | 511,135 |

［医事G］

## 15 病院従業員数（平成21年4月1日時点）

| | | 職員 | 性別 | | 専攻医 | 研修医 | 嘱託 | | パート |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 男 | 女 | | | 常勤 | 非勤 | |
| 医　　師 | 21年度 | 52 | 44 | 8 | 11 | 13 | 4 | 30 | |
| | 20年度 | 56 | 49 | 7 | 12 | 10 | 1 | 33 | |
| 薬剤師 | 21年度 | 12 | 7 | 5 | | | | | 3 |
| | 20年度 | 12 | 8 | 4 | | | | | 2 |
| 放射線技師 | 21年度 | 12 | 9 | 3 | | | | | |
| | 20年度 | 11 | 9 | 2 | | | | | |
| 検査技術員 | 21年度 | 22 | 8 | 14 | | | | | |
| | 20年度 | 24 | 9 | 15 | | | | | |
| 理学療法士 | 21年度 | 5 | 4 | 1 | | | | | |
| | 20年度 | 5 | 4 | 1 | | | | | |
| 栄養士 | 21年度 | 1 | | 1 | | | | | 2 |
| | 20年度 | 2 | | 2 | | | | | 1 |
| ｹｰｽﾜｰｶｰ | 21年度 | 2 | | 2 | | | | | |
| | 20年度 | 2 | | 2 | | | | | |
| 視能訓練士・眼鏡士 | 21年度 | 3 | | 3 | | | | | 3 |
| | 20年度 | 2 | | 2 | | | | | 3 |
| 臨床心理士 | 21年度 | 0 | | | | | | 1 | |
| | 20年度 | 0 | | | | | | 1 | |
| 臨床工学技士 | 21年度 | 2 | 1 | 1 | | | | | |
| | 20年度 | 1 | 1 | | | | | | |
| 看護師 | 21年度 | 274 | 6 | 268 | | | | | 12 |
| | 20年度 | 281 | 3 | 278 | | | | | 9 |
| 准看護師 | 21年度 | 2 | | 2 | | | | | 6 |
| | 20年度 | 2 | | 2 | | | | | 6 |
| 看護助手 | 21年度 | 1 | | 1 | | | | | 14 |
| | 20年度 | 1 | | 1 | | | | | 10 |
| 事務員 | 21年度 | 31 | 20 | 11 | | | | | 7 |
| | 20年度 | 31 | 21 | 10 | | | | | 7 |
| 一般技能労務職 | 21年度 | 5 | 3 | 2 | | | 1 | 1 | 3 |
| | 20年度 | 5 | 3 | 2 | | | 1 | 1 | 3 |
| **総　計** | **21年度** | **424** | **102** | **322** | **11** | **13** | **5** | **32** | **50** |
| | **20年度** | **435** | **107** | **328** | **12** | **10** | **2** | **35** | **41** |

## 16 退院患者統計

### 1) 退院患者医療評価指標 (1)

| | 算定式 | 平成16年（2004） | 平成17年（2005） | 平成18年（2006） | 平成19年（2007） | 平成20年（2008） | 平成21年（2009） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病床数（床） | | 350 | 350 | 350 | 350 | 350 | 350 |
| 一日平均在院患者数（人） | 年間延入院患者数 / 365日 | 269 | 269 | 273 | 272 | 269 | 280 |
| 病床稼働率（%） | 1日平均在院患者数 / 350床 | 76.9 | 76.9 | 78.0 | 77.7 | 76.9 | 80.0 |
| 平均在院日数（日） | 年間延入院患者数－退院患者数 / (入院＋退院患者数)÷2 | 15.4 | 15.3 | 14.7 | 14.6 | 14.1 | 14.2 |
| 実退院患者数（人） | | 5,934 | 5,900 | 6,359 | 6,350 | 6,486 | 6740 |
| 転科数 | | 263 | 176 | 249 | 158 | 140 | 176 |
| 総退院患者数 | | 6,197 | 6,076 | 6,608 | 6,508 | 6,626 | 6916 |
| 実退院患者平均在院日数（日） | 実退院患者入院延日数 / 実退院患者数 | 17.3 | 16.2 | 15.7 | 15.6 | 15.0 | 15.5 |
| 院内粗死亡率（%） | 死亡退院患者数 / 実退院患者数 ×100 | 2.8 | 2.5 | 2.9 | 2.7 | 2.4 | 2.5 |
| 院内精死亡率（%） | 入院48時間超死亡数 / 実退院患者数 ×100 | 2.7 | 2.2 | 2.6 | 2.4 | 2.2 | 2.4 |
| 剖検率（%） | 剖検患者数 / 死亡患者数 ×100 | 15.9 | 5.5 | 11.4 | 8.9 | 7.2 | 5.8 |
| 術後死亡率（%） | 術後10日以内死亡患者数 / 総手術数 ×100 | 0.04 | 0.04 | 0.03 | – | – | – |
| 帝王切開率（%） | 帝王切開数 / 分娩数 ×100 | 21.9 | 18.9 | 20.6 | 23.4 | 19.1 | 17.0 |
| 分娩死亡率（%） | 分娩による妊産婦死亡数 / 分娩数 ×100 | – | – | – | – | – | – |
| 新生児死亡率（%） | 新生児死亡数 / 出生数 ×100 | 0.3 | – | – | – | – | – |
| 紹介入院率（%） | 紹介入院患者数 / 実退院患者数 ×100 | 32.2 | 32.4 | 34.9 | 35.9 | 38.0 | 40.5 |
| 対診率（%） | 対診数 / 実退院患者数 ×100 | 42.0 | 36.1 | 38.1 | 43.1 | 43.6 | 41.1 |
| 診療情報の利用 | | | | | | | |
| 診療録利用件数（冊） | | 11,983 | 5,808 | 1,204 | 1,022 | 506 | 324 |
| ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ情報利用件数(依頼件数) | | 70 | 65 | 55 | 84 | 98 | 47 |

注1）疾病分類は厚生労働省大臣官房統計情報部編「疾病・傷害および分類提要ICD−10準拠」を使用した。

平成18年退院患者から厚生労働省大臣官房統計情報部編「疾病・傷害および分類提要ICD−10（2003年版）準拠」を使用した。

注2）手術分類は（財）医療情報システム開発センター監修「手術及び処置の分類 ICD・9・CM」を使用した。

平成18年退院患者から日本病院会版2003「手術及び処置の分類ICD・9・CM」を使用した。

注3）データは診療録管理システムから集計をした。

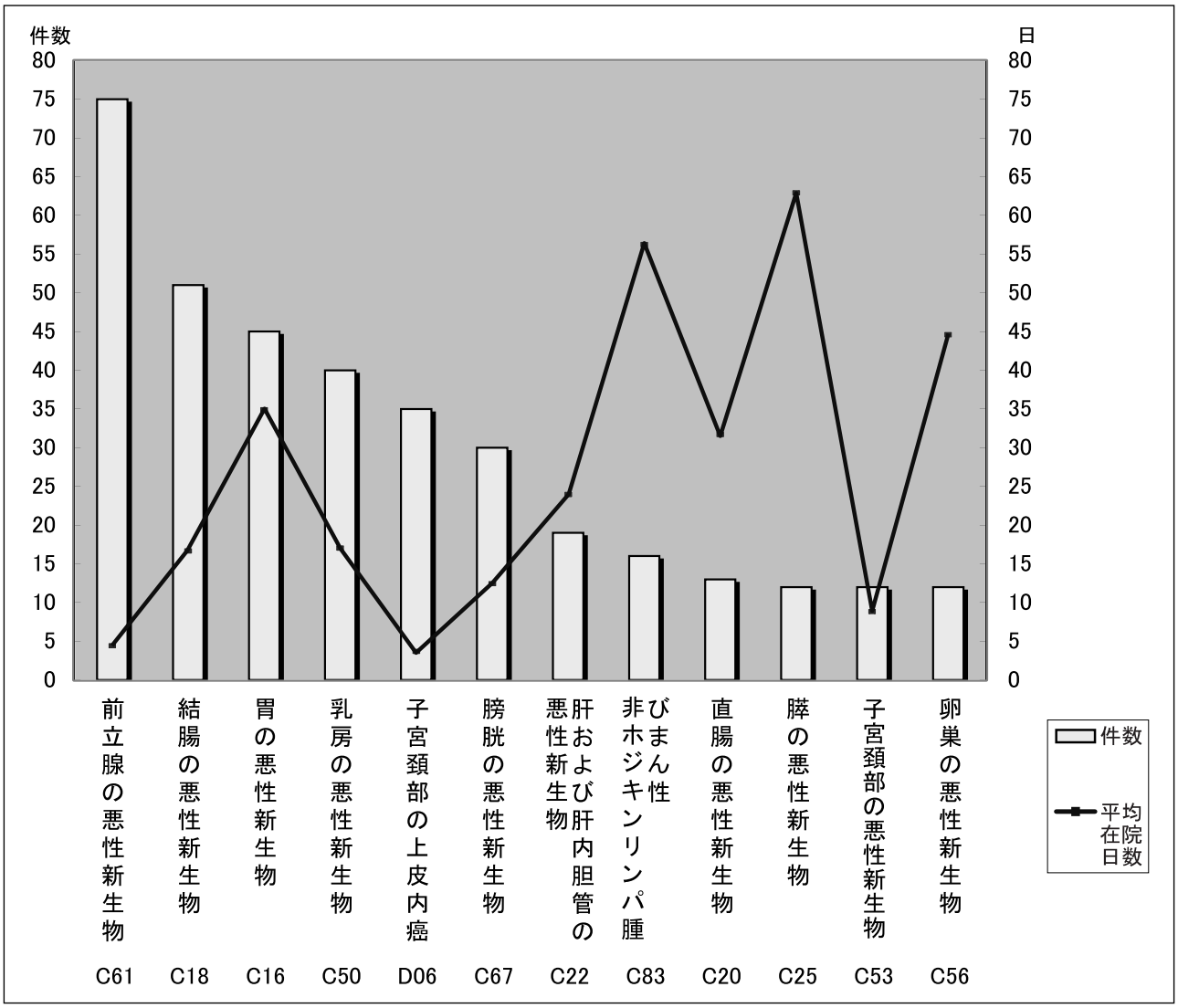
注4）実退院患者1入院、1主病名、1主手術で集計をした。

## 1) 退院患者医療評価指標(2. 悪性新生物)

| | 算定式 | 平成16年（2004） | 平成17年（2005） | 平成18年（2006） | 平成19年（2007） | 平成20年（2008） | 平成21年（2009） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 悪性新生物:比率(%) | 悪性新生物患者数 / 実退院患者数 ×100 | 15.5 | 17.2 | 15.7 | 15.3 | 14.0 | 15.3 |
| 悪性新生物:新発患者数 | | 352 | 413 | 432 | 445 | 454 | 503 |

**○2009年1月～12月－初発がん統計トップ10(件数・平均在院日数)**

| ICD－10 | 疾患名 | 件　数 | 在院日数計 | 平均在院日数 |
|---|---|---|---|---|
| C61 | 前立腺の悪性新生物 | 75 | 331 | 4 |
| C18 | 結腸の悪性新生物 | 51 | 850 | 17 |
| C16 | 胃の悪性新生物 | 45 | 1570 | 35 |
| C50 | 乳房の悪性新生物 | 40 | 681 | 17 |
| D06 | 子宮頚部の上皮内癌 | 35 | 129 | 4 |
| C67 | 膀胱の悪性新生物 | 30 | 373 | 12 |
| C22 | 肝および肝内胆管の悪性新生物 | 19 | 455 | 24 |
| C83 | びまん性非ホジキンリンパ腫 | 16 | 900 | 56 |
| C20 | 直腸の悪性新生物 | 13 | 412 | 32 |
| C25 | 膵の悪性新生物 | 12 | 755 | 63 |
| C53 | 子宮頚部の悪性新生物 | 12 | 106 | 9 |
| C56 | 卵巣の悪性新生物 | 12 | 535 | 45 |



# 診療科別・月別・患者数（2009）

日本生命済生会付属　日生病院

| 診療科 | | 総数 | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | 死亡 | 剖検 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総数 | 計 | 6,740 | 491 | 520 | 588 | 580 | 512 | 590 | 598 | 585 | 548 | 610 | 544 | 574 | 171 | 10 |
| | 男 | 2,960 | 227 | 237 | 268 | 255 | 207 | 271 | 257 | 251 | 247 | 264 | 231 | 245 | 92 | 5 |
| | 女 | 3,780 | 264 | 283 | 320 | 325 | 305 | 319 | 341 | 334 | 301 | 346 | 313 | 329 | 79 | 5 |
| 循神内科 | 計 | 752 | 68 | 63 | 64 | 75 | 54 | 82 | 62 | 52 | 56 | 62 | 51 | 63 | 19 | 1 |
| | 男 | 420 | 35 | 33 | 40 | 44 | 27 | 43 | 29 | 33 | 31 | 35 | 28 | 42 | 9 | − |
| | 女 | 332 | 33 | 30 | 24 | 31 | 27 | 39 | 33 | 19 | 25 | 27 | 23 | 21 | 10 | 1 |
| 消化器内科 | 計 | 963 | 82 | 84 | 97 | 83 | 66 | 81 | 79 | 98 | 83 | 80 | 70 | 60 | 32 | 1 |
| | 男 | 601 | 55 | 52 | 65 | 40 | 44 | 55 | 51 | 60 | 55 | 50 | 42 | 32 | 19 | − |
| | 女 | 362 | 27 | 32 | 32 | 43 | 22 | 26 | 28 | 38 | 28 | 30 | 28 | 28 | 13 | 1 |
| 総合内科 | 計 | 483 | 31 | 35 | 32 | 42 | 35 | 45 | 41 | 48 | 50 | 36 | 45 | 43 | 25 | 4 |
| | 男 | 210 | 13 | 17 | 13 | 20 | 11 | 19 | 20 | 19 | 24 | 16 | 23 | 15 | 13 | 2 |
| | 女 | 273 | 18 | 18 | 19 | 22 | 24 | 26 | 21 | 29 | 26 | 20 | 22 | 28 | 12 | 2 |
| 血液化療内 | 計 | 240 | 14 | 19 | 16 | 21 | 26 | 16 | 17 | 25 | 21 | 22 | 22 | 21 | 35 | 3 |
| | 男 | 119 | 9 | 10 | 7 | 7 | 16 | 9 | 9 | 12 | 9 | 11 | 10 | 10 | 20 | 2 |
| | 女 | 121 | 5 | 9 | 9 | 14 | 10 | 7 | 8 | 13 | 12 | 11 | 12 | 11 | 15 | 1 |
| 神経科精神科 | 計 | 80 | 11 | 5 | 3 | 4 | 11 | 7 | 8 | 10 | 1 | 9 | 6 | 5 | 1 | − |
| | 男 | 15 | 1 | 3 | 1 | 1 | 3 | 2 | − | 1 | − | 2 | − | 1 | − | − |
| | 女 | 65 | 10 | 2 | 2 | 3 | 8 | 5 | 8 | 9 | 1 | 7 | 6 | 4 | 1 | − |
| 小児科 | 計 | 303 | 28 | 34 | 32 | 32 | 27 | 22 | 22 | 19 | 16 | 24 | 19 | 28 | − | − |
| | 男 | 162 | 13 | 21 | 14 | 20 | 15 | 13 | 10 | 13 | 4 | 17 | 11 | 11 | − | − |
| | 女 | 141 | 15 | 13 | 18 | 12 | 12 | 9 | 12 | 6 | 12 | 7 | 8 | 17 | − | − |
| 外科 | 計 | 473 | 45 | 23 | 49 | 36 | 30 | 47 | 50 | 40 | 43 | 35 | 30 | 45 | 34 | − |
| | 男 | 271 | 30 | 16 | 30 | 22 | 11 | 31 | 26 | 18 | 23 | 20 | 20 | 24 | 19 | − |
| | 女 | 202 | 15 | 7 | 19 | 14 | 19 | 16 | 24 | 22 | 20 | 15 | 10 | 21 | 15 | − |
| 乳腺外科 | 計 | 55 | 1 | 6 | 4 | 5 | 6 | 11 | 5 | 5 | 2 | 2 | 3 | 5 | 5 | − |
| | 男 | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − |
| | 女 | 55 | 1 | 6 | 4 | 5 | 6 | 11 | 5 | 5 | 2 | 2 | 3 | 5 | 5 | − |
| 整形外科 | 計 | 295 | 24 | 23 | 26 | 27 | 28 | 26 | 34 | 17 | 28 | 15 | 18 | 29 | 1 | 1 |
| | 男 | 105 | 5 | 6 | 9 | 11 | 9 | 7 | 18 | 7 | 11 | 4 | 6 | 12 | 1 | 1 |
| | 女 | 190 | 19 | 17 | 17 | 16 | 19 | 19 | 16 | 10 | 17 | 11 | 12 | 17 | − | − |
| 皮膚科 | 計 | 233 | 17 | 15 | 26 | 17 | 17 | 20 | 27 | 22 | 18 | 19 | 14 | 21 | − | − |
| | 男 | 136 | 12 | 10 | 12 | 9 | 6 | 13 | 18 | 13 | 8 | 12 | 7 | 16 | − | − |
| | 女 | 97 | 5 | 5 | 14 | 8 | 11 | 7 | 9 | 9 | 10 | 7 | 7 | 5 | − | − |
| 泌尿器科 | 計 | 477 | 29 | 41 | 40 | 46 | 36 | 39 | 37 | 32 | 36 | 58 | 45 | 38 | 13 | − |
| | 男 | 431 | 27 | 36 | 37 | 40 | 28 | 36 | 32 | 28 | 36 | 54 | 43 | 34 | 8 | − |
| | 女 | 46 | 2 | 5 | 3 | 6 | 8 | 3 | 5 | 4 | − | 4 | 2 | 4 | 5 | − |
| 産婦人科 | 計 | 1,266 | 80 | 97 | 116 | 105 | 86 | 100 | 102 | 115 | 100 | 124 | 130 | 111 | 3 | − |
| | 男 | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − |
| | 女 | 1,266 | 80 | 97 | 116 | 105 | 86 | 100 | 102 | 115 | 100 | 124 | 130 | 111 | 3 | − |
| 眼科 | 計 | 644 | 42 | 54 | 51 | 52 | 52 | 55 | 69 | 51 | 48 | 70 | 44 | 56 | − | − |
| | 男 | 216 | 17 | 21 | 20 | 21 | 14 | 15 | 22 | 23 | 18 | 16 | 16 | 13 | − | − |
| | 女 | 428 | 25 | 33 | 31 | 31 | 38 | 40 | 47 | 28 | 30 | 54 | 28 | 43 | − | − |
| 耳鼻咽喉科 | 計 | 460 | 18 | 20 | 29 | 33 | 37 | 37 | 45 | 49 | 46 | 52 | 45 | 49 | 3 | − |
| | 男 | 270 | 10 | 11 | 18 | 20 | 23 | 27 | 22 | 24 | 28 | 27 | 25 | 35 | 3 | − |
| | 女 | 190 | 8 | 9 | 11 | 13 | 14 | 10 | 23 | 25 | 18 | 25 | 20 | 14 | − | − |
| 麻酔科 | 計 | 15 | 1 | − | 3 | 2 | 1 | 2 | − | 2 | − | 2 | 2 | − | − | − |
| | 男 | 3 | − | − | 2 | − | − | 1 | − | − | − | − | − | − | − | − |
| | 女 | 12 | 1 | − | 1 | 2 | 1 | 1 | − | 2 | − | 2 | 2 | − | − | − |

# 診療科別・月別・死亡（剖検）患者数(2009)

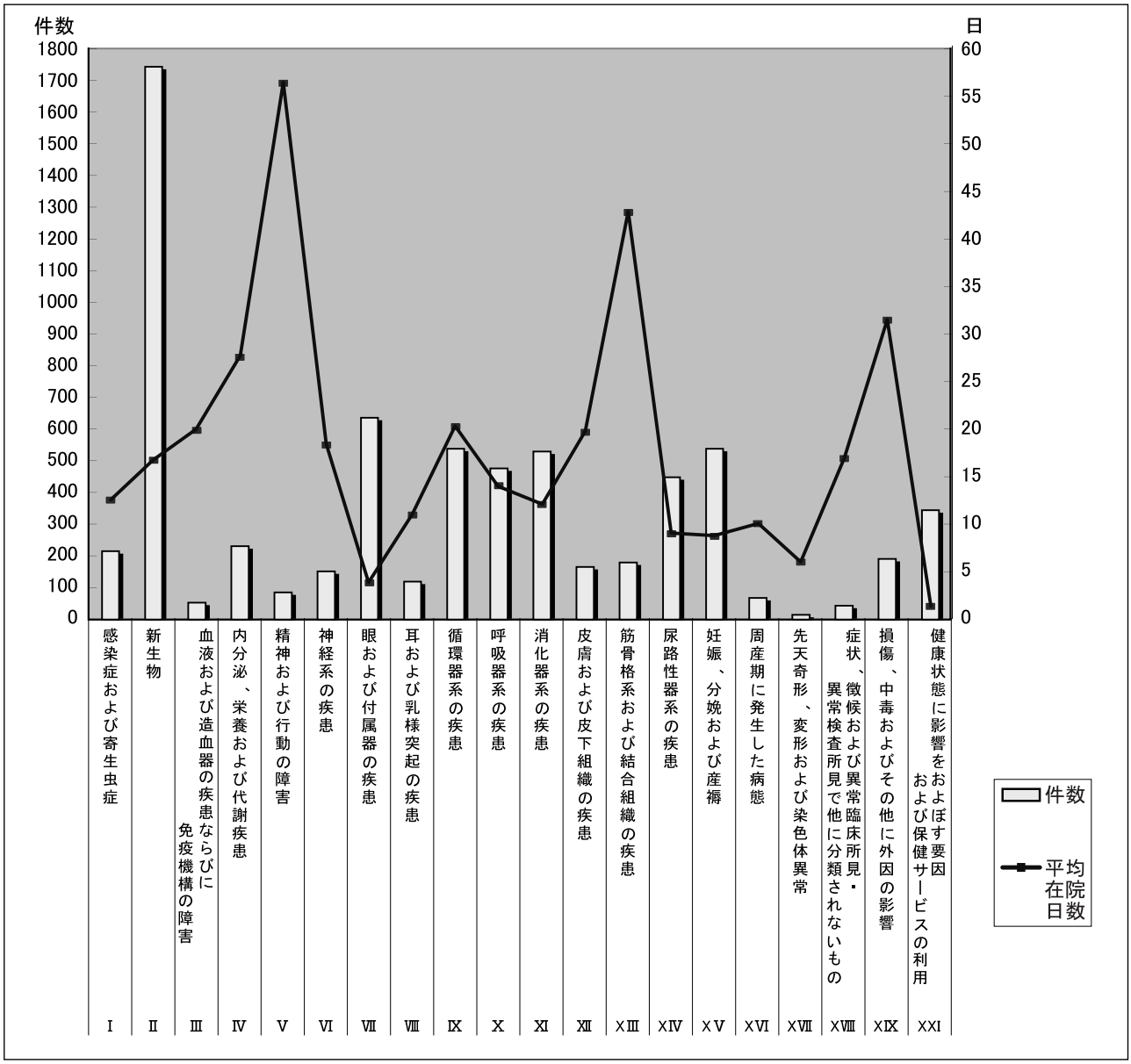
日本生命済生会付属　日生病院

| 診療科 | | 総数 | １月 | ２月 | ３月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | １０月 | １１月 | １２月 | 兼科患者数 | 退院患者数 | 粗死亡率 | 精死亡率 | 剖検率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総数 | 死亡 | 171 | 24 | 10 | 9 | 14 | 17 | 12 | 16 | 13 | 14 | 17 | 15 | 10 | 36 | 6,740 | 171 | 163 | 10 |
| | 剖検 | (10) | (5) | (2) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (1) | (1) | (1) | (−) | (−) | (1) | | (2.5) | (2.4) | (5.8) |
| 循神内科 | 死亡 | 19 | 4 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | − | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 752 | 19 | 18 | 1 |
| | 剖検 | (1) | (1) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (2.5) | (2.4) | (5.3) |
| 消化器内科 | 死亡 | 32 | 5 | 3 | 3 | 2 | 3 | − | 2 | 3 | 3 | 3 | 2 | 3 | 2 | 963 | 32 | 31 | 1 |
| | 剖検 | (1) | (−) | (1) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (3.3) | (3.2) | (3.1) |
| 総合内科 | 死亡 | 25 | 5 | − | 1 | − | 3 | 1 | 3 | 4 | 2 | 1 | 4 | 1 | 4 | 483 | 25 | 25 | 4 |
| | 剖検 | (4) | (2) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (1) | (1) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (5.2) | (5.2) | (16.0) |
| 血液化療内 | 死亡 | 35 | 3 | 1 | 2 | 3 | 2 | 3 | 5 | 2 | 4 | 3 | 4 | 3 | 1 | 240 | 35 | 33 | 3 |
| | 剖検 | (3) | (1) | (1) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (1) | (−) | (−) | (−) | | (14.6) | (13.8) | (8.6) |
| 神経科精神科 | 死亡 | 1 | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 1 | − | − | − | 80 | 1 | 1 | − |
| | 剖検 | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (1.3) | (1.3) | (−) |
| 小児科 | 死亡 | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 303 | − | − | − |
| | 剖検 | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (−) | (−) | (−) |
| 外科 | 死亡 | 34 | 5 | − | − | 7 | 3 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 | 3 | 2 | 4 | 473 | 34 | 33 | − |
| | 剖検 | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (1) | | (7.2) | (7.0) | (−) |
| 乳腺外科 | 死亡 | 5 | − | − | − | 1 | 1 | 3 | − | − | − | − | − | − | − | 55 | 5 | 4 | − |
| | 剖検 | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (9.1) | (7.3) | (−) |
| 整形外科 | 死亡 | 1 | 1 | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 2 | 295 | 1 | 1 | 1 |
| | 剖検 | (1) | (1) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (0.3) | (0.3) | (100.0) |
| 皮膚科 | 死亡 | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 2 | 233 | − | − | − |
| | 剖検 | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (−) | (−) | (−) |
| 泌尿器科 | 死亡 | 13 | − | 2 | 2 | − | 3 | − | 1 | 1 | 1 | 3 | − | − | 3 | 477 | 13 | 11 | − |
| | 剖検 | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (2.7) | (2.3) | (−) |
| 産婦人科 | 死亡 | 3 | 1 | 1 | − | − | − | 1 | − | − | − | − | − | − | 1 | 1,266 | 3 | 3 | − |
| | 剖検 | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (0.2) | (0.2) | (−) |
| 眼科 | 死亡 | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 644 | − | − | − |
| | 剖検 | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (−) | (−) | (−) |
| 耳鼻咽喉科 | 死亡 | 3 | − | 1 | − | − | − | 1 | 1 | − | − | − | − | − | − | 460 | 3 | 3 | − |
| | 剖検 | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (0.7) | (0.7) | (−) |
| 麻酔科 | 死亡 | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | − | 16 | 15 | − | − | − |
| | 剖検 | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | (−) | | (−) | (−) | (−) |

4）疾病統計

**○2009年1月～12月　国際疾病分類大分類別件数・平均在院日数**

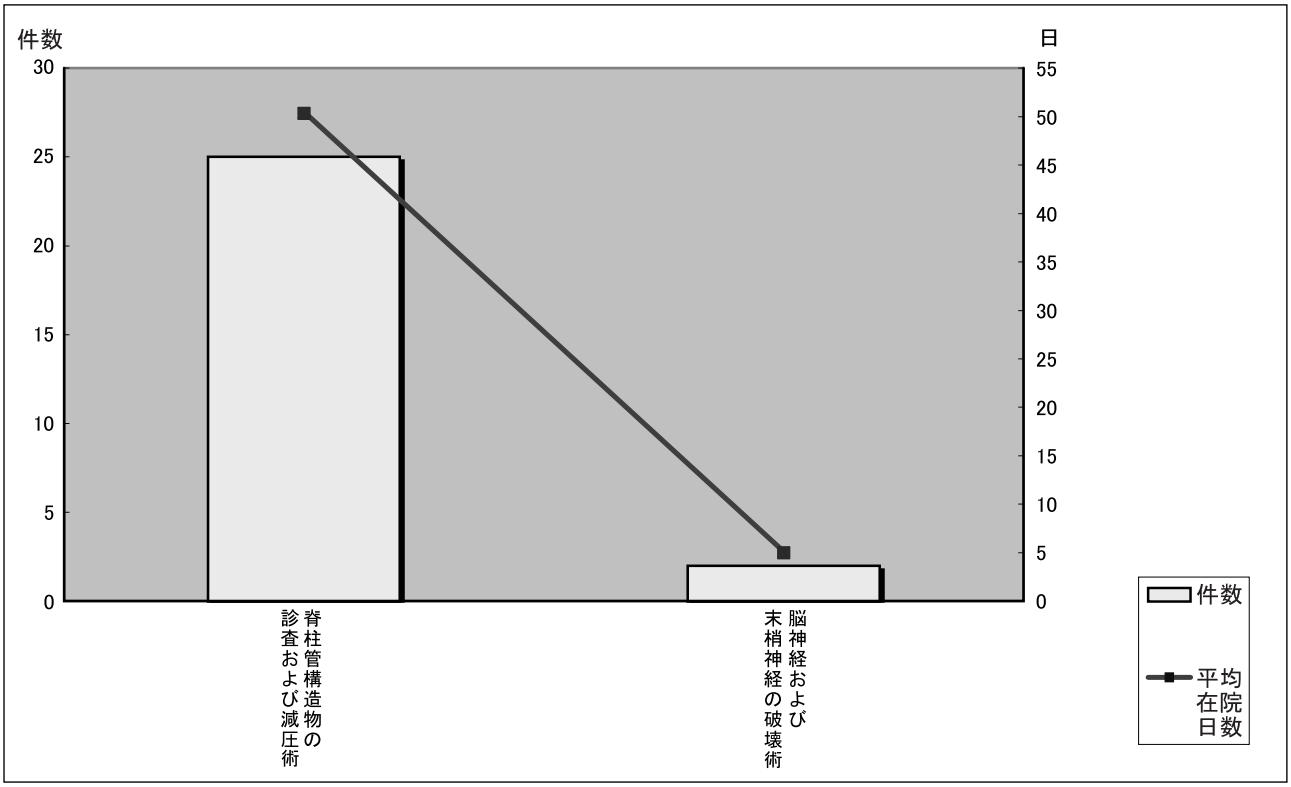
| ｺｰﾄﾞ | 国際分類大項目分類 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ | 感染症および寄生虫症 | 214 | 12 |
| Ⅱ | 新生物 | 1735 | 17 |
| Ⅲ | 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 | 53 | 20 |
| Ⅳ | 内分泌、栄養および代謝疾患 | 230 | 27 |
| Ⅴ | 精神および行動の障害 | 85 | 56 |
| Ⅵ | 神経系の疾患 | 151 | 18 |
| Ⅶ | 眼および付属器の疾患 | 633 | 4 |
| Ⅷ | 耳および乳様突起の疾患 | 119 | 11 |
| Ⅸ | 循環器系の疾患 | 536 | 20 |
| Ⅹ | 呼吸器系の疾患 | 474 | 14 |
| Ⅺ | 消化器系の疾患 | 527 | 12 |
| Ⅻ | 皮膚および皮下組織の疾患 | 165 | 20 |
| ⅩⅢ | 筋骨格系および結合組織の疾患 | 179 | 43 |
| ⅩⅣ | 尿路性器系の疾患 | 446 | 9 |
| ⅩⅤ | 妊娠、分娩および産褥 | 536 | 9 |
| ⅩⅥ | 周産期に発生した病態 | 67 | 10 |
| ⅩⅦ | 先天奇形、変形および染色体異常 | 14 | 6 |
| ⅩⅧ | 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 43 | 17 |
| ⅩⅨ | 損傷、中毒およびその他に外因の影響 | 190 | 31 |
| ⅩⅩⅠ | 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 | 343 | 1 |
| 総計 | | 6740 | 15 |



## 5）手術統計

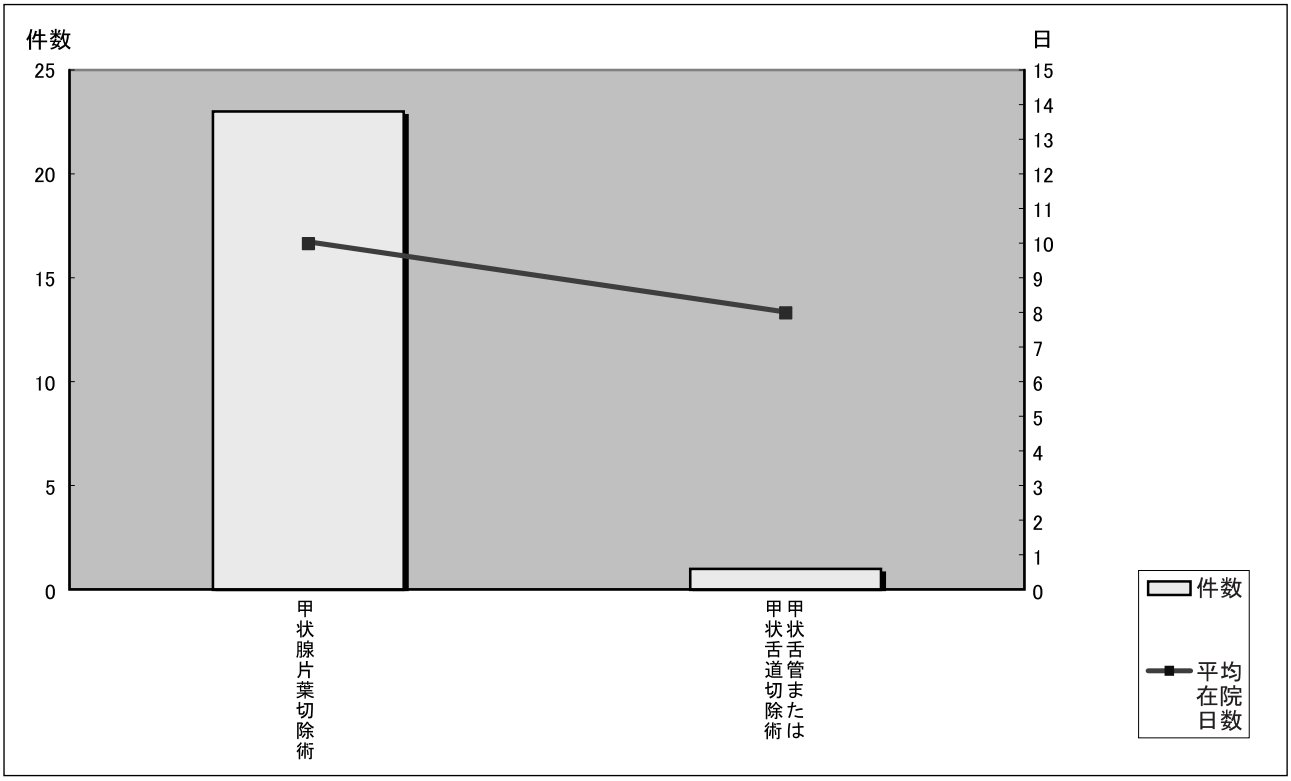
### 2009年1月～12月－1.神経系の手術（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 脊柱管構造物の診査および減圧術 | 25 | 50 |
| 脳神経および末梢神経の破壊術 | 2 | 5 |



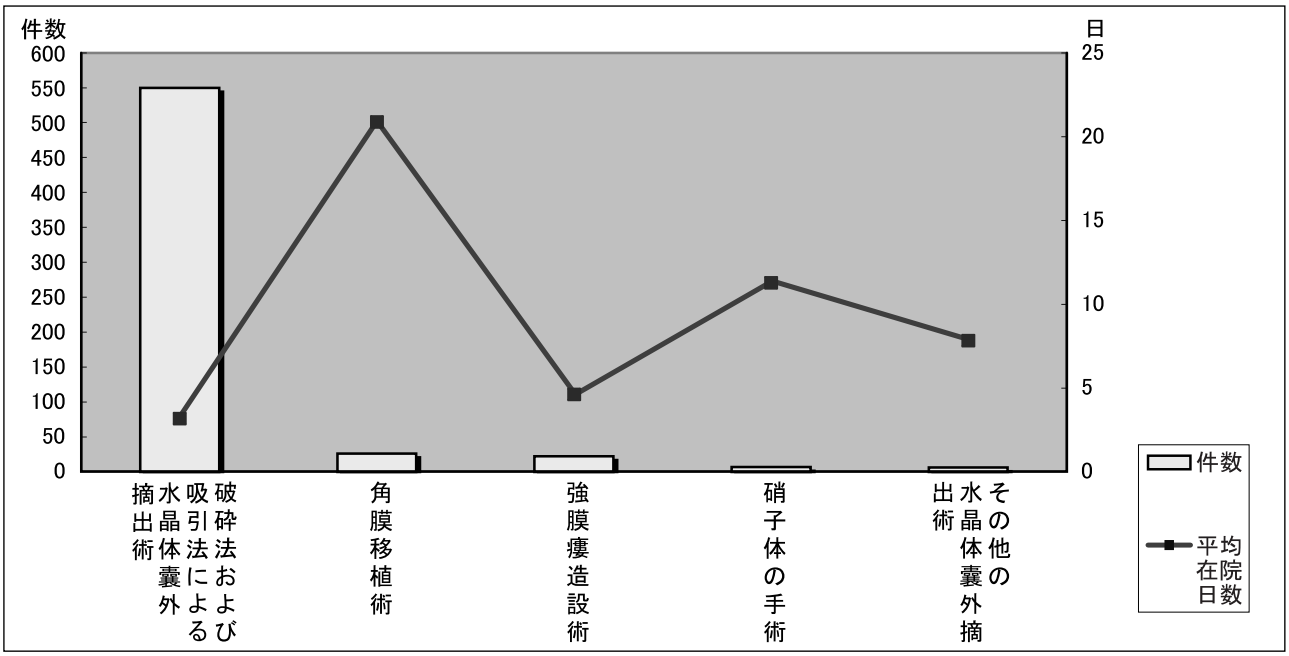

### 2009年1月～12月－2.内分泌系の手術（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 甲状腺片葉切除術 | 23 | 10 |
| 甲状舌管または甲状舌道切除術 | 1 | 8 |



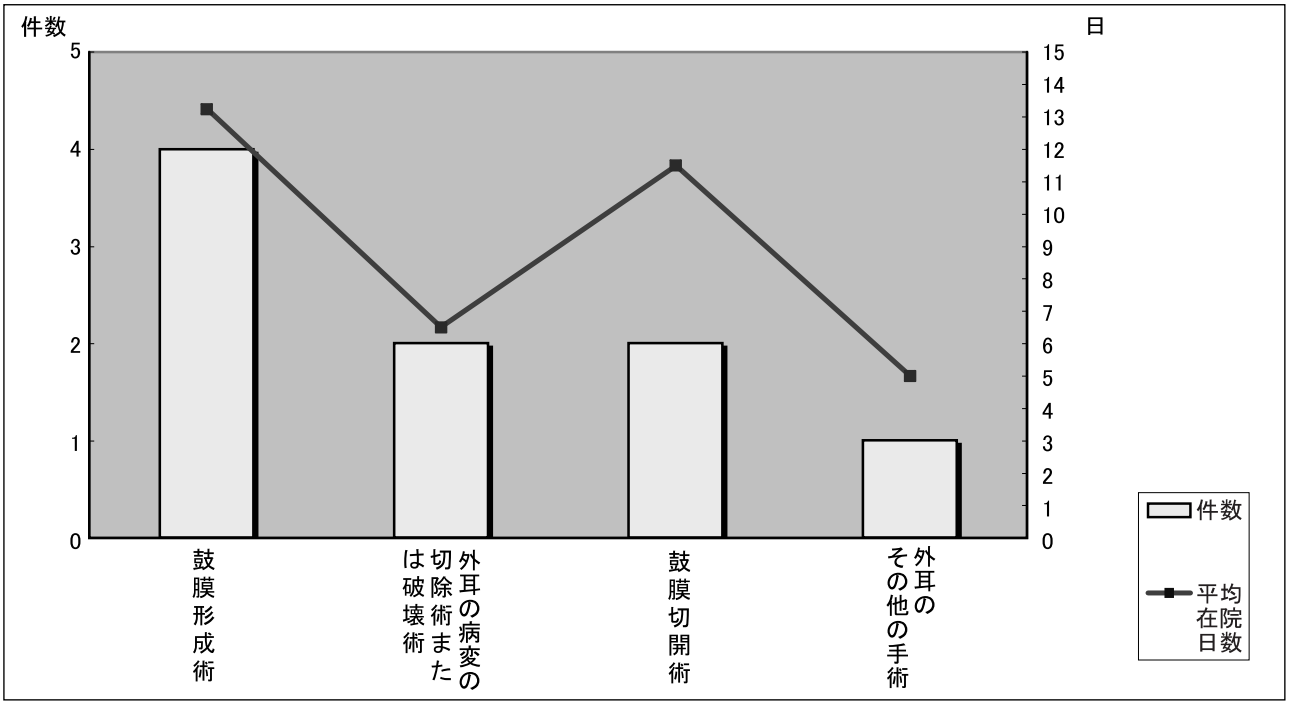
2009年1月～12月－3.目の手術トップ5（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 破砕法および吸引法による水晶体嚢外摘出術 | 550 | 3 |
| 角膜移植術 | 26 | 21 |
| 強膜瘻造設術 | 22 | 5 |
| 硝子体の手術 | 7 | 11 |
| その他の水晶体嚢外摘出術 | 6 | 8 |



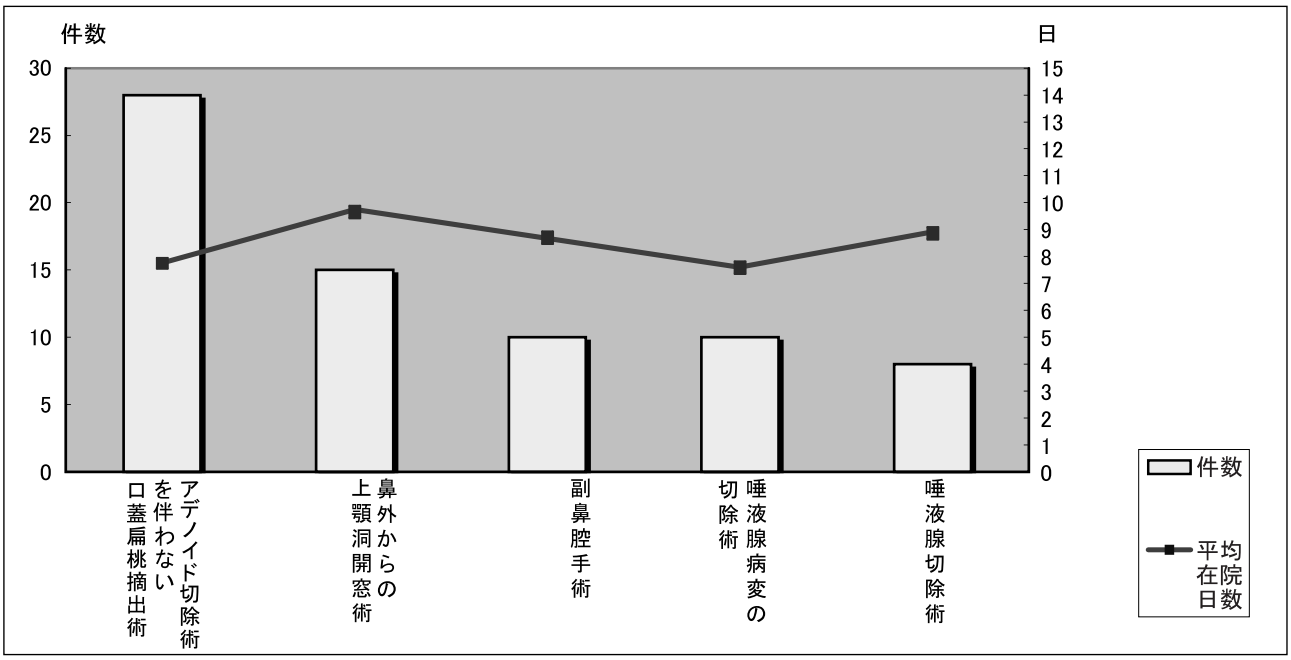

2009年1月～12月－4.耳の手術（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 鼓膜形成術 | 4 | 13 |
| 外耳の病変の切除術または破壊術 | 2 | 7 |
| 鼓膜切開術 | 2 | 12 |
| 外耳のその他の手術 | 1 | 5 |



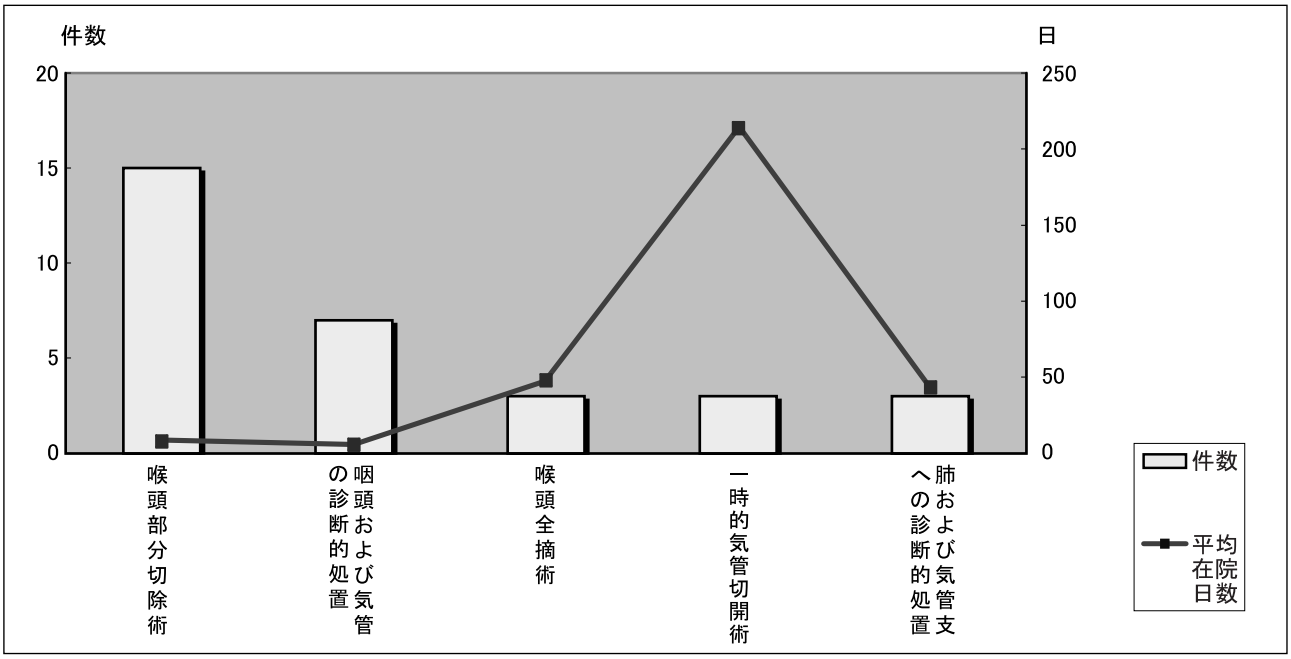
2009年1月～12月－5.鼻、口、及び咽頭の手術トップ5（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| アデノイド切除術を伴わない口蓋扁桃摘出術 | 28 | 8 |
| 鼻外からの上顎洞開窓術 | 15 | 10 |
| 副鼻腔手術 | 10 | 9 |
| 唾液腺病変の切除術 | 10 | 8 |
| 唾液腺切除術 | 8 | 9 |



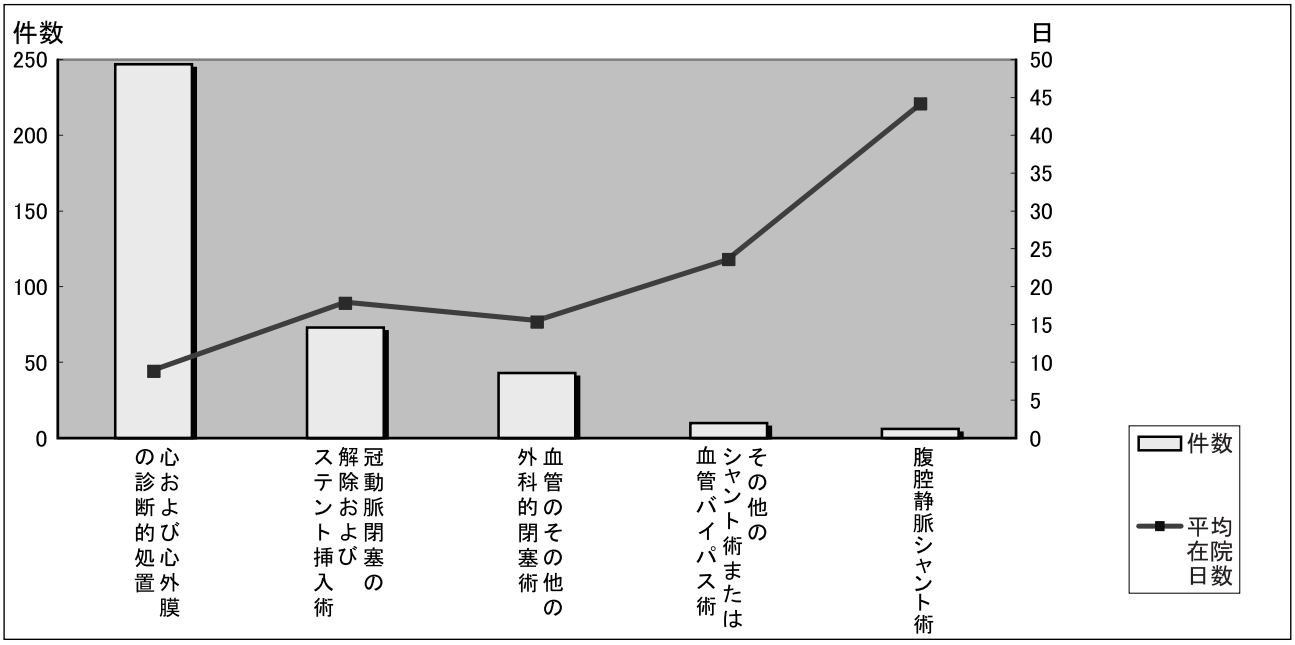

2009年1月～12月－6.呼吸器系の手術トップ5（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 喉頭部分切除術 | 15 | 8 |
| 咽頭および気管の診断的処置 | 7 | 6 |
| 喉頭全摘術 | 3 | 48 |
| 一時的気管切開術 | 3 | 214 |
| 肺および気管支への診断的処置 | 3 | 43 |



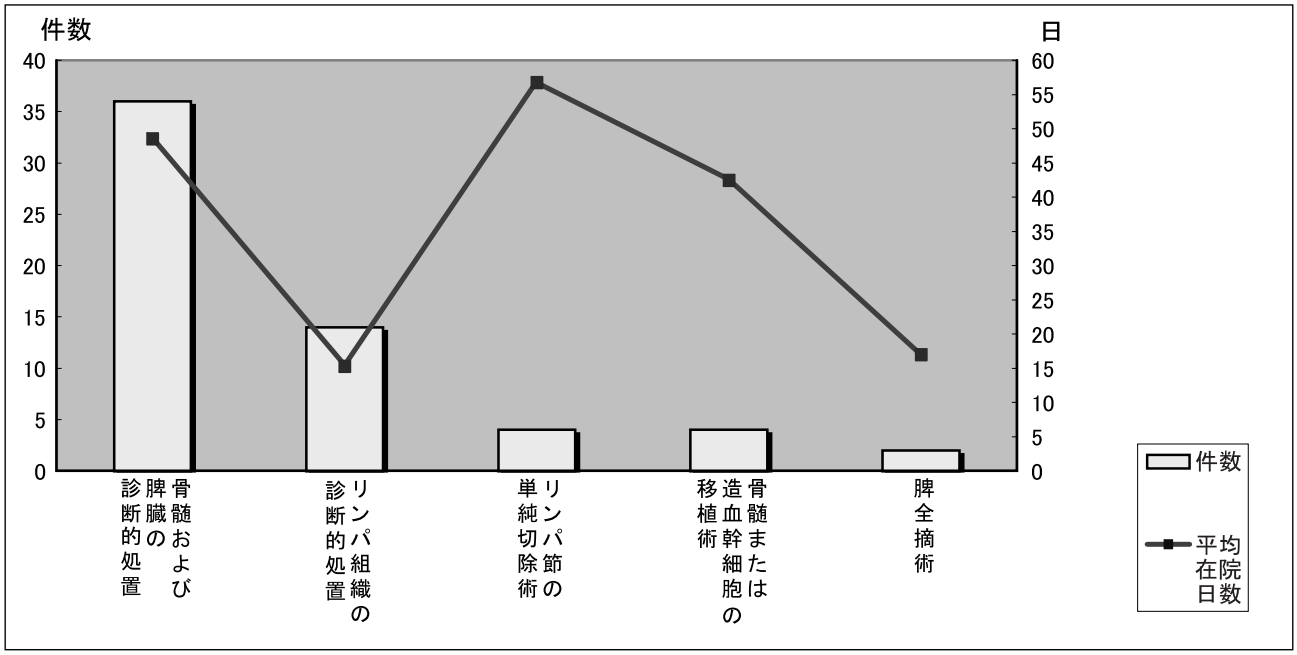
2009年1月～12月－7.循環器系の手術トップ5（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 心および心外膜の診断的処置 | 247 | 9 |
| 冠動脈閉塞の解除およびステント挿入術 | 73 | 18 |
| 血管のその他の外科的閉塞術 | 43 | 15 |
| その他のシャント術または血管バイパス術 | 10 | 24 |
| 腹腔静脈シャント術 | 6 | 44 |



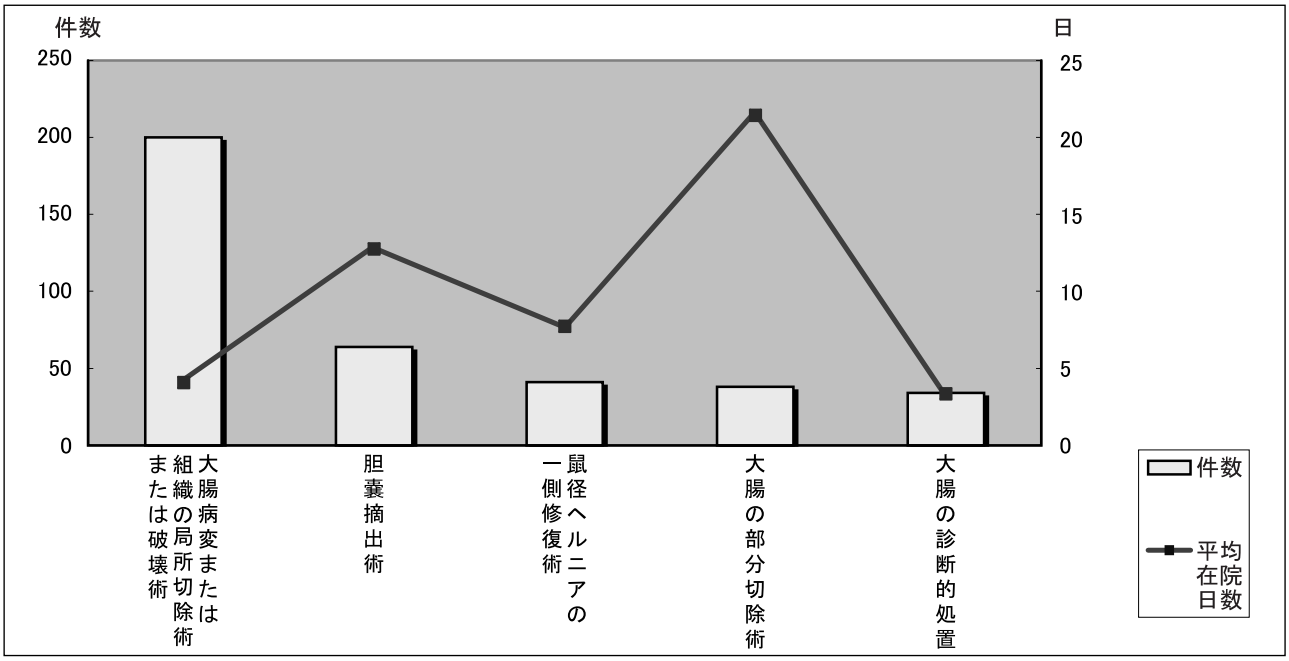

2009年1月～12月－8.血液系及びリンパ系の手術トップ5（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 骨髄および脾臓の診断的処置 | 36 | 49 |
| リンパ組織の診断的処置 | 14 | 15 |
| リンパ節の単純切除術 | 4 | 57 |
| 骨髄または造血幹細胞の移植術 | 4 | 43 |
| 脾全摘術 | 2 | 17 |



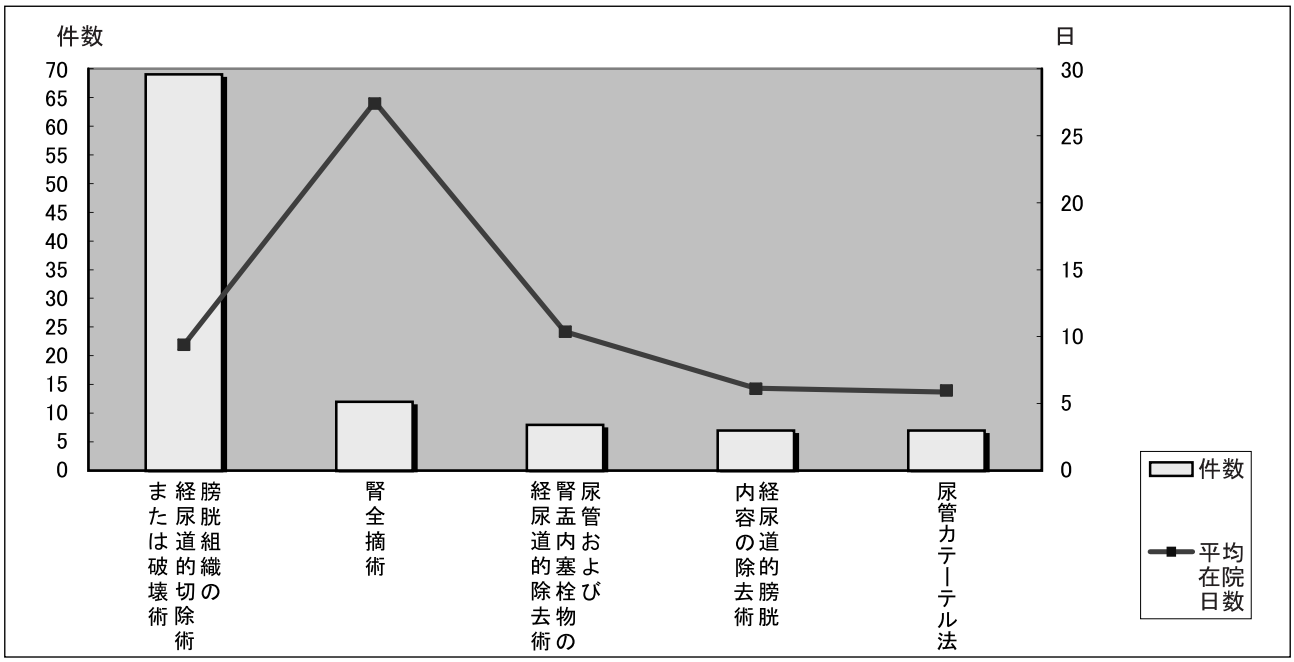
2009年1月～12月－9.消化器系の手術トップ5（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 大腸病変または組織の局所切除術または破壊術 | 200 | 4 |
| 胆嚢摘出術 | 64 | 13 |
| 鼠径ヘルニアの一側修復術 | 41 | 8 |
| 大腸の部分切除術 | 38 | 21 |
| 大腸の診断的処置 | 34 | 3 |



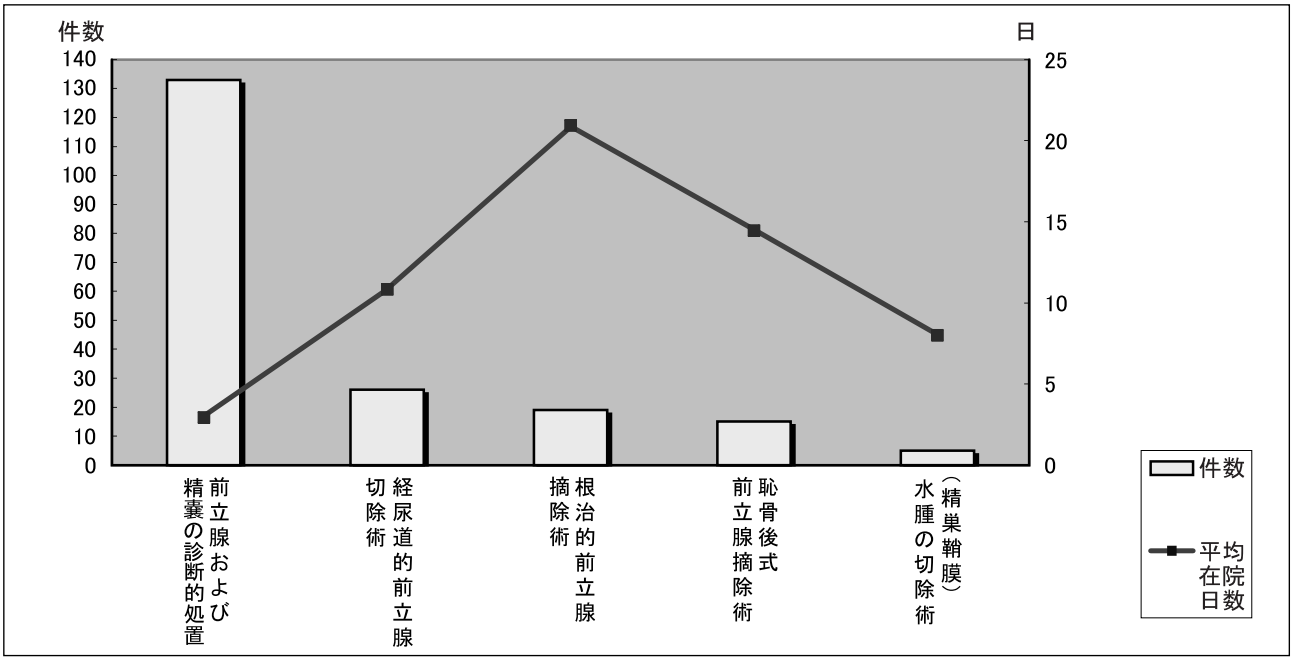

2009年1月～12月－10.尿路系の手術トップ5（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 膀胱組織の経尿道的切除術または破壊術 | 69 | 9 |
| 腎全摘術 | 12 | 27 |
| 尿管および腎盂内塞栓物の経尿道的除去術 | 8 | 10 |
| 経尿道的膀胱内容の除去術 | 7 | 6 |
| 尿管カテーテル法 | 7 | 6 |



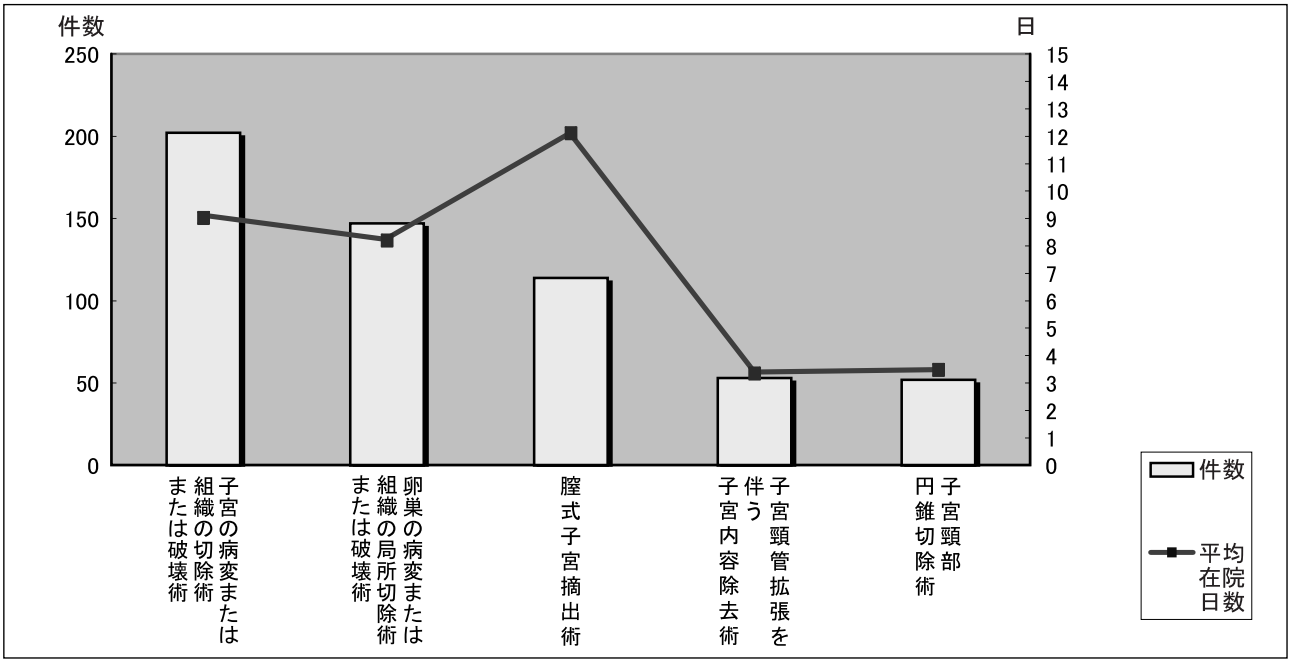
2009年1月～12月－11.男性生殖器の手術トップ5（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 前立腺および精嚢の診断的処置 | 133 | 3 |
| 経尿道的前立腺切除術 | 26 | 11 |
| 根治的前立腺摘除術 | 19 | 21 |
| 恥骨後式前立腺摘除術 | 15 | 14 |
| （精巣鞘膜）水腫の切除術 | 5 | 8 |



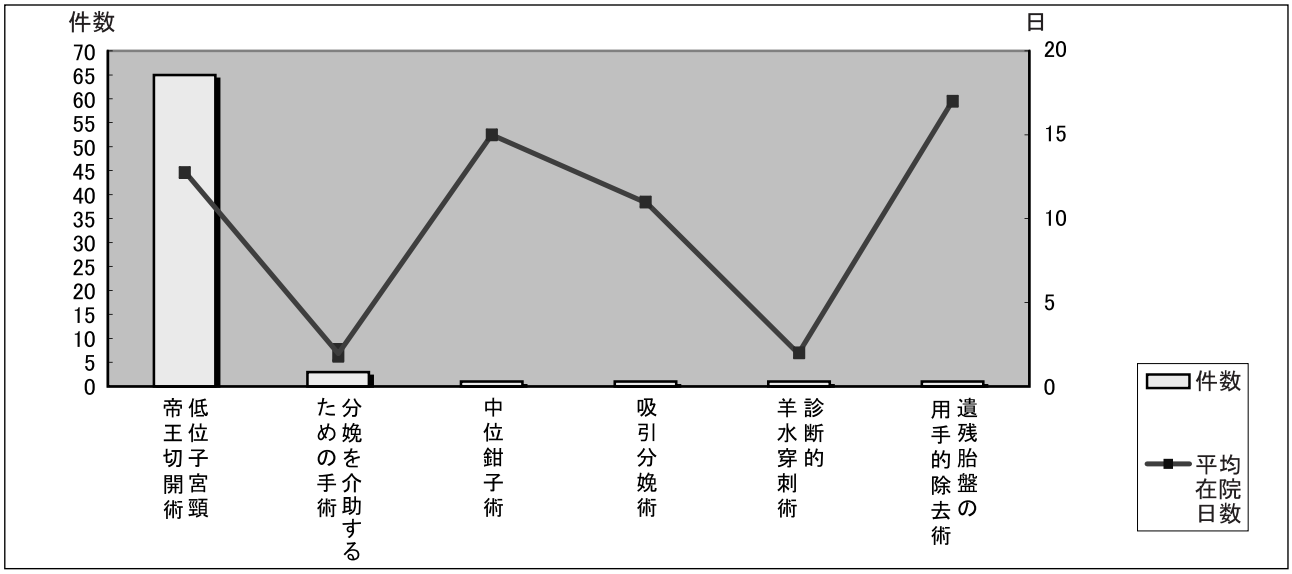

2009年1月～12月－12.女性生殖器の手術トップ5（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 子宮の病変または組織の切除術または破壊術 | 202 | 9 |
| 卵巣の病変または組織の局所切除術または破壊術 | 147 | 8 |
| 膣式子宮摘出術 | 114 | 12 |
| 子宮頸管拡張を伴う子宮内容除去術 | 53 | 3 |
| 子宮頸部円錐切除術 | 52 | 3 |



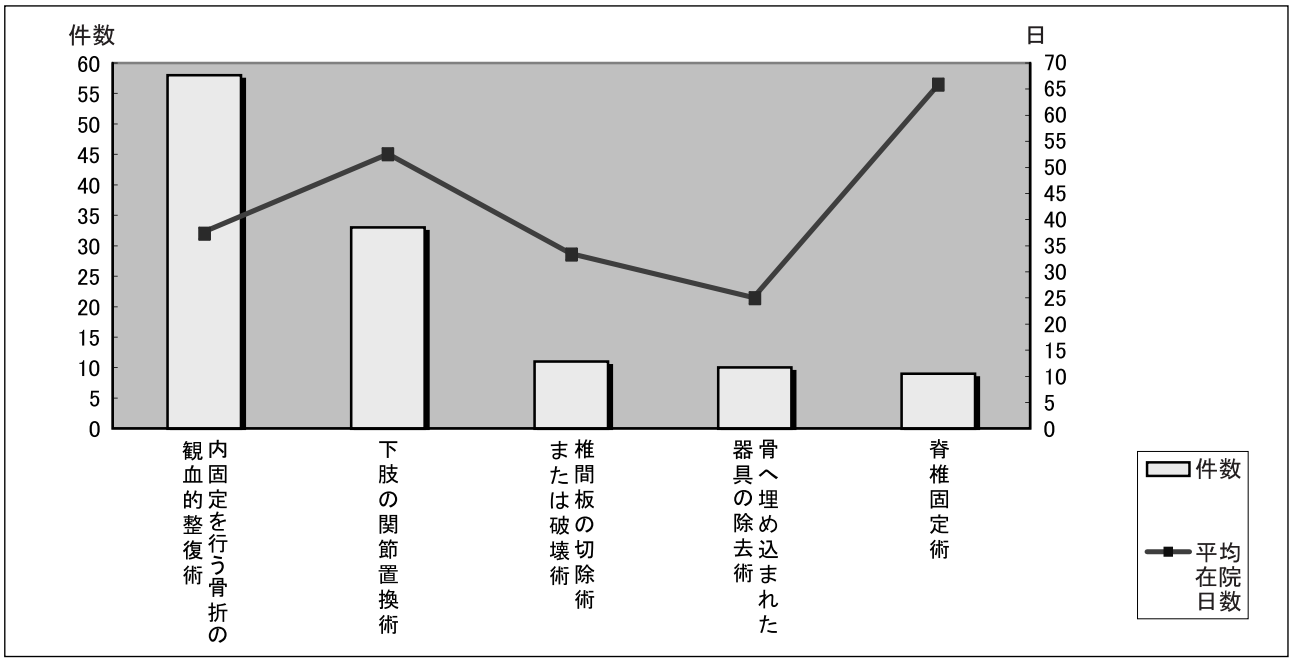
2009年1月～12月－13.産科的処置（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 低位子宮頸帝王切開術 | 65 | 13 |
| 分娩を介助するための手術 | 3 | 2 |
| 中位鉗子術 | 1 | 15 |
| 吸引分娩術 | 1 | 11 |
| 診断的羊水穿刺術 | 1 | 2 |
| 遺残胎盤の用手的除去術 | 1 | 17 |
| その他の分娩時新鮮裂傷の修復術 | 1 | 13 |



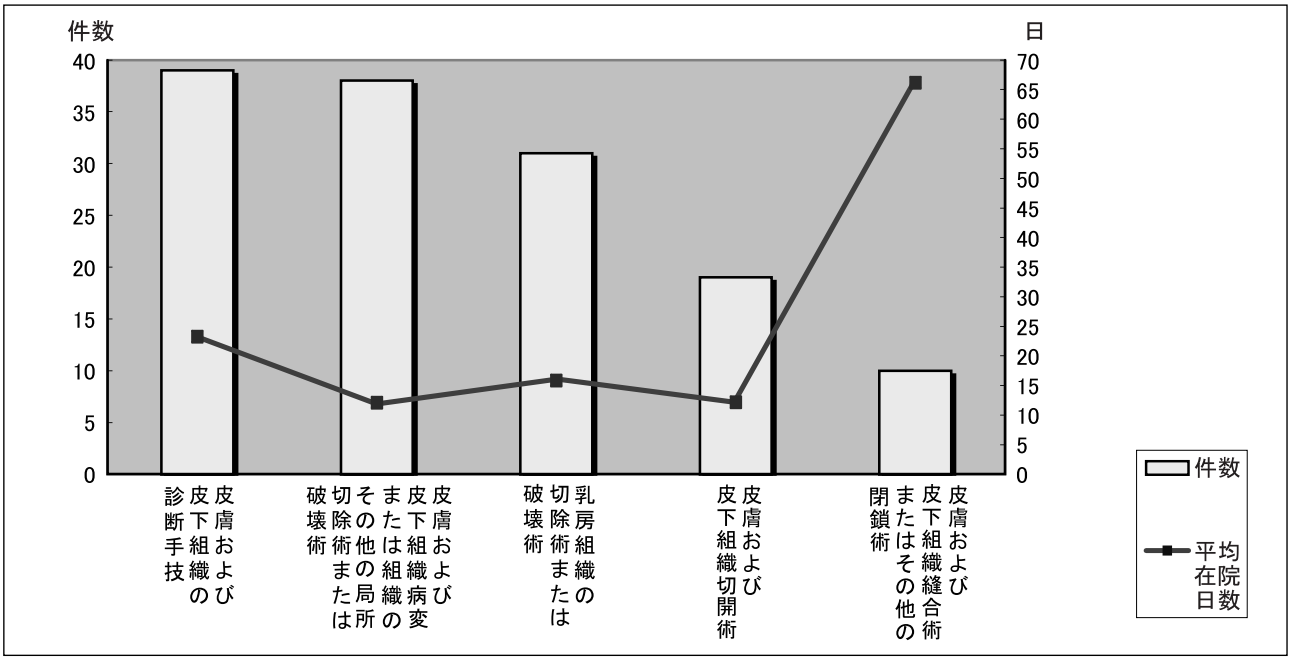

2009年1月～12月－14.筋骨格系の手術トップ5（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 内固定を行う骨折の観血的整復術 | 58 | 37 |
| 下肢の関節置換術 | 33 | 53 |
| 椎間板の切除術または破壊術 | 11 | 33 |
| 骨へ埋め込まれた器具の除去術 | 10 | 25 |
| 脊椎固定術 | 9 | 66 |



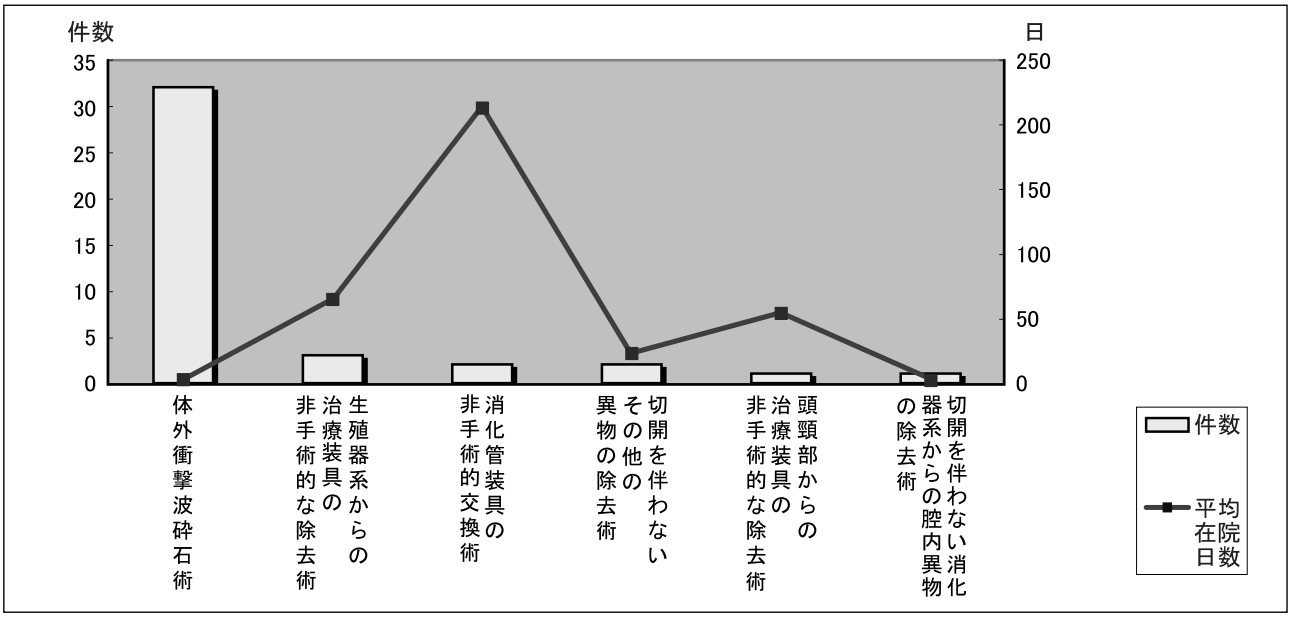
2009年1月～12月－15.表皮組織の手術トップ5（件数・平均在院日数）

| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 皮膚および皮下組織の診断手技 | 39 | 23 |
| 皮膚および皮下組織病変または組織のその他の局所切除術または破壊術 | 38 | 12 |
| 乳房組織の切除術または破壊術 | 31 | 16 |
| 皮膚および皮下組織切開術 | 19 | 12 |
| 皮膚および皮下組織縫合術またはその他の閉鎖術 | 10 | 66 |




2009年1月～12月－16.多種の診断および治療（件数・平均在院日数）

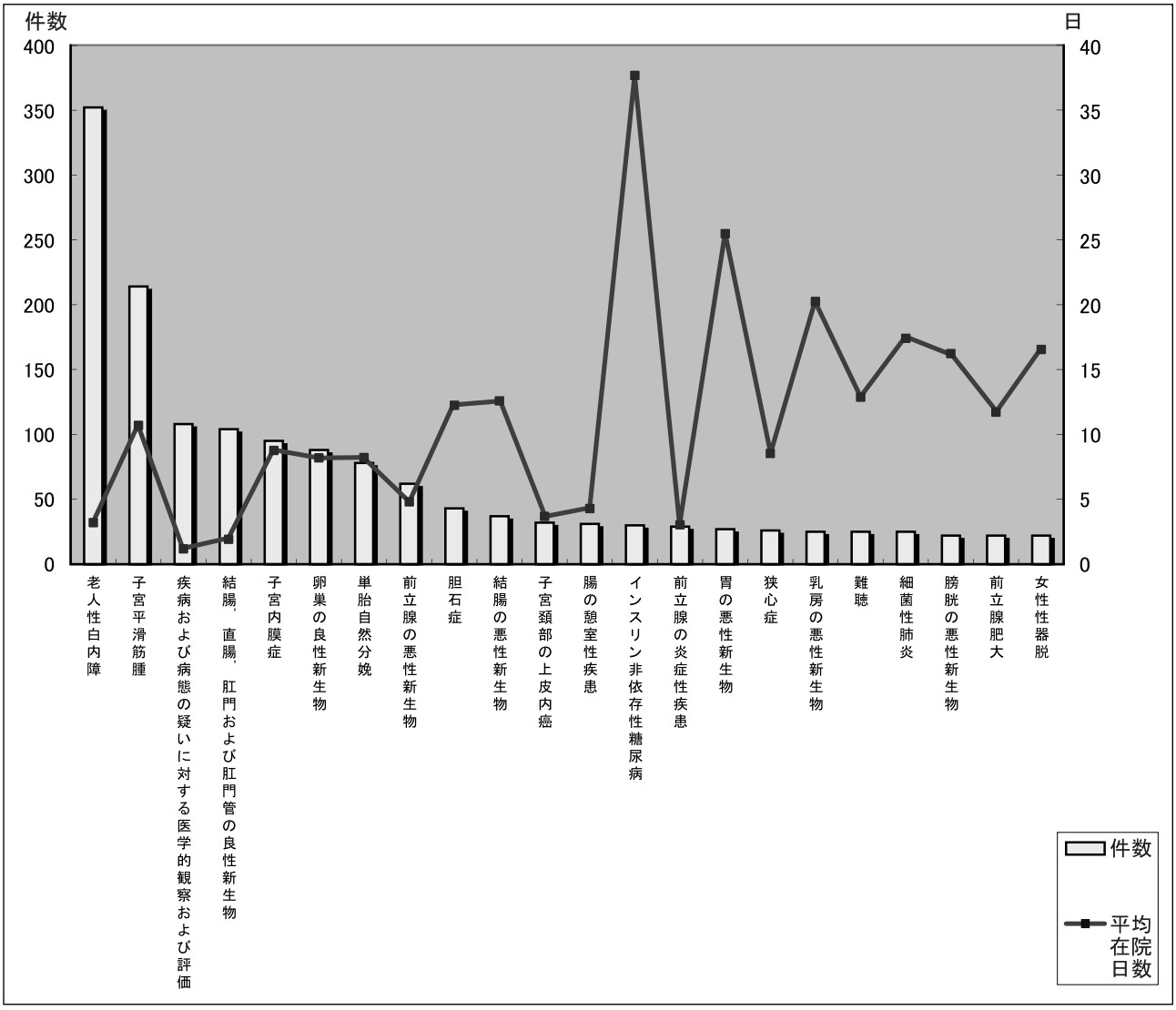
| 主手術名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 体外衝撃波砕石術 | 32 | 3 |
| 生殖器系からの治療装具の非手術的な除去術 | 3 | 65 |
| 消化管装具の非手術的交換術 | 2 | 213 |
| 切開を伴わないその他の異物の除去術 | 2 | 23 |
| 頭頸部からの治療装具の非手術的な除去術 | 1 | 54 |
| 切開を伴わない消化器系からの腔内異物の除去術 | 1 | 2 |



## 6)紹介入院患者　疾患トップ20

◆　2009年1月～12月紹介入院患者－疾患トップ20(件数・平均在院日数)

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 老人性白内障 | 352 | 3 |
| 子宮平滑筋腫 | 214 | 11 |
| 疾病および病態の疑いに対する医学的観察および評価 | 108 | 1 |
| 結腸，直腸，肛門および肛門管の良性新生物 | 104 | 2 |
| 子宮内膜症 | 95 | 9 |
| 卵巣の良性新生物 | 88 | 8 |
| 単胎自然分娩 | 78 | 8 |
| 前立腺の悪性新生物 | 62 | 5 |
| 胆石症 | 43 | 12 |
| 結腸の悪性新生物 | 37 | 13 |
| 子宮頚部の上皮内癌 | 32 | 4 |
| 腸の憩室性疾患 | 31 | 4 |
| インスリン非依存性糖尿病 | 30 | 38 |
| 前立腺の炎症性疾患 | 29 | 3 |
| 胃の悪性新生物 | 27 | 25 |
| 狭心症 | 26 | 9 |
| 乳房の悪性新生物 | 25 | 20 |
| 難聴 | 25 | 13 |
| 細菌性肺炎 | 25 | 17 |
| 膀胱の悪性新生物 | 22 | 16 |
| 前立腺肥大 | 22 | 12 |
| 女性性器脱 | 22 | 17 |



◆ 2009年1月～12月紹介入院患者ー科別疾患トップ3（件数・平均在院日数）

○ 循環器科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 狭心症 | 26 | 9 |
| 心不全 | 19 | 64 |
| 慢性虚血性心疾患 | 12 | 6 |

○ 消化器科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 結腸，直腸，肛門および肛門管の良性新生物 | 104 | 2 |
| 疾病および病態の疑いに対する医学的観察および評価 | 99 | 1 |
| 腸の憩室性疾患 | 25 | 1 |

○ 総合内科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| インスリン非依存性糖尿病 | 28 | 37 |
| 細菌性肺炎 | 11 | 17 |
| 慢性関節リウマチ | 6 | 25 |

○ 血液化学療法内科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| びまん性非ホジキンリンパ腫 | 18 | 61 |
| 多発性骨髄腫および悪性形質細胞腫瘍 | 8 | 78 |
| リンパ性白血病 | 8 | 60 |
| 骨髄性白血病 | 8 | 78 |

○ 精神・神経科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| うつ病エピソード | 10 | 69 |
| 双極性感情障害 | 3 | 29 |
| 脳の損傷および機能不全ならびに身体疾患によるその他の精神障害 | 1 | 8 |
| 不安障害 | 1 | 20 |
| 神経症性障害 | 1 | 66 |

○ 小児科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 急性気管支炎 | 13 | 5 |
| 感染性胃腸炎 | 9 | 6 |
| 急性細気管支炎 | 7 | 7 |

○ 外科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 胆石症 | 34 | 12 |
| そけいヘルニア | 19 | 9 |
| 結腸の悪性新生物 | 16 | 25 |

◆ 2009年1月～12月紹介入院患者－科別疾患トップ3（件数・平均在院日数）

○ 乳腺外科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 乳房の悪性新生物 | 23 | 16 |

○ 整形外科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 大腿骨骨折 | 20 | 57 |
| 前腕の骨折 | 12 | 21 |
| 脊椎障害 | 11 | 47 |

○ 皮膚科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 乾癬 | 16 | 25 |
| 帯状疱疹 | 14 | 8 |
| 蜂巣炎 | 11 | 13 |
| 摂取物質による皮膚炎 | 11 | 18 |

○ 泌尿器科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 前立腺の悪性新生物 | 62 | 5 |
| 前立腺の炎症性疾患 | 29 | 3 |
| 膀胱の悪性新生物 | 22 | 16 |
| 前立腺肥大 | 22 | 12 |

○ 産婦人科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 子宮平滑筋腫 | 214 | 11 |
| 子宮内膜症 | 95 | 9 |
| 卵巣の良性新生物 | 87 | 8 |

○ 眼科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 老人性白内障 | 352 | 3 |
| 角膜の障害 | 13 | 19 |
| 緑内障 | 11 | 3 |

○ 耳鼻科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 難聴 | 25 | 13 |
| 顔面神経障害 | 21 | 12 |
| 扁桃およびアデノイドの慢性疾患 | 18 | 8 |

○ 麻酔科

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 疼痛，他に分類されないもの | 3 | 9 |
| 帯状疱疹 | 2 | 9 |

## 循環器内科・神経内科

1.　スタッフ

副院長兼部長　濱田偉文　：浅野彰彦（神経）　仁科拓也（神経）　中川　厚（循環器）
長谷川浩司（循環器）
専攻医：永田大樹

２．診療活動

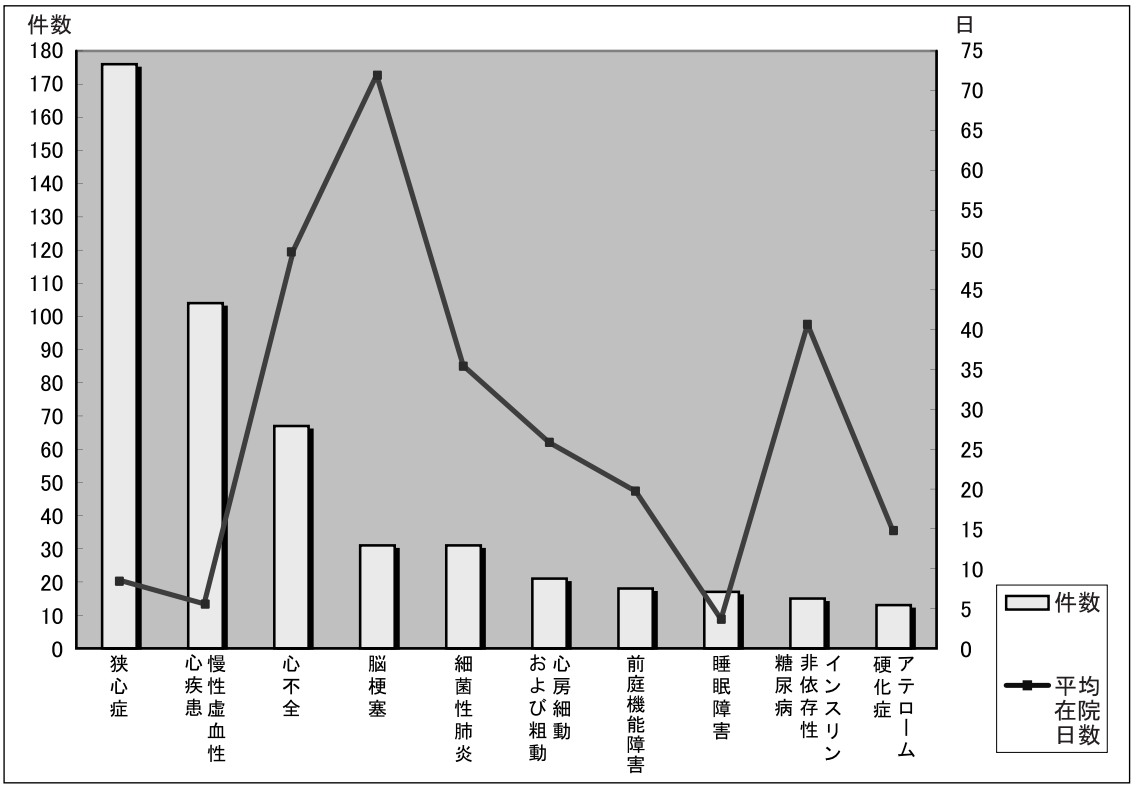
循環器内科では虚血性心疾患、高血圧、高脂血症、心不全、各種不整脈の疾患の診療を行っております。その中心となる疾患は虚血性心疾患でありまして、循環器救急対応を含め中川・長谷川を中心に冠動脈造影検査を 400～500 件/年、PCI（経皮的冠動脈形成術）を 100 件前後/年施行し良好な成績をあげております。また閉塞性動脈硬化症に対する PTA（経皮経管的血管形成術）や深部静脈血栓症に対する肺塞栓症予防のための下大静脈フィルター挿入術等も積極的に行っており、徐脈性不整脈に対しては一時的及び永久的ペースメーカー植え込み術も行っております。また、失神の原因で一番多い神経調節性失神の診断のための斜面台テスト（Head Up Tilt Test）や経頭蓋ドプラー検査等も行っております。その他、一般内科的疾患（急性肺炎・糖尿病等）の入院治療も当科で行っております。

神経内科では浅野・仁科を中心に、めまいや痺れといった身近な症例から、脳梗塞をはじめとする脳血管障害やパーキンソン病等の変性疾患に至るまで、様々な疾患の診断治療に対応し、難病疾患の患者様の在宅療養におきましても、地域の先生方や訪問看護スタッフとの協力体制を組んで、病状の変化に柔軟に対応するように努力しています。

文責　濱田　偉文

**2009年1月～12月－循環器科の疾患トップ10（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 狭心症 | 176 | 8 |
| 慢性虚血性心疾患 | 104 | 6 |
| 心不全 | 67 | 50 |
| 脳梗塞 | 31 | 72 |
| 細菌性肺炎 | 31 | 35 |
| 心房細動および粗動 | 21 | 26 |
| 前庭機能障害 | 18 | 20 |
| 睡眠障害 | 17 | 4 |
| インスリン非依存性糖尿病 | 15 | 41 |
| アテローム硬化症 | 13 | 15 |



## 消化器内科

１．スタッフ

部長　湯川雅彦：村本理　福田昌輝

専攻医：有本伸子

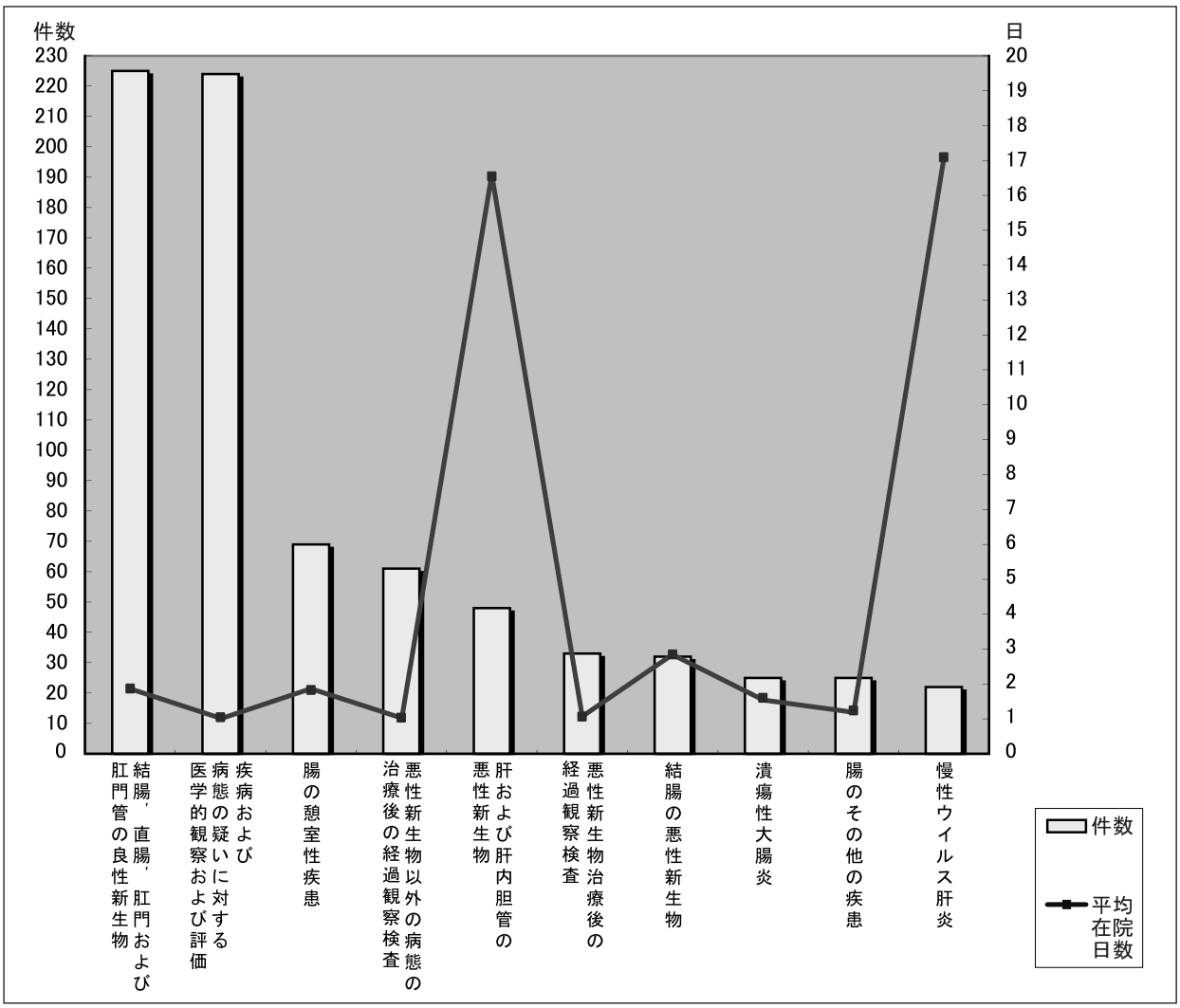
２．診療活動

当科では４名の常勤スタッフで、消化器疾患を主とした診療をおこなっている。消化器癌の早期発見に主眼を置き、当院外科の協力のもと早期治療にあたっている。大腸内視鏡においては挿入法としての軸保持短縮法、診断法としてのピットパターン診断を取り入れ、痛みのない、正確な診断を目指している。大腸内視鏡の件数は増加傾向にある。また、早期胃癌に対しITナイフ等を用いた内視鏡的粘膜下層剥離術を行っている。その他、内視鏡的大腸ポリペクトミー、内視鏡的食道静脈瘤治療、膵・胆管疾患の内視鏡的診断治療、肝癌の治療、C型慢性肝炎に対しペグインターフェロン、リバビリン併用療法などを行っており、手術不能の消化器癌に対する化学療法も行っている。予防医学センター長 中村秀次先生の協力により肝疾患の診療が充実した。

文責　湯川雅彦

**2009年1月～12月－消化器科の疾患トップ10（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 結腸，直腸，肛門および肛門管の良性新生物 | 225 | 2 |
| 疾病および病態の疑いに対する医学的観察および評価 | 224 | 1 |
| 腸の憩室性疾患 | 69 | 2 |
| 悪性新生物以外の病態の治療後の経過観察検査 | 61 | 1 |
| 肝および肝内胆管の悪性新生物 | 48 | 17 |
| 悪性新生物治療後の経過観察検査 | 33 | 1 |
| 結腸の悪性新生物 | 32 | 3 |
| 潰瘍性大腸炎 | 25 | 2 |
| 腸のその他の疾患 | 25 | 1 |
| 慢性ウイルス肝炎 | 22 | 17 |



## 総合内科（内分泌・代謝・糖尿病内科、リウマチ科、アレルギー疾患内科）

1. スタッフ

副院長兼部長　笠山宗正：　三木俊治（兼任）、藤原弘士、森田真也、佐藤文三（名誉院長）
専攻医：宇都佳彦、田渕優希子、前田悠一

2. 診療活動

内分泌疾患・糖尿病・リウマチ・膠原病について専門性の高い診療を行うよう心がけている。

a. 内分泌・代謝・糖尿病内科

糖尿病療養指導士の資格を持つ多職種のコメディカルスタッフの協力を得て、週 4 回糖尿病教室を開催している。外来でのインスリン導入も積極的に実施している。糖尿病の血糖管理や糖尿病合併症の治療を目的とした入院件数が124件に増加した。内分泌疾患では、下垂体機能低下症・下垂体腫瘍の入院が 14 件、クッシング症候群・原発性アルドステロン症・原発性副甲状腺機能亢進症などの入院が 13 件あった。

b. リウマチ科

生物学的製剤による治療をはじめとした関節リウマチ患者の入院が 14 件あった。その他、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎などの膠原病の入院は 29 件と増加した。

c. アレルギー疾患内科

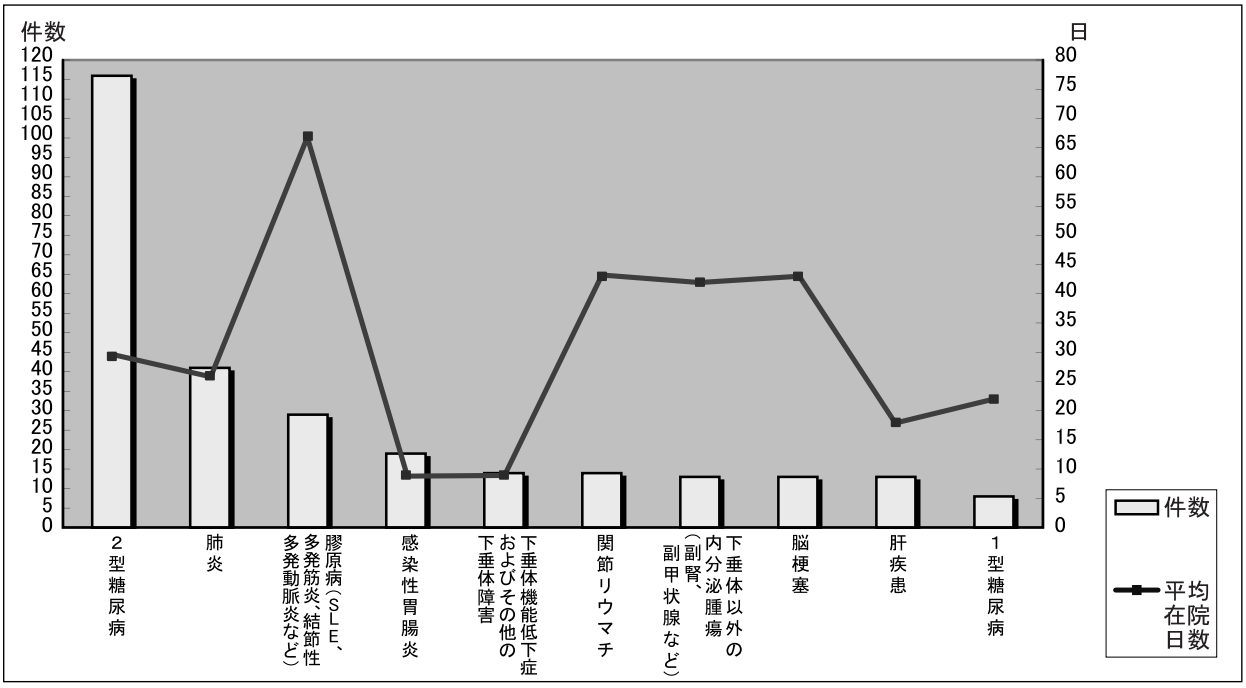
吸入ステロイド薬による治療の普及に伴い喘息の増悪は減少しているが、喘息重責発作による入院が 5 件あった。

d. その他の疾患として、呼吸器感染症 41 件、感染性胃腸炎 19 件、脳梗塞 13 件、肝疾患 13 件などの入院があった。

文責　笠山宗正

**2009年1月～12月－総合内科の疾患トップ10（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| ２型糖尿病 | 116 | 29 |
| 肺炎 | 41 | 26 |
| 膠原病（SLE、多発筋炎、結節性多発動脈炎など） | 29 | 67 |
| 感染性胃腸炎 | 19 | 9 |
| 下垂体機能低下症およびその他の下垂体障害 | 14 | 9 |
| 関節リウマチ | 14 | 43 |
| 下垂体以外の内分泌腫瘍（副腎、副甲状腺など） | 13 | 42 |
| 脳梗塞 | 13 | 43 |
| 肝疾患 | 13 | 18 |
| １型糖尿病 | 8 | 22 |



## 血液・化学療法内科

１．スタッフ

部長　中川雅史：川上　学　長谷井仁美

２．診療活動

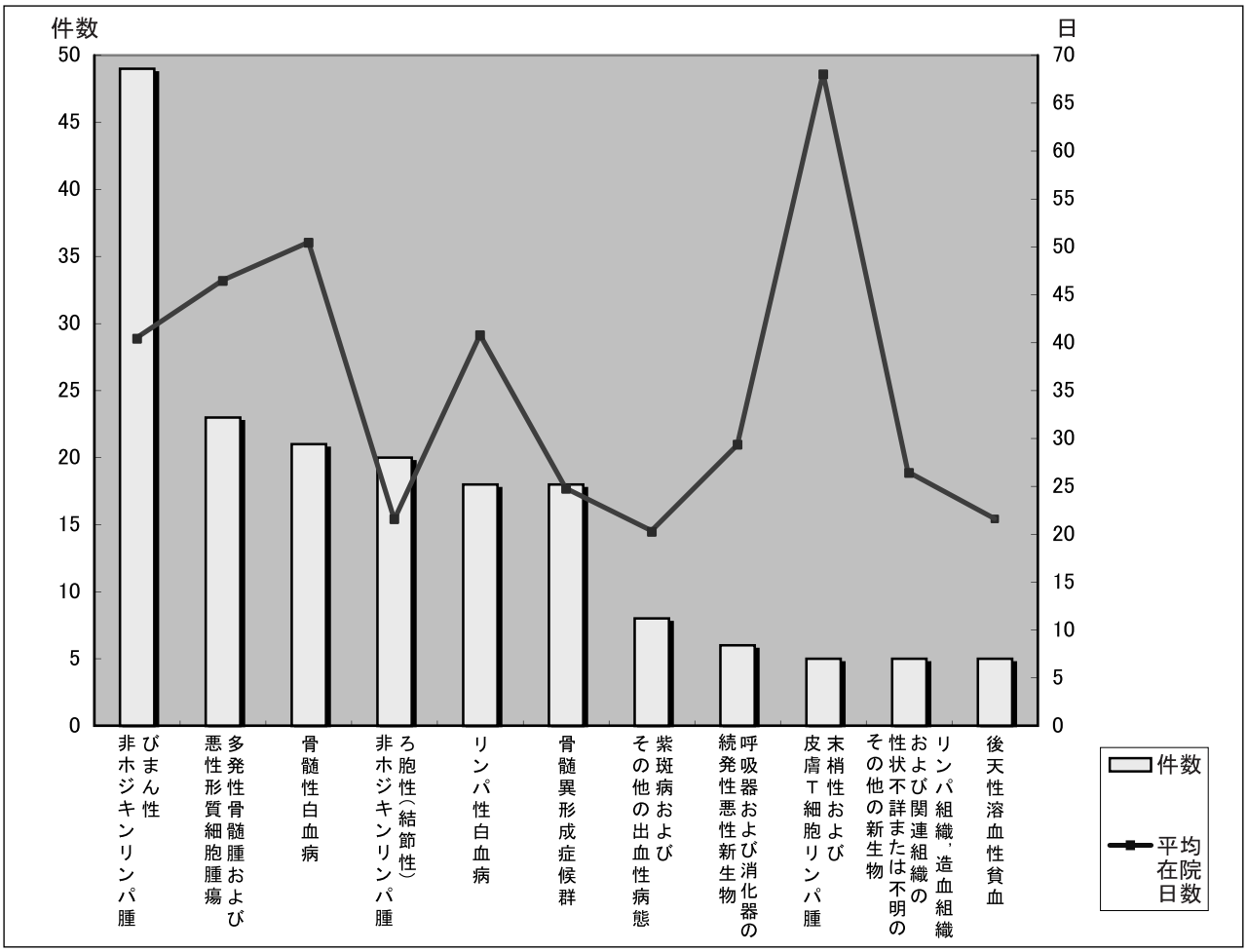
急性白血病・慢性白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫などの血液悪性疾患および、溶血性貧血・再生不良性貧血・特発性血小板減少性紫斑病など、血液疾患の全般的に診察にあたっている。特に、再発・難治性悪性リンパ腫や多発性骨髄腫に対する自己末梢血幹細胞移植併用大量化学療法に積極的に取り組んでいる。また、同種骨髄移植に関しても、スタッフ全員が十分な経験を有しており、移植前の管理・移植病院へのスムーズな引き継ぎ・移植後ケアーなどすべての面で診療を行なっている。一方、高齢化にともない増加傾向を認める骨髄異形成症候群に対しても、地域の血液専門診療科として、積極的に在宅・通院治療に取り組んでいる。

診療実績として代表的な疾患は、骨髄性白血病：２１例、リンパ性白血病：１８例、悪性リンパ腫（非ホジキンリンパ腫、ホジキン病、成人Ｔ細胞リンパ腫/白血病）：７４例、多発性骨髄腫：２３例、骨髄異形成症候群１８例、特発性血小板減少症：８例（入院実績・延べ）　などである。

文責　中川雅史

**2009年1月～12月－血液化学療法内科の疾患トップ10（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| びまん性非ホジキンリンパ腫 | 49 | 40 |
| 多発性骨髄腫および悪性形質細胞腫瘍 | 23 | 46 |
| 骨髄性白血病 | 21 | 50 |
| ろ胞性（結節性）非ホジキンリンパ腫 | 20 | 22 |
| リンパ性白血病 | 18 | 41 |
| 骨髄異形成症候群 | 18 | 25 |
| 紫斑病およびその他の出血性病態 | 8 | 20 |
| 呼吸器および消化器の続発性悪性新生物 | 6 | 29 |
| 末梢性および皮膚Ｔ細胞リンパ腫 | 5 | 68 |
| リンパ組織，造血組織および関連組織の性状不詳または不明のその他の新生物 | 5 | 26 |
| 後天性溶血性貧血 | 5 | 22 |



## 神経科・精神科

1. スタッフ
　部長　江川　功　：　高橋　励

2. 診療活動：当科の診療活動は外来（専門外来を含む）、自科入院、他科入院患者の診療の３つである。

一般外来では、うつ病、パニック障害、適応障害などの一般的な加療のほか、身体表現性障害、強迫性障害、全般性不安障害などの神経症圏のものが多い。専門外来は一般診療の時間枠内で行われており慢性疲労症候群、てんかん、睡眠障害等に対応している。また平成22年より常勤となる木藤友実子らが認知症の早期診断を行っており、まだ症例数は少ないものの地域からの紹介も増加傾向にある。外来での心理検査では、認知症スクリーニング、ストレス測定バッテリー、人格障害スクリーニング、うつ病の重症度評価などを行っている。また患者の希望に応じ一部症例ではカウンセリングも施行している。

自科入院は精神科を標榜する一般病棟での診療であり、入院患者の内訳は図に示す通りうつ病が中心となっているが、神経症圏、てんかん及び一部軽症の統合失調症の患者の入院も受け入れている。これは当科を受診する患者の傾向を一部反映していると考えられるが、一方で、精神病圏、認知症を含む症状性・器質性精神障害は入院よりも外来における診療が中心となっている。

近年入院加療を行っている総合病院精神科の減少が続いており、診療所からの紹介患者の受け入れが従来よりも高まっている。社会的要因や疾患の特徴などから単科での入院が困難なケースにはできる限り対応するように心がけている。

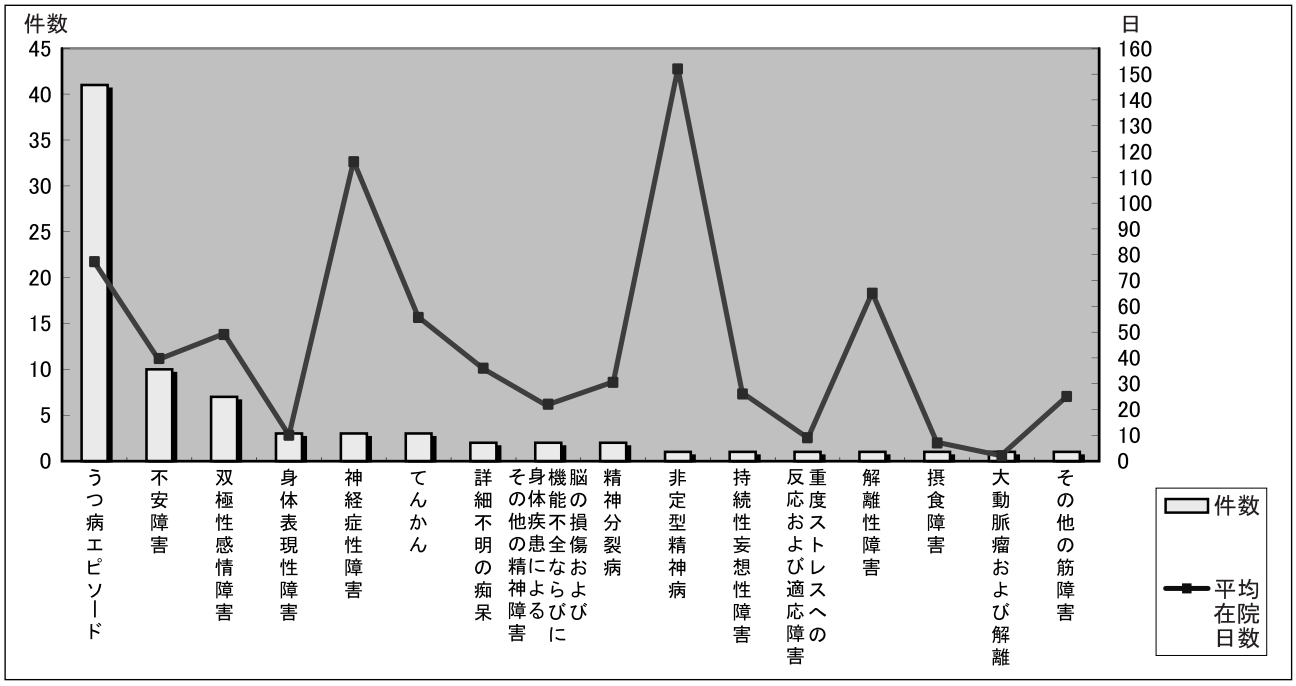
院内の他科入院患者の診察依頼は共観および往診の形態で行われており、適応障害、せん妄、身体化病態などへの対応が中心となっている。またがん治療センターの設立に伴い緩和ケアへの取り組みも高橋、丸山（臨床心理士）を中心に積極的に行っている。

平成22年度よりは企業のメンタルヘルス等にも予防センターとともに取り組んでいきたい。

文責　江川　功

**2009年1月～12月－精神・神経科の疾患（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| うつ病エピソード | 41 | 77 |
| 不安障害 | 10 | 40 |
| 双極性感情障害 | 7 | 49 |
| 身体表現性障害 | 3 | 10 |
| 神経症性障害 | 3 | 116 |
| てんかん | 3 | 56 |
| 詳細不明の痴呆 | 2 | 36 |
| 脳の損傷および機能不全ならびに身体疾患によるその他の精神障害 | 2 | 22 |
| 精神分裂病 | 2 | 31 |
| 非定型精神病 | 1 | 152 |
| 持続性妄想性障害 | 1 | 26 |
| 重度ストレスへの反応および適応障害 | 1 | 9 |
| 解離性障害 | 1 | 65 |
| 摂食障害 | 1 | 7 |
| 大動脈瘤および解離 | 1 | 2 |
| その他の筋障害 | 1 | 25 |



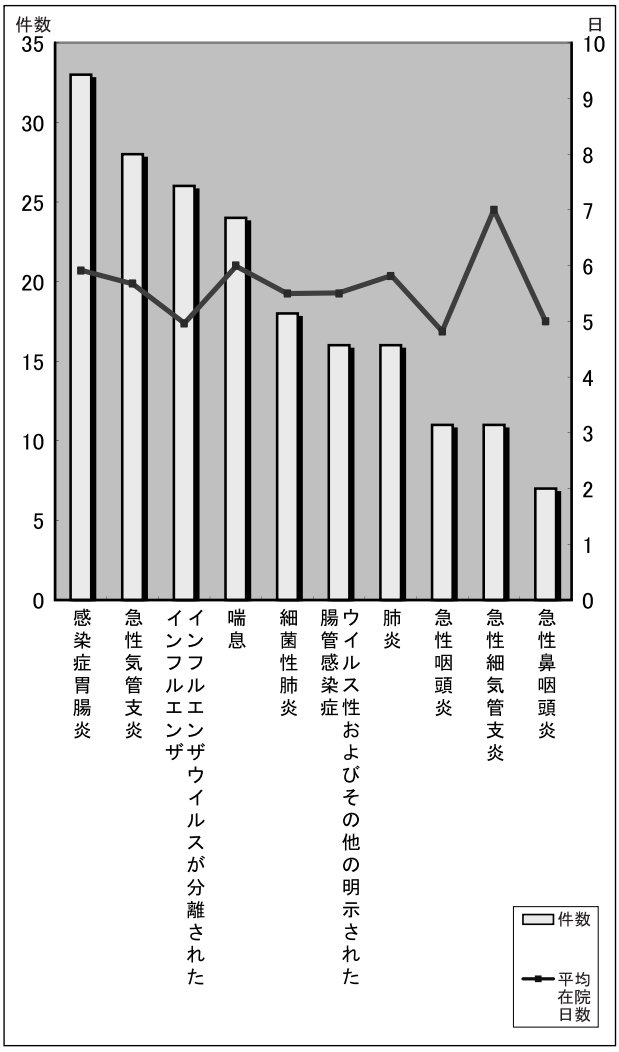
## 小児科

1. スタッフ
   部長　杉本久和　：　山根秀一
   専攻医：林田雅子（3 月まで）
2. 診療活動
   a. 林田雅子医師の退職に伴い、常勤医が 4 月以降、1 名減員となった。
   b. 本年の総入院件数は 304 件で前年に比して 9 件増、そのうち小児科入院した新生児は 68 件で、前年に比して 14 件減であった。
   c. 一般小児科入院は例年通り、大半が感染症によるものであった。
   d. 新型インフルエンザ(AH1N1pdm)の発生・流行に伴い、14 件が入院したが、幸い重症化したものはなかった。
   e. 川崎病は 2 件で、ともに超大量ガンマグロブリン療法が著効した。
   f. 心臓カテーテル検査は 2 件で、1 件は大動脈弓離断の大動脈再建部の狭窄の疑いのもの、1 件は動脈管開存症に対して、コイルによる動脈管閉塞術を行ったものである。
   g. 総出生数は 395 件でそのうち約 17%に当たる 68 件が小児科入院となった。仮死および呼吸障害による入院が 42 件(62%)、在胎週数短縮もしくは低体重によるものが 9 件(13%)を占めた。
   h. 新生児搬送になったのは、新生児一過性多呼吸が疑われたが呼吸不全をきたした 1 件と、生後チアノーゼを認め、重度先天性肺動脈弁狭窄症と診断された 1 件であった。

文責　杉本久和、山根秀一

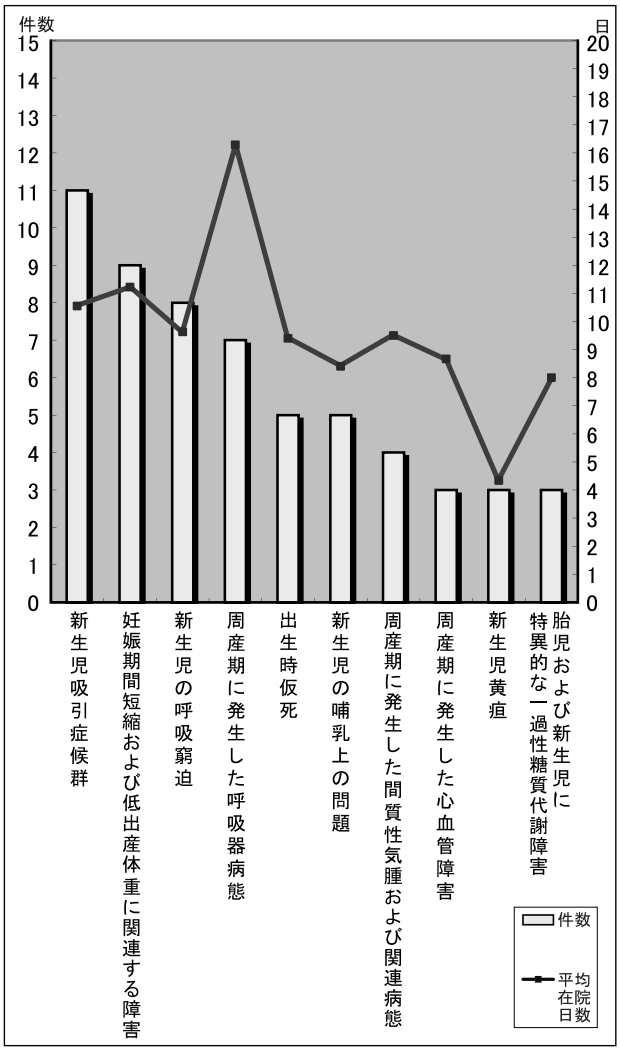
**2009年1月～12月－小児科の疾患トップ10（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 感染性胃腸炎 | 33 | 6 |
| 急性気管支炎 | 28 | 6 |
| インフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ | 26 | 5 |
| 喘息 | 24 | 6 |
| 細菌性肺炎 | 18 | 6 |
| ウイルス性およびその他の明示された腸管感染症 | 16 | 6 |
| 肺炎 | 16 | 6 |
| 急性咽頭炎 | 11 | 5 |
| 急性細気管支炎 | 11 | 7 |
| 急性鼻咽頭炎 | 7 | 5 |




**2009年1月～12月－新生児の疾患トップ10（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 新生児吸引症候群 | 11 | 11 |
| 妊娠期間短縮および低出産体重に関連する障害 | 9 | 11 |
| 新生児の呼吸窮迫 | 8 | 10 |
| 周産期に発生した呼吸器病態 | 7 | 16 |
| 出生時仮死 | 5 | 9 |
| 新生児の哺乳上の問題 | 5 | 8 |
| 周産期に発生した間質性気腫および関連病態 | 4 | 10 |
| 周産期に発生した心血管障害 | 3 | 9 |
| 新生児黄疸 | 3 | 4 |
| 胎児および新生児に特異的な一過性糖質代謝障害 | 3 | 8 |



## 消化器･一般外科

1.　スタッフ

部長　藤川正博　：　黄　泰平、安政啓吾、

専攻医：広田将司、田中恒行（1月－9月）

2. 診療活動

平成２１年の治療実績および在院日数を表とグラフで示す。乳癌などの乳腺外科症例を除く消化器一般外科の手術件数は全身麻酔２８２例、腰椎・硬膜外麻酔２７例、局所麻酔４２例であり、全身麻酔症例は前年より増加した。

手術症例数の内訳では、胆石症、総胆管結石症、胆嚢腺筋症など胆嚢良性疾患に対する手術（胆嚢摘出術、胆道再建術など）が６７例（腹腔鏡下６１例、開腹６例）、ソケイ部のヘルニア修復術５２例であった。胆石症では炎症が高度な症例に対しても積極的に腹腔鏡下手術を施行し、また通常の胆石症に対する場合でも、より合併症の少ない、クリップなどの異物を遺残させない“上質の腹腔鏡下胆嚢摘出術”をこころがけている。

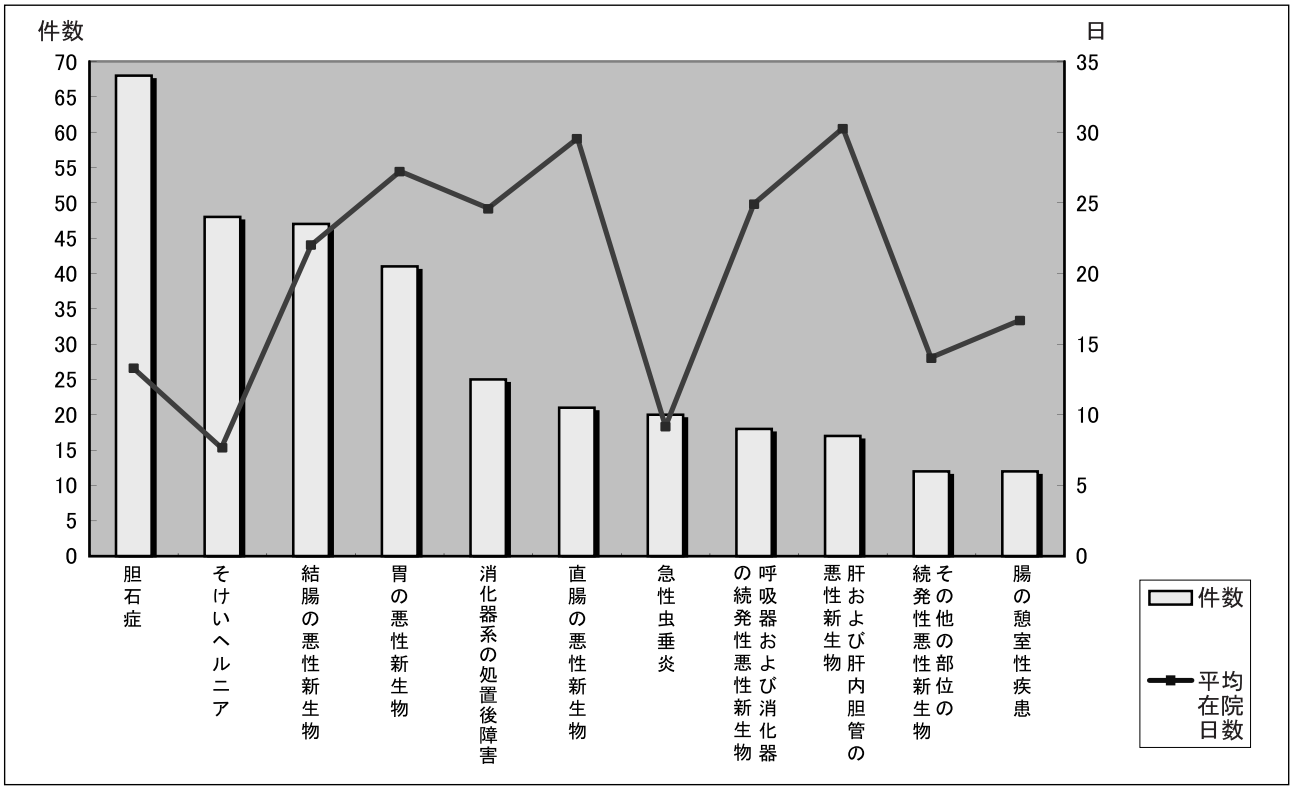
乳癌を除く悪性腫瘍手術は９８例で、部位別の内訳は大腸４８例、胃２７例、肝８例、胆道８例、膵５例、小腸 2 例であった。肝胆膵領域の手術は増加傾向にあり、今後も積極的に実施していきたいと考えている。早期癌、 大腸腫瘍に対する内視鏡下手術として腹腔鏡補助下結腸切除１１例、 胃切除術３例を施行した。これら内視鏡下手術は原則として早期癌、良性腫瘍に適応を限定して行っている。

在宅医療の推進と DPC の観点から、術後症例に対しての補助化学療法のみならず、進行再発癌に対する化学療法は、ほとんどの症例を外来通院で行っている。大腸癌進行再発症例に対する FOLFOX、FOLFILI 療法などの化学療法や在宅経静脈栄養のための CV ポート留置術を３３例に行った。

文責　藤川正博

**2009年1月～12月－外科の疾患トップ10（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 胆石症 | 68 | 13 |
| そけいヘルニア | 48 | 8 |
| 結腸の悪性新生物 | 47 | 22 |
| 胃の悪性新生物 | 41 | 27 |
| 消化器系の処置後障害 | 25 | 25 |
| 直腸の悪性新生物 | 21 | 30 |
| 急性虫垂炎 | 20 | 9 |
| 呼吸器および消化器の続発性悪性新生物 | 18 | 25 |
| 肝および肝内胆管の悪性新生物 | 17 | 30 |
| その他の部位の続発性悪性新生物 | 12 | 14 |
| 腸の憩室性疾患 | 12 | 17 |



## 乳腺外科

1. スタッフ
　部長　西田幸弘

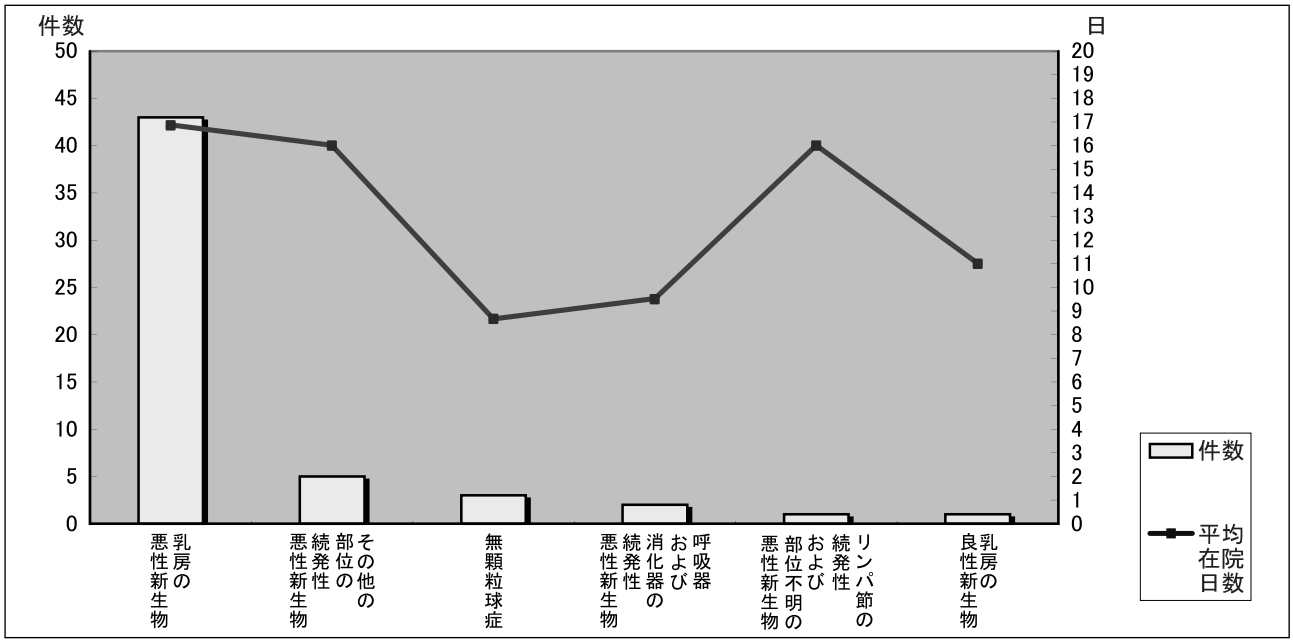
2. 診療活動
　1)紹介
　平成 20 年 10 月より開設致しました。昨年一年間の活動状況の結果、平成 22 年 4 月より大阪大学乳腺内分泌外科より医局員を派遣していただき 2 名体制となりました。
　2)診療方針
　乳癌検診に関しては、マンモグラフィーと超音波検査を初診当日に施行し即日結果を出すことで、正常の方は1日で診察終了となります。腫瘍のある方は当日中に細胞診等を施行し1週間後には結果を出すシステムです。治療に関しては、専任のがん化学療法看護認定看護師常駐の外来化学療法センターにて、術前・術後ともに通院での外来化学療法を行います。専任医師による放射線療法は、温存療法後、再発、転移すべてに対応します。手術に関しては術前化学療法が必要かの判断後、乳房温存術、全摘術を施行し、必要に応じて再建術にも対応いたします。RI＋色素法によるセンチネルリンパ節生検でより確実な診断を目指します。
　3)統計
　外来化学・分子標的療法は 80～100 例／月、超音波・マンモグラフィは約 150 例／月、手術数は 48 例昨年の 24 例から倍増しました。今年度は医局員も増加し症例数の増加を見込みたいと思います。

3. 学会発表
○西田幸弘、藤川正博、西嶌準一、道清　勉、早川正宣、富永修盛、宮崎　知、岡　義雄、棚野博文、奥山正樹、福地成晃、酒田和也、中田麻祐子、玉井正光：一般市中病院において色素法単独のセンチネルリンパ節生検は RI 併用法と同等の効果を得られるか？. 日本外科学会定期学術集会(109) 2009.4 月（福岡）
○西田幸弘、林　美沙、夏山順子、藤川正博、黄　泰平、安政啓吾、田中恒之、広田将司、大嶋正人：術前診断に苦慮した乳腺原発悪性リンパ腫の1例. 日本乳癌学会学術総会(17) 2009. 7 月（東京）
○西田幸弘、林　美沙、藤川正博、黄　泰平、安政啓吾、田中恒之、広田将司、大嶋正人：巨大出血性嚢胞の形態を示した嚢胞内乳癌の 1 例. 日本乳癌検診学会総会(19) 2009. 11 月（札幌）
○西田幸弘、藤川正博、黄　泰平、安政啓吾、田中恒之、広田将司、寺川直樹、佐藤文三：乳癌肝転移に対して Medroxyprogesterone Acetate(MPA)が長期有効であった 1 例. ホルモンと癌研究会(10) 2009. 7 月（仙台）
○西田幸弘：働くお母さんのための乳がん検診と診断. あわざ産業医セミナー(6) 2009. 4 月（大阪）
○西田幸弘：ピンクリボン自己啓発セミナー. 日本生命育成部大会　2009. 9 月（大阪）
○林　美沙、西田幸弘、広田将司、田中恒行、安政啓吾、黄　泰平、藤川正博：術前化学療法にて主病巣・転移腋窩リンパ節まで pCR となった 1 例. 日本乳癌学会学術総会(17) 2009. 7 月（東京）
○夏山順子、西田幸弘、藤川正博、黄　泰平、安政啓吾、田中恒之：術前細胞診では診断できなかった乳腺原発悪性リンパ腫の 1 例. 大阪外科集談会(567) 2009. 1 月（大阪）

文責　西田幸弘

**2009年10月～12月－乳腺外科の疾患（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 乳房の悪性新生物 | 43 | 17 |
| その他の部位の続発性悪性新生物 | 5 | 16 |
| 無顆粒球症 | 3 | 9 |
| 呼吸器および消化器の続発性悪性新生物 | 2 | 10 |
| リンパ節の続発性および部位不明の悪性新生物 | 1 | 16 |
| 乳房の良性新生物 | 1 | 11 |



## 整形外科

1.　スタッフ

部長　稲岡　正裕 ： 三木　宏真、　宮崎　忠勝

専攻医：李　大相、　藤島　弘顕

平成 21 年 4 月 1 日付けで、李 大相専攻医が転出し、藤島　弘顕専攻医が着任、平成 21 年 8 月 1 日付けで、宮崎 忠勝副部長が転出した。（平成 22 年 4 月 1 日付けで、辻本　貴志専攻医が着任している。）

2. 診療活動

a. 外来診療は、初診担当医 1 名、再診担当医 1 名の 2 名体制とした。平均外来患者数は 1 日約 70 名であった。変形性関節症や腰痛症、頚肩腕痛などに対して、薬物療法、理学療法、物理療法、装具療法、ブロック療法などの保存的治療を行った。義肢装具は火、木、金曜日の午前を作製日とした。平成 21 年 8 月 1 日以降はスタッフ 3 人体制となったため、12 月 1 日からは月曜日の外来診療を閉鎖した。

b. 専門外来は、金曜日の午後に脊椎外来（担当：稲岡）火曜日の午後に関節外来（担当：三木）を継続し、特に専門的な対応を要する患者の診療や術後経過観察などを行った。木曜日の午後に身障診断等に関する診察を行った。

c. 入院診療において、手術件数は、平成 21 年は総手術件数は 235 件と前年よりスタッフ 1 名減にもかかわらず、手術件数は増加した。全麻件数においても増加した。内訳は、脊椎疾患、関節疾患、外傷、及びその他に分類すると、脊椎疾患は 49 件、内訳は椎弓形成術などの頚椎疾患が 17 件、椎弓切除術や後方進入椎体間固定術、脊椎短縮固定術など胸腰椎疾患が 32 件であった。関節疾患においては、人工膝関節置換術 21 件、半月板処置や靭帯再建術、Lavage など膝関節鏡視下手術 4 件、人工股関節置換術 4 件、人工骨頭置換術 7 件、ガンマーネイルなど骨接合術 17 件であった。四肢の骨折に対する骨接合術や鋼線固定術 59 件、靭帯、腱の縫合など 8 件、手根管症候群や肘部管症候群など末梢神経に対する手術や腱鞘炎に対する腱鞘切開など 16 件、腫瘍性疾患に対する切除術や生検術 10 件であった。

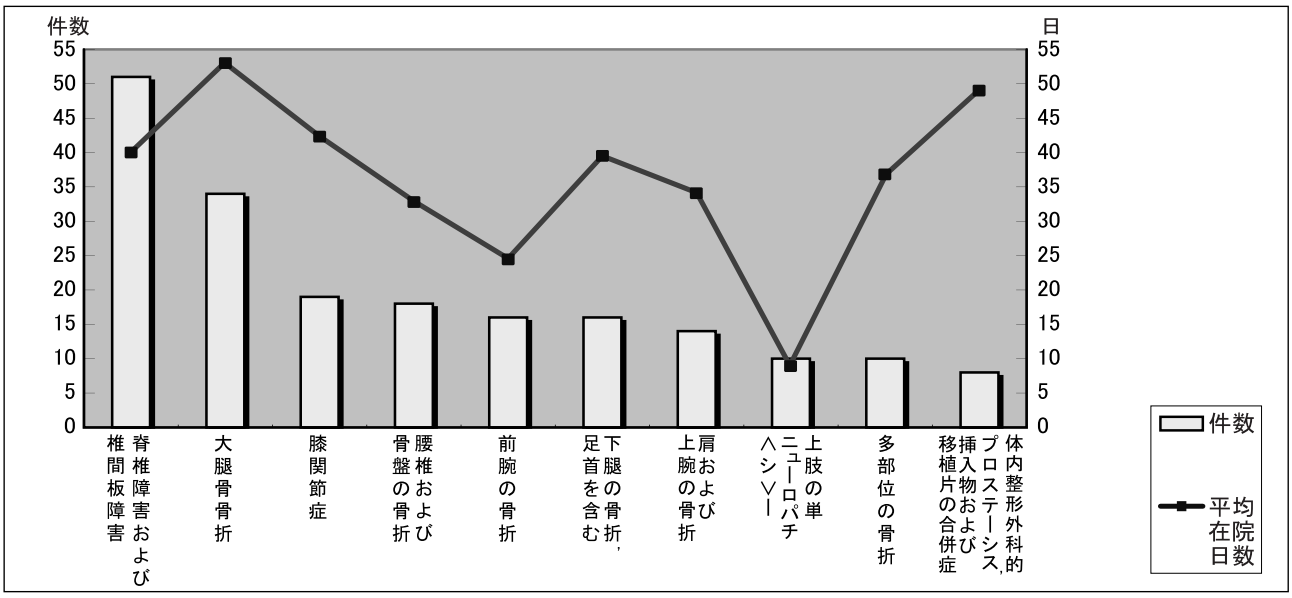
d. リハビリテーション室では、中央化したのちも、リハビリ診療を整形外科がバックアップした。平成 21 年 5 月 1 日付けで外山　晶代作業療法士の着任により、専門的な作業療法を開始した。脳血管障害や呼吸器循環器疾患などによる機能障害に対しても、より快適で充実した日常生活の再獲得を目指して診療を行った。

e. 整形外科における診療及び学術に関する定期的会議としては、抄読会は毎週金曜日早朝、術前検討会議は毎週金曜日午後、病棟会議、リハビリ連絡会議は毎月 1 回行った。

文責　稲岡正裕

**2009年1月～12月－整形外科の疾患トップ10（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 脊椎障害および椎間板障害 | 51 | 40 |
| 大腿骨骨折 | 34 | 53 |
| 膝関節症 | 19 | 42 |
| 腰椎および骨盤の骨折 | 18 | 33 |
| 前腕の骨折 | 16 | 24 |
| 下腿の骨折，足首を含む | 16 | 40 |
| 肩および上腕の骨折 | 14 | 34 |
| 上肢の単ニューロパチ＜シ＞ー | 10 | 9 |
| 多部位の骨折 | 10 | 37 |
| 体内整形外科的プロステーシス，挿入物および移植片の合併症 | 8 | 49 |



## 皮膚科

１.スタッフ　部長　東山真里：佐藤彩子、横見明典（全員、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医）。
専攻医：糸井沙織（１月-５月）平野亜由子（６月-１２月）

2.診療活動

a.特色　西区では唯一の重症皮膚疾患の入院治療が可能な施設である。乾癬やアトピー性皮膚炎、皮膚外科、小児皮膚疾患、高齢者皮膚疾患及び皮膚疾患全般について質の高い医療の提供を目指す。QOL を尊重し病気の悪化や再発の予防を目標にきめ細かい生活指導に力を入れている。

b.症例数・治療・成績

（外来）2009年の外来患者数は1日平均113名。うち初診患者数　2801名/年。紹介患者数　516名。紹介率18%　専門外来：【乾癬外来】月平均新患数は11名で再診は延べ300名余り。1.外用療法　2.光線療法　3.内服療法（レチノイド、シクロスポリン A）などから重症度、年齢を考慮し個々の患者に最適な治療を選択し副作用を最少に効果を最大限に。(2.）扁桃炎など乾癬を悪化させる要因について精査。(3.）重症、難治例には入浴 PUVA 療法またはナローバンド UVB 照射（全身型設置）を行う。効果が良く、副作用も少ない。入院、外来とも可能。(4.）療養を支援する場として大阪大学皮膚科学教室と協力して大阪乾癬患者友の会の事務局も務める【アトピー外来】　重症例では光線療法、ネオーラル療法も併用。悪化原因の精査、小児では食物アレルギーの精査、スキンケア指導、関連科との連絡を密に総合的に診療を行う。【皮膚外科外来】良性悪性腫瘍、ケロイド、毛巣洞、褥瘡、糖尿病性壊疽などは形成外科医と協力し治療。年間手術件数278件（全身、腰椎、麻酔手術3件含む）皮膚生検数　350件/年

*医療設備　薬浴室（外来、病棟とも）全身型紫外線照射装置（UVA,UVB,ナローバンド UVB）*外来診療　主治医制で再診は予約制。原則3診体制で診察。初診外来あり（月、水曜は東山担当)。再診外来は月～金（午前)。専門外来：乾癬外来は火、木（午後)、予約制。アトピー外来は木曜･金曜（午前)、皮膚腫瘍外来は水（午前)、皮膚外科外来は金曜（午後)。

＊入院　入院患者数は年間233、共観も含めると269名、1日平均13名で, 帯状疱疹（42名)、重症乾癬（40名)、蜂か織炎（29名)、薬疹（19名)、アトピー性皮膚炎（10名)、皮膚悪性腫瘍（9名)、下腿潰瘍（8名)、皮膚良性腫瘍（6名）など

c.学術活動

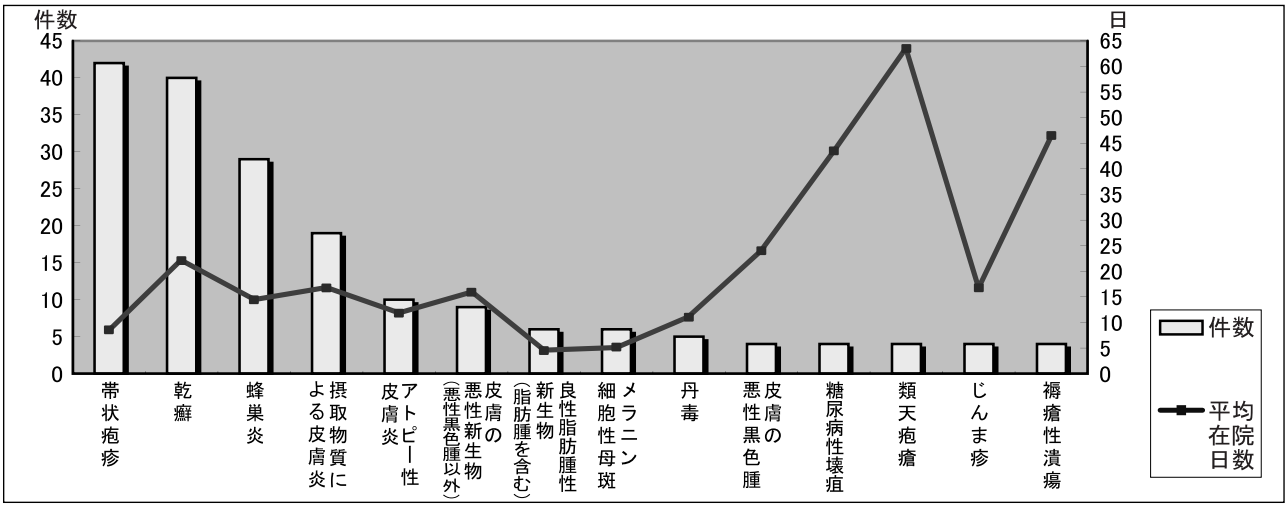
論文：5編　　学会発表：15演題

日本皮膚科学会総会、日本皮膚科学会大阪地方会、日本乾癬学会などに発表。

文責　東山真里

**2009年1月～12月－皮膚科の疾患トップ10（件数･平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 帯状疱疹 | 42 | 9 |
| 乾癬 | 40 | 22 |
| 蜂巣炎 | 29 | 14 |
| 摂取物質による皮膚炎 | 19 | 17 |
| アトピー性皮膚炎 | 10 | 12 |
| 皮膚の悪性新生物（悪性黒色腫以外） | 9 | 16 |
| 良性脂肪腫性新生物（脂肪腫を含む） | 6 | 5 |
| メラニン細胞性母斑 | 6 | 5 |
| 丹毒 | 5 | 11 |
| 皮膚の悪性黒色腫 | 4 | 24 |
| 糖尿病性壊疽 | 4 | 44 |
| 類天疱瘡 | 4 | 64 |
| じんま疹 | 4 | 17 |
| 褥瘡性潰瘍 | 4 | 47 |



## 泌尿器科

1. スタッフ　部長　黒田　昌男　：　福井　辰成　　花房　隆範　　中田　渡

2. 診療活動

a. **膀胱癌**に対する外科的治療は、経尿道的電気切除術 75 例、根治的膀胱全摘除術 8 例（自排尿型代用膀胱形成術 4 例・回腸導管造設術 4 例）に対して行いました。5 例に多剤併用全身化学療法を施行しました。膀胱癌の治療あるいは膀胱内再発予防として BCG 膀胱内注入療法を 30 例に施行しました。
膀胱固有筋層に浸潤する膀胱癌に対しては、再発した場合致命的となる実験的な膀胱温存療法ではなく、標準的治療である根治的膀胱全摘除術を行い、尿路変向として QOL の良い自排尿式代用膀胱形成術を多く行うようにしています。

b. 前立腺生検を 150 例に行い、新たに**前立腺癌**と診断された 75 症例に対して、抗男性ホルモン療法 56 例、前立腺全摘除術 17 例、放射線治療 13 例を行いました（診断が平成 21 年で翌年に治療を行った症例を含む）。3 例は悪性度が低く、余命に影響を与えない小さい癌として待機療法（治療せず経過観察のみ）としました。
70 歳以上の症例に前立腺全摘除術を行うと、尿失禁を生じやすいことから、全摘は原則として 70 歳未満の症例に対して行うことにしています。前立腺外に浸潤する癌に対しても、本邦では抗男性ホルモン療法を行った後に前立腺全摘除術がよく行われていますが、再発率が高く、癌が残るのみならず尿失禁も残るため、前立腺全摘除術は癌が前立腺内にとどまっている病期のみに限るようにしています。抗男性ホルモン療法の副作用を軽減し医療費も節約できる間歇的抗男性ホルモン療法を取り入れています。

c. **悪性精巣腫瘍**に対する高位精巣摘除術を 5 例に行いました。4 例に抗癌化学療法を行いました。

d. **前立腺肥大症**に対する外科的治療として、経尿道的前立腺切除術 26 例、前立腺被膜下摘除術 15 例を行いました。

e. **尿路結石**（腎結石、尿管結石）に対して、入院して体外衝撃波砕石術（ESWL）を行ったのが 27 例、外来通院で 63 例に行っています。経尿道的膀胱砕石術を 9 例に、経皮的腎砕石術を 4 例に、経尿道的尿管砕石術を 3 例に行いました。尿路結石の原因となる副甲状腺腫瘍に対して摘除術を 1 例に行いました。

f. 経尿道的手術以外の**内視鏡手術**を 8 例に行いました。腎癌に対する腎摘除術 3 例、腎盂尿管癌に対する腎尿管全摘除術 4 例、腎盂形成術が 1 例です。手術時間はやや延長しますが、開腹手術に比べて術後の鎮痛剤の投与量が著しく減量でき、患者様の QOL が良好で、術後の回復期間が短く、在院日数も短縮できます。現在、対象としているのは、腎悪性腫瘍、腎盂尿管悪性腫瘍、水腎症、尿管狭窄、副腎腫瘍などです。腎悪性腫瘍、腎盂尿管悪性腫瘍、副腎腫瘍で、開腹手術を行った症例は、各々5 例、4 例、1 例で、大きな悪性腫瘍以外は内視鏡手術を行うことにしています。

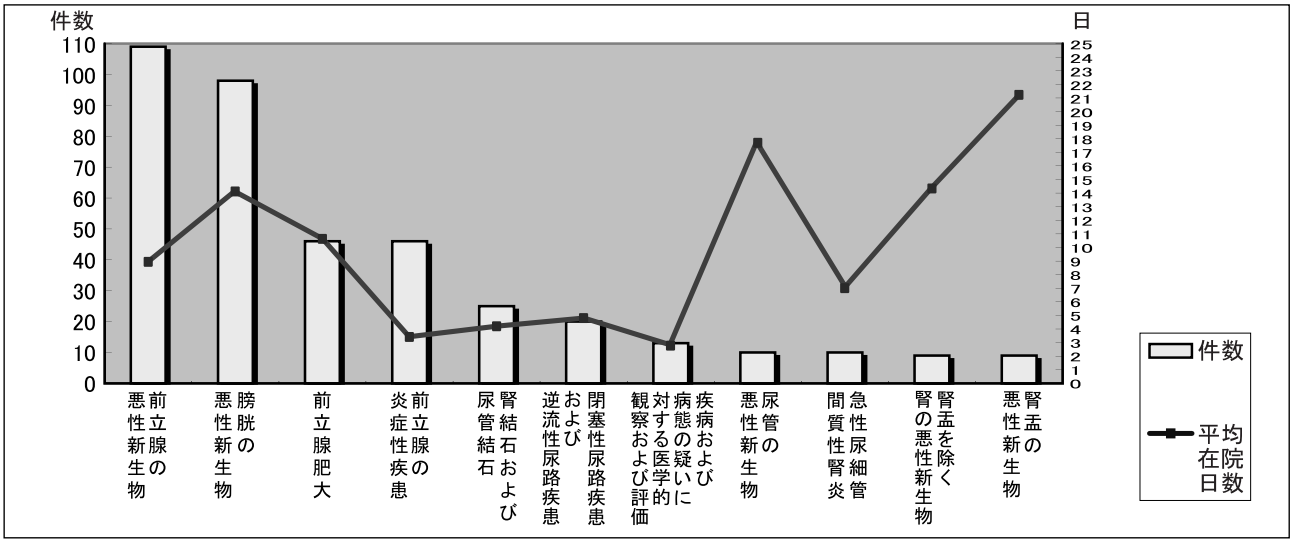
g. 女性の尿失禁は中年以降の女性の3分の1に認められる疾患ですが、今までは手術成績が満足できるものではありませんでした。新しく開発された **TVT 手術**は、治療成績も良く手術侵襲も小さいことから広く行われるようになっています。当科では薬物療法、運動療法で十分な効果が得られなかった 3 例に行い、尿失禁は改善しています。

h. 慢性腎不全症例に対して血液透析を行っています。10 例に内シャントを造設し、血液透析療法の導入を行いました。

文責　黒田　昌男

**2009年1月～12月－泌尿器科の疾患トップ10（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 前立腺の悪性新生物 | 109 | 9 |
| 膀胱の悪性新生物 | 98 | 14 |
| 前立腺肥大 | 46 | 11 |
| 前立腺の炎症性疾患 | 46 | 3 |
| 腎結石および尿管結石 | 25 | 4 |
| 閉塞性尿路疾患および逆流性尿路疾患 | 20 | 5 |
| 疾病および病態の疑いに対する医学的観察および評価 | 13 | 3 |
| 尿管の悪性新生物 | 10 | 18 |
| 急性尿細管間質性腎炎 | 10 | 7 |
| 腎盂を除く腎の悪性新生物 | 9 | 14 |
| 腎盂の悪性新生物 | 9 | 21 |



## 産婦人科

1.スタッフ　部長　舩渡　孝郎　：　佐伯　典厚、　大塚　博文、久　毅、橋本（矢田）奈美子、小玉　美智子、廣田　憲二
専攻医　：　久　裕（2年次）

2. 診療活動

平成21年度は府立急性期病院より小玉美智子先生が常勤嘱託医として入会され、当科での子育て支援の対象者は2名となりました。松岡智史先生が関東の病院に移られ退会されました。佐伯典厚先生と大塚博文先生そして昨年6月に退会されて大学に移られた横井　猛先生が日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医を取得されました。新技術である MESH を用いた骨盤臓器脱手術（TVM）の症例も増加いたしました。内視鏡関連手術症例も昨年度よりも増加いたしました。学術活動におきましても学会発表、投稿、公演を数多く行ってまいりました。

a　産科

分娩数は398名を取り扱いさせていただきました（帝王切開は69名）。

助産師外来と母乳外来が充実し妊婦さんや褥婦さんに喜ばれております。

患者さんサービスとしてマタニティ―ビクスとベビービクスを充実させ、また今年度より新しくマタニティーヨガを取り入れました。

b　婦人科

手術総数は783症例（産科手術121例を含む）

内視鏡手術

腹腔鏡下手術436症例

（TLH110, TLM58. LAM68, 卵巣腫瘍120,内膜症性のう胞76、その他4）

子宮鏡下手術（TCR）45症例

開腹手術

（単純子宮全摘出術16、筋腫核出術3、広範子宮全摘出術5、
子宮体部癌（準広範）6、卵巣腫瘍（LPM含）7, C／S69,　その他6、）

経膣手術

円錐切除術52、レーザー蒸散11、D&C52、その他16

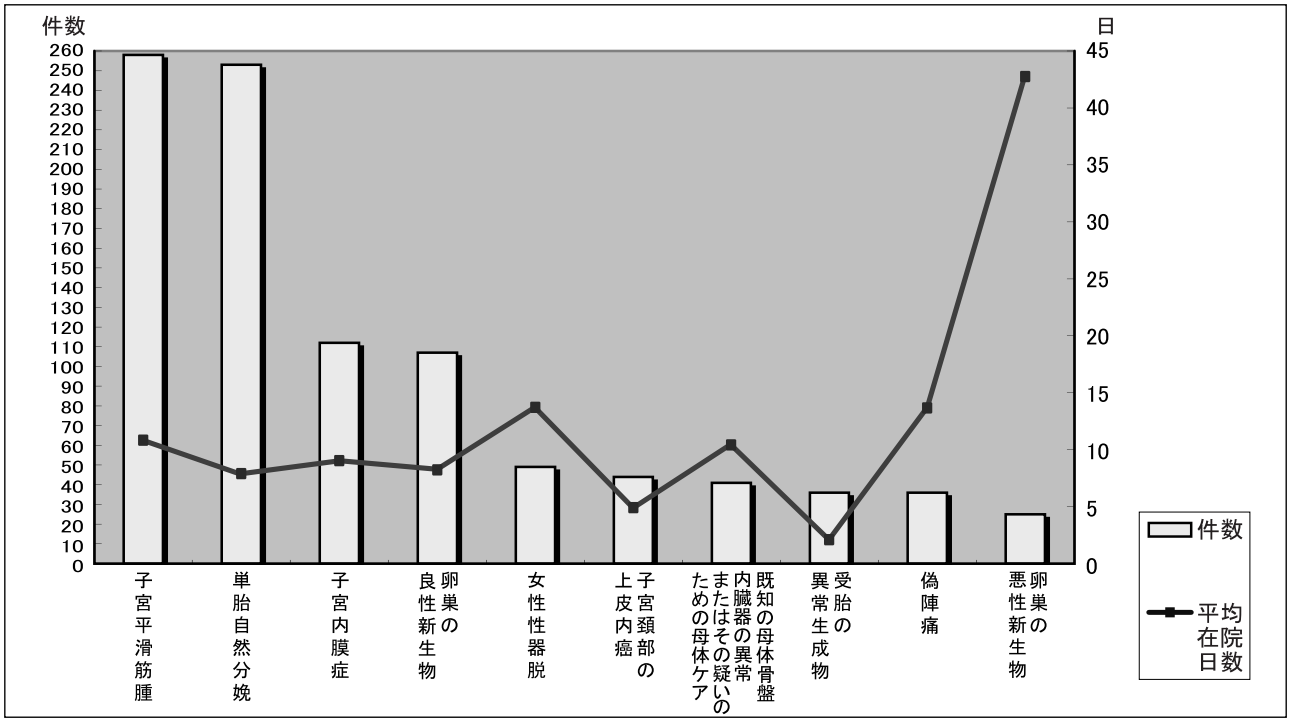
骨盤臓器脱手術

TVM41, その他9

文責　舩渡　孝郎

**2009年1月～12月－産婦人科の疾患トップ10（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 子宮平滑筋腫 | 258 | 11 |
| 単胎自然分娩 | 253 | 8 |
| 子宮内膜症 | 112 | 9 |
| 卵巣の良性新生物 | 107 | 8 |
| 女性性器脱 | 49 | 14 |
| 子宮頚部の上皮内癌 | 44 | 5 |
| 既知の母体骨盤内臓器の異常またはその疑いのための母体ケア | 41 | 10 |
| 受胎の異常生成物 | 36 | 2 |
| 偽陣痛 | 36 | 14 |
| 卵巣の悪性新生物 | 25 | 43 |



## 眼科

１．スタッフ
　部長　杉本　麗子　　：瀬口　道秀
当院眼科は大阪大学眼科の関連病院で、医師：常勤２名、非常勤３名、看護師：３名（うち非常勤 1 名）、視能訓練士：５名（うち非常勤３名）、眼鏡士２名、医療事務 1 名の体制で、地域の基幹病院としての立場から眼科疾患全般に対応できるよう努めております。質の高い医療の提供と患者様に満足していただける説明・啓蒙を診療指針に掲げています。また病診連携を積極的に進めており、オープンシステムも推進し、かかりつけ医との連絡を密に取りながら、診療を行っております。

２．
a. 全般
一般的な眼科疾患の診断・治療、特に白内障手術、緑内障手術、網膜硝子体手術、角膜移植手術など幅広く行っています。2009 年の延べ手術件数は白内障 632 件・緑内障 27 件・網膜硝子体 7 件・角膜移植術 26 件・眼瞼形成手術 11 件、など観血的内眼手術 714 件でした（詳細はグラフに示します）。

b. 白内障手術は主として日帰り、あるいは一泊入院体制を中心に、患者様の希望に沿った入院期間を設定しています。術式は 99%以上が角膜小切開超音波白内障手術+foldable 眼内レンズ挿入術（切開創 3.1mm）で、重篤な術後合併症も認めませんでした。

c. 緑内障では、眼圧日内変動測定入院の必要な症例では適宜施行し、眼圧日内変動パターンに応じて個々の患者様に最適な、２４時間単位の質の高い眼圧コントロールを心がけています。閉塞隅角緑内障には超音波生体顕微鏡(UBM)による隅角閉塞機序の診断を積極的に追加し、開放隅角緑内障には選択的レーザー線維柱帯形成術（SLT）も積極的に施行しています。手術治療が必要な症例には主にトラベクレクトミーを選択し、術後合併症も重篤なものを認めていません。

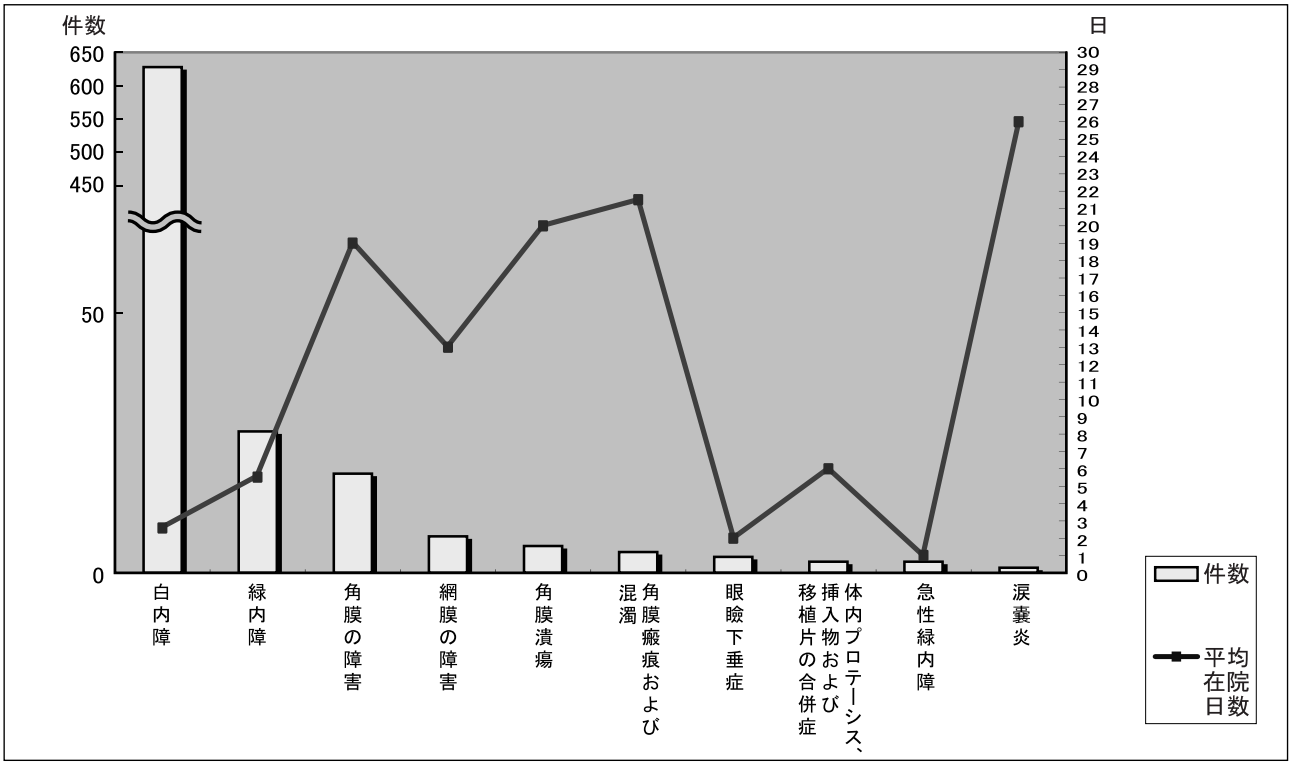
d. 網膜・硝子体疾患については、増殖硝子体網膜症疾患、特に黄斑浮腫例（糖尿病性、網膜静脈閉塞など）に対して積極的に手術治療を選択し、大部分の例では網膜機能の改善を得ています。

e. 角膜移植術については、輸入角膜による予定入院の手術体制をとり、我が国のドナー角膜の提供を待つ場合と異なり、ある程度ご希望に合わせた日程で、手術の施行が可能です。角膜白斑、水疱性角膜症、角膜変性症などを主な適応とし、一般的には２週間程度の入院で、全層角膜移植、表層角膜移植、上皮移植、角膜内皮移植などを症例に応じて施行し、重篤な合併症も認めていません。

文責　杉本麗子

**2009年1月～12月－眼科の疾患トップ10（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 白内障 | 632 | 3 |
| 緑内障 | 27 | 6 |
| 角膜の障害 | 19 | 19 |
| 網膜の障害 | 7 | 13 |
| 角膜潰瘍 | 5 | 20 |
| 角膜瘢痕および混濁 | 4 | 22 |
| 眼瞼下垂症 | 3 | 2 |
| 体内プロテーシス、挿入物および移植片の合併症 | 2 | 6 |
| 急性緑内障 | 2 | 1 |
| 涙嚢炎 | 1 | 26 |



## 耳鼻咽喉科

1．スタッフ　部長　　金田宏一（1～3月）
　　部長代行　赤羽　誉（4月～）、岡本倫朋、谷口由希子

2．診療活動

平成21年4月部長交代があった。従来からの急性炎症疾患（咽喉頭炎、扁桃炎、中耳炎など）、慢性疾患（副鼻腔炎、めまい、難聴など）の診療に加えて、4月以降、徐々に手術件数の増加を認めた。下半期では月平均20~25例の手術を行い、1年間で全身麻酔160件、局所麻酔45件の手術を行った。手術枠も週1枠から週3日（5枠）に増加したため、11月からは週1回の外来休診日を設けて対応した。とくに手術症例では、外来から入院診療、また退院後の外来診療へと、適切な診療が行えるように症例検討会を定期的に行い、十分な説明と同意の上、診療を行った。

a．入院診療

急性・慢性炎症に対する薬物治療や手術治療を行い、代表的な疾患・治療として、顔面神経麻痺31例・突発性難聴46例に対するステロイド治療、主な腫瘍性疾患に対する手術治療47例（甲状腺腫瘍21例、唾液腺16例、口腔癌2例、頭頸部再建術4例など）、放射線治療18例（喉頭癌12例、咽頭癌4例、上顎癌1例、唾液腺癌術後1例）、入院抗癌剤治療3例を、病状に応じて、外来または入院で治療を行った。

b．特殊検査

めまい症に対する平衡機能検査
睡眠時無呼吸検査
頸部腫瘤（甲状腺、唾液腺、リンパ節など）に対するエコー下穿刺細胞診
脳血管障害、頭頸部癌再建術後の嚥下造影検査

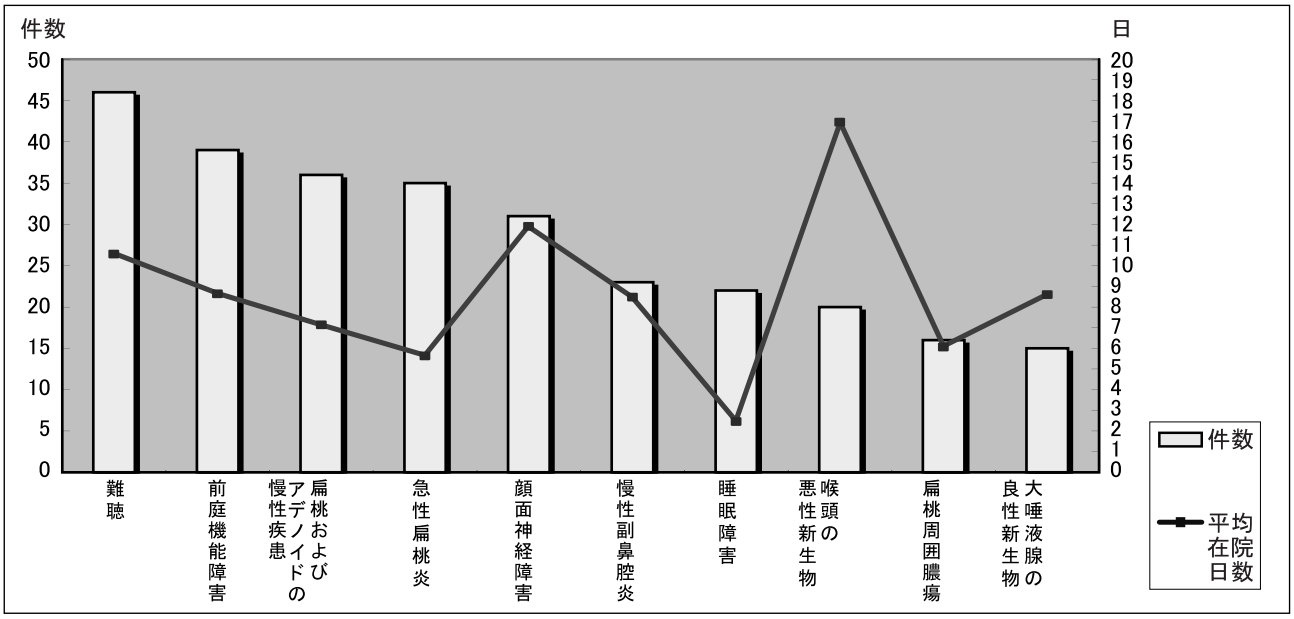
c．主な手術治療　鼻内内視鏡手術　33件
　　口蓋扁桃摘出術　28件
　　喉頭微細手術　26件
　　甲状腺手術　21件
　　唾液腺手術　16件
　　頭頸部癌再建手術　4件

下記表については、各科共通の算出法のため、同じ症状の反復治療例や検査（生検など）と治療など、のべ件数となっており、平均在院日数は、のべ入院日数/のべ件数により算出している。

文責：赤羽　誉

**2009年1月～12月－耳鼻科の疾患トップ10（件数・平均在院日数）**

| 疾患名 | 件　数 | 平均在院日数 |
|---|---|---|
| 難聴 | 46 | 11 |
| 前庭機能障害 | 39 | 9 |
| 扁桃およびアデノイドの慢性疾患 | 36 | 7 |
| 急性扁桃炎 | 35 | 6 |
| 顔面神経障害 | 31 | 12 |
| 慢性副鼻腔炎 | 23 | 8 |
| 睡眠障害 | 22 | 2 |
| 喉頭の悪性新生物 | 20 | 17 |
| 扁桃周囲膿瘍 | 16 | 6 |
| 大唾液腺の良性新生物 | 15 | 9 |



## 放射線科

１．スタッフ　部長 三谷 尚：岩澤 仁

（放射線技師長）松本茂一

２．診療活動

当院放射線科は、腹部超音波検査、消化管造影、CT や MRI などの画像診断はもとより、放射線治療、各種 IVR を施行しております。三谷 尚が日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本ＩＶＲ学会専門医、検診マンモグラフィー読影認定医、岩澤 仁は日本医学放射線学会放射線診断専門医、検診マンモグラフィー読影認定医、日本がん治療認定医機構認定医、日本がん検診診断学会認定医、日本IVR学会会員、日本肺がんCT検診認定機構認定医であります

３．H２１年実績（２００９．１．１－１２．３１）

１）各種 IVR 施行件数

ｉ）vascular IVR；５４件

HCC の TAE４８件、脾動脈瘤塞栓術１件、肝動脈瘤塞栓術１件、止血目的の動脈塞栓術１件、止血目的のピトレッシン動注１件、BRTO２件、

ⅱ）nonvascular IVR；６７件

臓器生検；２２件

膿瘍ドレナージ術；９件

PTBD；１４件、胆管ステント留置術：９件

RFA；６件、胆嚢ドレナージ：7 件

以下はH２１年実績（２００９．１．１－１２．３１）

２）放射線治療

症例数；９３例

症例内訳

頭頚部１１例

乳癌２７例

食道癌４例

前立腺癌３例

悪性リンパ腫１２例

転移性骨腫瘍などその他３６例

文責　三谷尚

## 麻酔科

1　スタッフ　部長　川原玲子：山崎恭子　井上潤一　奥野聡子　玉井裕
専攻医：岡田夏枝

2　診療活動

a.　当科の特徴

手術時の麻酔を担当しています。全身麻酔はもちろんですが脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔・ブロック等も行い、重症患者の場合局所麻酔でも全身管理に携わることもあります。術中管理を行うにあたり、術前診察・術後診察を麻酔科外来で行っています。術前診察では手術前に問診・検査結果・診察を行って患者さんの全身状態の評価を行い手術に適した麻酔法を選択します。麻酔法およびその合併症について患者さんに説明・承諾していただくため非常に重要です。術後疼痛管理も積極的に行っており、PCA（Patient Controlled Analgesia）装置を用いて鎮痛薬を持続投与の上、疼痛時に患者さんがボタンを押して鎮痛薬を追加投与する方法を使用しています。術後診察を麻酔科外来で行い鎮痛効果を評価し、硬膜外チューブ抜去まで行います。

ペインクリニックも麻酔科で行っています。ペインクリニック外来は毎日、透視下ブロックは月曜日午前に行っています。癌性疼痛管理にも携わり、緩和医療にも積極的に折り組んでいます。高周波熱凝固を用いた恒久ブロックや外来通院での麻薬の処方も行っており、痛みを和らげ日常生活に返すことに力を入れています。モルヒネを始め数種類の麻薬を錠剤・カプセル・細粒・シロップ・座剤・貼付剤・注射薬と多種の剤形で取り揃え患者さんに合わせて選択しています。麻薬を持って海外旅行をされた患者さんもあり、痛みを取るだけでなく一歩踏み込んで患者さんが生活をエンジョイすることを積極的にサポートすることを目標としています。平成20年2月より緩和ケアチームが発足し、回診とカンファレンスを開始しました。緩和ケアの確立にも麻酔科は積極的に関わっています。

教育にも携わっています。平成16年4月より新研修医制度がスタートしました。当院のプログラムではスーパーローテートと言って１年目の３ヶ月は麻酔科を研修します。そこで私たちも麻酔業務の傍ら、研修医を教育しています。常に１人から３人の研修医を預かるのはシステム作りも含めてなかなか大変です。ただこうして若い人たちが病院の中に急に増えたことで現場が活気付いたことは思わぬメリットでした。今年は後期研修医も１名加わっています。一般病院で育つ医師像を模索しつつ、教育活動を続けていきたいと考えています。

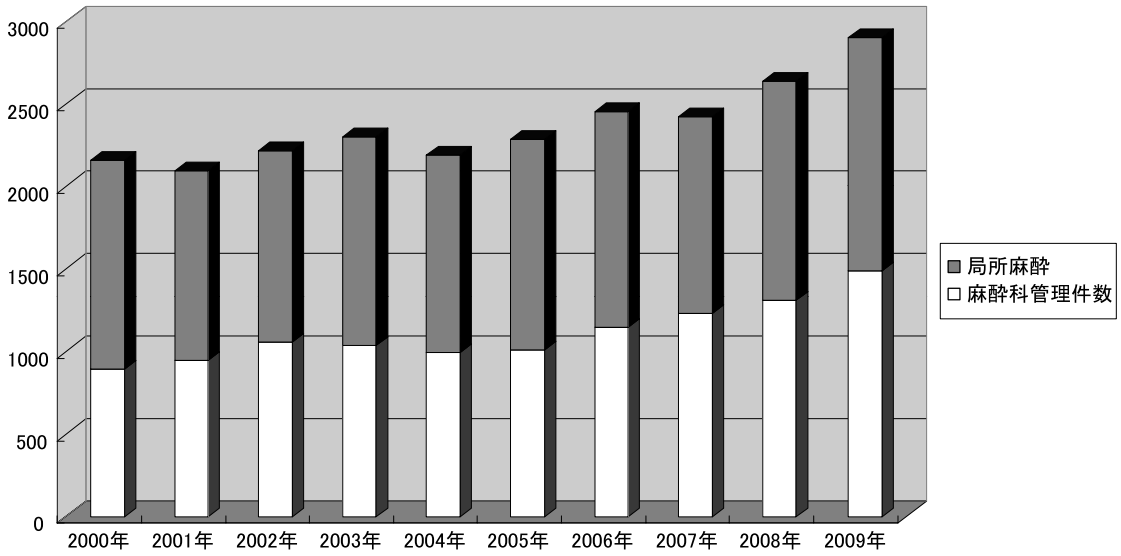
b.　平成21年の診療実績

手術件数はここ数年増加傾向で平成21年は2894件となりました。局所麻酔件数・全身麻酔件数ともに増加しています。スタッフ数減少の中でこの手術件数増加は麻酔科医の負担増を顕著にしています。全身麻酔のみならず重症例の全身管理など麻酔科医のニーズが高まっているのは全国的で、マンパワーの不足は極限に達しています。

ペインクリニックの平成21年の外来患者総数は5756人でした。ペインクリニックの新規患者様は他科あるいは他院からの紹介がほとんどで紹介元の科と共同で診療・治療に当たることが多くあります。病診連携が最も必要な科とも言えるでしょう。特に今年は癌性疼痛に対する永久ブロックに取り組みました。高周波熱凝固・フェノール・アルコールなどを用いて癌の痛みを和らげたり、硬膜外ポートを埋め込み在宅でＰＣＡによる鎮痛を計ることで、帰宅できた方もありました。ブロック中心の疼痛管理ではありますが、認知行動療法なども取り入れ、患者さんのQuality Of Lifeを高めることを目標にしています。

麻酔業務に追われる毎日ですが、ペインクリニックや緩和医療、研修医の育成にも努力しています。

文責　川原玲子



## 病理診断科

1. スタッフ　　部長　　大嶋正人　　検査技師　3名

2. 病理検査の集計

平成21年病理検査の集計は表に示した通りで、病理組織検査は年間3942件（前年比8.1%増加）、術中迅速診断は127件（38.0%増加）で、免疫染色は303件（20.7%増加）であった。細胞診は年間10237件（10.3%増加）で、婦人科系が5520件と53.9%を占めた。病理解剖は12件（昨年比9.0%増加）で、院内剖検率は7.2%から5.8%と減少した。病理解剖内訳は、内科系9件（剖検率8.1%）、外科系1件（剖検率1.7%）であった。

CPCの開催は8回行われ、内容は下記の示す如くであった。

167回01月30日：第1例:胸腺腫瘍+胃癌，肺癌術後
168回02月28日：第1例:下部胆管癌
169回03月08日：第1例:悪性リンパ腫化学療法後
170回04月16日：第1例:DIC+肺炎+敗血症
171回06月06日：第1例:食道癌+喉頭癌術後
172回06月25日：第1例:C型肝硬変+肝細胞癌+2型糖尿病
173回07月30日：第1例:アルコール性肝硬変+化膿性耳下腺炎
174回10月09日：第1例:悪性リンパ腫+EBV，CMV血症

3. 診療方針

病理学的組織診断を正確に行うためには臨床各科と患者の医療情報交換を密にする様に心がけています。電子カルテ導入により，臨床情報の入手が容易となり，病理医と臨床各科とより密に正確な情報交換が可能となり，より正確な診断が出来る様になったと思います。

また、病診連携の重要性が言われており、紹介患者の医療情報を必要十分に得るためにも紹介医療機関の医師との情報交換も密にする必要があり、病理に関することの疑問点やその他病理情報が必要である場合には病理医に直接連絡できる体制にしているので、ご連絡よろしくお願いします（内線：7061）。

文責　大嶋　正人

平成21年（2009）

| | 組織 | | | | | 細胞診 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 入院 | 外来 | 件数 （内視鏡） | 入院 | 外来 | 組織数 | 術中迅速 | 酵素抗体法 | 剖検数 | 婦人科 （ドック） | その他 （ドック） | 細胞診計 |
| Ｈ１９ | 1888 | 1025 | 2913 （ 899） | 2466 | 1050 | 3516 | 72 | 248 | 16 | 4379 （ 643） | 4076 （ 866） | 8455 |
| Ｈ２０ | 1992 | 1179 | 3171 （ 884） | 2438 | 1207 | 3645 | 92 | 251 | 11 | 4906 （ 1049） | 4375 （ 1163） | 9281 |
| Ｈ２１ | 2184 | 1106 | 3290 （ 674） | 2785 | 1157 | 3942 | 127 | 303 | 12 | 5250 （ 1511） | 4717 （ 1495） | 10237 |

## がん治療センター

1. センター長　黒田昌男

[がん治療センター運営委員会

藤川正博(消化器・一般外科)、中川雅史(血液・化学療法内科)、江川功(神経科・精神科)、川原玲子(麻酔科)、石垣直也(放射線科)、野村浩英(薬剤部)、正野廣子(～H21.7)、東郷豊子(H21.7～)、畠山明子、小山佐知子、久本まき子(H21.7～)(以上看護部)、許斐正啓(企画室)、村上学(H21.7～)(医事サービス部)]

[緩和ケアチーム　チーム長　井上潤一(麻酔科)

回診メンバー　寺川直樹（院長)、 高橋励(神経科・精神科)、 大林佳名子(～H21.7)、 森真由子(H21.8～)(以上薬剤部)、畠山明子、小山佐知子、久本まき子(H21.4～)(以上看護部)、丸山加奈(神経科・精神科:非常勤)]

2. 活動

がん治療水準の向上とチーム医療の推進のための活動を継続して行った結果、平成 21 年 4 月に「大阪府がん診療拠点病院」に指定された。引き続き各領域で内容の充実に取り組んだ。

・主たる業務

□がんに関する集学的治療の充実

□緩和ケアチームの運営、緩和ケアに関する院内外の教育研修

□がん治療に関する相談対応、情報提供

□がん登録の推進

・外来化学療法室

症例増に対応し、外来化学療法室を 7 床から 10 床に拡張した。

・緩和ケア

緩和ケアチームによる介入、週 1 回の回診とカンファレンスの開催、月 2 回の各職種による定例勉強会・症例検討会の開催を行なった。

全職員及び近隣医療機関職員を対象とした、緩和ケア講演会を開催した。

・レジメン登録

化学療法運営委員会と連携し、化学療法レジメンの登録管理を行なった。

・相談支援

がん相談の充実と、図書情報コーナーの整備を進めた。

・がん登録

がん登録率向上に向けた対策を実施したことにより、登録率は一層改善した。

・広報

パンフレット、ホームページの更新を行った。

文責　黒田 昌男

## 低侵襲医療センター

1　スタッフ　　センター長　舩渡　孝郎

〔低侵襲医療センター運営委員会〕

中川 厚(循環器内科)、福田 昌輝(消化器内科)、藤川 正博(消化器・一般外科)、
大野　典子、瓜本　恵美子(看護部)、許斐　正啓、森本 洋子、上垣内　健(事務)

2　診療活動

このセンターの特色は各診療科の個々の協力がなければ発展していかない部門である。
今年度を振り返り次年度の活動はより広報に力をいれて診療実績の向上に努力したいと思っています。

a 治療部門　（抜粋）

低侵襲手術件数：1930 件（2009 年 1 月～2009 年 12 月）
前年 1944 件（2008 年 1 月～2008 年 12 月）
胃内視鏡検査：2006 件（2009 年 1 月～2009 年 12 月）
前年 2333 件（2008 年 1 月～2008 年 12 月）
白内障手術：669 件　（2009 年 1 月～2009 年 12 月）
前年 532 件（2008 年 1 月～2008 年 12 月）
子宮鏡検査：154 件　（2009 年 1 月～2009 年 12 月）
前年 101 件（2008 年 1 月～2008 年 12 月）

b 学術部門

研修医・コメディカル対象：インターベーション治療バーチャル体験実施
内視鏡手術トレーニングルーム：通年での研修医への開放

c 医療機器部門

腹腔鏡下手術に使用する鉗子一式・・手術室
着脱ケーブル・・手術室

d 広報（サービス）部門

【女性骨盤臓器脱・尿もれ・無料電話相談開催】：2009 年 6 月
【ニッセイ[夏休みこども医療体験 2009]に参加】：2009 年 8 月
鏡視下手術にチャレンジコーナー設置
【低侵襲医療イベント 2009 実施】：2009 年 8 月
【日本生命済生会だより】：2009 年 10 月
乳癌・前立腺癌手術の紹介を掲載
【～心カテ　バーチャル体験～イベント実施】：2010 年 2 月
インタベーション治療のバーチャル体験を実施

文責　舩渡　孝郎

## 生活習慣病センター

1. スタッフ

センター長　　笠山宗正：　住谷哲、角南ちえ子、阿部恭子、井上恵子、米田育子、
山原瑞穂、池上理絵

2. 運営委員会委員

笠山宗正、濱田偉文、湯川雅彦、江川功、住谷哲、松本茂一、新井幸子、野村浩英、
米田育子、正野廣子、角南ちえ子、許斐正啓

3. 当センターにおける診療内容

2型糖尿病・肥満・脂質異常症（家族性脂質異常症を除く）・高尿酸血症・循環器疾患（先天性を除く）・高血圧症（二次性を除く）などに代表される生活習慣病の発症や進行を防ぎ、その合併症の発症と進展を抑制することを目的とした生活習慣指導を行っている。現在は、毎週月～木曜日の 4 日間、糖尿病看護認定看護師や糖尿病療養指導士の資格を持つスタッフが中心となり、丁寧な指導を行うよう心掛けている。

a. オーダーメイド生活習慣病テラピー

当センターでは、30 分枠の完全予約制で、安静時代謝量・摂取エネルギー量・運動エネルギー量・身体能力を測定および評価し、患者個々の病態や生活習慣に応じた栄養指導・運動指導・生活習慣指導を行っている。これらの指導は、患者の病態と治療効果に合せて複数回実施している。1 年間に当センターを受診した新患者数は 171 名であり、延べ人数は 965 名に増加した。

b. 糖尿病合併症の管理

糖尿病足病変のハイリスク患者を対象として、糖尿病神経障害の評価と診断、足ケア、潰瘍・壊疽防止のための指導を実施した（計 28 件）。

c. 集団指導

栄養管理室・リハビリテーション室・中央臨床検査部・薬剤部・看護部の協力を得て、糖尿病患者を対象とした集団指導（糖尿病教室）を週 4 日実施した。

＜週間スケジュール＞

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 9:00～12:00 | 院外・院内 | 院外・院内 | 院内のみ | 院内のみ | |
| 13:00～15:00 | 院内のみ | 院外・院内 | 院内のみ | 院内のみ | |
| 15:00～16:00 | | 集団指導 | 集団指導 | 集団指導 | 集団指導 |

文責　笠山宗正

## ニッセイ予防医学センター

１．スタッフ

センター長　佐藤文三（6 月まで）、中村秀次（7 月より）： 斎藤伸一、住谷哲、泉由紀子、高島周志

２．平成 21 年の概要

平成 21 年は「総合健診クリニック　ニッセイ予防医学センター」がリニューアルオープンして 2 年目である。人間ドック受診者総数は 4600 名に達し、対前年度 1100 名、31.4%の増加となった。また、定期健診受診者も 36037 名となり、対前年度 3261 名、9.9%の増加となった。総収入としては 5 億 1600 万円となり、対前年度 14.7%増となり、償却前収支黒字化を達成できた。人間ドック受診者の年代別、性別の要治療率、要精密検査率を表 2 に示す。40 歳以下では要治療 25%、精密検査 68%であるが、60 歳以上では要治療 98%、精密検査 90%であった。要治療、要精密検査項目の男女別の上位 5 項目を表 3 に示す。男性では、眼科疾患が 15%で 1 位となり、高血圧、高脂血症、糖尿病の生活習慣病が 2-4 位を占め、5 位は腎・尿路疾患であった。女性では、腎・尿路疾患が 11%で 1 位であり、乳房疾患、婦人科疾患が 2 位、4 位を占め、高脂血症が 3 位であった。精度の高い健診に努め、悪性疾患の発見は 17 名（0.7%）であった(表 4)。この内　11 名（64.7%）が早期癌であった。平成 20 年 7 月より 2 次スクリーニングのための健診精査内科を開設しているが、平成 21 年は健診精査内科受診者も順調に増加した。D1,D2 判定者で健診精査内科および直接に日生病院各科に紹介した患者数を表 5 に示す。また、社会貢献として毎年行っている無料低額健診事業も例年通り行うことができ、社会福祉事業として評価を頂いている。学術活動として、恒例の「あわざ産業医セミナー」を 4 月に開催し（特別講演：国立がんセンター　がん予防・検診研究センター長　森山紀之先生）、75 名の産業医、日生病院登録医の参加を得た。学会活動として人間ドック学会に 3 題発表し、このうち 1 題は学会より推薦を受け論文投稿し学会誌に掲載された。更に、各医師が専門領域の学会でも発表した。

文責　中村 秀次

表1. 定期健康診断・人間ドック受診者数

| | 21年 | 対前年 |
|---|---|---|
| 定期健康診断 | 36,037名 | 109.9% |
| 人間ドック(日帰り)注1) | 2,500名 | 122.7% |
| 人間ドック(生活習慣病など)注2) | 2,100名 | 143.5% |
| 人間ドック　合計 | 4,600名 | 131.4% |

注1) 標準コースの人間ドック

注2) 協会健保などの簡易人間ドック

表2. 平成21年　日帰り人間ドック受診者の年代別、性別の要治療項目と要精密検査項目の頻度

| | 要治療項目(治療中を含む、%) | | | 要精密検査項目(%) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 男 | 女 | 全体 | 男 | 女 | 全体 |
| 39歳以下 | 29.5 | 21.0 | 24.6 | 56.2 | 80.0 | 68.4 |
| 40-49歳 | 48.8 | 26.4 | 37.1 | 62.0 | 78.9 | 70.9 |
| 50-59歳 | 76.1 | 48.3 | 60.6 | 85.2 | 81.8 | 83.3 |
| 60歳以上 | 108.5 | 88.7 | 98.4 | 95.8 | 83.9 | 89.7 |

表3. 性別による要治療・要精密検査の上位5項目（日帰り人間ドック受診者）

| | 男　　性 | | 女　　性 | |
|---|---|---|---|---|
| | 要治療・要精密検査項目 | % | 要治療・要精密検査項目 | % |
| 1 | 眼科疾患 | 14.8 | 腎・尿路疾患 | 11.1 |
| 2 | 高血圧 | 12.2 | 乳房疾患 | 9.8 |
| 3 | 高コレステロール血症 | 9.3 | 高コレステロール血症 | 8.7 |
| 4 | 糖尿病 | 8.0 | 婦人科疾患 | 8.5 |
| 5 | 腎・尿路疾患 | 5.9 | 眼科疾患 | 8.1 |

表4. 悪性疾患の発見率: 2008年1月～12月（日帰り人間ドック受診者）

| | |
|---|---|
| 人間ドック受診者 | 2500人； |
| 癌が確認された者 | 17人；　0.68% |

大腸癌4人、腎細胞癌3人、前立腺癌3人、子宮頚癌2人、肺癌1人、胃癌1人、食道癌1人、乳癌1人、膵神経内分泌腫瘍1人

表5. 要治療・要精密検査判定者の紹介先（日帰り人間ドック受診者）

有所見者数　1826人、再検者確認数　702人、再検率　38.4%

| | | | |
|---|---|---|---|
| 日生病院　健診精査内科 | 215人 | 日生病院　泌尿器科 | 35人 |
| 日生病院　循環器内科 | 31人 | 日生病院　皮膚科 | 4人 |
| 日生病院　消化器内科 | 159人 | 日生病院　外科 | 3人 |
| 日生病院　総合内科 | 20人 | 日生病院　整形外科 | 1人 |
| 日生病院　乳腺外科 | 108人 | 日生病院　耳鼻咽喉科 | 3人 |
| 日生病院　婦人科 | 46人 | 日生病院　放射線科 | 1人 |
| 日生病院　眼科 | 99人 | 院外施設 | 217人 |

# 第４章　部別概要

## 中央臨床検査部

１．スタッフ　　部長　　浅野彰彦　　臨床検査技師長　水口洋一

１、検体検査部門（Ⅰ）血液、生化学、血清、輸血、凝固線溶機能、

伊山　修、山本慶子、池田久美、吉田隆則、内野高裕、天野精子、倉本訓子、

２、検体検査部門（Ⅱ）細菌、病理・細胞診、外来検査室

新井幸子、藤田育子、角田道久、水口洋一、坂口伊津子、石倉果林、坂本美智代、

３、生体検査部門

超音波生理機能検査室：

中尾やす子、相馬容子、大西　龍、川口公次、古川浩司、柳川友加、森本梓、

予防医学センター配属、竹中博美、篠田和子、

聴力,平衡機能検査室:　藤井ゆう子、

４、臨床工学部門

臨床工学室：井上勇夫、加藤千尋、

＊検体検査部門は大きく二つに統合しました。部門内での相互協力体制をとることで高い専門性を維持しながら効率的な人員配置が出来るように運用しています。

＊生体検査部門も超音波検査室、循環器生理機能検査室、脳波筋電図検査室を統合しました。さらに予防医学センター配属技師も含め、検診・ドック業務と病院業務を相互に補完する運用としています。

＊平成 17 年 10 月に中央検査部の一部門として臨床工学室を開設しました。多様化する医療機器の修理・更新といった中央管理をはじめ、透析業務、部門別に個々に採用されていた機器の統一や計画的な機器の拡充など病院各部署と連携して効率化を図っています。

２．特色

質の高い検査結果を得るための精度管理に力を注ぎ、日本医師会・大阪府医師会・日本臨床検査学会の精度管理調査に 37 年間にわたり参加しており、常に優秀な成績を収め続けています。

検査オーダー後、30 分以内での検査結果報告を目指して迅速性を増し、また 24 時間体制をとることで時間外の緊急検査を行い、検体検査管理加算に対応した運営を行っています。

輸血検査から輸血管理までの輸血業務を安全かつ迅速に行う輸血管理体制にも対応しています。

文責　浅野　彰彦

## 看護部

### Ⅰ．看護部理念

日本生命済生会の基本理念「済生利民」に従い、ひとりひとりの状態と立場と気持ちにそった看護を提供します。「済生利民」とは生命を守り、万民の安寧と幸せに貢献すること。

**平成２１年度のスローガン**　「CS/ES を推進し、思いやりから生まれる創造豊かな看護を提供します」

**看護部基本方針**

１．安心で安全な看護の実践　　２．看護師の能力開発、資質の向上

３．病院経営に参画し、効率のよい看護の実践　　４．選ばれる職場環境作りと優秀な人材の確保

５．専門職としての責務と自己研鑽

### Ⅱ．病棟概況

**病棟状況**

| 部署 | | 定床 | H21年度患者数 | 稼働率 | 平均在院日数 | H21年度配置基準 | 勤務人員 深 | 勤務人員 準 | 勤務人員 日 | 平均夜勤回数２交替 前期4-9 | 平均夜勤回数２交替 後期10-3 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3W | | 45 | 46 | 76.7 | 10.8 | 30 | 3 | 4 | 13 | 4.5 | | |
| | 新 | 15 | | | | | | | | | | |
| | 計 | 60 | | | | | | | | | 3.69 | |
| 4W | | 46 | 48 | 80.0 | 14.4 | 31 | 3 | 4 | 14 | 3.88 | | |
| | 別 | 14 | | | | | | | | | | |
| | 計 | 60 | | | | | | | | | 3.86 | |
| 4E | | 51 | 41 | 80.4 | 12.0 | 27 | 3 | 3 | 11 | 4.03 | | |
| | | | | | | | | | | 3.8 | | |
| 5W | | 44 (無菌室4) | 38 | 86.4 | 31.5 | 29 | 3 | 3 | 10 | 3.91 | | |
| | | | | | | | | | | 3.53 | | |
| ５Ｅ | | 49 | 41 | 83.7 | 19.7 | 30 | 3 | 3 | 11 | 4.39 | | |
| | | | | | | | | | | 4.41 | | |
| 6W | | 42 | 37 | 76.9 | 16.1 | 27 | 3 | 3 | 11 | 4.11 | | |
| | 小 | 10 | 3 | | | | | | | 4.07 | | |
| ６Ｅ | | 27 | 22 | 70.6 | 7.2 | 26 | 金4 | 木4 | 10 | 4.23 | | |
| | 未 | 7 | 2 | | | | 3 | 3 | | 4.58 | | |
| 外来 | | | | | | 42 パ15 | | | | | | １７診療科以外に、地域医療連携室、治験管理室へ各1名を含む |
| 手術 | | | | | | 16 | | | | | | |
| 管理 | | | | | | 5 | | | | | | 入院調整１名、感染担当１名を含む |
| 計 | | 350 | 外来912 病棟272 | 79.1 | 13.9 | 278 | | | | 4.15 | | |
| | | | | | | | | | | 4 | | |

### Ⅲ．看護研修概況

1）院内研修（別表Ｐ 87 ～ 88 ）　延べ参加者数　１806 名

2）院外研修（別表Ｐ 89 ～ 90 ）・短期研修大阪府看護協会、日本看護協会等の７５研修会　97 名

・長期研修大阪府看護教員養成講習会　1 名

・長期研修大阪府保健師助産師看護師実習指導者講習会　２名

・日本看護協会認定看護師研修受講（緩和ケア）　1 名

・ファーストレベル　1 名、　セカンドレベル研修　1 名

3）学会発表日本看護協会主催等　１１学会　13 名

### Ⅳ．その他

1）看護学生実習受入

・大阪府医師会看護専門学校（３年課程）62 名　５月～３月（基礎・成人・老年・小児・母性看護学）

・大阪医専看護保健学科　（４年課程）90 名　５月～３月（基礎・成人・老年）

・大阪保健福祉専門看護　（３年課程）15 名　５月～11月（母性・小児）

・大阪病院協会看護専門学校（３年課程）19 名　２月～12月（母性・小児看護学）

・白鳳女子短期大学　(助産学専攻)２名　７月～10月（産科）

・甲南女子大学　(４年課程）20 名　10月～12月（母性看護学）

・住友病院附属高等看護学院（3 年課程）　8 名　７月～８月（母性看護学）

2）研修受入　・大阪府看護協会平成２１年度看護力再開発講習会実習受入　７月・２月　12 名

3）看護体験受入　・５月14日　大阪府看護協会一日看護体験事業依頼　３名

・８月３日　大阪府一日看護体験３名

4）看護フェアー　・５月12日～5 月 15 日　看護写真展

・５月15日看護相談、身体測定、ｱﾛﾏ、ﾌｯﾄｹｱ、ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ配布等　122 名参加

文責　正野　廣子

## 薬剤部

**1．**スタッフ　　部長　畑中 勝義
部員：長谷田 住雄、小津 貞二、野村 浩英、土江 恵美、池田 久雄
乾 有希子、吉岡 亮、森 真由子、平田 貴宏、宮 麻紀子
牧 秀美
パート薬剤師：辻 俊美、中野 静香、江戸 由希子
事務員（非常勤嘱託）：岩城 淳子

**［H.21 年度計画事項とその執行状況］**

１．薬剤部業務体制
・人員　：　薬剤師１５名（ﾊﾟｰﾄ３名を含む）
事務員１名
・配置　：　調剤・製剤業務７名　　薬剤管理指導業務（病棟担当）６名
治験管理室１名、事務担当１名、産休１名
２．ジェネリック薬品の採用
前年に引続きジェネリック薬品の導入を図った。注射薬 12 品目、その他８品目を採用し薬品購入における経済効果を図った。（前年比 20 品目増）
３．薬剤管理指導業務の充実
1 病棟に 1 名の担当薬剤師を配置し患者入院時持参薬の確認、服薬指導の充実を図り、退院時にお薬手帳の交付を開始した。
４．院内の薬に関する医療安全管理対策
医薬品安全管理者を設置し、病院内にある医薬品全般についての管理、適正使用についての情報伝達、安全使用についての確認を行っている。
５．新規業務の展開
癌化学療法について化学療法委員会と連携し、院内で実施される癌化学療法の全プロトコールを収集し運用を行っている。
６．学術活動
日本医療薬学会に２題、緩和医療学会に１題、日本糖尿病学会年次学術大会に１題

**［薬科大学学生実習受け入れ］**　薬学部６年制移行に伴う実習受入準備　実習生０名

**［主要業務 10 項目］**
1. 調剤業務　（入院 **55,289** 枚）（外来 **22,996** 枚）（注射 **81,367** 枚）（麻薬 **4,114** 枚）
（院外処方箋 **128,884** 枚）
2. 製剤業務　（一般・特殊製剤 **1,255** 件）（無菌 **2,316** 件）
3. 薬剤管理指導業務（ **8,428** 件）
4. DI 業務（DI ニュース **26** 件）（くすりﾆｭｰｽ **4** 件）
5. 抗癌剤無菌調製業務（ 入院 **964** 件　外来 **2,764** 件 ）
6. 薬品発注・在庫管理業務（採用品目数 **1264**）（臨時購入薬品 **60**）（院外届出薬品 **40**）
7. 血液製剤管理業務（**16** 品 **22** 規格 **551** 件）
8. 院外処方箋に関する問い合せ（**6,280** 件）
9. 薬事管理委員会　（新規採用薬品 **26**、削除薬品 **30**）
10. 治療用薬品払い出し業務（**4,143** 枚）

文責　畑中　勝義

## 治験管理室

スタッフ　　室長　：　長谷田　住雄
　　事務局：　長谷田　住雄（兼務・薬剤師）　兵頭　友子（NIC）
　　CRC　：　長谷田　住雄（薬剤師）　谷口　真理子（看護師）

[平成 21 年度計画事項とその執行状況]

1.　治験事務局業務
- 日生病院治験審査委員会標準業務手順書の改定
- 治験事務局マニュアルの整備
- 治験啓発研修会の実務
- 標準業務手順書を統一書式に変更及び改定

2.　治験コーディネーター（CRC）業務
- 医事課用治験業務マニュアルの作成
- CRC ⇔ 医事課連絡表の作成（外来・入院）
- 治験啓発研修会の講演

[平成２１年度実績]

治験審査委員会（IRB）　10 回開催
倫理委員会　10 回開催

１）平成２１年度新規受託契約課題―２件
- レストレス・レッグス症候群患者を対象とした SPM9624.5 及び 6.75mg／日のプラセボに対する優越性を検証する他施設共同、プラセボ対照、二重盲検、並行３群間比較試験（神経科・精神科　江川部長）
- ITM-014 の先端巨大症、下垂体性巨人症を対象とした長期投与試験（第Ⅲ相試験）（総合内科　笠山副院長）

２）前年からの継続実施課題―８件
- L059 継続投与試験（神経科・精神科　高橋副部長）
- 慢性局面型皮疹を有する中等症又は重症の日本人乾癬患者（尋常性乾癬）を対象とした adalimumab（D2E7）の長期投与における安全性と有効性を検討する非盲検継続投与試験（皮膚科　東山部長）
- AS-3201 の糖尿病性末梢神経障害患者を対象とした二重盲検法による用量設定試験（後期Ⅱ相）（総合内科　笠山副院長）
- SPM962 のレストレス・レッグス症候群患者を対象としたプラセボ対照試験（用量反応試験）（神経科・精神科　江川部長）
- SPM962 のレストレス・レッグス症候群患者を対象とした後期Ⅱ相試験の継続長期投与試験（長期投与試験）（神経科・精神科　江川部長）
- CNTO1275 局面型皮疹を有する乾癬患者を対象としたプラセボ対照二重盲検比較試験（皮膚科　東山部長）
- JNS024PR の癌性疼痛に対する第Ⅱ相試験（麻酔科　川原部長）
- JNS020QD の帯状疱疹後神経痛 CRPS 又は術後疼痛症候群患者を対象とした検証試験（麻酔科　川原部長）

３）H21 年終了課題―3 件
- AS-3201 の糖尿病性末梢神経障害患者を対象とした二重盲検法による用量設定試験（後期Ⅱ相）（総合内科　笠山副院長）
- JNS024PR の癌性疼痛に対する第Ⅱ相試験（麻酔科　川原部長）
- SPM962 のレストレス・レッグス症候群患者を対象としたプラセボ対照試験（用量反応試験）（神経科・精神科　江川部長）

４）市販後調査
新規契約－30 件
終了　　－21 件

５）医師主導・自主研究
新規　－30 件

文責　江川　功

## リハビリテーション室

1．スタッフ

責任者：リハビリテーション室 室長　稲岡正裕

理学療法士：片岡宏一郎、小倉敬子、麦田盛穂、廣田将史、喜多彬光

作業療法士：外山晶代

2．診療内容

・入院患者に対するリハビリに特に重点を置き、診療科の回診（整形外科病棟回診，NST 回診，褥創回診）や、各病棟とのカンファレンスなどを通じて、診療の質の向上に努めた。亜急性期病棟におけるリハビリなど長期療養患者に対するリハビリもバランスよく実施した。

・平成 21 年 5 月から作業療法士 1 名が新たに入職し、上肢機能の向上を目的とした手指の機能訓練，食事動作などの巧緻性機能の増大を目的とした ADL（日常生活動作）練習などの作業療法を開始し、リハビリテーション医療の充実を図った。

・定期的にリハビリカンファレンスを開催し、他職種との連携をとりながら情報交換を行い、医療の質向上に努めた。

・重心動揺検査装置や筋力測定器を用いた運動機能の客観的評価を行い、その数値に基づいた治療効果の判定や問題点の抽出を行い、リハビリのレベルアップを行った。

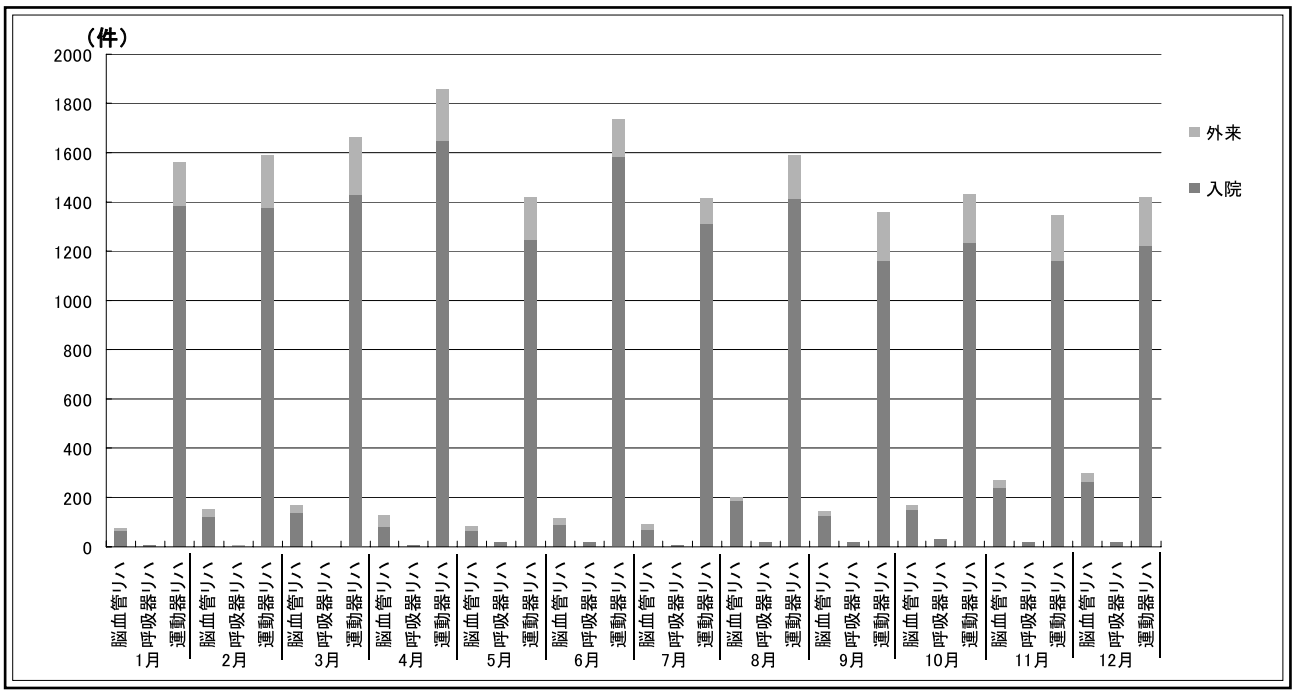
・予防医学におけるリハビリの役割の重要性を積極的に啓蒙、普及する必要がある。生活習慣病センターや予防医学センターとの連携をさらに充実させて、糖尿病教室や肥満外来などへの共同参画、運動療法指導、体操療法などの指導を行った。

・リハビリ専門学校からの教育実習依頼に対して協力し、実習教育活動の体制を整備して実施した。

・院内では整形外科抄読会、糖尿病勉強会などに参加し、院外においては各専門領域の勉強会に参加し、会得した技能，知識はスタッフ間で情報共有を行った。また研究などの学術活動にも積極的に参加し、第 69 回米国糖尿病学会をはじめとし、リハビリ室からは 8 演題の発表を行い、臨床に役立つ内容の発信に努めた。

文責：片岡　宏一郎

平成21年版　月別リハビリ年報　統計（月別脳血管リハ・呼吸器リハ・運動器リハ件数）



## 栄養管理室

1スタッフ　　管理栄養士：米田育子．山原瑞穂．梶木理絵 ，調理師：藤田龍也
委託側(管理栄養士3名、栄養士3名、調理師6名、炊事員12名、)

２栄養管理室の方針

給食業務が委託されて4年目となる。常食アンケート実施で直営時の肯定的評価を超えられるよう美味しい食事の提供に努力したが至っていない。

チーム医療の一員として褥瘡、ＮＳＴ各回診に参加し､患者様との連携を深くしQOLの向上と、栄養改善によって、入院期間の短縮に貢献した。

H20年7月より生活習慣病センター開設で、栄養指導件数の増加となった。

文責　米田 育子

**栄養指導件数**

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 | 前年累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 胃腸病 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 5 | 19 |
| 肝臓病 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 7 | 4 | 5 | 3 | 1 | 0 | 0 | 24 | 26 |
| 糖尿病 | 70 | 51 | 69 | 86 | 63 | 82 | 81 | 96 | 82 | 92 | 69 | 67 | 908 | 721 |
| 腎臓病 | 9 | 7 | 8 | 8 | 2 | 7 | 11 | 9 | 9 | 7 | 9 | 2 | 88 | 81 |
| 高血･心臓･高脂 | 35 | 39 | 33 | 49 | 20 | 43 | 36 | 26 | 41 | 36 | 26 | 34 | 418 | 275 |
| 肥満症 | 2 | 1 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 9 | 15 |
| 術後食 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 6 | 2 | 1 | 2 | 1 | 3 | 23 | 71 |
| 母子栄養 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 | 1 | 1 | 0 | 1 | 16 | 26 |
| その他 | 3 | 3 | 4 | 3 | 4 | 7 | 7 | 1 | 3 | 3 | 1 | 2 | 41 | 47 |
| 計 | 122 | 107 | 121 | 148 | 92 | 152 | 146 | 144 | 142 | 142 | 106 | 110 | 1532 | 1281 |

**栄 養 指 導〈集団指導〉 年間件数**

| | 実施回数 | 外来人数 | 入院人数 |
|---|---|---|---|
| 糖尿病 | 23 | 5 | 77 |
| 両親学級 | 0 | 0 | |

**錦 会〈糖尿病患者会〉**

4月　3日…ふれあいウオーキング　参加人数19名
11月20日…錦会総会、試食会、セミナー　参加人

**栄養管理計画書件数〈年間〉**

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 計画書作成延数 | 8457 | 8217 | 8853 | 8878 | 7982 | 8501 | 8725 | 8749 | 8015 | 8579 | 7960 | 7989 | 100905 | 96704 |
| 入院患者延数 | 8640 | 8289 | 9007 | 8979 | 8112 | 8587 | 8802 | 8823 | 8099 | 8683 | 8054 | 8082 | 102157 | 98053 |
| 算定率 | 97.9 | 99.1 | 98.3 | 98.9 | 98.4 | 99.0 | 99.1 | 99.2 | 99.0 | 98.8 | 98.8 | 98.8 | 98.8 | 98.6 |

**患者給食数〈年間〉**

| 患者給食 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 累計 | 前年度累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 常食 | 7859 | 7794 | 8616 | 8807 | 7905 | 8067 | 8524 | 8083 | 8101 | 8520 | 7572 | 7635 | 97483 | 102251 |
| 特食 | 12089 | 11984 | 12912 | 12899 | 11307 | 12392 | 12130 | 12846 | 10766 | 11391 | 10840 | 10966 | 142522 | 132340 |
| 合計 | 19948 | 19778 | 21528 | 21706 | 19212 | 20459 | 20654 | 20929 | 18867 | 19911 | 18412 | 18601 | 240005 | 234591 |
| 調乳本数 | 2077 | 1598 | 2566 | 2443 | 1996 | 1991 | 1994 | 1990 | 1819 | 2164 | 2296 | 2223 | 25157 | 28575 |

## 医療生活相談室

1．スタッフ

室長　　江川　功

医療ソーシャルワーカー　2名（本家　裕子　所持資格：社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員／松栄　優子　所持資格：社会福祉士・介護支援専門員）

2．相談援助

a．援助総件数

平成21年は、総数5469件（1日平均20.7件、月平均455.6件）の相談を受けました。昨年より大幅に増加しており、経済的・社会的・心理的相談のニーズの高さが伺えます。

b．新規相談

平成21年の新規相談は1125件でした。紹介経路別にみると、本人（130件）と家族（123件）からの相談が22.5%（昨年は24.2%）を占めました。看護師（380件）、医師（131件）およびその他の職員を含め、院内スタッフからの依頼は50.0%（昨年は49.6%）であり、院内スタッフからの依頼率が年々増加しており、連携の促進が図られている結果と考えられます。診療科別にみると、内科が 44.2%と最も多く、次いで整形外科（17.6%）、神経科・精神科（9.9%）となりました。

c．相談内容

相談内容は、退院への援助（在宅へ向けての療養環境整備の援助および転院・施設入所先の選定援助）が42.5%（昨年は48.8%）と最も多く、次いで介護保険、身体障害者手帳、特定疾患、精神保健等の諸制度に関する説明や申請援助（26.1%）、家庭問題に関する相談援助・生活支援（8.3%）、受診・受療に関する問題調整（8.2%）、経済的問題に関する相談援助（4.2%）となりました。

3．地域活動

a．近隣の施設（医療機関、介護老人保健施設等）へ訪問し、面識を持って情報交換をすることにより、スムーズな連携を図ることができました。

b．西区地域支援調整チーム高齢者支援専門部会へ参画し、地域の高齢者施策の充実に貢献しました。

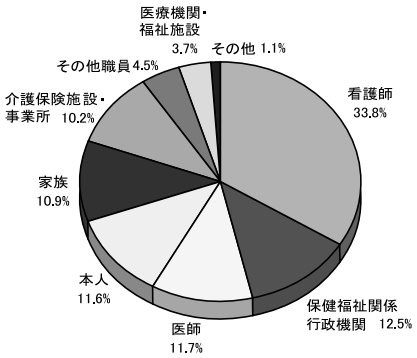
c．ケアプランセンターに所属、介護支援専門員（ケアマネジャー）を兼務し、利用者様の在宅生活を支援しました。

文責　本家 裕子

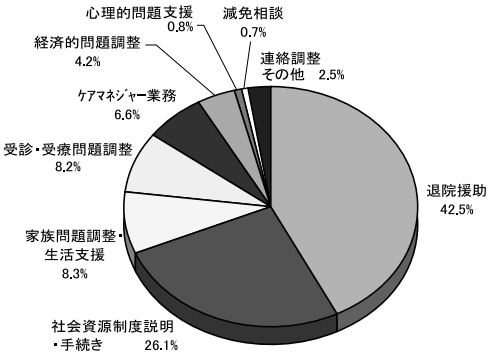
2-a.　相談件数（延べ数）

| | 平成21年 | 平成20年 | 平成19年 | 平成18年 | 平成17年 | 平成16年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | 2961 | 2448 | 2521 | 2960 | 2370 | 2407 |
| 神経科・精神科 | 436 | 487 | 416 | 411 | 436 | 404 |
| 小児科 | 10 | 36 | 46 | 66 | 40 | 35 |
| 外科 | 271 | 301 | 401 | 325 | 382 | 237 |
| 整形外科 | 1029 | 907 | 954 | 857 | 637 | 461 |
| 皮膚科 | 116 | 139 | 135 | 184 | 175 | 172 |
| 泌尿器科 | 287 | 100 | 200 | 172 | 135 | 112 |
| 産婦人科 | 119 | 205 | 74 | 175 | 184 | 189 |
| 眼科 | 17 | 70 | 27 | 80 | 236 | 184 |
| 耳鼻咽喉科 | 112 | 73 | 131 | 170 | 75 | 137 |
| 放射線科 | 2 | 2 | 0 | 22 | 11 | - |
| 麻酔科 | 6 | 2 | 0 | 4 | 4 | 3 |
| 歯科・口腔外科 | | 0 | 21 | 53 | 70 | 114 |
| 不明・その他 | 103 | 74 | 104 | 426 | 518 | 29 |
| 合計 | 5469 | 4844 | 5030 | 5905 | 5273 | 4484 |

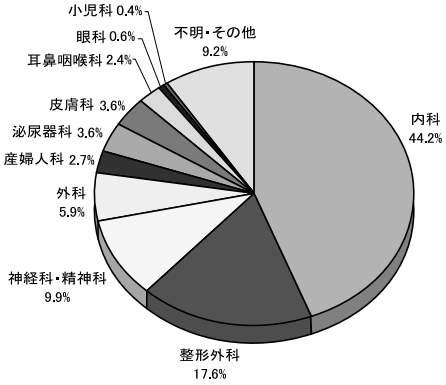
※18年までの累計には生活保護事務処理業務の件数を含む。（19年1月～医事課へ業務移管）
※歯科・口腔外科は平成20年1月～3月の件数




2-b-1.　新規ケース（紹介経路別）




2-c.相談援助内容




2-b-2.新規ケース分類（診療科別）

## 地域医療連携室

１．スタッフ 室長 廣田 憲二：猪田 睦子(看護師長１月～3月) 瓜本 恵美子(看護師長４月より)
岩田 美栄子 渡辺 喜代美 名引 英人

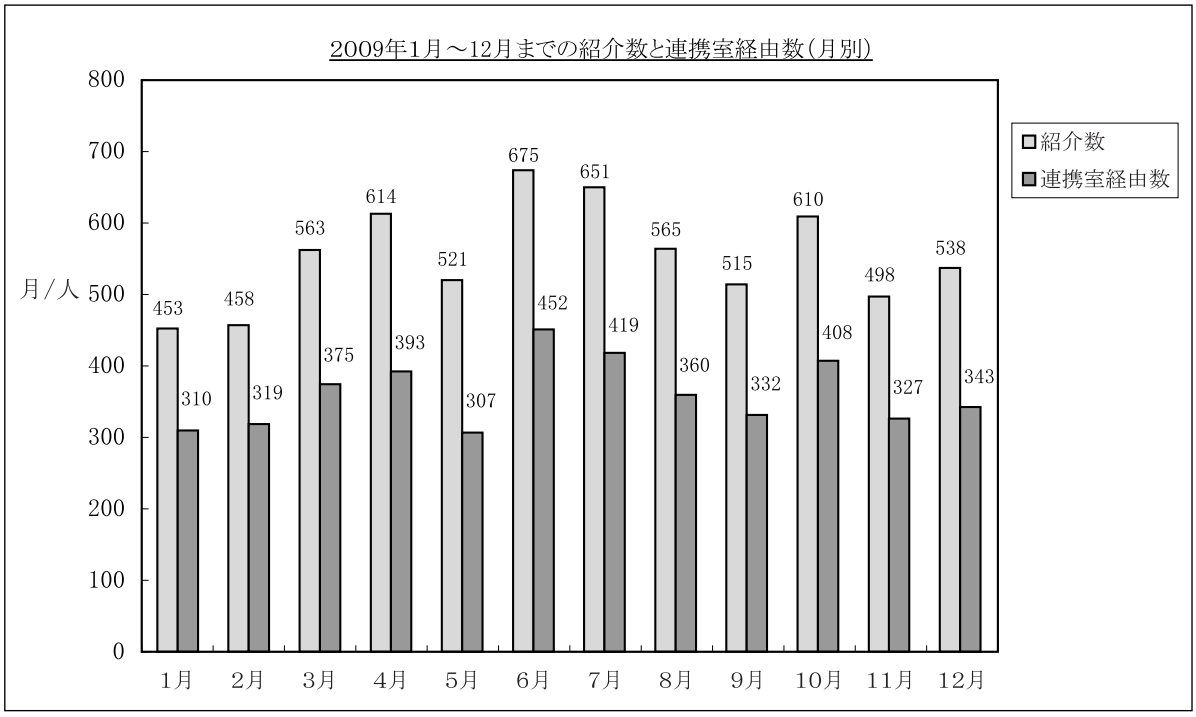
２．活動内容

①連携室経由の紹介患者様の対応
②医療機関向けＰＲ冊子の作成と送付
③第10回病診連携フォーラムの開催（H21．9．12）
④平成21年11月より連携室予約受付時間の延長（平日）午後７時まで
⑤開放型病院登録医の共同診療への協力並びに登録医の増員
（登録医H21年12月末231 名）
⑥病診連携「ニッセイ クリニカル カンファレンス」開催協力（H21．7．18）
⑥紹介患者様の報告、逆紹介チエック

文責　船渡 孝郎

2009年1月～12月　科別紹介数、連携室経由患者数（年間）

| 科別 | 紹介患者数<br>(救急車搬入患者含む) | 連携室経由患者数 |
|---|---|---|
| 循環器内科・神経内科 | 442 | 224 |
| 消化器内科 | 570 | 450 |
| 総合内科 | 524 | 247 |
| 血液・化学療法内科 | 230 | 140 |
| 神経科・精神科 | 143 | 69 |
| 小児科 | 205 | 123 |
| 外科 | 239 | 149 |
| 乳腺外科 | 175 | 122 |
| 整形外科 | 328 | 170 |
| 皮膚科 | 489 | 331 |
| 泌尿器科 | 375 | 186 |
| 産婦人科 | 1030 | 508 |
| 眼科 | 391 | 311 |
| 耳鼻咽喉科 | 480 | 206 |
| 放射線科 | 998 | 1080 |
| 麻酔科 | 42 | 29 |
| 合計 | 6661 | 4345 |



# 2009年日生病院業績集

（2009年１月～2009年12月）

## 論文発表

### 循環器内科・神経内科

１．中川　厚，竹本雅子，永田大樹，長谷川浩司，宮崎憲彦，仁科拓也，浅野彰彦，濱田偉文：急性冠症候群に肺塞栓症を合併した慢性腎臓病の１例．日生医誌，37：45-50，2009.

２．中川　厚，沢村梢，永田大樹，長谷川浩司，宮崎憲彦，仁科拓也，浅野彰彦，濱田偉文：診断におけるピット　フォール－非典型的症状を伴った大動脈解離の２例－．日生医誌，37：135-141，2009.

３．松本　梓，永田大樹，長谷川浩司，宮崎憲彦，中川厚，仁科拓也，浅野彰彦，濱田偉文，大嶋正人，三木俊治：抗ミトコンドリア抗体陽性を示したアルコール性肝硬変の１剖検例．日生医誌，37：146-150，2009.

４．新井幸子，藤田育子，水口洋一，浅野彰彦：当院臨床分離菌の検出頻度と薬剤感受性成績．日生医誌，37：151-155，2009.

５．川口公次，森本　梓，柳川友加，古川浩司，大西　龍，中尾やす子，水口洋一，浅野彰彦：当院での下肢静脈エコー検査統計と深部静脈血栓症（DVT），肺血栓塞栓症（PTE）でのD-ダイマーカットオフ値について（2006～2008）．日生医誌，37：154-155，2009.

６．Muranishi H, Nakashima D, Nagata H, Hasegawa K, Nakagawa A, Kojima S, Hamada H：Thrombo-occlusion of inferior vena cava filter in a patient with polycythemia vera. J. Cardiol.,　54：307-310, 2009.

７．中川　厚：実践　画像診断Ｑ＆Ａ－このサインを見落とすな－．レジデントノート，10：1745-1746，2009.

８．Nishina T, Sugino M, Nakajima H, Kimura F, Hanafusa T：Exacerbation of Myasthenia Gravis in the Treatment for Graves' disease. Bulletin of Osaka Medical College, 55：1-4, 2009.

### 総合内科

１．Fujiwara H, Nishimoto N, Hamano Y, Asanuma N, Miki S, Kasayama S, Suemura M：Masked early symptoms of pneumonia in patients with rheumatoid arthritis during tocilizumab treatment：A report of two cases. Mod. Rheumatol., 19：64-68, 2009.

２．Koga M, Saito H, Mukai M, Otsuki M, Kasayama S：Serum glycated albumin levels are influenced by smoking status, independent of plasma glucose levels. Acta Diabetol., 46：141-144, 2009.

３．Kasayama S, Tanemura M, Koga M, Fujita K, Yamamoto H, Miyatake A：Asthma is an independent risk for elevation of plasma C-reactive protein levels. Clin. Chim. Acta, 399：79-82, 2009.

４．Koga M, Saito H, Mukai M, Kasayama S, Yamamoto T：Factors contributing to increased serum urate in postmenopausal Japanese females. Climacteric, 12：146-152, 2009.

５．Koga M, Murai J, Saito H, Matsumoto S, Kasayama S：Effects of thyroid hormone on serum glycated albumin levels：study on non-diabetic subjects. Diabetes Res. Clin. Pr., 84：163-167, 2009.

６．Bando Y, Kanehara H, Toya D, Tanaka N, Kasayama S, Koga M：Association of serum glycated albumin to haemoglobin $A_{1C}$ ratio with hepatic function tests in patients with chronic liver disease. Ann. Clin. Biochem., 46：368-372, 2009.

７．Motomura T, Okamoto M, Kitamura T, Yamamoto H, Otsuki M, Asanuma N, Takagi M, Kurebayashi S, Hashimoto K, Sumitani S, Saito H, Kouhara H,　Nishii K, Nakao M, Koga M, Sato B, Morimoto Y, Kasayama S, for Kansai Diabetes Inflammation Prevention with Pitavastatin Study（K-DIPPS）group：Effects of pitavastatin on serum lipids and high sensi-

tivity C-reactive protein in type 2 diabetic patients. J. Atheroscler. Thromb., 16：546-552, 2009.
8．Koga M, Murai J, Saito H, Mukai M, Kasayama S, Moriwaki Y, Yamamoto T：Close relationship between serum concentrations of 1, 5-anhydmglucitol and uric acid in non-diabetic male subjects implies common renal transport system. Clin. Chim. Acta, 410：70-73, 2009.
9．古賀正史，村井　潤，斎藤　博，松本素江子，笠山宗正：鉄欠乏性貧血合併症患者に対する鉄剤治療後の血糖コントロール指標としての血清グリコアルブミンの有用性．糖尿病，52：341-345，2009.
10．八木橋操六，安田　斎，佐藤　譲，出口尚寿，佐々木秀行，杉本一博，玉沢直樹，伊藤博史，笠山宗正，中村二郎，麻生好正，小林睦博，糠田　均，横山宏樹，今村憲市，糖尿病神経障害臨床病期分類調査グループ：簡易診断基準をベースにした糖尿病多発神経障害の臨床病期分類作成の試みと前向き疫学調査初年度における実態．末梢神経，20：159-161，2009.
11．東山真理，濱野芳匡，藤原弘士，笠山宗正：日生病院皮膚科における皮膚筋炎10例の臨床的検討．日本皮膚科学会雑誌，119：746，2009.
12．大月道夫，笠山宗正：血糖降下以外に期待されるメトホルミンの臨床効果：AGEs産生抑制．見直されたビグアナイド〈改訂版〉，74-78，フジメディカル出版，2009.
13．大月道夫，笠山宗正，幸原晴彦，斎藤　博，住谷　哲，山本浩靖，稲葉真希子，下村伊一郎：グリメピリド長期投与2型糖尿病患者の臨床的特徴．新薬と臨床，58：94-100，2009.
14．角南ちえ子，阿部恭子，井上恵子，新井幸子，笠山宗正：小型呼気ガス分析装置（MedGem）を用いた安静時代謝量の評価．日生医誌，37：13-17，2009.
15．廣田将史，片岡宏一郎，小倉敬子，麦田盛穂，喜多彬光，笠山宗正，稲岡正裕：糖尿病患者の下肢筋力・柔軟性・重心動揺に対する運動療法の効果－糖尿病神経障害との関連において－．日生医誌，37：18-23，2009.
16．前田悠一，濱野芳匡，田渕優希子，浅沼伸行，藤原弘士，三木俊治，佐藤文三，笠山宗正，元村卓嗣：全身倦怠と低Na血症が寛解・再燃したACTH欠損症の一例．日生医誌，37：29-33，2009.
17．林　美沙，田渕優希子，濱野芳匡，浅沼伸行，藤原弘士，三木俊治，笠山宗正，大嶋正人：糖尿病性昏睡と敗血症を呈した1剖検例．日生医誌，37：29-33，2009.
18．森田真也，馬籠みどり，高山由美子，坪内由里，森　エミ，角南ちえ子，前田悠一，田渕優希子，宇都佳彦，合屋佳代子，藤原弘士，三木俊治，佐藤文三，笠山宗正：当院における外来インスリン導入の現状とその治療成績．日生医誌，37：111-115，2009.
19．乾有希子，角南ちえ子，高山由美子，片岡宏一郎，大原裕子，新井幸子，住谷　哲，笠山宗正：当院入院患者の糖尿病に関する認識とインスリン注射イメージに関する調査．日生医誌，37：116-120，2009.
20．田渕優希子，日外佑理，竹本雅子，前田悠一，濱野芳匡，宇都佳彦，森田真也，中川　厚，藤原弘士，三木俊治，笠山宗正：著明な高アミラーゼ血症を認めた糖尿病ケトアシドーシスの2例．日生医誌，37：126-129，2009.

**小児科**

1．山根秀一，林田雅子，杉本久和：退院後に消化管出血を認めた不全型川崎病例．Progress in Medicine，29：1659-1664，2009.

**消化器・一般外科**

1．黄　泰平，濱中雄幸，宮田俊男，田中恒行，安政啓吾，藤川正博：難治性小腸皮膚瘻に対する皮弁形成瘻孔閉鎖術の2例．日本臨床外科学会雑誌，70：3036-3040，2009.
2．黄　泰平，藤川正博，安政啓吾，田中恒行，広田将司，西田幸弘：標準手技としての臍に切開を加える正中切開法．日本臨床外科学会雑誌，70：3240-3244，2009.
3．黄　泰平，藤川正博，安政啓吾，田中恒行，広田将司，西田幸弘：アレルギー対策としての手袋パウダーフリー化とポリウレタン手袋使用の経験．日本臨床外科学会雑誌，70：3512-3516，2009.

**整形外科**

1．稲岡正裕：作業関連筋骨格系障害による痛み．

菊地臣一編，運動器の痛み－プライマリケア 腰背部の痛み，pp.37-38，南江堂，2009.
2．稲岡正裕：作業関連腰痛，菊地臣一編，運動器の痛み－プライマリケア 腰背部の痛み，pp.261-266，南江堂，2009.
3．Tsuji S, Tomita T, Fujii M, Laskin RS, Yoshikawa H, Sugamoto K：Is Minimally Invasive Surgery－Total Knee Arthroplasty Truly Less Invasive Than Standard Total Knee Arthroplasty？ A Quantitative Evaluation. J Arthroplasty. Epub, 2009.
4．Tsuji S, Tomita T, Inaoka M, Higashiyama M：Case report：psoriatic erythroderma with bilateral osseous bridge across the acetabulum. Clin Orthop Relat Res, Epub, 2009.

**皮膚科**

1．Tsuji S, Tomita T, Inaoka M, Higashiyama M：Case report：psoriatic erythroderma with bilateral osseous bridge across the acetabulum. Clin Orthop Relat Res, Epub, 2009.
2．山下利子，東山真里：帯状疱疹スキンケアと生活指導のアート．Visual Dermatology，8：790-791，2009.
3．東山真里：疾患論　紅斑症．看護学テキスト，南江堂，2009 印刷中.
4．佐藤彩子，東山真里：多発性痛風結節の 1 例．日生病院医学雑誌，37：39-44，2009.
5．平野亜由子，他：水痘様皮疹を呈したLangerhans細胞組織球症の 1 例．皮膚の科学，8：355-360，2009.

**泌尿器科**

1．中田　渡，花房隆範，福井辰成，黒田昌男：前立腺癌内分泌療法中止後も血清テストステロンが回復しない 6 症例．泌尿器外科，22(3)：501-504，2009.

**産婦人科**

1．舩渡孝郎：ここが聞きたい－不妊・不育症診療ベストプラクティス　腹腔鏡下手術での術後癒着防止の方法について教えてください．何が一番有効なのでしょうか．臨床婦人科産科，63：507-509，2009.
2．舩渡孝郎：ここが聞きたい－不妊・不育症診療ベストプラクティス　チョコレートのう胞がある不妊症例に対する核出術は，癌化を考慮して積極的に行うべきでしょうか．最新の知見を教えてください．臨床婦人科産科，63：511-513，2009.
3．廣田憲二：肥満とHRTの関係は？．Q＆Aでわかる肥満と糖尿病，8：186-188，2009.
4．廣田憲二：繰り返すカンディダ症．笑顔，3：27，2009.
5．廣田憲二：子宮筋腫．笑顔，9：24，2009.
6．佐伯典厚：子宮筋腫分娩の治療法．産婦人科治療，99：72-74，2009.
7．小玉美智子，平松宏祐，金容輝，奥野健太郎，古元淑子，伏見博彰，竹村昌彦：妊娠初期の卵巣出血に対し，自己血回収装置を用いて腹腔鏡下止血術をしえた 1 症例．日本産科婦人科内視鏡学会誌，25：240-245，2009.
8．小玉美智子，甲村弘子，光田信明，末原則幸：造血幹細胞移植による晩期障害　～女児の骨密度減少～．オステオポローシスジャパン，17：443-444，2009.
9．小玉美智子，平松宏祐，金容輝，奥野健太郎，古元淑子，伏見博彰，竹村昌彦：子宮温存TVM-A，P術式と膣式子宮全摘術・TVM-T併用術式の治療成績．女性骨盤底学会雑誌，6：86-88，2009.
10．小玉美智子，平松宏祐，金容輝，奥野健太郎，古元淑子，伏見博彰，竹村昌彦：経尿道的膀胱腫瘍切除術及びホルモン療法にて治療を行った膀胱子宮内膜症の 1 例．日本産婦人科内視鏡学会雑誌，25：395-398，2009.
11．廣田憲二：不正性器出血，機能性子宮出血，子宮内膜ポリープ．山口　徹・北原光夫・福井次矢編，今日の治療指針，pp.921，医学書院，2009.
12．廣田憲二：妊娠，授乳期の栄養．M. F. ホリック・B. ドーソン ヒューズ編，骨の健康と栄養科学大辞典，pp.73-81，西村書店，2009.

**放射線科**

1．Iwazawa J, Ohue S, Mitani T, Abe H, Hashimoto N, Hamuro M, Nakamura K：Identifying feeding arteries during TACE of hepatic tumors：comparison of C-arm CT and digital subtraction angiography. AJR Am J

Roentgenol, 192：1057-1063,　2009.

2．Iwazawa J, Ohue S, Hashimoto N, Abe H, Mitani T：Visualization of gastric varices using angiographic C-arm CT during retrograde transvenous sclerotherapy, Indian J Radiol Imaging, 2009 in press.

3．Iwazawa J, Ohue S, Hashimoto N, Yasumasa K, Abe H, Mitani T：Bevacizumab-induced hypovascular hepatocellular carcinoma treated by transarterial chemoembolization in a patient with metastatic colon cancer. J Vasc Interv Radiol, 2009 in press.

4．Hashimoto N, Iwazawa J, Abe H, Mitani T, Kagawa K：Radiation therapy for gastric wall metastasis from esophageal carcinoma. Jpn J Radiol, 2009 in press.

5．三谷　尚：コーンビームCアームCT機能を有するFPD搭載血管撮影装置のIVR領域での有用性．新医療，12：181-184，2009

**麻酔科**

1．内藤　絢，遠藤高生，井上潤一，奥野聡子，内田　整，川原玲子：レミフェンタニルを用いた全身麻酔の術後痛とシバリング．麻酔，58：77-80，2009.

2．井上潤一，奥野聡子，山崎恭子，川原玲子：がん末期のせん妄に対する抑肝散（TJ-54）投与の経験．ペインクリニック，30：525-528，2009.

3．奥野聡子，山崎恭子，井上潤一，川原玲子：オキシコンチン®投与中に抗うつ薬を併用し意識障害をきたした1症例．ペインクリニック，30：849-852，2009.

4．平山果与子，奥野聡子，井上潤一，山崎恭子，川原玲子，横井　猛，佐伯典厚，舩渡孝郎：妊娠を合併した患者の全身麻酔管理－腹腔鏡を中心に－．麻酔，58：728-731，2009.

5．川原玲子：局所麻酔での急変．OPE nursing，24：859-861，2009.

6．川原玲子：局所麻酔薬中毒．OPE nursing，24：862-864，2009.

7．林　美沙，玉井　裕，井上潤一，奥野聡子，山崎恭子，川原玲子：褐色細胞腫の麻酔経験．日生病院医学雑誌，37：34-38，2009.

8．平井孝一，岡田夏枝，玉井　裕，井上潤一，奥野聡子，山崎恭子，川原玲子：挿管困難をきたした関節リウマチによる環軸椎亜脱臼の1例．日生病院医学雑誌，37：121-125，2009.

9．藤本　拓，岡田夏枝，玉井　裕，井上潤一，奥野聡子，山崎恭子，川原玲子：肺癌胸壁・胸椎転移による疼痛に対してくも膜下フェノールブロックを施行した症例．日生病院医学雑誌，37：130-134，2009.

**病理診断科**

1．大嶋正人，黒田昌男，福井辰成，花房隆範，中田　渡：日生病院前立腺癌症例の臨床病理学的検討．日生医誌，37：8-12，2009.

**臨床研修部**

1．林　美沙，田渕優希子，濱野芳匡，浅沼伸行，藤原弘士，三木俊治，笠山宗正，大嶋正人：糖尿病性昏睡と敗血症を呈した1剖検例．日生医誌，37：51-55，2009.

2．佐々成太郎，福田昌輝，村本　理，関　保道，湯川雅彦，大嶋正人，三木俊治：呼吸不全をきたし死亡した乳頭部癌の1剖検例．日生医誌，37：56-59，2009.

3．成島英里，有本伸子，福田昌輝，村本　理，湯川雅彦，大嶋正人，三木俊治：肝性脳症を繰り返したC型肝炎後肝硬変の1剖検例．日生医誌，37：142-145，2009.

4．松本　梓，永田大樹，長谷川浩司，宮崎憲彦，中川　厚，仁科拓也，浅野彰彦，濱田偉文，大嶋正人，三木俊治：抗ミトコンドリア抗体陽性を示したアルコール性肝硬変の1剖検例．日生医誌，37：146-150，2009.

**リハビリテーション室**

1．廣田将史，片岡宏一郎，小倉敬子，麦田盛穂，喜多彬光，笠山宗正，稲岡正裕：糖尿病患者の柔軟性・下肢筋力・重心動揺に対する運動療法の効果－糖尿病神経障害との関連において－．日生医誌，37：18-23，2009.

2．喜多彬光，廣田将史，麦田盛穂，小倉敬子，片岡宏一郎，李　大相，宮崎忠勝，三木宏真，稲岡正裕：ＴＫＡ（人工膝関節全置換術）パスの現状報告－リハビリプログラムにおけるバリアンスについて－．日生医誌，37：24-28，2009.

**中央臨床検査部**

1．新井幸子，藤田育子，水口洋一，浅野彰彦：当院臨床分離菌の検出頻度と薬剤感受性成績－2006年～2008年－．日生医誌，37：151-153，2009.

2．川口公次，森本　梓，柳川友加，古川浩司，大西　龍，中尾やす子，水口洋一，浅野彰彦：当院での下肢静脈エコー検査統計と深部静脈血栓症（DVT），肺血栓塞栓症（PTE）でのD-ダイマーカットオフ値について（2006年～2008年），日生医誌，37：154-155，2009.

**生活習慣病センター**

1．角南ちえ子，阿部恭子，井上恵子，新井幸子，笠山宗正：小型呼気ガス分析装置（MedGem）を用いた安静時代謝量の評価．日生医誌，37：13-17，2009.

2．森田真也，馬籠みどり，高山由美子，坪内由里，森　エミ，角南ちえ子，前田悠一，田渕優希子，宇都佳彦，合屋佳代子，藤原弘士，三木俊治，佐藤文三，笠山宗正：当院における外来インスリン導入の現状とその治療成績．日生医誌，37：111-115，2009.

3．乾有希子，角南ちえ子，高山由美子，片岡宏一郎，大原裕子，新井幸子，住谷　哲，笠山宗正：当院入院患者の糖尿病に関する認識とインスリン注射イメージに関する調査．日生医誌，37：116-120，2009.

4．角南ちえ子：あなたの町の糖尿病看護認定看護師．糖尿病ケア，6：80, 2009.

## 学会・研究会発表

**循環器内科・神経内科**

1．永田大樹，中川　厚，長谷川浩司，濱田偉文：上腕動脈内でキンクしたCAGカテーテルをスネアを作成して回収した１例．第14回日本心血管インターベンション学会近畿地方会，２月，2009，豊中.

2．中川　厚：PCI施行後の抗血小板療法について．プラビックスに関する座談会，２月，2009，大阪.

3．中川　厚：コレステロールの吸収制御の臨床的重要性．コレステロールアドバイザリーパネル，４月，大阪，2009.

4．濱田偉文：心房細動患者に対する最新脳塞栓予防対策－2008年改訂心房細動ガイドラインを中心に－．日生医学セミナーup date，５月，2009，大阪.

5．前田悠一，仁科拓也，永田大樹，長谷川浩司，宮崎憲彦，中川　厚，浅野彰彦，濱田偉文：腫瘍切除とステロイド治療導入の時期に苦慮した大腸癌合併リウマチ性多発筋痛症の1例．第188回日本内科学会近畿地方会，６月，2009，大阪.

6．中川　厚，竹本雅子，永田大樹，長谷川浩司，宮崎憲彦，仁科拓也，浅野彰彦，濱田偉文：急性冠症候群に肺塞栓症を合併した慢性腎臓病の１例．第107回日本循環器学会近畿地方会，６月，2009，大阪.

7．中川　厚，永田大樹，中島大成，長谷川浩司，児島成之，浅野彰彦，濱田偉文：大動脈解離－診断のピットホール－非典型的症状の２例．第37回北摂臨床懇話会，７月，2009，大阪.

8．宮崎憲彦，中川　厚，永田大樹，長谷川浩司，濱田偉文：典型的な症状を呈さなかった大動脈解離2例．病診連携ニッセイクリニカルカンファレンス，７月，2009，大阪

9．濱田偉文：心房細動の外来管理－血栓塞栓症予防対策を中心に－．病診連携ニッセイクリニカルカンファレンス，７月，2009，大阪

10．平井孝一，宮崎憲彦，永田大樹，長谷川浩司，中川　厚，仁科拓也，浅野彰彦，濱田偉文，大嶋正人：*Klebsiella pneumoniae*敗血症によるDICで腸間膜出血を生じ死亡した１剖検例．第189回日本内科学会近畿地方会，９月，2009，大阪.

11．日外祐理，永田大樹，長谷川浩司，中川　厚，濱田偉文：中心静脈リザーバーがpinch-offにより断裂した１例．第24回長如会，９月，2009，高槻.

12．永田大樹，中島大成，中川　厚，濱田偉文：Bepridil投与における高齢者と若年者の有効性と副作用についての比較．第57回心臓病学会学術集会，９月，2009，札幌.

13．中川　厚：胸に痛みを感じたら－狭心症・心筋梗塞症の最新治療－．第２回日生病院市民公開講座，11月，2009．大阪.

14．永田大樹，日外祐理，長谷川浩司，中川　厚，濱田偉文：ピンチオフを生じたCVカテーテルの１例．第190回日本内科学会近畿地方会，12月，

2009，神戸.

15. 沢村　梢，中川　厚，永田大樹，長谷川浩司，宮崎憲彦，濱田偉文：典型的な症状を呈さなかった大動脈解離の２例．第108回日本循環器学会近畿地方会，12月，2009，和歌山.

**消化器内科**

１．有本伸子，福田昌輝，村本　理，湯川雅彦：インターフェロン治療が奏効したC型慢性肝炎合併自己免疫性肝炎の１例．病診連携ニッセイクリニカルカンファレンス，７月，2009，大阪.

**総合内科**

１．藤原弘士：関節リウマチの日常診療～薬物療法を中心に．大阪リウマチセミナー，１月，2009，大阪.

２．齋藤洋一，大月道夫，押野　悟，下村伊一郎，笠山宗正，吉峰俊樹：先端巨大症に対するオクトレオチドLAR治療．第19回日本間脳下垂体腫瘍学会，２月，2009，東京.

３．笠山宗正：成長ホルモンと糖尿病，兵庫県医師会第51回学術セミナー（第４回兵庫県医師会糖尿病学術講演会），２月，2009，神戸.

４．笠山宗正：ステロイドホルモンと心血管疾患．第５回 TENDERNESS（糖尿病と腎臓病カンファレンス），２月，2009，大阪.

５．藤原弘士：最新のリウマチ治療．市民公開講座：最新のリウマチ治療を考える，3月，2009，大阪.

６．村井　潤，古賀正史，齋藤　博，向井幹夫，松本素江子，笠山宗正：胃切除患者では$HbA_{1C}$に比してグリコアルブミンは高値を示す．第106回日本内科学会総会・講演会，４月，2009，東京.

７．Tanaka M, Torii K, Fukuzato Y, Makino T, Otsuki M, Kasayama S, Shizukuishi S：Association of inflammatory biomarkers with periodontitis in diabetic patients. International Association for Dental Research General Session 2009, 4月, 2009, 米国 マイアミ.

８．Tanaka M, Torii K, Fukuzato Y, Makino T, Otsuki M, Kasayama S, Shizukuishi S：Periodontitis and components of metabolic syndrome in diabetic macrovascular risk. International Association for Dental Research General Session 2009, 4月, 2009, 米国 マイアミ.

９．Tanaka M, Toe M, Hashino E, Nishida N, Torii K, Fukuzato Y, Makino T, Otsuki M, Kasayama S, Shizukuishi S：Association between breath evaluation with electronic nose and serum biomarkers in diabetic patients. International Conference on Breath and Breath Odor Research 2009, 4月, 2009, ドイツ ドルトムント.

10. 濱野芳匡，田中敏郎，末村正樹，藤原弘士：顕微鏡的多発血管炎の経過中に，肥厚性硬膜炎を発症した一例．第53回日本リウマチ学会総会・学術集会，４月，2009，東京.

11. 笠山宗正，田渕優希子，浅沼伸行，佐藤文三，森田真也，大月道夫，齋藤洋一，有田憲生：成人GH分泌不全症－心血管疾患リスクの観点から．第82回日本内分泌学会学術総会（クリニカルアワー1：成人GH分泌不全症の治療適応と効果），４月，2009，前橋.

12. 笠山宗正：成人GHDに対するGH補充療法は心血管疾患の発症を減少させるか？．第82回日本内分泌学会学術総会（共催教育講演２），４月，2009，前橋.

13. 古賀正史，村井　潤，齋藤　博，向井幹夫，西原利治，笠山宗正：肝障害を伴うNAFLDに対するDHEAの関与．第82回日本内分泌学会学術総会，４月，2009，前橋.

14. 田渕優希子，浅沼伸行，濱野芳匡，藤原弘士，三木俊治，佐藤文三，笠山宗正，有田憲生：重症成人成長ホルモン分泌不全症のスクリーニングのための至適IGF-Ⅰカットオフ値の検討．第82回日本内分泌学会学術総会，４月，2009，前橋.

15. 笠山宗正：ステロイド療法の歴史と未来．堺市医師会内科医会学術講演会，４月，2009，堺.

16. 森田真也，大月道夫，斎藤　博，向井幹夫，笠山宗正，古賀正史：肺活量低下は耐糖能低下の危険因子である．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪.

17. 谷口晴信，高櫻明子，青木桂子，金原秀雄，久田あずさ，番度行弘，笠山宗正，古賀正史：NASHにおけるグリコアルブミン（GA）/$HbA_{1C}$比の臨床的意義について．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪.

18. 斎藤　博，古賀正史，村井　潤，笠山宗正：インスリン強化療法にて加療した血糖コントロール不良糖尿病患者を対象とした$HbA_{1C}$，GAの半

減期の算出．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．

19. 喜多彬光，片岡宏一郎，廣田将史，小倉敬子，麦田盛穂，稲岡正裕，角南ちえ子，笠山宗正：糖尿病患者の足趾把持力と転倒リスクの解析：糖尿病神経障害との関連．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
20. 片岡宏一郎，廣田将史，喜多彬光，小倉敬子，麦田盛穂，稲岡正裕，田渕優希子，濱野芳匡，藤原弘士，住谷　哲，三木俊治，佐藤文三，笠山宗正：自覚症状のない糖尿病神経障害患者における下肢筋力・身体バランスの低下．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
21. 乾有希子，角南ちえ子，高山由美子，片岡宏一郎，大原裕子，新井幸子，住谷　哲，笠山宗正：一般患者の糖尿病に関する認識度とインスリン注射のイメージに関する調査．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
22. 古賀正史，村井　潤，斎藤　博，笠山宗正：治療前後のグリコアルブミン（GA）値から将来の$HbA_{1C}$（$eHbA_{1C}$）値の予知が可能である．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
23. 大月道夫，笠山宗正，森田真也，下村伊一郎：２型糖尿病患者におけるグリメピリド長期投与症例の臨床的特徴．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
24. 角南ちえ子，阿部恭子，井上恵子，新井幸子，笠山宗正：小型呼気ガス分析装置（MedGem）により測定した安静時代謝量に影響する因子．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
25. 三山聡子，村井　潤，斎藤　博，向井幹夫，笠山宗正，古賀正史：飲酒習慣が糖代謝と蛋白糖化に及ぼす影響．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
26. 浅沼伸行，福田士郎，出口有近，元村卓嗣，柏本佐智子，清水久代，秋田すみ子，宮武宣子，住谷哲，笠山宗正，佐藤文三，有田憲生：甲状腺サルコイドーシスと汎下垂体機能低下症を同時発症した糖尿病の一例．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
27. 廣田将史，片岡宏一郎，小倉敬子，麦田盛穂，喜多彬光，稲岡正裕，笠山宗正：糖尿病患者の柔軟性・下肢筋力・重心動揺に対する運動療法の効果．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
28. 松本素江子，村井　潤，斎藤　博，笠山宗正，宮崎彩子，古賀正史：$HbA_{1C}$の異常値が出る機序に基づいた異常ヘモグロビン（Hb）の分類の提案とその診断．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
29. 田渕優希子，笠山宗正，濱野芳匡，藤原弘士，三木俊治，佐藤文三，古賀正史：ステロイド糖尿病における$HbA_{1C}$，グリコアルブミン測定の意義．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
30. 向井幹夫，村井　潤，斎藤　博，笠山宗正，古賀正史：高尿酸血症患者の血清グリコアルブミン（GA）は低値を示す．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
31. 合屋佳代子，大月道夫，森田真也，斎藤　博，向井幹夫，笠山宗正，古賀正史：尿酸性化と内臓肥満およびメタボリックシンドローム関連指標との関係．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
32. 村井　潤，古賀正史，斎藤　博，笠山宗正，今川彰久，花房俊昭，小林哲郎，１型糖尿病調査委員会委員：劇症１型糖尿病患者のGA／$HbA_{1C}$比は２型糖尿病に比し高値を示す．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
33. 宮武明彦，種村麻里，藤田きみゑ，中野直子，大月道夫，笠山宗正：エアーコンディショニングと咳喘息．第21回日本アレルギー学会春季臨床大会，６月，2009，岐阜．
34. Kataoka K, Hirota M, Kita A, Ogura K, Mugita M, Inaoka M, Tabuchi Y, Hamano Y, Fujiwara H, Sumitani S, Miki S, Sato B,Kasayama S：Postural Balance Impairment Associated with Muscle Weakness at the Ankle and Knee in Type 2 Diabetic Patients with Early Stage Peripheral Neuropathy. American Diabetes Association 69th Scientific Sessions, 6 月, 2009, 米国 ニューオリンズ.
35. 佐々成太郎，住谷　哲，浅沼伸行，田渕優希子，濱野芳匡，藤原弘士，三木俊治，佐藤文三，笠山宗正：FDG-PET検診が診断の契機となった先端巨大症の１例．第188回日本内科学会近畿地方会，6月，2009，大阪．

36. 笠山宗正：糖尿病と骨粗鬆症の接点．第７回骨粗鬆症を語る会，６月，2009，吹田．
37. 藤原弘士：最新のリウマチ治療とその目標～劇的変化とは～．西区医師会学術講演会，６月，2009，大阪．
38. 藤原弘士：最新のリウマチ治療～他の膠原病との違いを含めて～．此花区医師会学術講演会，６月，2009，大阪．
39. 古賀正文，村井　潤，斎藤　博，大月道夫，森田真也，笠山宗正：成人GH分泌不全症患者はPWVが高値を示す．第24回兵庫下垂体疾患症例検討会，６月，2009，西宮．
40. 笠山宗正：アクロメガリー診療Up-to-Date．奈良間脳下垂体疾患講演会，６月，2009，大阪．
41. 笠山宗正：内分泌・代謝内科診療の醍醐味．第３回大阪内分泌・代謝クリニカルカンファレンス（OEMCC），７月，2009，大阪．
42. 村井　潤，斎藤　博，笠山宗正，古賀正史：胃切除例の血清グリコアルブミンは$HbA_{1C}$に比して高値である．第３回大阪内分泌・代謝クリニカルカンファレンス，７月，2009，大阪．
43. 北村哲宏，大月道夫，下村伊一郎，笠山宗正，斎藤　博，向井幹夫，古賀正史：骨粗鬆症スクリーニングにおける血清アルカリフォスファターゼ測定の有用性．第８回大阪骨疾患治療研究会，７月，2009，大阪．
44. 喜多彬光，片岡宏一郎，廣田将史，小倉敬子，麦田盛穂，稲岡正裕，角南ちえ子，田渕優希子，笠山宗正：糖尿病患者の転倒リスクに対する足趾把持筋力の影響．第８回大阪骨疾患治療研究会，７月，2009，大阪．
45. 前田悠一，藤原弘士，濱野芳匡，田渕優希子，宇都佳彦，森田真也，三木俊治，笠山宗正：著明な低蛋白血症を合併した混合性結合組織病の１例．病診連携ニッセイクリニカルカンファレンス，７月，2009，大阪．
46. 古賀正史，村井　潤，斎藤　博，向井幹夫，笠山宗正：血清尿酸値は血清グリコアルブミンに対する負の調節因子である．高尿酸血症・メタボリックシンドロームリサーチフォーラム第５回研究集会，８月，2009，大阪．
47. 古賀正史，村井　潤，斎藤　博，向井幹夫，西原利治，笠山宗正：非アルコール性脂肪肝におけるDHEAの意義．第43回兵庫内分泌研究会，８月，2009，神戸．
48. 森田真也，田渕優希子，片岡宏一郎，廣田将史，喜多彬光，小倉敬子，麦田盛穂，稲岡正裕，笠山宗正：糖尿病性多発神経障害第Ⅱ期患者における下肢筋力・身体バランスの低下．第15回糖尿病性神経障害を考える会，８月，2009，東京．
49. 古賀正史，村井　潤，斎藤　博，向井幹夫，西原利治，笠山宗正：血清尿酸値は血清グリコアルブミンに対する負の調節因子である．第50回日本人間ドック学会学術大会，９月，2009，東京．
50. 古賀正史，村井　潤，斎藤　博，向井幹夫，西原利治，笠山宗正：胃切除例の血清グリコアルブミンは$HbA_{1C}$に比して高値である．第50回日本人間ドック学会学術大会，９月，2009，東京．
51. 藤原弘士：関節リウマチ診療におけるピットホール．第19回日本リウマチ学会近畿支部学術集会（教育講演），９月，2009，大阪．
52. 濱野芳匡，前田悠一，田渕優希子，浅沼伸行，藤原弘士，三木俊治，佐藤文三，笠山宗正：出産後に甲状腺中毒症と下垂体機能低下症を同時に発症した一例．第189回日本内科学会近畿地方会，９月，2009，大阪．
53. 笠山宗正：糖尿病と骨粗鬆症の気になる関係．大阪糖尿病アカデミー，９月，2009，枚方．
54. 笠山宗正，角南ちえ子，片岡宏一郎：日生病院における生活習慣病診療の取り組み．第10回あわざフォーラム，９月，2009，大阪．
55. 廣田将史，片岡宏一郎，喜多彬光，小倉敬子，麦田盛穂，外山晶代，稲岡正裕，笠山宗正：糖尿病診療における運動療法の可能性と限界．第24回糖尿病セミナー『おおさか』，９月，2009，大阪．
56. 八木橋操六，安田　斎，佐藤　譲，出口尚寿，佐々木秀行，杉本一博，伊藤博史，笠山宗正，中村二郎，麻生好正，横山宏樹，糖尿病神経障害臨床病期分類調査グループ：簡易診断基準をベースにした糖尿病多発神経障害の臨床病期分類作成の試みと前向き疫学調査初年度における実態．第24回日本糖尿病合併症学会，10月，2009，岡山．
57. 田渕優希子，森田真也，竹本雅子，佐々成太郎，前田悠一，濱野芳匡，宇都佳彦，藤原弘士，三木俊治，佐藤文三，中川雅史，笠山宗正：HTLV1ウイルスキャリアに合併した副腎皮質機能低下症の一例．第10回日本内分泌学会近畿支

部学術集会，10月，2009，和歌山.

58. 藤田きみゑ，宮武明彦，中野直子，大月道夫，笠山宗正，玉利真由美：初診の咳喘息患者および気管支喘息患者の背景因子の比較検討．第59回日本アレルギー学会秋季学術大会，10月，2009，秋田.
59. 前田悠一，藤原弘士，末村正樹，濱野芳匡，笠山宗正：蛋白漏出性胃腸症を合併したMCTDの一例．第59回日本アレルギー学会秋季学術大会，10月，2009，秋田.
60. 藤原弘士：関節リウマチの日常診療～診断と薬物療法を中心に．第４回市立札幌病院血液・膠原病談話会，10月，2009，札幌.
61. 笠山宗正：生きるために大切な下垂体ホルモンの話.「下垂体ホルモン低下症って何？」講演会，10月，2009，大阪.
62. 笠山宗正：実践的インスリン療法．インスリンレクチャー，10月，2009，大阪.
63. 三島誉史，村井　潤，斉藤　博，向井幹夫，森脇優司，山本徹也，笠山宗正，古賀正史：糖尿病患者における1,5-AG値と血清尿酸値の相関．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都.
64. 新井幸子，角南ちえ子，阿部恭子，井上恵子，笠山宗正：糖尿病患者の安静時基礎代謝量に影響する因子の検討．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都.
65. 片岡宏一郎，廣田将史，喜多彬光，小倉敬子，麦田盛穂，森田真也，田渕優希子，稲岡正裕，笠山宗正：糖尿病性多発神経障害臨床病期と下肢筋力・身体バランスの関連．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都.
66. 田渕優希子，竹本雅子，前田悠一，濱野芳匡，宇都佳彦，森田真也，藤原弘士，三木俊治，笠山宗正：著明な膵酵素上昇を合併した糖尿病昏睡の一例．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都.
67. 喜多彬光，片岡宏一郎，廣田将史，小倉敬子，麦田盛穂，稲岡正裕，角南ちえ子，笠山宗正：糖尿病患者の足趾把持力に影響する因子の解析．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都.
68. 前田悠一，濱野芳匡，田渕優希子，宇都佳彦，森田真也，藤原弘士，三木俊治，笠山宗正：脂質異常症と脂肪肝で管理中に発症した高齢の劇症１型糖尿病の一例．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都.
69. 村井　潤，斎藤　博，笠山宗正，古賀正史：劇症１型糖尿病発症後の治療に伴う$HbA_{1c}$およびグリコアルブミンの推移．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都.
70. 古賀正史，村井　潤，斎藤　博，今川彰久，花房俊昭，笠山宗正：劇症１型糖尿病患者の1,5-AGは２型糖尿病に比し低値である．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都.
71. 森田真也，馬籠みどり，高山由美子，坪内百理，森　エミ，角南ちえ子，合屋佳世子，住谷　哲，三木俊治，佐藤文三，笠山宗正：当院における外来インスリン導入の現状と治療成績．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都.
72. 村井　潤，斎藤　博，向井幹夫，松本素江子，笠山宗正，古賀正史：胃切除後のグリコアルブミン（GA）／$HbA_{1c}$比は高値である．日本プライマリケア学会第23回近畿地方会，11月，2009，伊丹.
73. 橋本久仁彦，大杉友顕，森本靖彦，早田憲司，和栗雅子，豊田恵理子，藤田富雄，笠山宗正，古賀正史：糖尿病合併妊娠および妊娠糖尿病例の$HbA_{1c}$は妊娠末期に鉄欠乏状態のために上昇する．第25回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会，11月，2009，四日市.
74. 笠山宗正：K-DIPPS最終論文報告．第６回糖尿病と動脈硬化を考える会，11月，2009，大阪.
75. 古賀正史，村井　潤，斎藤　博，笠山宗正：治療前後のGA測定により未来の$HbA_{1c}$値（$eHbA_{1c}$）値を予測する．第14回伊丹糖尿病フォーラム学術講演会，11月，2009，伊丹.
76. 古賀正史，村井　潤，斎藤　博，向井幹夫，笠山宗正：血清IGF-Ⅰ濃度に及ぼす飲酒の影響とCAVIとの関連．第６回血管バイオメカニスク研究会，12月，2009，東京.

**血液・化学療法内科**

1．岡田昌也，中田　潤，井上貴之，加藤るり，海田勝仁，佐竹敦志，谷口亨子，吉原　哲，藤岡龍哉，谷口裕紀，池亀和博，玉置広哉，小川啓恭，長谷井仁美，中川雅史，浅田貴子，高塚広行，伊福秀貴：Ph1陽性白血病　髄外再発症例に対するダサチニブの効果．第71回日本血液学会総会，10月，2009，京都.

2．林　和彦，川上　学，長谷井仁美，中川雅史：Tリンパ球の浸潤による急速進行性肺病変を呈した骨髄異型性症候群の１例．第190回内科近畿地方会，12月，2009，神戸．
3．中川雅史：分子標的治療－血液腫瘍からのレッスン－．日生病院 Up To-Date講演会，４月，2009，大阪．
4．中川雅史：慢性骨髄性白血病の治療．調剤薬局薬剤師講演会，10月，2009，大阪．

**神経科・精神科**

1．高橋　励：講義「精神症状」．日本緩和医療学会緩和ケア研修会，９月，2009，大阪．
2．高橋　励：講義と演習「コミュニケーション」．日本緩和医療学会緩和ケア研修会，９月，2009，大阪．
3．江川　功：社会復帰に対するトレドミンの可能性の検討．第11回大阪精神科フォーラム，10月，2009，大阪．

**小児科**

1．山根秀一，林田雅子，杉本久和：退院後に消化管出血を認めた不全型川崎病例．第33回近畿川崎病研究会，３月，2009，大阪．

**消化器・一般外科**

1．藤川正博，黄　泰平，安政啓吾，宮田俊男，田中恒行：クリップを使わず順行性に行う腹腔鏡下胆嚢摘出術．第109回日本外科学会定期学術集会，４月，2009，福岡．
2．黄　泰平，藤川正博，安政啓吾，田中恒行，広田将司：臍を利用した正中切開法，臍を切る．第64回日本消化器外科学会総会，７月，2009，大阪．

**乳腺外科**

1．西田幸弘，藤川正博，西嶌準一，道清　勉，早川正宣，富永修盛，宮崎　知，岡　義雄，棚野博文，奥山正樹，福地成晃，酒田和也，中田麻祐子，玉井正光：一般市中病院において色素法単独のセンチネルリンパ節生検はRI併用法と同等の効果を得られるか？．日本外科学会定期学術集会（109），４月，2009，福岡．
2．西田幸弘，林　美沙，夏山順子，藤川正博，黄泰平，安政啓吾，田中恒之，広田将司，大嶋正人：術前診断に苦慮した乳腺原発悪性リンパ腫の１例．日本乳癌学会学術総会（17），７月，2009，東京．
3．西田幸弘，林　美沙，藤川正博，黄　泰平，安政啓吾，田中恒之，広田将司，大嶋正人：巨大出血性嚢胞の形態を示した嚢胞内乳癌の１例．日本乳癌検診学会総会（19），11月，2009，札幌．
4．西田幸弘，藤川正博，黄　泰平，安政啓吾，田中恒之，広田将司，寺川直樹，佐藤文三：乳癌肝転移に対してMedroxyprogesterone Acetate（MPA）が長期有効であった１例．ホルモンと癌研究会（10），７月，2009，仙台．
5．西田幸弘：働くお母さんのための乳がん検診と診断．あわざ産業医セミナー（6），４月，2009，大阪．
6．西田幸弘：ピンクリボン自己啓発セミナー．日本生命育成部大会，９月，2009，大阪．
7．林　美沙，西田幸弘，広田将司，田中恒行，安政啓吾，黄　泰平，藤川正博：術前化学療法にて主病巣・転移腋窩リンパ節までpCRとなった１例．日本乳癌学会学術総会（17），７月，2009，東京．
8．夏山順子，西田幸弘，藤川正博，黄　泰平，安政啓吾，田中恒之：術前細胞診では診断できなかった乳腺原発悪性リンパ腫の１例．大阪外科集談会（567），１月，2009，大阪．

**整形外科**

1．稲岡正裕：関節リウマチに対する手術的治療の現況 －脊椎病変に対する手術療法を中心に－．大阪リウマチセミナー，１月，2009，大阪．
2．李　大相，三木宏真，宮崎忠勝，稲岡正裕，糸井沙織：ノルウェー疥癬に感染し蜂窩織炎が誘発されたと思われる１例．第112回 中部日本整形外科災害外科学会，４月，2009，京都．

**皮膚科**

1．佐藤彩子，糸井沙織，横見明典，東山真里：多発性痛風結節の１例．第５回大阪大学皮膚科関連病院症例検討会，３月，2009，大阪．
2．糸井沙織，佐藤彩子，横見明典，東山真里：当科で診断した皮膚筋炎10例の検討．第108回日本皮膚科学会総会，４月，2009，福岡．
3．横見明典，糸井沙織，佐藤彩子，東山真里：術後に深在性静脈血栓症を合併した外陰部Paget`s

病の１例．第25回日本皮膚悪性腫瘍学会，５月，2009，岡山．

４．東山真里：シンポジウム－乾癬治療のゴールをめざして 患者会の役割．臨床皮膚科医会総会，５月，2009，高知．

５．平野亜由子，佐藤彩子，横見明典，東山真里：結節性多発性動脈炎の１例．第191回大阪皮膚科症例検討会，９月，2009，大阪．

６．横見明典，糸井沙織，佐藤彩子，東山真里：壊疽性膿皮症の７例．第102回近畿皮膚科集談会，７月，2009，京都．

７．東山真里：シンポジウム－QOL向上をめざした乾癬治療－病診連携の重要性．臨床皮膚科医会近畿支部総会，７月，2009，京都．

８．東山真里：かかりつけ医に必要な乾癬と鑑別疾患の知識．生野区医師会学術講演会，８月，2009，大阪．

９．東山真里：大阪府下の乾癬の治療現状アンケート結果報告．第41回大阪皮膚科医会例会，９月，2009，大阪．

10．東山真里，糸井沙織，横見明典，佐藤彩子：シクロスポリンに関連した腎不全に重篤な合併症を併発した難治性乾癬性紅皮症・関節炎の１例．第24回日本乾癬学会，９月，2009，東京．

11．糸井沙織，横見明典，佐藤彩子，東山真里：耳介の環状肉芽腫の１例．第60回日本皮膚科学会中部支部総会，10月，2009，京都．

12．東山真里：QOL向上をめざした乾癬治療－病病・病診連携の重要性．第61回日本皮膚科学会西部支部総会 イブニングセミナー，10月，2009，大分．

13．東山真里，山田秀和，平山公三，他（大阪皮膚科医会）：乾癬のQOL向上をめざした治療ネットワークの構築－病診連携の必要性・重要性－アンケート結果より．第33回大阪府医師会医学会総会学術大会，11月，2009，大阪．

14．平野亜由子，佐藤彩子，横見明典，東山真里：皮疹を伴った側頭動脈炎の1例．第192回大阪皮膚科症例検討会，11月，2009，大阪．

**泌尿器科**

１．花房隆範，中田　渡，福井辰成，黒田昌男：前立腺癌間欠的内分泌療法の休薬期間の検討．第97回日本泌尿器科学会総会，４月，2009，岡山．

２．中田　渡，花房隆範，福井辰成，黒田昌男：尿路上皮癌の遠隔転移に対し積極的な治療を行い，長期生存している３例．第97回日本泌尿器科学会総会，４月，2009，岡山．

**産婦人科**

１．Hisa T, Hisa Y, Matsuoka T, Otsuka H, Hashimoto N, Saeki N, Hirota K, Funato T：Efficacy of pre-operative gonadotropin-releasing hormone agonist for women with uterine leiomyoma. 21th Asian and Oceanic Congress of Obstetrics and Gynecology, ３月, 2009, ニュージーランド オークランド.

２．橋本奈美子，久　裕，松岡智史，久　毅，大塚博文，佐伯典厚，廣田憲二，舩渡孝郎：手術既往症例に対する腹腔鏡下手術に関する検討．第61回 日本産科婦人科学会，４月，2009，京都．

３．小玉美智子，平松宏祐，金容輝，奥野健太郎，古元淑子，竹村昌彦：当院における女性性器脱治療の現状．第61回 日本産科婦人科学会，４月，2009，京都．

４．佐伯典厚，橋本奈美子，久　裕，松岡智史，久毅，大塚博文，廣田憲二，舩渡孝郎：産婦人科研修医に対する内視鏡手術教育指導システム作成の試み．第61回 日本産科婦人科学会，４月，2009，京都．

５．久　毅，橋本奈美子，久　裕，松岡智史，大塚博文，佐伯典厚，廣田憲二，舩渡孝郎：当科で経験した卵管捻転症例．第61回 日本産科婦人科学会，４月，2009，京都．

６．久　裕，久　毅，橋本奈美子，松岡智史，大塚博文，佐伯典厚，廣田憲二，舩渡孝郎：TVM法を施行した骨盤臓器脱症例の検討．第61回 日本産科婦人科学会，４月，2009，京都．

７．Hirota T, Kawasaki I, Aoe T, Hirota K：Effect of high calcium and vitamin D diets on changes in body fat, lean mass, and bone mineral density by self－controlled dieting for 4months in young Asian women. 7th International Synposium on Nutritional Aspect of Osteoporosis, ５月, 2009, フランス ローザンヌ.

８．佐伯典厚，大塚博文，橋本奈美子，久　裕，久毅，小玉美智子，廣田憲二，舩渡孝郎：後期研修医を対象とした産婦人科内視鏡手術研修システムの作成．第26回 大阪大学医学部産婦人科オープンクリニカルカンファレンス，６月，2009，

大阪.

9．久　毅，佐伯典厚，橋本奈美子，久　裕，松岡智史，大塚博文，廣田憲二，舩渡孝郎：当科における子宮筋腫に対する腹腔鏡下手術成績へのBody Mass Index（BMI）の影響について．第120回 近畿産科婦人科学会，6月，2009，神戸.

10. 小玉美智子，平松宏祐，金容輝，奥野健太郎，古元淑子，竹村昌彦：大量出血に対する自己血回収装置の使用経験．第120回 近畿産科婦人科学会，6月，2009，神戸.

11. 小玉美智子，平松宏祐，金容輝，奥野健太郎．古元淑子，竹村昌彦：当院におけるTVM手術の変遷と治療成績．第11回 日本女性骨盤底学会，7月，2009，奈良.

12. 橋本奈美子，久　裕，久　毅，小玉美智子，大塚博文，佐伯典厚，廣田憲二，舩渡孝郎：手術既往症例に対する腹腔鏡下手術施行－当院における過去2年間の検討．第49回 日本産科婦人科内視鏡学会，8月，2009，高知.

13. 久　毅，橋本奈美子，久　裕，小玉美智子，大塚博文，佐伯典厚，廣田憲二，舩渡孝郎：当科における子宮筋腫に対する腹腔鏡下手術成績へのBody Mass Index （BMI）の影響について．第49回 日本産科婦人科内視鏡学会，8月，2009，高知.

14. 大塚博文，橋本奈美子，久　裕，久　毅，小玉美智子，佐伯典厚，廣田憲二，舩渡孝郎：頚部筋腫に対して全腹腔鏡下子宮全摘術（TLH）を施行した症例．第49回 日本産科婦人科内視鏡学会，8月，2009，高知.

15. 佐伯典厚，大塚博文，橋本奈美子，久　裕，久毅，小玉美智子，廣田憲二，舩渡孝郎：全腹腔鏡下子宮全摘術（TLH）後に発症した経膣内臓脱出症（vaginal evisceration：VE）の3例．第49回 日本産科婦人科内視鏡学会，8月，2009，高知.

16. 橋本奈美子，小玉美智子，清水彰子，光田信明，甲村弘子：高プロラクチン血症性無月経および後腹膜腫瘍を合併した結節性硬化症の1例．第28回 思春期学会，8月，2009，浜松.

17. 廣田憲二：〈特別講演〉更年期障害，骨粗鬆症の危険因子と治療成績．第16回 未病システム学会，10・11月，2009，大阪.

18. 久　裕，佐伯典厚，大塚博文，橋本奈美子，久毅，小玉美智子，廣田憲二，舩渡孝郎：子宮外妊娠に対しMTX療法後，腹腔内出血にて緊急手術が必要であった1例．第121回 近畿産科婦人科学会，11月，2009，神戸.

19. 大塚博文，久　裕，佐伯典厚，橋本奈美子，久毅，小玉美智子，廣田憲二，舩渡孝郎：IVF-ET後のOHSSによる卵巣茎捻転に対し，腹腔鏡下捻転解除を施行した症例．第121回 近畿産科婦人科学会，11月，2009，神戸.

20. 小玉美智子，佐伯典厚，大塚博文，橋本奈美子，久　裕，久　毅，廣田憲二，舩渡孝郎：子宮鏡下手術による変性粘膜下筋腫の治療．第32回 日本産婦人科手術学会，11月，2009，東京.

21. 佐伯典厚：〈2010年度研修制度改革を見据えて〉臨床研修における特化と汎化 ～産婦人科の場合～．これからの臨床研修を考える会，11月，2009，東京.

22. 久　裕，久　毅，橋本奈美子，小玉美智子，大塚博文，佐伯典厚，廣田憲二，舩渡孝郎：ディナゲスト投与中に破裂した内膜症性嚢胞の1例．第3回 子宮内膜症セミナー，11月，2009，大阪.

**眼科**

1．瀬口道秀：角膜パーツ移植にできること．第8回 すだちの会，7月，2009，大阪.

2．杉本麗子：緑内障ってこわい病気？．2009眼の愛護デー，10月，2009，大阪.

3．杉本麗子：3.眼圧検査機器を上手に使おう！．眼科スタッフ・視能訓練士のための眼科検査の理解と実践テクニック，11月，2009，東京.

4．杉本麗子：3.眼圧検査機器を上手に使おう！．眼科スタッフ・視能訓練士のための眼科検査の理解と実践テクニック，11月，2009，京都.

5．杉本麗子，桑山泰明：ベースライン眼圧には何回の眼圧測定が必要か．第20回日本緑内障学会，11月，2009，沖縄.

6．杉本麗子：かかりつけ医に必要な緑内障の知識－最新の知見もふまえて－．生野区医師会講演会，12月，2009，大阪.

**耳鼻咽喉科**

1．岡本倫朋，太田一郎，家根旦有，細井裕司：ヒト甲状腺未分化ガン細胞におけるDNA修復酵素NBS1を標的としたRNAiによる温熱増感効果．第110回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会，5月，2009，東京.

2．谷口由希子，山中敏彰，赤羽　誉，岡本倫朋，細井裕司：当科におけるめまい症例の臨床検討．第68回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会，11月，2009，徳島．

**放射線科**

1．岩澤　仁（同 放射線科）：FPD搭載血管造影装置を用いたB-RTOの経験．第28回 日本画像医学会，２月，2009，東京．
2．橋本尚子，岩澤　仁，安部久志，三谷　尚（同放射線科），香川一史（NTT西日本大阪病院放射線治療科）：食道癌の胃転移に放射線治療を行った１例．第291回日本医学放射線学会関西地方会，２月，2009，大阪．
3．岩澤　仁，橋本尚子，安部久志，三谷　尚（同放射線科），安政啓吾（同 外科），大上庄一（小松病院放射線科）：血管新生阻害剤使用による高分化型肝細胞癌の画像変化と塞栓術．日本IVR学会　第24回関西地方会，６月，2009，大阪．
4．岩澤　仁（同 放射線科），大上庄一（小松病院放射線科），橋本尚子，安部久志，三谷　尚（同放射線科）：C-arm CTとMDCTの肝細胞癌検出能の比較．第38回 日本IVR学会総会，８月，2009，大阪．
5．岩澤　仁，安部久志，三谷　尚（同 放射線科），大上庄一（小松病院放射線科）：高PSA症例に対する造影MRIの前立腺癌診断精度．第50回 日本人間ドック学会学術大会，９月，2009，東京．
6．Iwazawa J, Ohue S（Department of Radiology, Komatsu Hospital), Hashimoto N, Abe H, Mitani T：Detection of hepatocellular carcinoma：the value of C-arm angiographic CT and multidetector CT. CIRSE 2009, ９月, 2009, ポルトガル リスボン.
7．Iwazawa J, Ohue S（Department of Radiology, Komatsu Hospital), Hashimoto N, Abe H, Mitani T：Visualization of gastric varices with C-arm angiographic CT during retrograde transvenous sclerotherapy. CIRSE 2009, ９月, 2009, ポルトガル リスボン.
8．岩澤　仁，川畑孝司，在津裕明，安部久志，三谷　尚（同 放射線科），大上庄一（小松病院放射線科）：Cone-beam CTの骨折評価の可能性：MDCTとの比較．第45回 日本医学放射線学会秋季臨床大会，10月，2009，和歌山．

**麻酔科**

1．川原玲子：当院におけるICLS講習会の現状と問題点．第36回日本集中治療医学学術集会，２月，2009，大阪．
2．小山佐知子，井上潤一，奥野聡子，川原玲子：Patient Controlled Intravenous Analgesia（PCIA）における効果発現時間を考慮した輸液回路の接続法の工夫．第14回日本緩和医療学会学術大会，６月，2009，大阪．
3．大林佳名子，野村浩英，畑中勝義，井上潤一，川原玲子：モルヒネ・オキシコドンでコントロール困難な突出痛に対するフェンタニル経口腔粘膜的投与の有効性について．第14回日本緩和医療学会学術大会，６月，2009，大阪．
4．井上潤一，玉井　裕，奥野聡子，山崎恭子，川原玲子：塩酸トラマドールにオピオイドローテーションを行い疼痛緩和を得たがん性疼痛の症例．日本ペインクリニック学会第43回大会，７月，2009，名古屋．
5．岡田夏枝，井上潤一，玉井　裕，奥野聡子，山崎恭子，川原玲子：超音波ガイド下腹横筋膜面ブロックを術後鎮痛に用いた小児虫垂切除術の3例．第55回日本麻酔科学会関西支部学術集会，９月，2009，大阪．
6．川原玲子：全人的治療をめざして緩和医療に漢方薬を用いる－抑肝散を中心に－．第22回日本疼痛漢方研究会学術集会，８月，2009，東京．
7．岡田夏枝：超音波ガイド下腹横筋膜面ブロックを術後鎮痛に用いた小児虫垂切除術の一例．大阪レミフェンタニル研究会，８月，2009，大阪．

**病理部診断科**

1．大嶋正人，島田啓司，中村光利，田崎正人，辻川和大，小西　登：膀胱癌における新規遺伝子ヒトABH-8の機能解析．第98回日本病理学会総会，５月，2009，京都．
2．Ishida E, Nakamura M, Shimada K, Tasaki M, (Ohshima M), Konisi N：Aanlysis of the genes associated with premature senescence in prostate cancer and stromal cell of treated cases. The 68th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 10月, 2009, 横浜.

**リハビリテーション室**

1．片岡宏一郎，廣田将史，喜多彬光，小倉敬子，麦田盛穂，稲岡正裕，田渕優希子，濱野芳匡，藤原弘士，住谷　哲，三木俊治，佐藤文三，笠山宗正：自覚症状のない糖尿病神経障害患者における下肢筋力・身体バランスの低下．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．

2．Kataoka K, Hirota M, Kita A, Ogura K, Mugita M, Inaoka M, Tabuchi Y, Hamano Y, Fujiwara H, Sumitani S, Miki S, Sato B, Kasayama S：Postural Balance Impairment Associated with Muscle Weakness at the Ankle and Knee in Type 2 Diabetic Patients with Early Stage Peripheral Neuropathy. 69th AMERICAN DIABETES ASSOCIATION, 6月, 2009, 米国 ニューオリンズ．

3．片岡宏一郎，廣田将史，喜多彬光，小倉敬子，麦田盛穂，外山晶代，森田真也，田渕優希子，稲岡正裕，笠山宗正：糖尿病性多発神経障害臨床病期と下肢筋力・身体バランスの関連．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，大阪．

4．廣田将史，片岡宏一郎，小倉敬子，麦田盛穂，喜多彬光，稲岡正裕，笠山宗正：糖尿病患者の柔軟性・下肢筋力・重心動揺に対する運動療法の効果．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．

5．廣田将史：日生病院理学療法士の糖尿病チーム医療への取り組み．第２回糖尿病ライフセミナー，７月，2009，大阪．

6．廣田将史：糖尿病診療における運動療法の可能性と限界．第24回糖尿病セミナー『おおさか』，９月，2009，大阪．

7．喜多彬光，片岡宏一郎，廣田将史，小倉敬子，麦田盛穂，稲岡正裕，角南ちえ子，笠山宗正：糖尿病患者の足趾把持力と転倒リスクの解析－糖尿病神経障害との関連－．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．

8．喜多彬光，片岡宏一郎，廣田将史，小倉敬子，麦田盛穂，稲岡正裕，角南ちえ子，田渕優希子，笠山宗正：糖尿病患者の転倒リスクに対する足趾把持力の影響．第８回大阪骨疾患治療研究会，7月，2009，大阪．

9．喜多彬光，片岡宏一郎，廣田将史，小倉敬子，麦田盛穂，外山晶代，角南ちえ子，田渕優希子，笠山宗正：糖尿病患者の足趾把持力に影響する因子の解析．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，大阪．

**中央臨床検査部**

1．新井幸子，角南ちえこ，井上恵子，阿部恭子，笠山宗正：第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都．

**薬剤部**

1．乾有希子，角南ちえ子，高山由美子，片岡宏一郎，大原裕子，新井幸子，住谷　哲，笠山宗正：一般患者の糖尿病に関する認識度とインスリン注射のイメージに関する調査．第52回日本糖尿病学会年次学術大会，５月，2009，大阪．

2．平田貴宏，森真由子，野村浩英，池田久雄，吉岡　亮，大林佳名子，畑中勝義：癌疾患患者（癌化学療法時）に起こる吃逆とシテイ煎の有用性について．医療薬学フォーラム2009　第17回クリニカルファーマシーシンポジウム，７月，2009，京都．

3．大林佳名子，野村浩英，小津貞二，畑中勝義，（同 薬剤部），平山果与子，井上潤一，川原玲子（同 麻酔科）：難治性頭痛に対するフェンタニルの経口投与の経験．第14回日本緩和医療学会学術大会，６月，2009，大阪．

4．野村浩英，森真由子，畑中勝義：多発性骨髄腫の治療におけるthalidomideの使用状況報告～サレド導入時における問題点の提示～．第19回医療薬学会年会，10月，2009，長崎．

5．森真由子，平田貴宏，野村浩英，畑中勝義：血液疾患患者で高用量副腎皮質ホルモン投与後に生じた吃逆と薬剤の関連性．第19回医療薬学会年会，10月，2009，長崎．

**看護部**

1．大野典子：感染担当看護師（ICN）が受けた相談内容から検討した看護師の感染対策の現状．第24回日本環境感染学会，２月，2009，横浜．

2．角南ちえ子，阿部恭子，井上恵子，新井幸子，笠山宗正：小型呼気ガス分析装置（MedGem）により測定した安静時代謝量に影響する因子．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．

3．小谷礼奈，前田翔子，黒木輝美，秦久美子，阿部恭子，梅田洋子：混合病棟における精神科患者の薬物療法に対する看護師の意識．第40回日本看護学会　精神看護，７月，2009，松江．
4．橋本紗耶香，鍋本美穂，佐々木理恵，姜　裕美，町田恵子：骨盤底筋体操の現状調査．第40回日本看護学会　母性看護，８月，2009，佐賀．
5．常松恵子：初めて生活をともにするわが子への父親のかかわり－「父親としての初めての育児」に焦点をあてて－．第35回看護研究学会学術集会，８月，2009，横浜．
6．大藤弘美：非侵襲的陽圧換気法導入後に発生した顔面褥瘡に対するケア．第11回日本褥瘡学会学術集会，９月，2009，大阪．
7．北口幸代，高藤祥代，高橋佳那江，村上弘子，三好優子，前川明子：化学療法後出現した味覚障害に対する悪性リンパ腫患者の思いの変化．第40回日本看護学会　成人看護Ⅱ，９月，2009，鳥取．
8．千田彩英子，廣田優子，江藤美香，宮田綾佳，林　愛美，三好由紀子，岩本真澄：突発性難聴患者に対して耳鳴りの緩和に温罨法が与える効果．第40回日本看護学会　成人看護Ⅰ，10月，2009，さいたま．
9．十屋逸美，関　輝恵，野口聡子，北村一美：シャワー浴における外科患者の手術創に対する思い．第40回日本看護学会　成人看護Ⅰ，10月，2009，さいたま．
10．坂部沙由梨，奥山雅章，名和晶子，佐々木直，尾花麻衣，田畑文子：全身麻酔術後に患者が感じる寒さの実態．第40回日本看護学会　成人看護Ⅰ，10月，2009，さいたま．
11．坪内由理，芳賀宣子，川瀬俊子，平野美也子，山下利子，瓜本恵美子：外来看護師の感染症を疑う患者のトリアージに関する認識調査．第40回日本看護学会　看護管理，10月，2009，大阪．
12．阿部恭子，角南ちえ子，井上恵子，川瀬俊子，高山由美子，他：血糖管理に与える糖尿病教室への参加影響．第45回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，大阪．
13．阿部恭子，三好優子，他：２年目看護師のやりがいを高める主任の関わりの検討 ～４施設合同の実態調査をとおして～．近畿地区看護研究学会，12月，2009，奈良．

**生活習慣病センター**

1．喜多彬光，片岡宏一郎，廣田将史，小倉敬子，麦田盛穂，稲岡正裕，角南ちえ子，笠山宗正：糖尿病患者の足趾把持力と転倒リスクの解析．糖尿病神経障害との関連。第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
2．乾有希子，角南ちえ子，高山由美子，片岡宏一郎，大原裕子，新井幸子，住谷　哲，笠山宗正：一般患者の糖尿病に関する認識度とインスリン注射のイメージに関する調査．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
3．角南ちえ子，阿部恭子，井上恵子，新井幸子，笠山宗正：小型呼気ガス分析装置（MedGem）により測定した安静時代謝量に影響する因子．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．
4．喜多彬光，片岡宏一郎，廣田将史，小倉敬子，麦田盛穂，稲岡正裕，角南ちえ子，田渕優希子，笠山宗正：糖尿病患者の転倒リスクに対する足趾把持筋力の影響．第８回大阪骨疾患治療研究会，７月，2009，大阪．
5．村内千代，角南ちえ子：「あなたならどっち？こんな場面，どうしますか？」（ディベート型ワークショップ）治療が必要な血糖自己測定を嫌がる患者さんへの対応．第９回大阪糖尿病患者教育担当者研修会（ODES），７月，2009，大阪．
6．笠山宗正，角南ちえ子，片岡宏一郎：日生病院における生活習慣病診療の取り組み．第10回あわざフォーラム，９月，2009，大阪．
7．角南ちえ子，江尻加奈子，奥田真理，柏本佐智子，杉野尚子，田井さやか，竹内紗衣，中濱多紀，西尾里美，畑中あかね，西堀靖子，布谷容子，迎とく子，村内千代：合併症をもつ糖尿病患者の看護を語ろう ～ディベートの枠組みを使って～．第14回日本糖尿病教育・看護学会学術集会交流集会，９月，2009，札幌．
8．新井幸子，角南ちえ子，阿部恭子，井上恵子，笠山宗正：糖尿病患者の安静時基礎代謝量に影響する因子の検討．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都．
9．喜多彬光，片岡宏一郎，廣田将史，小倉敬子，麦田盛穂，稲岡正裕，角南ちえ子，笠山宗正：糖尿病患者の足趾把持力に影響する因子の解析．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都．

10. 森田真也，馬籠みどり，高山由美子，坪内百理，森　エミ，角南ちえ子，合屋佳世子，住谷　哲，三木俊治，佐藤文三，笠山宗正：当院における外来インスリン導入の現状と治療成績．第46回日本糖尿病学会近畿地方会，11月，2009，京都．

**ニッセイ予防医学センター**

1．住谷　哲，齋藤伸一，泉由紀子，高島周志，佐藤文三：人間ドック要精密検査判定者のフォローアップ体制についての当センターの試み．第50回日本人間ドック学会学術大会，９月，2009，東京．

2．泉由紀子，高島周志，住谷　哲，齋藤伸一，佐藤文三：女性の閉経による生活習慣因子の変化についての検討．第50回日本人間ドック学会学術大会，９月，2009，東京．

3．高島周志，泉由紀子，住谷　哲，齋藤伸一，竹中博美，佐藤文三：インスリン抵抗性と非アルコール性脂肪肝との因果関係―脂肪肝から見たインスリン抵抗性の部位の検討―．第50回日本人間ドック学会学術大会，９月，2009，東京．

4．Kataoka K, Hirota M, Kita A, Ogura K, Mugita M, Inaoka M, Tabuchi Y, Hamano Y, Fujiwara H, Sumitani S, Miki S, Sato B,Kasayama S：Postural Balance Impairment Associated with Muscle Weakness at the Ankle and Knee in Type 2 Diabetic Patients with Early Stage Peripheral Neuropathy. American Diabetes Association 69th Scientific Sessions, ６月, 2009, 米国 ニューオリンズ.

5．片岡宏一郎，廣田将史，喜多彬光，小倉敬子，麦田盛穂，稲岡正裕，田渕優希子，濱野芳匡，藤原弘士，住谷　哲，三木俊治，佐藤文三，笠山宗正：自覚症状のない糖尿病神経障害患者における下肢筋力・身体バランスの低下．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．

6．乾有希子，角南ちえ子，高山由美子，片岡宏一郎，大原裕子，新井幸子，住谷　哲，笠山宗正：一般患者の糖尿病に関する認識度とインスリン注射のイメージに関する調査．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．

7．浅沼伸行，福田士郎，出口有近，元村卓嗣，柏本佐智子，清水久代，秋田すみ子，宮武宣子，住谷哲，笠山宗正，佐藤文三，有田憲生：甲状腺サルコイドーシスと汎下垂体機能低下症を同時発症した糖尿病の一例．第52回日本糖尿病学会年次学術集会，５月，2009，大阪．

8．佐々成太郎，住谷　哲，浅沼伸行，田渕優希子，濱野芳匡，藤原弘士，三木俊治，佐藤文三，笠山宗正：FDG-PET検診が診断の契機となった先端巨大症の１例．第188回日本内科学会近畿地方会，6月，2009，大阪．

## 診療科別教育

| 部(科)名 | 教育・研修項目 | |
|---|---|---|
| 循環器内科 | ・新入院患者紹介<br>・症例検討会　・抄読会<br>・内科合同カンファレンス<br>・内科・地域合同症例検討会 | (週1回)<br>(週1回)<br>(月1回)<br>(年1回) |
| 消化器内科 | ・症例検討会<br>・内科合同カンファレンス<br>・内科・地域合同症例検討会 | (週1回)<br>(月1回)<br>(年1回) |
| 総合内科 | ・症例検討会　・抄読会<br>・内科合同カンファレンス<br>・糖尿病療養指導チーム勉強会<br>・糖尿病ケアカンファレンス<br>・内科・地域合同症例検討会<br>・学会予行 | (週各1回)<br>(月1回)<br>(月1回)<br>(月1回)<br>(年1回)<br>(随時) |
| 血液・化学療法内科 | ・症例検討会<br>・抄読会<br>・血液標本検討会<br>・内科合同カンファレンス<br>・内科・地域合同症例検討会 | (週2回)<br>(月2回)<br>(月2回)<br>(月1回)<br>(年1回) |
| 神経科・精神科 | ・心理検査勉強会<br>・症例検討会 | (月1回)<br>(随時) |
| 小児科 | ・抄読会・輪読会<br>・心臓カテーテル勉強会<br>・小児科外来勉強会 | (週1回)<br>(年数回)<br>(年数回) |
| 消化器・一般外科<br>乳腺外科 | ・症例検討会<br>・外科・消化器内科・血内合同症例検討会<br>・手術統計<br>・死亡症例検討会<br>・学会予行・学会報告<br>・CPC<br>・NST勉強会<br>・抄読会 | (週1回)<br>(月1回)<br>(年1回)<br>(年1回)<br>(随時)<br>(随時)<br>(随時)<br>(随時) |
| 整形外科 | ・抄読会<br>・手術症例検討会<br>・リハビリ検討会<br>・整形病棟勉強会<br>・日医教育実習<br>・リサーチカンファ、及び学会報告会 | (週1回)<br>(週1回)<br>(月1回)<br>(年2～3回)<br>(年1回)<br>(年数回) |
| リハビリ | ・抄読会<br>・リハビリ検討会<br>・糖尿病療養指導チーム勉強会<br>・NST勉強会<br>・KRR勉強会<br>・住友・日生病院合同勉強会 | (週1回)<br>(月2回)<br>(月1回)<br>(月1回)<br>(月2回)<br>(随時) |
| 皮膚科 | ・症例検討会<br>・抄読会<br>・3病院合同症例検討会<br>(日生・住友・大阪厚生年金病院)<br>大阪西、中部地区皮膚科症例検討会 | (週1回)<br>(月3回)<br><br>(月1回)<br>(年1回) |
| 泌尿器科 | ・症例検討会　・抄読会<br>・学会予行 | (週1～2回)<br>(随時) |

| 部(科)名 | 教育・研修項目 | |
|---|---|---|
| 産婦人科 | ・症例検討会　・抄読会<br>・ケアカンファレンス・モーニングカンファレンス<br>・レントゲンカンファレンス周産期カンファレンス<br>・学会予行 | (週1回)<br>(週1回)<br>(週1回)<br>(随時) |
| 眼科 | ・抄読会<br>・外来勉強会<br>・病棟勉強会<br>・日生・住友病院合同勉強会 | (月1回)<br>(2～3ヶ月に1回)<br>(年1～2回)<br>(年2回) |
| 耳鼻咽喉科 | ・術前カンファレンス<br>・学会予行・学会報告<br>・西区病診連携の会<br>・勉強会 | (週1回)<br>(随時)<br>(年2回)<br>(年数回) |
| 放射線科 | ・日生病院外科カンファレンス<br>・放射線従事者教育訓練<br>・学会、研究報告会<br>・医療技能職勉強会<br>・放射線機器情報研究会 | (週1回)<br>(年2回)<br>(年4回)<br>(年2回)<br>(年4回) |
| 麻酔科 | ・ペイン症例検討会<br>・麻酔症例検討会<br>・学会予行・学会報告 | (週1回)<br>(週1回)<br>(随時) |
| 病理診断科 | ・スライドカンファレンス<br>・症例検討会(抄読会)<br>・CPC<br>・日本病理学会近畿支部<br>学術集会 | (週1回)<br>(週1回)<br>(月1回)<br><br>(年4回) |
| 予防医学センター | ・抄読会<br>・予防医学センター勉強会<br>・糖尿病療養指導チーム勉強会<br>・あわざ糖尿病ケアカンファレンス<br>・あわざ産業医セミナー<br>・学会予行 | (週1回)<br>(月2回)<br>(月1回)<br>(年1回)<br>(年1回)<br>(随時) |
| 薬剤部 | ・新薬説明会<br>・薬剤部研修会<br>・ファーマシティカルケア研修会<br>・部内有害事象検討会 | (週1回)<br>(月1回)<br>(月2回)<br>(年4回) |
| 医療技能部 | ・医療技能職勉強会 | (年2回) |
| 中央臨床検査部 | ・医療技能職勉強会<br>・中検勉強会 | (年2回)<br>(月1～2回) |
| 医療生活相談室 | ・医療技能職勉強会<br>・医療福祉施設MSW勉強会 | (年2回)<br>(月1回) |
| 栄養管理室 | ・栄養士勉強会<br>・栄養管理室・ミーティング教育<br>・献立勉強会 | (月1回)<br>(毎日)<br>(月1回) |
| 診療情報管理室 | ・医学中央雑誌説明会<br>・診療情報管理室勉強会 | (月1回)<br>(随時) |
| 医事G | ・健保改正勉強会 | (年1回) |
| 事務部 | ・勉強会 | (2～3ヶ月<br>に1回) |

全体教育

## Ｃ　Ｐ　Ｃ（平成２１年）

01 月 30 日：第 1 例:胸腺腫瘍+胃癌，肺癌術後

02 月 28 日：第 1 例:下部胆管癌

03 月 08 日：第 1 例:悪性リンパ腫化学療法後

04 月 16 日：第 1 例:DIC+肺炎+敗血症

06 月 06 日：第 1 例:食道癌+喉頭癌術後

06 月 25 日：第 1 例:C 型肝硬変+肝細胞癌+2 型糖尿病

07 月 30 日：第 1 例:アルコール性肝硬変+化膿性耳下腺炎

10 月 09 日：第 1 例:悪性リンパ腫+EBV，CMV 血症

## 「ニッセイ医学セミナーUpdate」（平成21年）

| 開催月日 | テ　ー　マ | 講　　師 | |
|---|---|---|---|
| 1月19日 | ・Restless Legs Syndrome(むずむず脚症候群)の診断と治療 | 精神科神経科部長 | 江川　功 |
| | ・DRG研究から学んだこと | 名誉院長 | 佐藤　文三 |
| 2月16日 | ・骨粗鬆症とホルモン補充療法について | 副院長<br>産婦人科 | 廣田　憲二 |
| 3月16日 | ・麻酔科における臨床研究 | 麻酔科部長 | 川原　玲子 |
| 4月10日 | ・次世代の分子標的治療<br>ー造血器腫瘍からのLessonー | 血液・化学療法内科部長 | 中川　雅史 |
| 5月1日 | ・心房細動患者に対する<br>再診脳塞栓症予防対策 | 副院長<br>循環器内科・神経内科部長 | 濱田　偉文 |
| 6月19日 | ・最新の緑内障事情 | 眼科部長 | 杉本　麗子 |
| 7月3日 | ・肝臓、膵臓、胆道系のCT、MRI診断の現状<br>-肝臓のGd-EOB-DTPA造影MRI使用経験も含めて- | 放射線科部長 | 三谷　尚 |
| 8月7日 | ・複雑心奇形に対するフォンタン手術 | 小児科部長 | 杉本　久和 |
| 9月11日 | ・C型慢性肝炎の治療と肝発癌予防 | ニッセイ予防医学センター長 | 中村　秀次 |
| 10月9日 | ・インフルエンザの基礎知識<br>-新型インフルエンザ情報を正しく理解するために- | 中央臨床検査部長 | 浅野　彰彦 |
| 11月6日 | ・RA脊椎病変に対する手術療法 | 整形外科部長 | 稲岡　正裕 |
| 12月4日 | ・乾癬治療<br>-QOLの向上を目指して- | 皮膚科部長 | 東山　真里 |

## 「ニッセイ・ベーシック実践医療セミナー」（平成21年）

| 開催月日 | テ　ー　マ | 講　　師 | |
|---|---|---|---|
| 9月16日 | ・危険な不整脈とその対応 | 循環器・神経内科 | 中川　厚 |
| 10月22日 | ・人工呼吸器の使い方 | 麻酔科 | 山崎　恭子 |
| 11月4日 | ・消化管穿孔症例など<br>救急時CT読影について | 放射線科部長 | 三谷　尚 |
| 12月1日 | ・糖尿病診療のポイント<br>-インスリン療法を中心に- | 総合内科 | 森田　真也 |

## 「日医生涯教育講座カリキュラム」（平成21年）

産婦人科（テーマ：婦人科疾患の低侵襲医療）

| 月 | 日（曜日） | 時間 | 場所 | カリキュラムの内容 | 担当者氏名（部署名） |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1日 | 10月8日（木）<br>10月15日（木） | 9時～16時 | 日生病院<br>手術室 | 低侵襲手術（婦人科疾患）見学 | 舩渡　孝郎<br>（産婦人科） |

乳腺外科（テーマ：センチネルリンパ節生検）

| 月 | 日（曜日） | 時間 | 場所 | カリキュラムの内容 | 担当者氏名（部署名） |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1日 | 10月5日（月）<br>10月19日（月）<br>10月26日（月）<br>11月2日（月） | 13時～16時 | 手術室 | センチネルリンパ節<br>生検併用法の手術見学 | 西田　幸弘<br>（乳腺外科） |

消化器内科（テーマ：当院における内視鏡的粘膜下層剥離術）

| 月 | 日（曜日） | 時間 | 場所 | カリキュラムの内容 | 担当者氏名（部署名） |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1日 | 10月8日（木）<br>10月22日（木）<br>10月29日（木） | 14時～15時 | 内視鏡室 | 内視鏡的粘膜下層剥離術 | 湯川 雅彦<br>（消化器内科） |

消化器・一般外科（テーマ：消化器・一般外科 手術見学）

| 月 | 日（曜日） | 時間 | 場所 | カリキュラムの内容 | 担当者氏名（部署名） |
|---|---|---|---|---|---|
| 第1日 | 10月2日（金）<br>10月6日（火）<br>10月9日（金） | 9時～12時<br>13時～15時<br>9時～12時 | 手術室 | 手術見学 | 藤川　正博<br>（消化器・一般外科） |

## 「救急医療セミナー」（平成２１年）

| 開催月日 | テ　ー　マ | 講　　師 | |
|---|---|---|---|
| 2 月 24 日 | ・小児の救急、新生児の救急 | 小児科部長 | 杉本　久和 |
| 3 月 11 日 | ・外傷の初期 | 大阪府立<br>中河内救命救急センター<br>医務部長 | 岸本　正文 |

# １年目研修医　オリエンテーション

| 月　日 | 講議内容 | 担当 |
|---|---|---|
| 4月1日（水） | 研修医の就業規則、その他 | 職員サービス部 |
| | 院長よりの話 | 寺川院長 |
| | 研修プログラムの説明等 | 三木（臨床研修部 部長） |
| 4月2日（木） | 感染防止 | 大野(院内感染対策委員会) |
| | 電子カルテの基本操作 | 情報システム室 |
| | 医療安全 | 看護部 |
| | 保険診療について | 医事課 |
| | ローテーションの説明・決定 | 三木（臨床研修部 部長） |
| 4月3日（金） | 病棟での日勤看護研修 | 看護部 |
| 4月4日（土）～5日（日） | 夜勤看護研修 | 看護部 |
| 4月6日（月） | 電子カルテの基本操作 | 情報システム室 |
| | 研修医集まり会 | 三木（臨床研修部 部長） |
| | 病棟研修について | 三木（臨床研修部 部長） |
| 4月7日（火） | 看護部と手洗い、針刺し事故防止、採血など | 看護部 |
| | カルテの記載方法、病歴管理、文献検索について | 診療管理委員会、診療情報管理室 |
| 4月8日（水） | 看護部と注射、皮下注射、点滴、輸液ポンプなど実習 | 看護部 |
| 4月9日（木） | ローテーション科で研修開始 | 各診療科 |
| | 薬剤処方 | 薬剤部 |
| | 剖検、死亡診断書 | 病理診断科 |
| | 当直、救急 | 当直救急委員会 |
| 4月10日（金）～11日（土） | 看護部と一泊研修 | |
| 4月13日（月） | 病診連携 | 地域医療連絡室 |
| | 栄養指導、NSTの基礎 | 栄養管理室 |
| | 医療生活相談室の利用について | 医療生活相談室 |
| 4月14日（火） | 採血、輸血の基礎 | 中央臨床検査部 |
| 4月15日（水） | 検血、緊急生化学、検尿 | 中央臨床検査部 |
| 4月16日（木） | 生理機能検査、心電図、心エコーの基礎 | 中央臨床検査部 |
| 4月17日（金） | 病理検査 | 中央臨床検査部 |
| | 外来診療入門Ｉ（内科外来） | 三木（臨床研修部 部長） |
| 4月20日（月） | 細菌検査 | 中央臨床検査部 |
| 4月21日（火） | 腹部超音波検査の基礎 | 中央臨床検査部 |
| 4月22日（水） | 放射線科オーダー・その他 | 放射線科 |
| | 運動療法の依頼について | リハビリテーション室 |
| 4月23日（木） | 院内感染対策 | 院内感染対策委員会 |
| | 抗菌薬、消毒薬 | 院内感染対策委員会 |
| 4月24日（金） | 内科外科研修 | 三木（臨床研修部 部長） |
| | 内科当直救急について | 中川厚（臨床研修部 副部長） |
| 5月～7月 | 勉強会、検討会 | 三木（臨床研修部 部長） |

# 看護部施設内研修（平成21年度）

| コース | 日程 | テーマ | 講師・担当者 | 参加数 |
|---|---|---|---|---|
| 新人 | 4/1(水)～4/8(水) | オリエンテーション<br>基礎看護技術演習　看護記録 | | |
| 新人 | 4/10(金)・4/11(土) | チーム医療と職種間の連携<br>医療における倫理・接遇　コミュニケーション | 岩本・福田・大野・前川 | 22名 |
| 新人 | 4/23(木) | 酸素療法　消防訓練 | 南保 | 16名 |
| 新人 | 5/16(土) | 看護記録　看護診断 | 梅田 | 16名 |
| 新人 | 5/22(金) | 業務計画立案　検査データの見方<br>フィジカルアセスメント 1か月フォロー | 浅野医師・田畑・南保<br>林・大森・亀井 | 16名 |
| 新人 | 6/5(金) | 薬理学　インスリン<br>救急看護　栄養評価 | 畑中薬剤部長・角南糖尿病認定看護師・森川・福田 | 15名 |
| 新人 | 6/26(金) | 褥瘡予防　輸血業務・看護<br>検査データの見方　3か月フォロー | 田中褥瘡認定看護師・山本臨床検査技師・三好優・浅野医師 | 16名 |
| 新人 | 7/9(木) | 看護必要度　緩和ケアと薬剤<br>人工呼吸器の取り扱いと看護<br>心電図の読み方・取り方 | 島津・大林薬剤師・中尾<br>長谷川医師 | 16名 |
| 新人 | 9/25(金) | 看護と経済学　医療安全<br>薬剤管理　MSWの役割<br>6か月フォロー | 林・東郷副看護部長<br>乾・野村薬剤師・本家MSW・大森・亀井 | 15名 |
| 新人 | 3/10(水) | 1年間の振り返り | 南保・林・大森・亀井 | 14名 |
| レベルIステップ1 | 4/22(水) | オリエンテーション・年間計画 | 中尾・北口・堤 | 17名 |
| レベルIステップ1 | 6/2(火) | 人間関係について(メンバーシップ) | 石井京子講師・中尾・北口・堤 | 16名 |
| レベルIステップ1 | 7/22(水) | 実践に活かせるケア | 角南・中尾・北口・堤 | 16名 |
| レベルIステップ1 | 10/8(木) | 看護過程の展開について・冊子作 | 中尾・北口・堤 | 14名 |
| レベルIステップ1 | 1/30(土) | 看護過程の展開発表会 | 中尾・北口・堤・看護部 | 35名 |
| レベルIステップ1 | 2/17(水) | 静脈留置針の講義(黄医師) | 黄・中尾・北口・堤 | 16名 |
| レベルIステップ1 | 2/24(水) | 静脈留置針の講義<br>（畠山認定看護師） | 畠山認定看護師・中尾・北口・堤 | 16名 |
| レベルIステップ1 | 3/3(水) | 静脈留置針のペーパー試験 | 中尾・北口・堤 | 16名 |
| レベルⅠステップ2 | 5/21(木) | リーダーシップ | 近藤・上田・岡村 | 32名 |
| レベルⅠステップ2 | 6/5(金) | リーダーシップの講義 | 石井京子講師 | 32名 |
| レベルⅠステップ2 | 8/5(水) | 看護における研究の役割 | 大野 | 32名 |
| レベルⅠステップ2 | 1/21(木) | 学会に参加しての学び | 近藤・上田・岡村 | 32名 |
| レベルⅠステップ2 | 3/17(水) | 1年間の振り返り | 近藤・上田・岡村 | 26名 |
| 臨地実習指導者 | 5/27(水) | 指導の原理と役割 | 近藤・戸田・藤井 | 17名 |
| 臨地実習指導者 | 6/24(水) | 指導者の役割とは | 梶谷・戸田・藤井 | 17名 |
| 臨地実習指導者 | 8/26(水) | 学生との関わり方(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ) | 小野・戸田・藤井 | 18名 |
| 臨地実習指導者 | 10/21(水) | 事例を通しての効果的な指導 | 乾・戸田・藤井 | 15名 |
| | 12/9(水) | 指導者観の発表(私の指導観) | 戸田・藤井 | 16名 |
| プリセプター | 4/8(水) | プリセプターとは | 南保・鈴木・望月 | 13名 |
| プリセプター | 5/12(水) | プリセプティの学習スタイル | 南保・鈴木・望月 | 13名 |
| プリセプター | 5/22(金) | コーチングとコミュニケーション | 中西・南保・鈴木・望月 | 12名 |
| プリセプター | 9/16(水) | 新人指導の評価と目標修正 | 南保・鈴木・望月 | 13名 |
| プリセプター | 11/4(水) | リフレッシュ研修 | 山田・南保・鈴木 | 13名 |
| プリセプター | 12/15(火) | 発表(プリセプターシップでの学び) | 南保・鈴木・望月 | 16名 |
| プリセプター | 2/3(水) | 1年間の振り返り | 南保・鈴木 | 14名 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ | 6/17(水) | 消化器のﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ(田畑) | 田畑・山田・水越・西川 | 20名 |
| ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ | 7/29(水) | 消化器のﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ(有本) | 田畑・山田・水越・西川 | 21名 |
| ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ | 9/30(水) | 呼吸器のﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ(田畑) | 田畑・山田・水越・西川 | 22名 |
| ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ | 10/28(水) | 呼吸器のﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ(森田) | 田畑・山田・水越・西川 | 22名 |
| ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ | 12/16(水) | 循環器系のﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ(田畑) | 田畑・山田・水越・西川 | 19名 |
| ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ | 1/27(水) | 循環器系のﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ(中川) | 田畑・山田・水越・西川 | 19名 |
| 緩和ケア | 5/30(土) | 緩和ケア概論① | 黒岩がん看護専門看護師 | 19名 |
| 緩和ケア | 6/13(土) | 症状マネジメント | 小山がん性疼痛認定看護師 | 22名 |
| 緩和ケア | 7/22(水) | 症状マネジメント② | 小山がん性疼痛認定看護師 | 22名 |
| 緩和ケア | 9/9(水) | 症状マネジメント③ | 小山がん性疼痛認定看護師 | 22名 |
| 緩和ケア | 11/11(水) | 在宅・家族ケア | 久本緩和ケア認定看護師 | 20名 |
| 緩和ケア | 2/4(木) | 事例検討・グループワーク | 小山がん性疼痛認定看護師 | 20名 |
| 人間関係 | 1/20(水) | 新人看護師の理解 | 三好由紀子・葭谷・井上 | 21名 |
| がん化学療法看護 | 6/9(火) | がん化学療法の基本概念 | 畠山がん化学療法看護認定看護師 | 13名 |
| がん化学療法看護 | 7/14(火) | 抗がん剤の薬理学理解 | 野村がん薬剤認定薬剤師 | 13名 |
| がん化学療法看護 | 9/15(火) | 症状マネジメント | 畠山がん化学療法看護認定看護師 | 12名 |
| がん化学療法看護 | 10/20(火) | セルフケア支援 | 畠山がん化学療法看護認定看護師 | 12名 |
| がん化学療法看護 | 11/17(火) | がん化学療法における看護の役割と機能 | 畠山がん化学療法看護認定看護師 | 12名 |
| がん化学療法看護 | 11月～12月 | 外来化学療法室研修 | 畠山がん化学療法看護認定看護師 | 11名 |
| 看護研究 | 4/15(水) | 研究とは | 大野感染専門看護師・石井・原田 | 31名 |
| 看護研究 | 4/28(火) | 研究計画書の書き方 | 大野感染専門看護師・石井・原田 | 27名 |
| 看護研究 | 6/2(火) | テーマの絞り込み | 大野感染専門看護師・石井・原田 | 34名 |
| 看護研究 | 6/20(土) | 研究論文作成 | 大野感染専門看護師・石井・原田 | 35名 |
| 看護研究 | 7/7(火) | テーマの絞り込み | 大野感染専門看護師・石井・原田 | 27名 |
| 看護研究 | 8/4(火) | 研究計画書の進捗状況 | 大野感染専門看護師・石井・原田 | 37名 |
| 看護研究 | 8/29(土) | 看護研究計画書の発表 | 大野感染専門看護師・石井・原田<br>看護部 | 67名 |
| 看護研究 | 9/2(水) | 計画書の修正 | 大野感染専門看護師・石井・原田 | 35名 |
| 看護研究 | 10/6(火) | データ収集・分析方法の確認 | 大野感染専門看護師・石井・原田 | 35名 |
| 看護研究 | 11/10(火) | データ収集・分析方法の確認 | 大野感染専門看護師・石井・原田 | 32名 |
| 看護研究 | 12/1(火) | データ収集の経過報告 | 大野感染専門看護師・石井・原田 | 37名 |
| 看護研究 | 12/4(金) | 研究論文の作成 | 小西美和子講師・大野・<br>石井・原田 | 37名 |
| 看護研究 | 1/12(火) | 研究論文作成 | 大野感染専門看護師・石井・原田 | 38名 |
| 看護研究 | 2/13(土) | 看護研究発表会 | 小西美和子講師・大野・<br>石井・原田・看護部 | 143名 |
| 看護管理 | 5/14(火) | 看護研究クリティーク | 大野・管理者 | 32名 |
| 看護管理 | 6/4(火) | 次席師長昇格者 | 正野・東郷・中西・木下 | 4名 |
| 看護管理 | 7/28(火) | フィッシュ哲学 | 正野・管理者 | 32名 |
| 看護管理 | 9/29(火) | クリティーク | 大野・管理者 | 32名 |
| 看護管理 | 10/7(火) | 退院調整における看護師の役割 | 田畑・岩本・管理者 | 32名 |
| 看護管理 | 12/22(火) | 医療危険予知トレーニング・演習 | 梅田 | 32名 |
| 看護管理 | 1/5(火) | クリティーク | 大野・管理者 | 32名 |
| 看護管理 | 3/16(火) | メンタルヘヘルス | 瓜本・管理者 | 30名 |

# 看護部施設外研修（平成21年度）大阪看護協会主催

| 開催日 | コース名 | 受講者 |
|---|---|---|
| 4/16, 17（木、金） | 看護管理者のためのﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ | 三好（5西） |
| 4/23（木） | これからの褥瘡管理① | 森薗（3階）、山崎（5W） |
| 4/28（火） | 摂食嚥下障害のある患者の看護① | 廣川、森本（4W） |
| 5/13, 14（水、木） | がん患者の意思決定への支援 | 高藤、宇垣（5W） |
| 5/25～27（月～水） | 臨地実習指導者① | 板倉まゆり |
| 6/1,18(月、木)<br>7/7,14,23,31(火,火,木,金)<br>8/10（月） | 医療安全管理者研修 | 梅田（6E）、岩本（5E） |
| 6/3,4（水,木） | 心の病を持つ人への理解と介入方法 | 林（4E） |
| 6/8～10（月～水） | 感染看護に必要な基本知識 | 森薗（3階）、北口、藤田（5W） |
| 6/10,11（水,木） | 看護の質と診療報酬 | 東郷（管理室） |
| 6/15、16（月,火） | がん化学療法看護をうける患者の看護 | 入江、尾川（5W） |
| 6/17（水） | 運動機能回復への援助① | 三好（5W） |
| 7/1,2(水,木) | 在宅療養への支援 | 友野（3階）、林（6W） |
| 7/6(月) | みんなで考える看護倫理 | 薮本（4E） |
| 7/8,9（水,木） | がん患者の症状緩和 | 佐々木（4E） |
| 7/15(水) | 一般病棟におけるｸﾘﾃｨｶﾙｹｱ | 植野（4E）、堤（3階） |
| 7/22,23(水,木) | 看護記録1 | 板倉（6W）、有田（5W）、大谷（4W） |
| 7/16,17（木,金） | 組織とﾘｰﾀﾞｰｼｯﾌﾟ | 梶谷（6W） |
| 7/21(水) | ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄの基礎知識 | 長瀬（3階） |
| 7/22(水) | 看護職のｽﾄﾚｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ | 鈴木（3階）、福田（5W）、鈴木（5E） |
| 7/28～30（火～木） | 施設内教育 | 近藤亜希子 |
| 8/3(月) | スタッフ育成のためのｺｰﾁﾝｸﾞ | 岡村（4E）、乾（4W） |
| 8/4,5(火,水) | 人材育成とコミュニケーション | 乾（4W） |
| 8/4(火) | 新人のための急変時ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ① | 宮辻、森本、佐藤、三宅（4E）、小高、中田（6W） |
| 8/6(木) | これからの褥瘡管理② | 薮本（4E）、湯峯（4W） |
| 8/11(火) | 摂食嚥下障害のある患者の看護② | 鈴木（5E）、京谷（4E） |
| 8/18,19(火,水) | 施設内感染管理① | 坪内（外来） |
| 8/20、21(木,金) | 退院調整のための看護師の役割 | 岩本（5E）、田畑（6W） |
| 8/24,25(月、火) | がん患者の家族ｹｱ | 高藤、三田（5W） |
| 8/26(水) | 呼吸・循環ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ | 大谷（4W）、長瀬（3階）、中村（5E） |
| 8/27(木) | 医療安全管理者ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ研修 | 東郷（管理室） |
| 8/28(金) | 災害看護① | 西岡（6W） |
| 8/31(月) | 人工呼吸器装着患者の安全管理 | 草野（5E） |
| 9/4(金) | 災害看護② | 江藤（4E）、矢坂（4W） |
| 9/7～9(月～水) | 臨地実習指導者② | 堤（3階） |

| | | |
|---|---|---|
| 9/10,11(木,金) | 救急看護1　基礎 | 千田、秦（4E） |
| 9/15(火) | 乳がん患者の看護 | 十屋（3階） |
| 9/29、30（火,水） | 看護研究2　統計処理 | 西岡（6W） |
| 9/28(月) | 腹部ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ | 大谷（4W） |
| 9/24、25(木、金) | 高齢者への看護・支援 | 小高（6W） |
| 10/19（月） | 災害看護④ | 水越（4E） |
| 10/26（月） | 認知症の看護 | 望月、門林、赤松、植野（4E）、西川、鈴木（5E）<br>山下（4W）、久保、長瀬（3W）、葭谷（4W）、<br>中村、小谷（6W） |
| 10/27（火） | 新人看護師ができる急変時の対応を学ぼう① | 小高（6W） |
| 10/29, 30（木、金） | 退院調整看護を実践するために | 三好（5W） |
| 2/9、10（火、水） | がん患者の症状緩和 | 大森（4E）、三好（5W） |
| 11/4、5（水、木） | 看護研究　ｸﾘﾃｨｰｸ | 原田（3階） |
| 11/10（火） | 摂食嚥下障害のある患者の看護③ | 中川（4E） |
| 11/12（木） | 患者のｽﾄﾚｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ | 門林（4E）、初岡（6E） |
| 11/4（水） | 助産　助産師の実践力アップ | 時岡（6E） |
| 11/13（金） | 慢性疾患患者のｾﾙﾌｹｱ①呼吸器疾患 | 中村（6W）、草野、明上（5E） |
| 11/17（火） | 小児救急 | 小高（6W） |
| 11/19, 20（木、金） | 看護記録2 | 猪田（4E） |
| 11/28（木） | これからの褥瘡管理③ | 西川（5E） |
| 12/22(火) | 慢性疾患患者のｾﾙﾌｹｱ②糖尿病支援 | 今道（5E） |
| 12/8(火) | 母親支援 | 新路、池田（6E） |
| 12/14～16（月～水） | PEG・ｽﾄｰﾏ・ろう孔のｽｷﾝｹｱ | 西川（5E） |
| 1/8(金) | 高次脳機能ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄ | 大谷（4W） |
| 1/12、13(火・水) | 薬剤を理解し、「こわさ」から「安心」へ | 宮辻、森本（4E）、中田（6W） |

看護部　長期及びその他の研修

| 主催 | 日程 | 研修会名 | 受講者 |
|---|---|---|---|
| 大阪府看護協会 | 4月13日～12月22日 | 大阪府看護教員養成講習会 | 三好　由紀子 |
| 大阪府看護協会 | 5月13日～7月10日 | 平成21年度第1回臨地実習指導者講習会 | 井上　知香 |
| 大阪府看護協会 | 8月11日～11月20日 | 認定看護管理者制度教育課程ﾌｧｰｽﾄﾚﾍﾞﾙ | 森　エミ |
| | | 看護必要度評価者・院内指導者研修 | |
| 日本看護協会 | 10月～3月 | 認定看護師教育課程「緩和ケア」 | 山本　実加 |
| 大阪府看護協会 | 11月26日～3月5日 | 認定看護管理者制度教育課程ｾｶﾝﾄﾞﾚﾍﾞﾙ | 前川　明子 |
| 大阪府医療関係団体人権活動推進委員会 | | 人権研修リーダー養成のための人権研修 | |

# 講演会・研修会（平成 21 年）

**第３回ＴＱＭ大会**【別館講堂にて】
1 月 16 日　人材育成研究所　立川　義博

**緩和ケア講演会（がん治療センター主催）**【別館講堂にて】
1 月 27 日　演題「複合的理学療法の実践」
学校法人後藤学園付属リンパ浮腫研究所
所長 佐藤 佳代子

**第 6 回 日生病院 ICLS コース**【別館講堂にて】
2 月 15 日

**輸血教育講演会（輸血療法委員会主催）**【別館講堂にて】
2 月 19 日　演題「血液型抗原の話題」
大阪府赤十字血液センター
副所長　谷　慶彦

**研修医発表会**【別館講堂にて】
2 月 20 日

**医療安全講習会（医療安全管理委員会主催）**【別館講堂にて】
3 月 5 日　**医薬品・医療機器安全セミナー**
演題「医薬品による医療事故防止対策−取り違え事故事例から学ぶ−」
薬剤部　野村　浩英
演題「医療機器安全管理」
放射線科 医療技能部長　松本　茂一
**医療安全カルタ大会**

**人権研修会（教育委員会･看護部･倫理委員会･職員サービス部主催）**【別館講堂にて】
3 月 9 日　演題「明るい職場作りに向けての人権感性について」
大阪企業人権協議会 人権研修講師団
所属講師　野田　勝夫

**第 1 回 市民公開講座**【新阪急ホテルにて】
3 月 14 日　演題「最新のリウマチ治療」
総合内科　藤原　弘士

**接遇研修会（教育委員会・看護部・職員サービス部主催）**【別館講堂にて】
3 月 17 日　演題「ロールプレイングで振り返る患者様とのコミュニケーション」
㈱日本医療事務センター
チーフアドバイザー　大西　克子

**第 6 回あわざ産業医セミナー**【リーガロイヤルホテルにて】
4 月 18 日 情報提供
「抗悪性腫瘍剤 ゼローダ錠 300」
中外製薬株式会社
一般講演
Ⅰ「勤労者人間ドックの再査体制の確立をめざして
−健診精査内科の現状と展望−　」
総合健診クリニック ニッセイ予防医学センター　住谷　哲
Ⅱ「働くお母さんのための乳がん検診と診断」
乳腺外科 部長　西田　幸弘
特別講演
「がん検診の現状と今後の展望」
国立がんセンターがん予防・検診研究センター
センター長　　森山　紀之

**治験研修会（治験審査委員会・治験管理室主催）**【別館講堂にて】

4月21日　演題Ⅰ「当院での治験実施状況」
治験管理室　室長　長谷田　住雄
Ⅱ「ＣＲＣの役割」
治験コーディネーター　谷口　真理子
Ⅲ「治験を取り巻く環境」
薬剤部 部長 畑中 勝義

**豚インフルエンザ勉強会（院内感染対策委員会主催）**【別館講堂にて】

4月30日　院内感染対策委員会長　中央臨床検査部 部長　浅野　彰彦
感染症看護専門看護師　大野　典子

**ＴＱＭ研修会**【別館講堂にて】

5月19日.20日
人材育成研究所　立川 義博

**ＮＳＴ勉強会（ＮＳＴ委員会主催）**【２Ｆカンファレンス室にて】

5月29日　演題「鎖骨下穿刺の勉強会」
外科　黄 泰平

**85周年記念CS・ES推進大会**【別館講堂にて】

7月1日

**新型インフルエンザ教育講演会（院内感染対策委員会・教育委員会主催）**【別館講堂にて】

7月10日　演題「新型インフルエンザにおける当院の対応と今後の課題」
院内感染対策委員会長 中央臨床検査部 部長　浅野　彰彦

**病診連携ニッセイ クリニカル カンファレンス**【リーガロイヤルホテルにて】

7月18日　演題Ⅰ「著名な低蛋白血症を合併した混合性結合組織病の一例」
総合内科　前田　悠一
Ⅱ「インターフェロン治療が奏功した
Ｃ型慢性肝炎合併自己免疫性肝炎の１例」
消化器内科　有本　伸子
Ⅲ「典型的な症状を呈さなかった大動脈解離の２例」
循環器・神経内科　中川　厚
Ⅳ「難治性貧血 −最近の知見− 」
血液・化学療法内科　川上　学
ショートレクチャー
「心房細動の外来管理 −血栓塞栓予防対策を中心に− 」
副院長・循環器･神経内科部長　濱田　偉文

**第7回 日生病院ICLSコース**【別館講堂にて】

8月23日

**日本生命済生会Summer Festival85**【ホテル大阪ベイタワー4Fにて】
**（日本生命済生会労働組合、財団法人日本生命済生会共同開催）**

8月28日

**第10回 病診連携学術講演会（あわざフォーラム）**【リーガロイヤルホテルにて】

9月12日　情報提供
「ＥＰＡ製剤 エパデール製品紹介」
持田製薬株式会社 大阪支店 学術担当
講演
「日生病院における生活習慣病診療の取り組み」
生活習慣病センター長･副院長　笠山　宗正
糖尿病看護認定看護師　角南　ちえ子
リハビリテーション室･理学療法士　片岡　宏一郎

特別講演
「日本人の循環器病の特徴とその予防」
大阪大学医学部公衆衛生学
教授　磯　博康

**メンタルヘルスケア講習会（安全衛生委員会・教育委員会・職員サービス部主催）**【別館講堂にて】
10 月 2 日　演題「当院における過重労働対策について」
臨床研修部　部長　三木 俊治

**ＮＳＴ勉強会（ＮＳＴ委員会主催）**【別館講堂にて】
10 月 30 日　演題「摂食嚥下障害と嚥下訓練」
外科　黄 泰平

**糖尿病ケア研究会**【別館講堂にて】
11 月 7 日　演　題「糖尿病治療におけるフットケアとは」
技指導「手技だけのケア、フットケアマシン(グラインダー)でのケア、
安全な道具を使用してのセルフケア」
実　習「実際にやってみよう！フットケア」
フットケアプロジェクト　斉藤　貴子

**認定看護師実践報告会（看護部主催）**【別館講堂にて】
11 月 13 日　演題 Ⅰ「緩和ケアと認定看護師の役割」
緩和ケア認定看護師　久本　まき子
Ⅱ「これからのがん化学療法看護」
がん化学療法認定看護師　畠山　明子
Ⅲ「院内のがん患者の痛み「ゼロ」を目指して」
がん性疼痛看護認定看護師　小山佐知子
Ⅳ「新型インフルエンザ対策の実践活動から振りかえる」
感染症看護専門看護師　大野　典子
Ⅴ「Ｌｅｔ’ｓ　ｅｎｊｏｙ　糖尿病看護！」
糖尿病看護認定看護師　角南　ちえ子

**第 2 回市民公開講座**【ホテル日航大阪にて】
11 月 14 日　演題「胸に痛みを感じたら−狭心症・心筋梗塞症の最新治療−」
循環器内科　中川　厚

**医療安全講演会（医療安全管理委員会主催）**【別館講堂にて】
11 月 26 日　演題「医療安全に活かす脳科学」
ベルランド総合病院安全管理室
室長　楠本　茂雅

**医療ガスの安全な取扱いに関する研修会(医療ガス安全管理委員会主催)**【別館講堂にて】
12 月 3 日　㈱馬場酸素・エア･ウォーター防災㈱・岩谷産業(株)

**接遇研修会（教育委員会・看護部・職員ｻｰﾋﾞｽ部主催）**【別館講堂にて】
12 月 14 日　演題「ファーストインプレッションＵＰ！接遇モチベーションＵＰ!」
㈱日本医療事務センター
チーフアドバイザー　大西　克子

# 平成21年　地　域　活　動

| 事業等 | 出務場所 | 出務日 | 講師／出務医師 | その他 |
|---|---|---|---|---|
| 平成21年度<br>第1回学術講演会 | リーガロイヤルホテル | 6月20日（土）<br>16:30～18:00 | 藤原　弘士 | 演題：「最近の関節リウマチ治療とその目標」<br>～劇的な変化とは～<br>（他一題あり） |
| 急病診療所出務 | 西九条休日急病診療所 | 5月3日（日）<br>10:00～17:00 | 杉本　久和 | 小児科担当 |
| | 中央急病診療所 | 8月13日（木）<br>22:00～翌2:00 | 長谷川　浩司 | 内科担当 |
| 老人健康相談事業 | 西区老人福祉センター | 5月1日（金） | 花房　隆範 | 毎週火曜日・金曜日<br>開催（14:00～16:00）<br>5月：計8回 |
| | | 5月8日（金） | 中田　渡 | |
| | | 5月12日（火） | 永田　大樹 | |
| | | 5月15日（金） | 玉井　裕 | |
| | | 5月19日（火） | 宇都　佳彦 | |
| | | 5月22日（金） | 岡本　倫朋 | |
| | | 5月26日（火） | 永田　大樹 | |
| | | 5月29日（金） | 川原　玲子 | |
| 3ヵ月児健康診査 | 西区保健福祉センター | 毎月第1水曜日<br>13:30～ | 林田　雅子 | 1～3月度 |
| | | | 杉本　久和 | 4～12月度 |
| 3歳児健康診査<br>（耳鼻咽喉科） | 西区保健福祉センター | 3月18日（水）<br>13:45～ | 谷口　由希子 | |
| | | 8月19日（水）<br>13:45～ | | |
| 大阪西地域<br>産業保健センター<br>出務 | 西区医師会　会議室 | 2月18日（水）<br>14:00～15:30 | 大嶋　正人 | 労働者からの健康相談<br>（産業医） |
| | | 9月16日（水）<br>14:00～15:30 | 大嶋　正人 | |
| | | 11月18日（水）<br>14:00～15:30 | 大嶋　正人 | |
| 大阪西地域<br>産業保健センター<br>拡充センター<br>出務 | 西区民センター<br>第2会議室 | 3月11日（水）<br>17:30～19:30 | 大嶋　正人 | 労働者からの健康相談<br>（産業医） |
| | | 3月28日（土）<br>13:30～15:30 | 三木　俊治 | |
| | | 9月12日（土）<br>13:30～15:30 | 三木　俊治 | |
| | | 11月11日（水）<br>17:30～19:30 | 藤原　弘士 | |

## ボランティアについて

平成２１年の活動

| 年　/　月 | 主　な　内　容 |
|---|---|
| １　月 | |
| ２　月 | ボランティア協会定例研修会参加<br>交通費支給（１２月～１月分） |
| ３　月 | ボランティア保険加入（次年度更新） |
| ４　月 | 緩和ケア研修会参加（4/9）<br>交通費支給（２月～３月分） |
| ５　月 | 茶話会（5/２２） |
| ６　月 | 交通費支給（４月～５月分） |
| ７　月 | ボランティア健康診断（任意：予防医学センターにて） |
| ８　月 | ボランティア協会定例講演会参加（8/1）<br>交通費支給（６月～７月分） |
| ９　月 | 日生病院ボランティア総会　記念品、表彰状、<br>ボランティア協会に申請（1000 時間越え：川口） |
| 10　月 | 日本病院ボランティア総会参加（１０/３０　表彰：川口）<br>交通費支給（８月～９月分） |
| 11　月 | インフルエンザ予防接種（任意）<br>茶話会 |
| 12　月 | 交通費支給（１０月～１１月分） |

当院がボランティアを導入して今年で８年が経過し、現在ではボランティア通算時間1000 時間越える方が５名になりました。また、新しく１名の方が当院のボランティアに参加して頂けることになり、全員で１０名になりました。

活動内容は初診・再診手続きをはじめ、患者輸送（車椅子輸送）、各科場所の案内、移動図書の管理をお願いしています。患者の立場でご意見を頂いておりますが、参加者の年齢が高いこと、活動範囲が限られていること、勉強会や研修会参加者が少ないことから、病院ボランティアのあり方・活動内容の見直しが必要だと考えられます。また、ボランティアを導入している他病院の調査でもボランティアの高齢化が進み、存続が難しい状況になってきている様です。

ボランティア活動の充実が、患者様の安心感や職員の活性化にもつながり、患者様に気持ちよく受診して頂けると考えております。これからも、患者様サービスの向上に努めたいと思います。

## 定　例　行　事

| | |
|---|---|
| 日生医学賞授賞式 | 10 月 14 日 |
| 篤志解剖者慰霊祭 | 11 月 25 日 |
| 消防訓練 | 3 月 24 日、10 月 6 日 |

## 各 種 イ ベ ン ト

| | |
|---|---|
| 日生病院コンサート | 3 月 25 日、10 月 27 日 |
| 春のふれあいウォーキング | 4 月 3 日 |
| 看護フェアー | 5 月 12 日～15 日 |
| ﾆｯｾｲ夏休みこども医療体験 | 8 月 7 日、8 月 21 日 |
| 低侵襲医療イベント | 8 月 25 日、26 日 |
| いい皮膚の日 | 11 月 12 日 |
| 糖尿病フェアー | 11 月 18 日～11 月 20 日 |
| 糖尿病教室 | 火～金曜日 毎日 |
| 母乳外来 | 随時 |
| 離乳食教室 | 毎月／第３火曜日 |
| マタニティービクス<br>アフタービクス<br>ベビービクス | 毎週／火曜日・木曜日 |
| 両親学級 | 毎週／土曜日 |
| 大阪乾癬患者友の会「梯の会」 | 学習会・定例総会勉強会 年／２回<br>患者懇談会 年／３回 |
| 糖尿病患者友の会「錦会」 | 総会 年／１回 ・ 会報 年／２回<br>ウォーキング 年／１回<br>患者懇談会　 随時 |

財団法人　日本生命済生会付属
日　生　病　院
第８巻　平成22年９月発行

編　集　　財団法人　日本生命済生会付属　日生病院広報委員会
発　行　　財団法人　日本生命済生会付属　日生病院
住　所　　550－0012　　大阪市西区立売堀６丁目３番８号
ＴＥＬ　　06（6543）3581（代表）
http：//www.nissay－hp.or.jp